

# 2025年（令和7年） 投資信託に関するアンケート調査 報告書

2026年3月



一般社団法人  
投資信託協会

# <目 次>

1. 調査概要	4
2. 調査結果の総括	8
3. 投資信託	20
(1) 世帯保有の金融資産の評価額〔F6s1〕	22
(2) 世帯保有の投資信託の金額〔F6s2〕	24
(3) 保有経験のある金融資産〔Q1〕	25
(4) 保有口座〔Q2〕	27
(5) 保有種類〔Q3〕	28
(6) 興味・関心・購入のきっかけ〔Q4〕	29
(7) 購入目的〔Q5〕	30
(8) 特徴認知〔Q6〕	31
(9) 商品未購入の理由〔Q7〕	32
(10) 商品購入のきっかけ〔Q8〕	33
(11) 毎月分配型の保有状況〔Q10_1〕	34
(12) 毎月分配型への魅力度〔Q10_2〕	35
(13) 毎月分配型に魅力を感じる理由〔Q10_3〕	36
(14) 保有期間（投資信託）〔Q12s1〕	37
4. ETF、Jリート	38
(1) ETFの認知状況〔Q11s1〕	39
(2) Jリートの認知状況〔Q11s2〕	40
(3) Jリートの特徴認知〔Q13s1〕	41
(4) Jリートの魅力点〔Q13s2〕	43
(5) Jリートの不満点〔Q14〕	44
(6) 保有期間（ETF、Jリート）〔Q12s2/Q12s3〕	45

# <目 次>

5. 新NISA制度	47
(1) 認知状況〔Q15s1〕	49
(2) 口座開設状況〔Q16〕	51
(3) 各投資枠の利用状況〔Q17s1/Q17s2〕	52
(4) 成長投資枠での保有金融商品〔Q20s1〕	53
(5) つみたて投資枠での保有金融商品〔Q20s2〕	54
(6) 口座開設のきっかけ〔Q21〕	55
(7) 口座開設先の金融機関〔Q22〕	56
(8) 商品未購入または口座未開設の理由〔Q23s1〕	57
(9) 各投資枠の今後の利用意向〔Q24s1/Q24s2〕	58
(10) 口座開設先の重視点〔Q25s1/Q25s2〕	63
(11) 商品の重視点〔Q26s1/Q26s2〕	67
6. 確定拠出年金	71
<企業型確定拠出年金>	
(1) 認知状況〔Q15s2〕	72
(2) 利用状況〔Q18〕	74
<個人型確定拠出年金(iDeco)>	
(3) 認知状況〔Q15s3〕	76
(4) 利用状況〔Q19〕	78
(5) 保有金融商品〔Q20s3〕	79
(6) 商品未購入または口座未開設の理由〔Q23s2〕	80
(7) 利用意向〔Q24s3〕	81
(8) 特徴認知〔Q27s1〕	83
(9) 魅力点〔Q27s2〕	85

# <目 次>

7. 投資意識と実態	87
(1) お金の話にふれた機会〔Q9_1〕	88
(2) 知りたいテーマ〔Q9_2〕	90
(3) 投資に関する行動や考え方〔Q28〕	92
(4) 投資期間の考え方〔Q29〕	112
8. 回答者の属性	114
(1) 性別〔F1〕	115
(2) 年代〔F2〕	116
(3) 職業〔F3〕	117
(4) 従業員数〔F4〕	118
(5) 世帯年収〔F5s1〕	119
(6) 個人年収〔F5s2〕	121

\* 末尾添付資料：調査票

# 1. 調査概要

調査目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、国内の個人の投資信託利用拡大、投資に関する啓発普及活動に役立てるため、投資信託等の商品保有、各種制度利用の実態・意識を把握する。																																																																																						
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。																																																																																						
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）																																																																																						
調査対象	20～79歳の男女																																																																																						
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <p>* 性・年代・エリアで割付実施 （割付は令和6（2024）年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）</p> <p>* 職業条件による除外は実施していない。</p> <p>&lt;性・年代・エリアごとの回収数詳細&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>首都圏</td> <td>441</td> <td>477</td> <td>589</td> <td>642</td> <td>439</td> <td>430</td> <td>3,018</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>196</td> <td>202</td> <td>259</td> <td>294</td> <td>215</td> <td>232</td> <td>1,398</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>709</td> <td>788</td> <td>1,032</td> <td>1,073</td> <td>958</td> <td>999</td> <td>5,559</td> </tr> <tr> <td colspan="2">男性計</td> <td>1,346</td> <td>1,467</td> <td>1,880</td> <td>2,009</td> <td>1,612</td> <td>1,661</td> <td>9,975</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>首都圏</td> <td>431</td> <td>452</td> <td>553</td> <td>599</td> <td>427</td> <td>495</td> <td>2,957</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>197</td> <td>204</td> <td>264</td> <td>301</td> <td>228</td> <td>280</td> <td>1,474</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>654</td> <td>744</td> <td>988</td> <td>1,060</td> <td>999</td> <td>1,149</td> <td>5,594</td> </tr> <tr> <td colspan="2">女性計</td> <td>1,282</td> <td>1,400</td> <td>1,805</td> <td>1,960</td> <td>1,654</td> <td>1,924</td> <td>10,025</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOTAL</td> <td>2,628</td> <td>2,867</td> <td>3,685</td> <td>3,969</td> <td>3,266</td> <td>3,585</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。          首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,975サンプル          阪神圏：大阪、京都、兵庫、奈良／計2,872サンプル          その他地域：上記以外の都道府県／計11,153サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	441	477	589	642	439	430	3,018	阪神圏	196	202	259	294	215	232	1,398	その他地域	709	788	1,032	1,073	958	999	5,559	男性計		1,346	1,467	1,880	2,009	1,612	1,661	9,975	女性	首都圏	431	452	553	599	427	495	2,957	阪神圏	197	204	264	301	228	280	1,474	その他地域	654	744	988	1,060	999	1,149	5,594	女性計		1,282	1,400	1,805	1,960	1,654	1,924	10,025	TOTAL		2,628	2,867	3,685	3,969	3,266	3,585	20,000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																															
男性	首都圏	441	477	589	642	439	430	3,018																																																																															
	阪神圏	196	202	259	294	215	232	1,398																																																																															
	その他地域	709	788	1,032	1,073	958	999	5,559																																																																															
男性計		1,346	1,467	1,880	2,009	1,612	1,661	9,975																																																																															
女性	首都圏	431	452	553	599	427	495	2,957																																																																															
	阪神圏	197	204	264	301	228	280	1,474																																																																															
	その他地域	654	744	988	1,060	999	1,149	5,594																																																																															
女性計		1,282	1,400	1,805	1,960	1,654	1,924	10,025																																																																															
TOTAL		2,628	2,867	3,685	3,969	3,266	3,585	20,000																																																																															
調査時期	2025年9月11日（木）～9月22日（月）																																																																																						
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																						
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																																																																																						

## <グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値を足し上げた際に内訳の合計が100%ちょうどにならない場合がある。また、小計においても、内訳を足し上げた数値と誤差が生じる場合がある。
  - ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータを見る際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。
- ※2025年の調査では、2023年と2024年では2つに分かれていた「投資信託に関するアンケート調査」を、1つの調査票に統合している。調査票を変更しているため、時系列比較の際には、留意が必要である。

# 1. 調査概要

## <分析軸の内容>

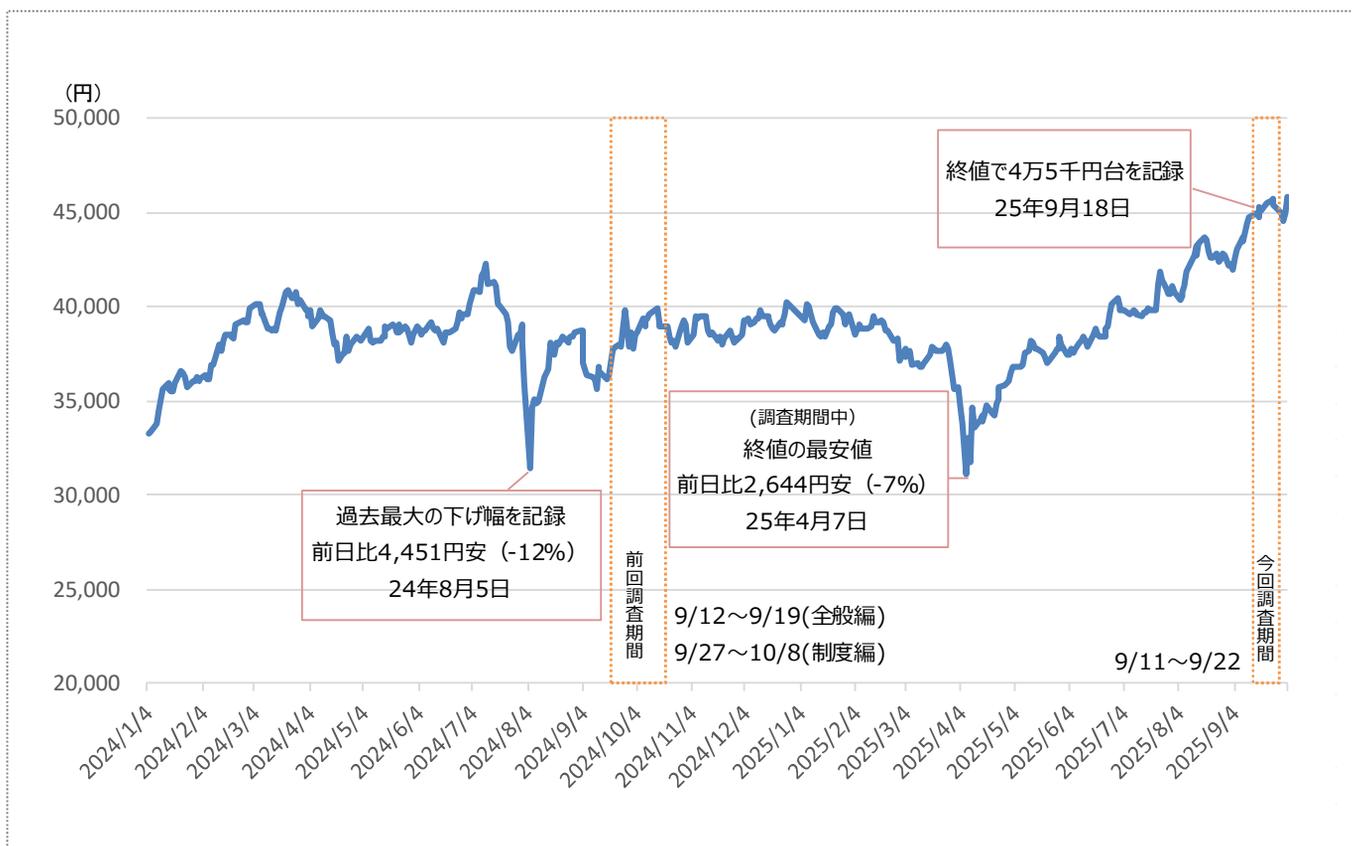
分析軸		カテゴリー	備考
基本軸 1	性別	1 男性	F1(1)
		2 女性	F1(2)
	年代別	1 20代	F2t1(20:29)
		2 30代	F2t1(30:39)
		3 40代	F2t1(40:49)
		4 50代	F2t1(50:59)
		5 60代	F2t1(60:69)
		6 70代	F2t1(70:79)
	世帯年収別	1 100万円未満	F5s1(1)
		2 ~300万円	F5s1(2)
3 ~500万円		F5s1(3)	
4 ~1,000万円		F5s1(4:5)	
5 1,000万円以上		F5s1(6:7)	
基本軸 2	投資信託保有状況別	1 現在保有層	Q1s4(1)
		2 保有経験層（現在非保有）	Q1s4(2)
		3 保有未経験層（投資信託以外の金融資産現在保有）	Q1s4(3)&Q1s1~Q1s10でいずれか(1)の人 ※投資信託（ETF・Jリート含む）の保有経験はないが、金融資産を現在保有している人 ※ここでの「金融資産」は、円での現金・預金、土地・不動産、保険を除く
		4 保有未経験層（投資信託以外の金融資産過去保有）	Q1s4(3)&Q1s1~Q1s10でいずれか(2)の人 ※投資信託（ETF・Jリート含む）の保有経験はないが、金融資産を過去に保有したことがある人
		5 保有未経験層（投資信託以外の金融資産現在非保有）	Q1s4(3)&&Q1s1~Q1s10で全て(3)の人 ※金融資産の保有経験がない人
基本軸 3	5エリア別	1 北海道・東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
		2 関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
		3 中部・北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
		4 近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
		5 中国・四国・九州	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

# 1. 調査概要

## <分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー		備考
新NISA 分析軸	新NISA認知別	1	商品内容認知層	Q15s1(1:2) ※新NISAを認知している人
	新NISA 実施状況別	1	現在口座開設層	Q16(1) ※、新NISA口座を開設している人
		2	認知・口座非開設層	Q15s1(1:2)&Q16(2) ※新NISAを認知しているが、新NISA口座を開設していない人
		3	非認知層	Q15s1(3) ※新NISAを認知していない人
	新NISA 利用意向有層	4	利用意向有層全体	Q24s1(1:2)%Q24s2(1:2) ※新NISAの成長投資枠または、つみたて投資枠のいずれかで「利用したい、利用し続けたい」「やや利用したい、やや利用し続けたい」と回答した人
	新NISA 枠別保有状況別	1	現在保有層（成長投資枠）	Q17s1(1) ※成長投資枠で「現在金融商品を保有している」人
		2	現在保有層（つみたて投資枠）	Q17s2(1) ※つみたて投資枠で「現在金融商品を保有している」人
従業員 数分 析軸	従業員数別	1	1～10人	F4(1)
		2	11～50人	F4(2)
		3	51～300人	F4(3)
		4	301～1,000人	F4(4)
		5	1,001人以上	F4(5)
		6	わからない	F4(6)

## 日経平均株価の推移



- ・出所：日本経済新聞社の指数公式サイト『日経平均プロフィール』  
(日経平均株価©日本経済新聞社)
- ・期間：2024年1月4日～2025年9月30日

## 2. 調査結果の総括

### 1. 新NISA制度の認知度と利用状況

- 新NISAの普及に伴い、投資信託の保有口座種別では「新NISA（つみたて投資枠）」が59.9%、「新NISA（成長投資枠）」が54.2%と、前年から大幅に上昇している。（P10②）
- 認知度は、74.7%に達しているが、前年比では3.2ポイント減少している。（P14⑩）
- 新NISA口座開設者は全体の31.7%、口座開設者を年代別に見ると、20代から40代では「つみたて投資枠」の利用が7割を超え、顕著に高い。（P14⑪、P15⑫）

### 2. 金融資産の保有状況

- 現在保有されている金融資産（本報告書では、現金・預金・保険等を除く。）は、「国内株式」（27.8%）が最も高く、次いで「投資信託（ETF・リート含む）」（24.3%）、「外貨預金」（8.2%）の順となっている。（P9①）
- 投資信託保有者において、保有する投資信託の種類では「外国株式に投資する投資信託」が61.2%で最も高く、前年より9.0ポイント増加。新NISAの普及に伴い、外国株式に投資する投資信託の増加が続いている。（P11③）

### 3. 企業型・個人型確定拠出年金（iDeCo）の状況

- 企業型DC：企業型確定拠出年金の認知者の利用率は20.3%で年々微増しており、特に従業員1,001人以上の大企業では利用率が5割を超えている。（P17⑯）
- iDeCo：認知計は62.9%であり、前年より2.5ポイント増加した。年代別の利用率は、20～30代で25%と、若年層ほど高い傾向にある。（P18⑰、図6-13）

### 4. 投資未経験者の障壁と情報接触

- 投資信託保有未経験者の未購入理由は、「そもそも興味がない」（40.8%）、「知識がない」（33.8%）、「損をしそうで怖い」（29.4%）が上位を占める。（P12⑤）
- 一方、若年層ほど「お金の話」に触れる機会が多く、20代～30代では4割を超えている。主な情報源はYouTube等の動画配信（15.2%）が主流となっている。（P18⑱）

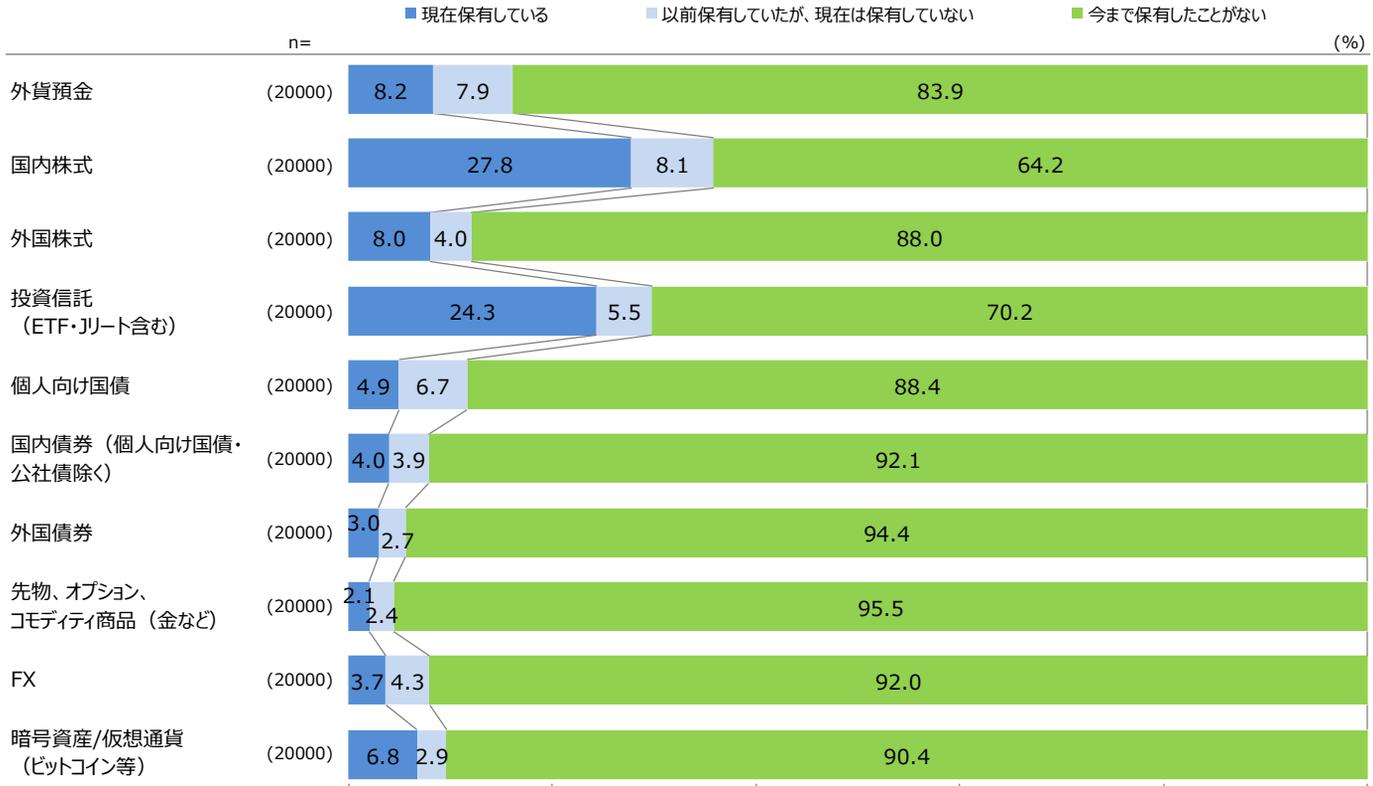
### 5. 調査結果からの示唆

- NISA口座開設者のつみたて投資枠の普及率は20～40代で7割を超える一方、投信のリスク（元本欠損等）認知度は48.2%に留まる。特に20代の理解度が著しく低く、実効性のある金融教育の強化が喫緊の課題である。（P12④）
- 情報源がYouTube等の動画（15.2%）が主流となりつつあり、従来の対面営業やパンフレットに加えて、デジタルネイティブの視聴習慣に即したコンテンツ提供が不可欠である。（P18⑲）
- DC（確定拠出年金）の利用率は大企業で5割を超え、個人で始めるNISAに対し、企業による制度導入や職域での教育が投資のハードル低減に寄与している。（P17⑯）
- 投資未経験層への対応：未購入理由として「損失への恐怖」が増加傾向にある。優遇制度のメリットに加え、リスクの軽減方法など資産形成に関する基礎的な金融教育が重要と考えられる。（P12⑤）
- 若年層への対応：投信保有者において、20代の毎月分配型の保有率が34.0%と高く、主な理由は「安心感」や「利益の確保」である。資産形成期にある若年層に対し、長期的な複利効果のメリットや、分配金受取による運用効率の低下リスクの認知を促すとともに、生活に応じた投資額の調整が重要であると考えられる。（P13⑥⑦）

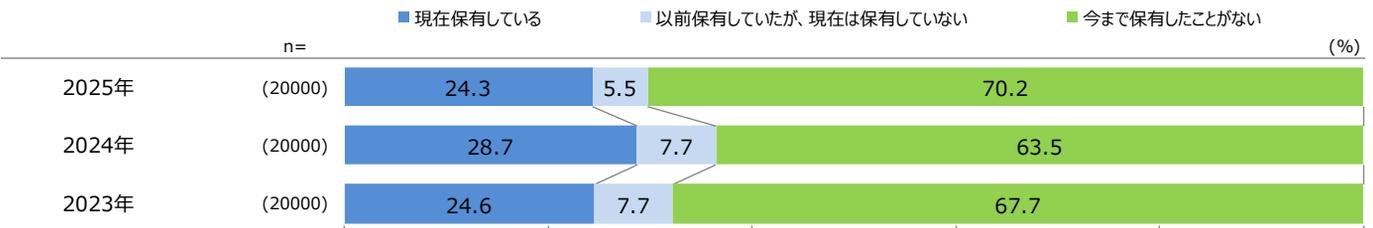
# 2. 調査結果の総括

## ① 投資信託 保有資産

- 現在保有している金融資産は、「国内株式」(27.8%)、「投資信託(ETF・リート含む)」(24.3%)、「外貨預金」(8.2%)の順に高い。(図3-7)



- 投資信託を「現在保有している (現在保有層)」は24.3%、「今まで保有したことがない」(70.2%)。現在保有層は、前年より4.4ポイント減少。(図3-8)  
※2025年は、調査票の設計変更があり、時系列比較は参考値



# 2. 調査結果の総括

## ② 投資信託 保有口座

- 投資信託保有者における投資信託の保有口座は、「新NISA（つみたて投資枠）」（59.9%）が最も高く、「新NISA（成長投資枠）」（54.2%）、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」（51.6%）が続く。前年より、「新NISA（つみたて投資枠）」は8.9ポイント、「新NISA（成長投資枠）」は10.9ポイントと、いずれも大幅に上昇。（図3-10）
- 年代別では、20～40代は「新NISA（つみたて投資枠）」が7割を超え、「新NISA（成長投資枠）」も6割を超えており、他の年代に比べて顕著に高い。30～50代では、「iDeCo（個人型確定拠出年金）」が2割台と他の年代に比べて高い。30～40代では「ポイント投資／運用の口座」が2割前後と、50代以上に比べて高い。（図3-11）

	n=	新NISA (つみたて投 資枠)	新NISA (成長投資 枠)	旧NISA (一般 NISA)	旧NISA (つみたて NISA)	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	ポイント投資/ 運用の口座	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない 忘れた	(%)
2025年	(4866)	59.9	54.2	23.3	22.2	51.6	17.2	13.8	9.8	0.1	1.8	
2024年	(5746)	51.0	43.3	24.2	22.9	50.2	14.8	14.5	9.3	0.5	2.1	
2023年	(4913)	-	-	33.7	42.6	55.0	16.1	13.1	10.4	0.5	2.5	
2025年 年代別	20代	(483)	72.9	61.9	14.3	26.9	33.7	17.8	16.8	14.3	0.0	2.3
	30代	(763)	77.3	60.8	16.9	34.2	42.7	23.1	20.4	14.8	0.5	1.4
	40代	(995)	71.2	60.0	21.6	29.6	48.5	25.7	19.8	13.7	0.0	1.2
	50代	(982)	60.4	51.8	24.7	22.5	51.9	22.4	15.4	11.6	0.2	1.6
	60代	(852)	49.1	50.2	29.0	14.6	58.9	10.7	7.7	4.1	0.0	1.9
	70代	(791)	32.1	42.9	29.3	6.3	66.8	0.9	2.8	1.0	0.1	2.9

※選択肢「旧NISA（一般NISA）」は、2023年「一般NISA」で聴取。「旧NISA（つみたてNISA）」は、2023年「つみたてNISA」で聴取  
 ※旧NISAの一般NISAとつみたてNISAは併用不可、新NISAは併用可

## 2. 調査結果の総括

### ③ 投資信託 保有種類

- 投資信託保有者において、「外国株式に投資する投資信託」（61.2%）が最も高く、「国内株式に投資する投資信託」（45.3%）が続く。「外国株式に投資する投資信託」は、前年より9.0ポイント増加しており、新NISAの普及に伴い、外国株式に投資する投資信託の増加が続いている。（図3-12）
- 年代別では、30～40代は「外国株式に投資する投資信託」が7割程度と他の年代より高い一方、「分散型投資信託（バランス型）」は高齢層ほど高い傾向にある。（図3-13）

外国株式投資信託 国内株式投資信託 分散型投資信託（バランス型） 外国債券投資信託 ETF 国内債券投資信託 国内不動産投信（リート）に投資する投資信託 外国の不動産投信に投資する投資信託 国内不動産投信（リート）（日本の証券取引所に上場） その他 不明・回答拒否 (%)

	n=	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託（バランス型）	外国債券投資信託	ETF	国内債券投資信託	国内不動産投信（リート）に投資する投資信託	外国の不動産投信に投資する投資信託	国内不動産投信（リート）（日本の証券取引所に上場）	その他	不明・回答拒否 (%)	
2025年	(4866)	61.2	45.3	24.5	12.7	12.3	12.0	10.1	7.0	5.9	0.6	9.0	
2024年	(5746)	52.2	45.3	19.6	12.3	14.3	11.8	7.5	6.3	6.3	0.3	12.0	
2023年	(4913)	47.7	42.1	19.0	13.0	14.9	13.1	7.8	6.0	5.3	0.5	13.3	
2025年 年代別	20代	(483)	63.6	42.7	18.2	15.9	13.5	15.5	11.6	8.5	4.6	0.4	10.1
	30代	(763)	71.8	44.6	18.3	11.5	16.8	12.1	9.4	6.0	5.1	0.9	6.9
	40代	(995)	69.5	46.3	23.0	12.5	14.7	11.2	9.9	7.0	7.4	0.4	7.2
	50代	(982)	61.5	45.1	23.9	11.8	11.8	11.6	9.6	6.5	5.6	1.1	8.8
	60代	(852)	56.1	47.1	27.6	12.6	10.0	11.6	10.0	6.3	6.3	0.6	10.1
	70代	(791)	44.2	44.6	33.8	13.3	7.2	11.9	10.9	8.6	5.2	0.3	11.4

# 2. 調査結果の総括

## ④ 投資信託 特徴認知

- 「元本の保証はない」(48.2%)が最も高く、次いで「価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある」(40.8%)、「リスクとリターンは表裏一体の関係にある」(40.3%)、「過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない」(32.4%)の順に認知されている。(図3-18)
- 20代では、「ポイントで投資信託に投資/運用できる」以外の全ての特徴項目において、認知の割合が他年代と比べて低くなっている。(図3-19)

	n=	元本の保証はない	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	ポイントで投資信託に投資/運用できる	購入時手数料の有無や金額は販売会社によって異なる	投資信託は、運用会社が運用している	複数の株式を組み入れる投資信託はリスクを分散できる	投資信託は、保有期間中の費用に加えて、解約時にも費用がかかるものがある	投資信託は信託銀行で、自行と顧客の資産を分けて保管・管理されている	この中で知っているものはない	
2025年	(20000)	48.2	40.8	40.3	32.4	28.4	26.4	23.9	23.9	23.6	22.3	17.4	11.3	33.8	
2024年	(20000)	50.9	41.6	42.3	34.7	30.8	26.4	23.3	-	24.8	-	-	-	30.4	
2023年	(20000)	44.0	29.6	35.6	27.1	26.1	22.6	20.4	-	20.5	-	-	-	39.9	
2025年 年代別	20代	(2628)	24.3	25.8	27.2	19.4	15.2	17.3	18.6	11.8	13.2	13.1	8.4	8.8	46.4
	30代	(2867)	38.1	34.4	35.6	28.0	21.9	25.6	25.9	19.8	20.3	20.2	12.9	11.2	39.2
	40代	(3685)	46.3	39.0	39.5	32.5	26.0	28.1	28.4	23.6	23.4	22.4	15.8	12.4	33.9
	50代	(3969)	53.0	42.7	42.5	34.7	30.5	28.3	28.1	26.5	25.5	24.2	18.6	12.0	31.4
	60代	(3266)	59.1	48.5	46.5	38.2	35.6	29.9	24.1	29.8	28.1	27.0	22.5	12.6	27.9
70代	(3585)	60.4	49.5	46.5	37.4	36.9	26.6	16.6	27.9	28.0	24.4	23.1	9.9	28.1	
投資信託 現在保有層	(4866)	76.8	69.1	69.3	63.3	56.3	58.8	48.5	51.9	55.1	51.7	40.4	27.5	4.3	

※選択肢「投資信託は信託銀行で、自行と顧客の資産を分けて保管・管理されている」「複数の株式を組み入れる投資信託はリスクを分散できる」「購入時手数料の有無や金額は販売会社によって異なる」「投資信託は、保有期間中の費用に加えて、解約時にも費用がかかるものがある」は2025年より聴取

## ⑤ 投資信託 投資信託の商品未購入理由

- 投資信託保有未経験者の未購入理由は、「そもそも興味がない」(40.8%)、「投資・投資信託の知識がないので」(33.8%)、「損をしそうで怖いので」(29.4%)、「まとまった資金がない」(26.3%)が上位にあがる。「投資・投資信託の知識がないので」は年々減少している。一方で、興味、損への恐怖感、資金不足は増加傾向にある。(図3-20)

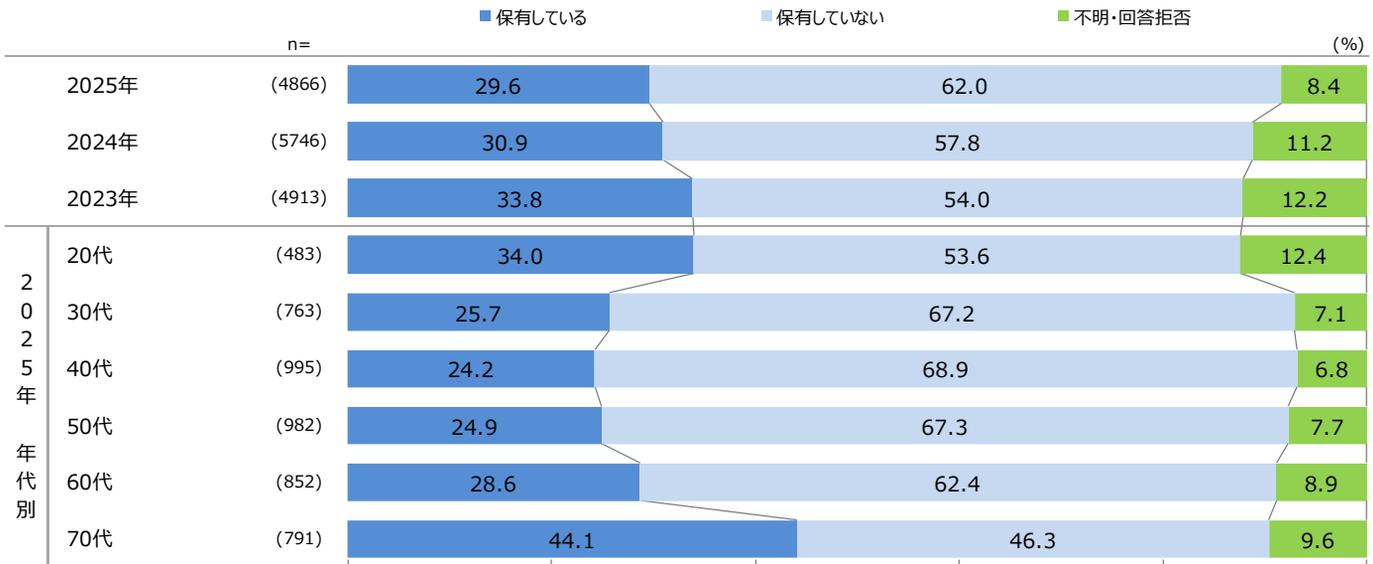
	n=	そもそも興味がない	投資・投資信託の知識がないので	損をしそうで怖いので	まとまった資金がない	元本保証がないので	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	身近な人から良い話を聞かないから	口座開設の申込手続きが複雑で途中でやめてしまったから	その他
2025年	(14044)	40.8	33.8	29.4	26.3	23.3	9.9	9.5	6.9	3.7	2.7	0.6
2024年	(12705)	38.3	48.6	25.9	22.7	20.2	11.4	8.1	5.9	4.2	-	0.4
2023年	(13546)	35.8	54.1	25.9	22.8	18.5	10.9	8.4	6.3	4.5	-	0.7

※選択肢「口座開設の申込手続きが複雑で途中でやめてしまったから」は2025年より聴取  
「投資・投資信託の知識がないので」は2024年「投資の知識がない」「投資信託の存在を知らなかった」で聴取  
「身近な人から良い話を聞かないから」は2024年は「家族から投資について良い話を聞かないから」「友人・知人から投資について良い話を聞かないから」で聴取

# 2. 調査結果の総括

## ⑥ 投資信託の毎月分配型の保有状況

- 投資信託保有者において、毎月分配型の投資信託を「保有している」（保有率）は29.6%で、年々減少傾向にある。（図3-24）
- 年代別では、20代は保有率が34.0%、70代は44.1%と他年代より保有率が高い。（図 3-25）



## ⑦ 魅力を感じる理由

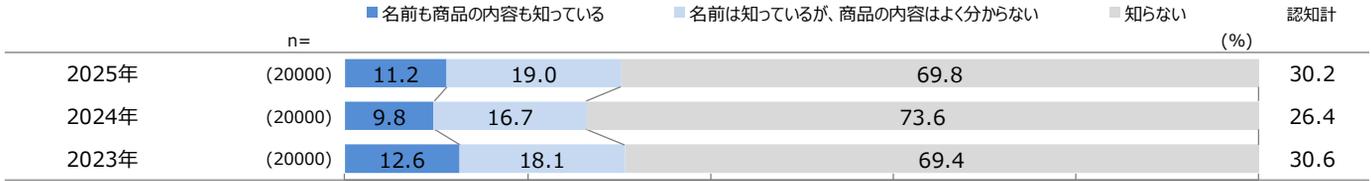
- 投資信託保有者において、毎月分配型投資信託に魅力を感じる人を年代別にみると、20代では、「一部払戻しの分配金であっても、収入を補完する上で活用できる」が26.9%と、全体より4.1ポイント高く、全年代の中でも最も高い。（図3-29）



# 2. 調査結果の総括

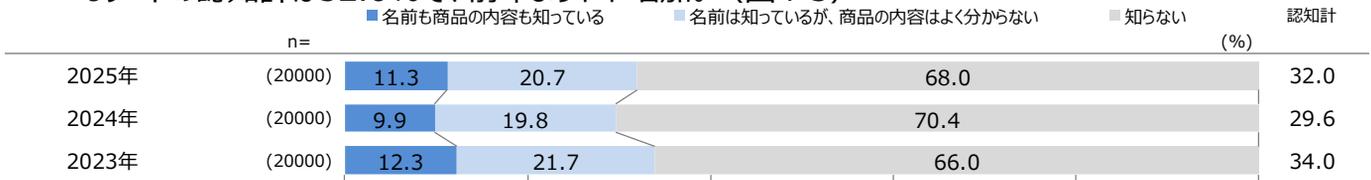
## ⑧ ETFの認知状況

- ETFの認知計（「名前も商品の内容も知っている」「名前は知っているが、商品の内容はよく分からない」）は30.2%で、前年より3.8ポイント増加。（図4-1）



## ⑨ Jリートの認知状況

- Jリートの認知計は32.0%で、前年よりやや増加。（図4-3）



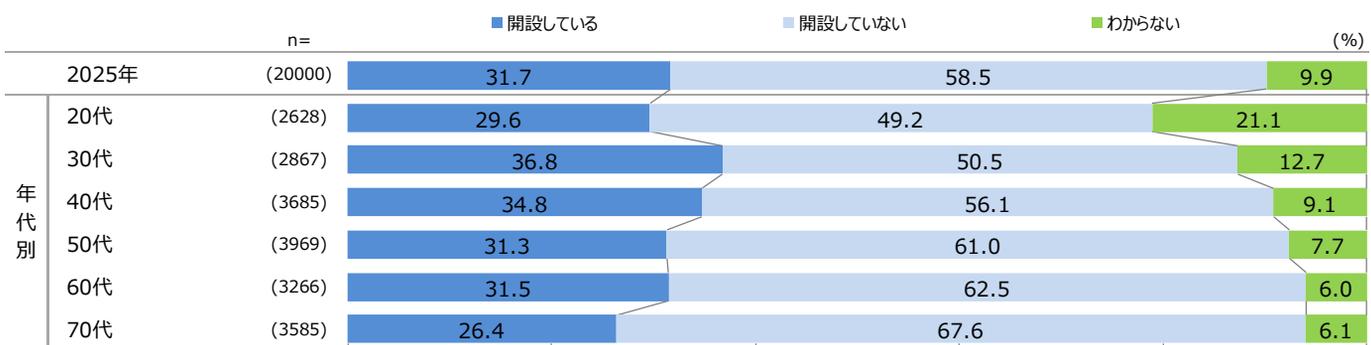
## ⑩ 新NISA制度の認知状況

- 認知率は、「名前も制度の内容も知っている」が29.7%、「名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」が45.0%で、これらを合わせた認知計が74.7%。前回調査から3.2ポイント減少。内容認知に関しては、前年比2.2ポイント増加。（図5-1）



## ⑪ 新NISA制度の口座開設状況

- 30代で開設率36.8%、40代で34.8%と、他の年代と比べて高い。（図5-5）



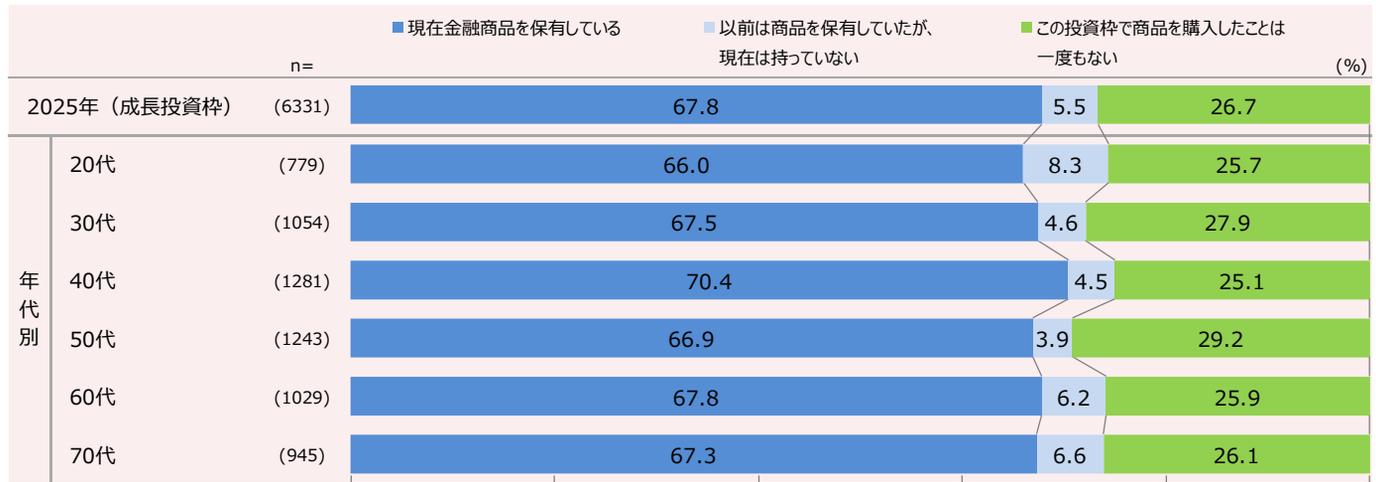
## 2. 調査結果の総括

### ⑫新NISA制度の各投資枠の利用状況 (新NISA口座開設者)

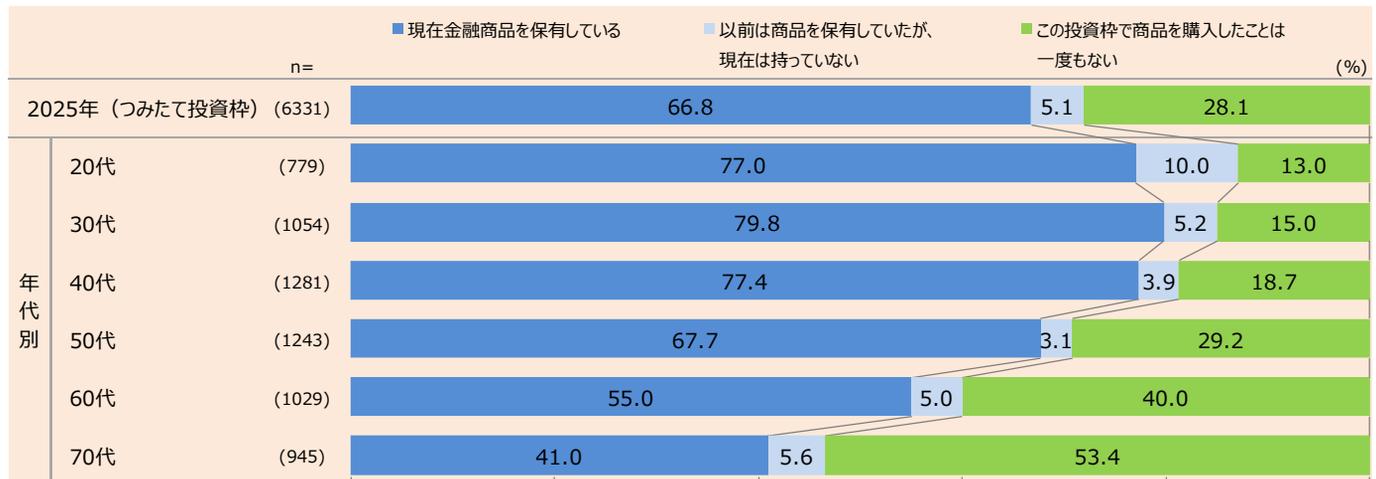
- 成長投資枠の「現在金融商品を保有している(保有率)」は67.8%、つみたて投資枠の保有率は66.8%を占める。(図5-6)



- 成長投資枠は、どの年代においても保有率は66.0~70.4%を占める。(図5-7)



- つみたて投資枠は、20~40代で保有率が77.0~79.8%と高く、60~70代で41.0~55.0%と低い。(図5-8)



# 2. 調査結果の総括

## ⑬ 新NISAの商品未購入理由または口座未開設理由

- 新NISA口座で商品未購入、口座未開設者における未購入・未開設理由は、「投資に回すお金がないから」(18.2%)、「投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから」(15.6%)、「どの商品を購入してよいかかわからないから」(11.3%)が上位にあがる。資金、知識不足が主要因であることが分かる。(図5-18)

	n=	投資に回すお金がないから	投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	どの商品を購入してよいかかわからないから	口座開設の手続きが煩雑で面倒だから	投資は元本が保証されないから	投資自体に関心がないから	自分は預貯金で十分と思っているから	まわりに利用している人がいないため	自身の所得状況から所得税額控除のメリットがないから	経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	口座開設の手続きが複雑で途中でやめたから	他の年金制度を利用して不要	金融機関に勧められて口座開設しただけから	その他	特に理由はない
2025年	(12350)	18.2	15.6	11.3	10.3	9.1	7.1	5.2	4.4	3.9	2.7	2.1	1.5	0.9	1.1	49.2
2024年	(12018)	22.6	16.6	17.0	12.6	-	13.5	-	-	-	4.2	-	-	-	1.3	38.3

※2024年「-」は2025年より聴取

## ⑭ 口座開設先の重視点

- 新NISA利用意向者における「販売手数料が低い」は50代が、「インターネット上で手続きが完了する」は40～50代が、「株式が購入できる」は70代が高い傾向。「知名度が高い」「SNSにおける評価の高さ」は、20～40代が他の年代より高く、世評を重視していることが伺える。「店舗で対面相談が可能である」は20代と70代が、「日頃からお付き合いがある」「日系企業である」は70代が全体より高い傾向。(図5-33)

	n=	販売手数料が低い	インターネット上で手続きが完了する	株式が購入できる	新NISA対象商品の取扱数が多い	知名度が高い	資本金が大きい	アフターサービス・顧客対応が充実している	提供している資料や情報が分かりやすい	店頭で対面相談が可能である	日系企業である	日頃からお付き合いがある	SNSにおける評価の高さ	インターネットや雑誌等でのランキング	ESG・SDGsに力を入れている	外資系企業である	その他	わからない・特にない	
2025年	(7418)	57.4	45.1	42.6	36.2	18.6	18.0	17.3	17.0	11.6	11.0	8.8	8.6	7.1	2.7	1.4	0.6	8.9	
年代別	20代	(1120)	43.8	39.3	40.4	30.5	25.4	19.6	19.6	18.0	15.0	9.2	11.1	16.8	9.3	4.8	3.1	0.3	10.0
	30代	(1310)	54.8	44.4	42.1	36.7	20.9	19.2	17.0	16.6	10.3	9.8	7.2	11.8	7.4	2.7	1.6	0.7	8.9
	40代	(1582)	61.1	49.2	41.3	39.3	20.1	19.7	17.6	18.5	8.5	9.7	6.6	10.2	9.2	3.2	1.3	0.6	8.3
	50代	(1462)	64.4	48.5	40.4	37.9	14.8	15.7	17.0	15.0	9.3	10.8	6.2	5.3	5.8	1.8	0.7	0.9	8.8
	60代	(1061)	60.4	44.9	43.3	37.6	14.8	17.2	15.2	16.7	12.6	12.3	9.8	3.7	5.7	1.8	0.8	0.5	8.9
	70代	(883)	56.4	40.9	51.2	33.0	14.8	15.4	17.1	17.0	17.1	16.3	15.4	2.2	3.7	1.8	1.1	0.3	8.6

# 2. 調査結果の総括

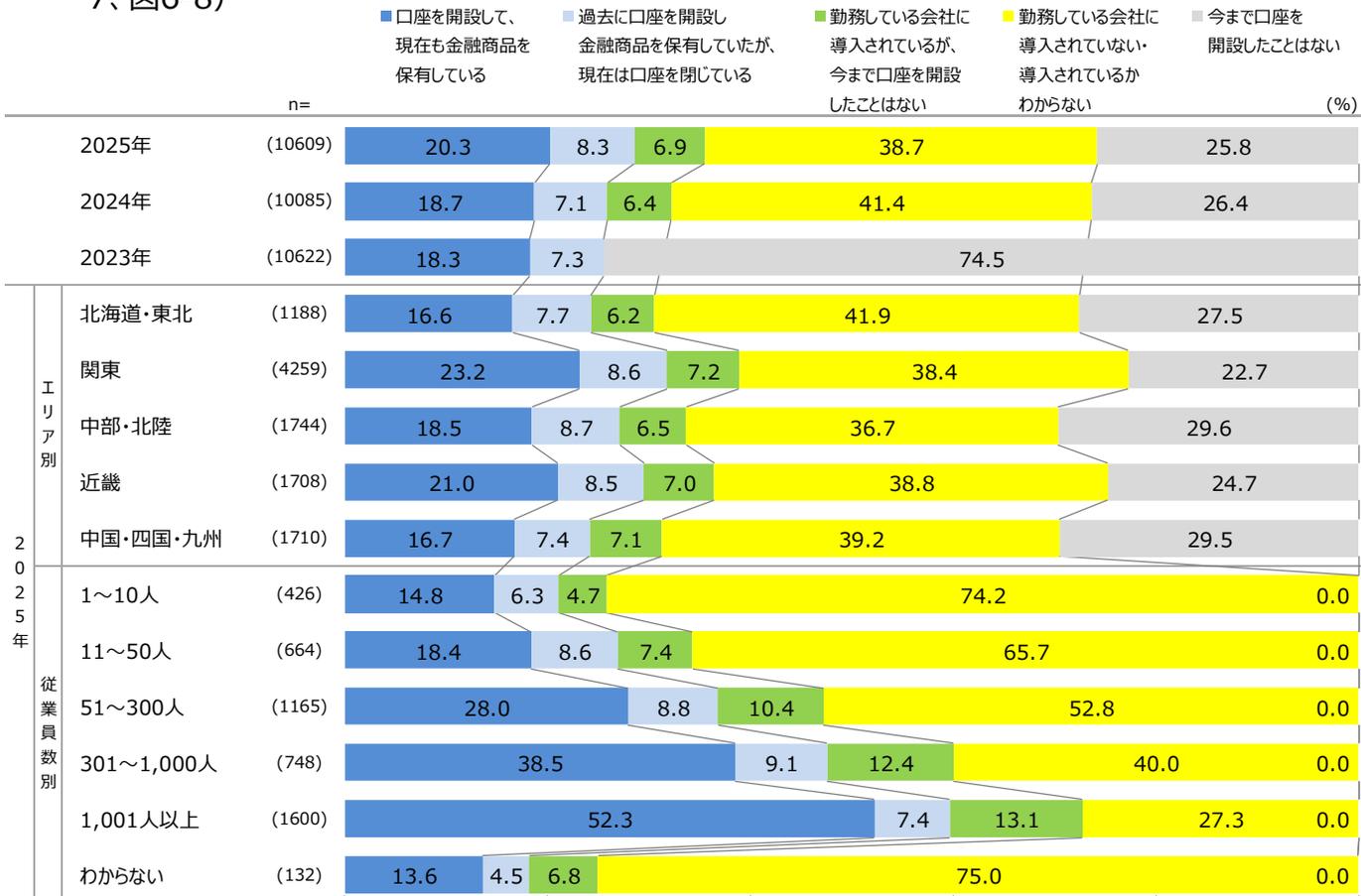
## 15 <企業型> 認知状況

- 企業型確定拠出年金の認知計（「名前も制度の内容も知っている」「名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」の計）は、53.0%で前年と同程度。「制度を知らない」は47%。（図6-1）



## 16 <企業型> 利用状況（企業型確定拠出年金の認知者）

- 利用率（「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」の割合）は年々増加。エリア別では、関東が高い傾向。従業員数別にみると、従業員数が多くなるほど認知率、利用率が高い。1001人以上の企業では利用率が5割を超え、大企業での利用が進んでいる様子が見える。（図6-5、図6-7、図6-8）



※「勤務している会社に導入されているが、今まで口座を開設したことはない」「勤務している会社に導入されていない・導入されているかわからない」は2024年より聴取

# 2. 調査結果の総括

## ⑰ <個人型> 認知状況

- 個人型確定拠出年金(iDeCo)の認知計(「名前も制度の内容も知っている」「名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」の計)は、62.9%で、前年より2.5ポイント増加。(図6-9)

	n=	名前も制度の内容も知っている	名前は知っているが、制度の内容はよく分からない	知らない	認知計 (%)
2025年	(20000)	17.0	45.8	37.1	62.9
2024年	(20000)	16.3	44.1	39.6	60.4
2023年	(20000)	18.1	43.6	38.2	61.8

## ⑱ <個人型> 利用状況 (個人型確定拠出年金の認知者)

- iDeCo認知者における利用状況は、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している(年金受給者を含む)」は17.3%で前年比1.9ポイント増加。(図6-12)

	n=	口座を開設して、現在も金融商品を保有している(年金受給者を含む)	過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は口座を閉じている	今までに口座を開設したことはない	(%)
2025年	(12576)	17.3	4.0	78.6	
2024年	(12081)	15.4	4.4	80.2	
2023年	(12351)	15.5	3.8	80.7	

※「口座を開設して、現在も金融商品を保有している(年金受給者を含む)」は、2024年までは「口座を開設して、現在も金融商品を保有している(掛金を拠出している)」と「口座を開設して、現在も金融商品を保有している(年金受給(掛金の拠出なし))」に分けて聴取

## ⑲ お金の話に触れた機会

- 「お金の話にふれたことがある計」(35.1%)は、年々微増傾向。若年層ほど「お金の話にふれたことがある計」が高い傾向にあり、20~30代では4割を超える。(図7-2)

	n=	動画サイト(Youtube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家(ファイナンシャルプランナー等)への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学の講義	金融機関以外が主催のセミナー	J-FLEC主催のセミナー、個別相談など	その他	あてはまるものはない/お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計 (%)
2025年	(20000)	15.2	10.4	7.0	5.8	5.6	5.0	4.5	1.0	1.1	64.9	35.1
20代	(2628)	17.0	11.9	6.1	7.2	8.4	13.4	5.5	2.3	0.6	57.9	42.1
30代	(2867)	21.7	12.2	4.9	7.5	7.3	7.0	4.1	1.5	0.5	58.8	41.2
40代	(3685)	19.5	12.3	6.1	6.8	6.6	4.4	4.8	1.1	1.2	60.5	39.5
50代	(3969)	15.2	10.6	6.3	4.9	4.6	2.8	4.5	0.6	1.1	66.6	33.4
60代	(3266)	11.8	10.3	7.7	5.1	4.4	2.6	4.3	0.6	1.4	69.0	31.0
70代	(3585)	7.5	5.8	10.3	3.8	3.4	2.1	3.8	0.3	1.4	73.8	26.2

## ⑳ 知りたいテーマ

- 20~40代では、「NISA」が3割台、「iDeCo(個人型拠出年金/iDeCo+)」が2割弱と、他の年代に比べて高い。(図7-7)

	n=	NISA	今後の経済動向	投資する商品の選び方・資産配分の方法	iDeCo(個人型確定拠出年金)/iDeCo+	商品売上のタイミング	定年後のライフプラン	資産の取り崩し方	税制優遇制度(NISA・iDeCoなど)の使い分け	一括投資と積立投資の違い	企業型DC(企業型確定拠出年金)	その他	あてはまるものはない/知りたいテーマはない (%)
2025年	(20000)	27.0	20.0	14.5	12.2	11.9	11.7	9.6	9.2	6.3	4.5	0.2	48.4
20代	(2628)	37.1	17.3	12.5	17.0	11.8	10.0	7.5	12.1	8.6	8.3	0.0	45.7
30代	(2867)	37.3	20.9	16.5	18.8	13.7	11.2	10.3	14.0	8.9	7.8	0.2	42.6
40代	(3685)	34.7	21.8	15.5	18.2	13.1	13.2	11.3	12.6	7.9	6.4	0.2	40.7
50代	(3969)	25.0	19.1	14.6	13.3	11.8	16.6	10.1	9.2	5.3	3.6	0.2	47.6
60代	(3266)	17.7	20.0	13.5	4.9	10.6	13.0	10.3	5.1	3.8	1.4	0.5	53.3
70代	(3585)	13.9	20.6	14.3	3.0	10.7	4.9	7.6	3.7	4.0	0.8	0.2	59.3

# 2. 調査結果の総括

## ② 投資に関する行動や考え方 \* TOP2比較

(金融商品保有者または新NISAで成長投資枠・つみたて投資枠での商品保有者)

- 『新NISA制度が若年層の投資行動を後押ししている』一方で、「商品数が多すぎる」と感じる割合も全世代で最多。『自身で情報収集できるがゆえに正解を求めすぎて疲弊する』という、デジタルネイティブ特有の悩みが推察される。金融機関側には『単なる商品提供に留まらず、膨大な選択肢をいかにシンプルに整理して提示できるかが問われている。』(図7-11)

		n=	短期的な 値動きに 惑わされず、 長期的な 視点で 投資して いる	株や 投資信託の 値動きを よくチェック する	つみたて 投資枠の 年間投資枠 (120万円) のほぼ上限 まで利用して いる	成長投資枠 の年間投資 枠(240万円) のほぼ上限 まで利用して いる	経済状況や 世界情勢 から、投資 の資産配分 を見直して いる	新NISA 対象商品 から適切な 商品を選ぶ ことができる	成長投資枠 の対象商品 の取扱数が 多過ぎる	つみたて投 資枠の対象 商品の取扱 数が多過ぎ る	診断サービ スやロボアド投 資(AI投資) を積極的に 利用して いる	(%)
2025年		(8446)	51.6	49.0	40.4	39.8	39.8	30.8	26.7	25.7	15.9	
性別	男性	(5143)	51.3	53.8	42.5	42.2	43.1	33.9	26.2	25.0	17.9	
	女性	(3303)	52.1	41.4	37.1	35.4	34.7	25.9	27.5	26.8	12.7	
年代別	20代	(866)	60.2	56.1	44.4	43.2	51.5	47.2	43.5	42.1	36.3	
	30代	(1172)	57.8	52.9	43.3	41.0	46.3	40.6	32.8	33.4	24.7	
	40代	(1593)	54.2	50.4	36.3	37.4	43.8	34.1	29.1	28.8	17.8	
	50代	(1715)	50.3	45.1	40.1	36.8	36.0	27.1	24.0	23.1	12.9	
	60代	(1499)	47.3	46.3	39.2	40.6	35.3	24.1	21.7	20.1	8.9	
	70代	(1601)	45.3	47.5	41.0	42.5	33.2	21.5	18.3	16.1	6.0	
世帯年収別	100万円未満	(316)	42.7	42.1	40.2	39.2	32.0	20.6	19.6	20.6	11.4	
	~300万円未満	(1092)	45.7	44.0	33.0	30.6	32.1	22.0	21.7	21.0	9.8	
	~500万円未満	(1730)	51.4	45.6	33.3	36.2	36.8	28.6	24.0	23.2	12.7	
	~1000万円未満	(2977)	54.3	52.4	41.5	40.7	43.2	33.7	29.8	29.0	18.8	
	1000万円以上	(1259)	62.4	60.7	54.9	53.4	53.5	45.0	35.3	33.4	24.9	
投資状況 投資信託	保有層・ 保有 経験層	現在保有層 (4866)	63.4	55.7	40.9	40.1	45.4	37.9	29.1	27.7	17.4	
	保有 経験層 (現在非保有)	(671)	44.1	53.5	50.0	41.5	42.8	24.3	27.7	24.6	15.4	
	保有 未経験層	投信以外の金融 資産現在保有 (2909)	33.7	36.7	35.6	38.2	29.8	20.3	22.4	22.6	13.3	
5 工 リ ア 別	北海道・東北	(869)	51.0	45.5	38.1	39.7	39.5	31.2	24.4	24.4	16.2	
	関東	(3442)	53.9	51.1	42.8	39.7	41.0	32.2	27.3	26.2	16.7	
	中部・北陸	(1419)	47.2	47.4	37.0	40.5	38.7	28.0	25.4	24.3	13.0	
	近畿	(1410)	51.1	49.5	42.9	40.0	40.7	32.7	26.5	25.2	17.5	
	中国・四国・九州	(1306)	51.4	46.9	36.6	39.5	37.4	27.6	28.3	27.3	14.8	

# 3. 投資信託

## 【サマリー】

### ①保有資産 (Q1)

- ・現在保有している金融資産は、「国内株式」(27.8%)、「投資信託(ETF・リート含む)」(24.3%)、外貨預金(8.2%)の順に高い。(図3-7)
  - ・投資信託を「現在保有している(現在保有層)」は24.3%、「今まで保有したことがない」(70.2%)。現在保有層は、前年より4.4ポイント減少。(図3-8)
- ※2025年は、調査票の設計変更があり、時系列比較は参考値

### ②保有口座 (Q2)

- ・投資信託保有者における投資信託の保有口座は、「新NISA(つみたて投資枠)」(59.9%)が最も高く、「新NISA(成長投資枠)」(54.2%)、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」(51.6%)が続く。前年より、「新NISA(つみたて投資枠)」は8.9ポイント、「新NISA(成長投資枠)」は10.9ポイントと、いずれも大幅に上昇。(図3-10)
- ・年代別では、20~40代は「新NISA(つみたて投資枠)」が7割を超え、「新NISA(成長投資枠)」も6割を超えており、他の年代に比べて顕著に高い。30~50代では、「iDeCo(個人型確定拠出年金)」が2割台と他の年代に比べて高い。30~40代では「ポイント投資/運用の口座」が2割前後と、50代以上に比べて高い。(図3-11)

### ③保有種類 (Q3)

- ・投資信託保有者において、「外国株式に投資する投資信託」(61.2%)が最も高く、「国内株式に投資する投資信託」(45.3%)が続く。「外国株式に投資する投資信託」は、前年より9.0ポイント増加しており、新NISAの普及に伴い、外国株式に投資する投資信託の増加が続いている。(図3-12)
- ・年代別では、30~40代は「外国株式に投資する投資信託」が7割程度と他の年代より高い一方、「分散型投資信託(バランス型)」は高齢層ほど高い傾向にある。(図3-13)

### ④特徴認知 (Q6)

- ・「投資信託は運用会社が運用している」は23.6%となっている。
- ・「元本の保証はない」(48.2%)が最も高く、次いで「価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある」(40.8%)、「リスクとリターンは表裏一体の関係にある」(40.3%)、「過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない」(32.4%)の順に認知されている。(図3-18)
- ・20代では、「ポイントで投資信託に投資/運用できる」以外の全ての特徴項目において、認知の割合が他年代と比べて低くなっている。(図3-19)

# 3. 投資信託

## 【サマリー】

### ⑤ 毎月分配型の保有状況・魅力度・魅力を感じる理由 (Q10\_1・Q10\_2・Q10\_3)

#### ● 毎月分配型の保有状況〔Q10\_1〕

・投資信託保有者において、毎月分配型の投資信託を「保有している」（保有率）は29.6%で、年々減少傾向にある。(図3-24)

・年代別では、20代は保有率が34.0%、70代は44.1%と他年代より保有率が高い。(図 3-25)

#### ● 毎月分配型への魅力度〔Q10\_2〕

・「魅力を感じる計」は25.4%で、年々減少傾向にある。(図3-26)

#### ● 毎月分配型に魅力を感じる理由〔Q10\_3〕

・「分配金を受け取ることで安心できるので」(59.5%)が最も高い。次いで、「毎月利益を確定したいので」(54.8%)が高く、前年より3.8ポイント高くなっている。(図3-28)

・年代別にみると、20代では、「一部払戻しの分配金であっても、収入を補完する上で活用できる」が26.9%と、全体より4.1ポイント高く、全年代の中でも最も高い。(図3-29)

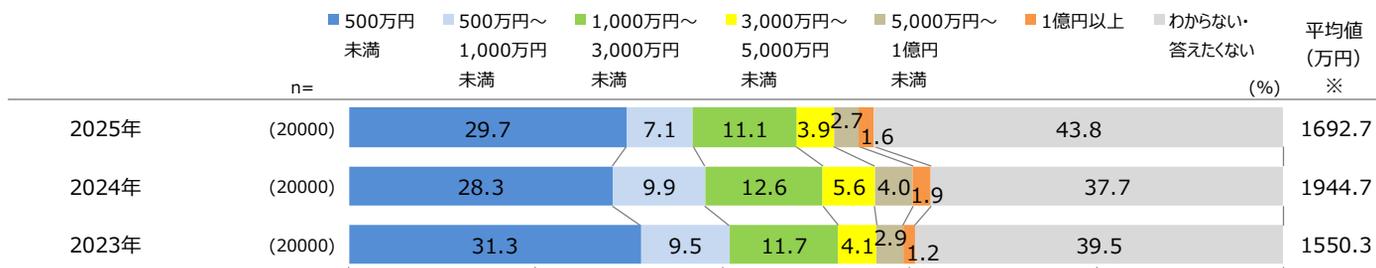
### ⑥ 保有期間 (Q12s1)

・投資信託の現在保有層における投資信託の保有期間は「5年以上計」が40.5%で昨年と比べて減少。「1年未満」のエントリー層(22.7%)は前年より増加傾向にある。平均保有期間は5.3年と、前年より短くなっている。(図3-30)

### 3. 投資信託

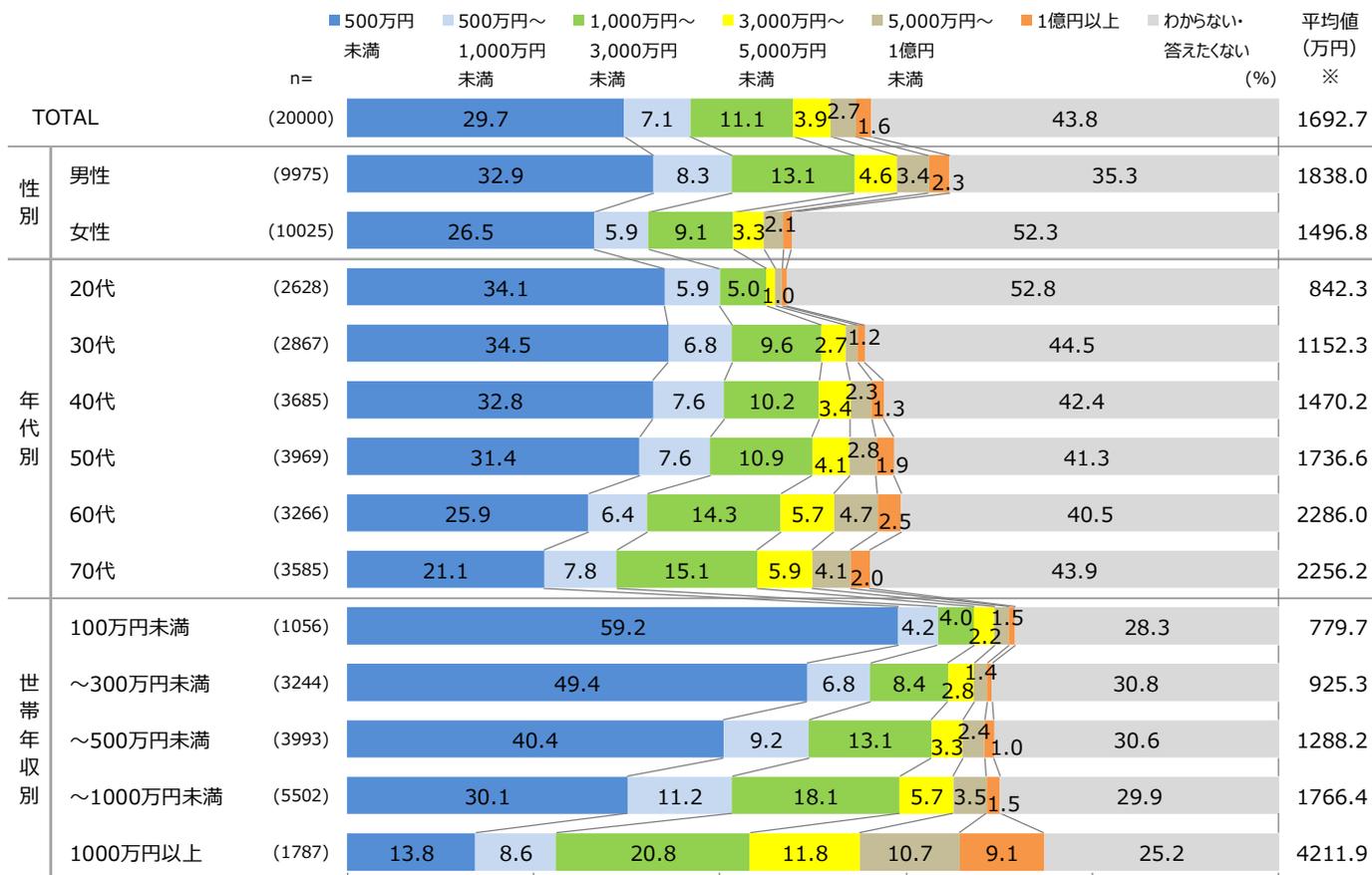
#### (1) 世帯保有の金融資産の評価額〔F6s1:単数回答〕

〔図 3-1〕



※選択肢「1億円以上」は2024年まで「1億円以上～5億円」「5億円以上」で聴取のため合算

〔図 3-2〕



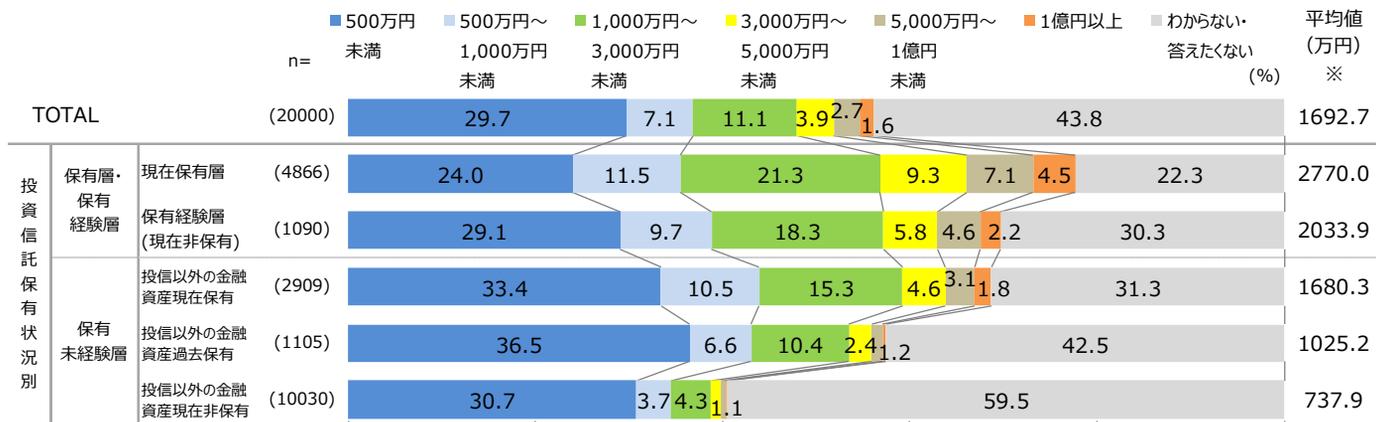
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

500万円未満：250万円 / 500～1000万円未満：750万円 / 1000～3000万円未満：2000万円 / 3000～5000万円未満：4000万円 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円以上：1億5000万円

### 3. 投資信託

#### (1) 世帯保有の金融資産の評価額〔F6s1:単数回答〕

〔図 3-3〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

500万円未満：250万円 / 500～1000万円未満：750万円 / 1000～3000万円未満：2000万円 / 3000～5000万円未満：4000万円 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円以上：1億5000万円

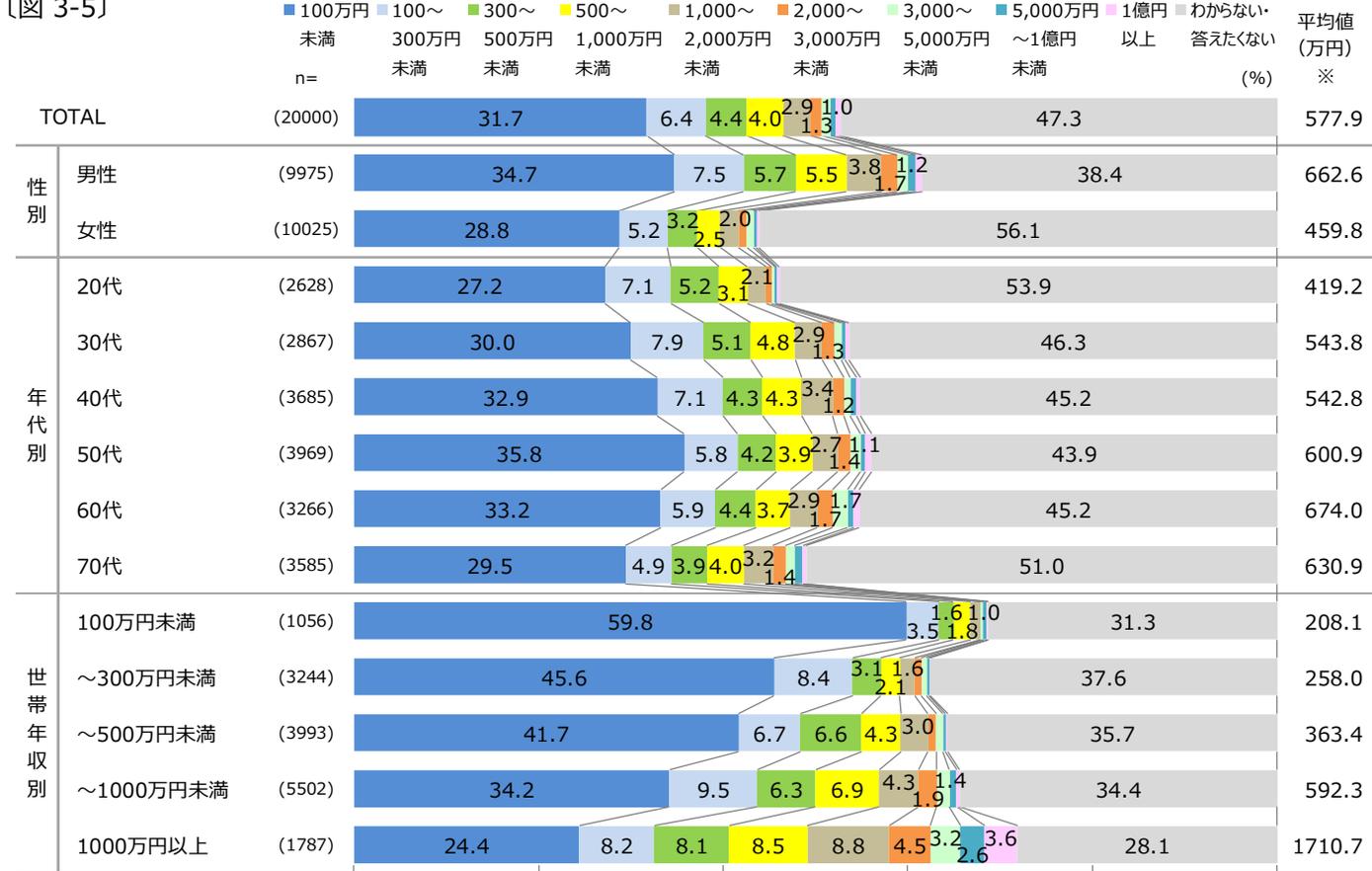
### 3. 投資信託

#### (2) 世帯保有の投資信託の金額〔F6s2:単数回答〕

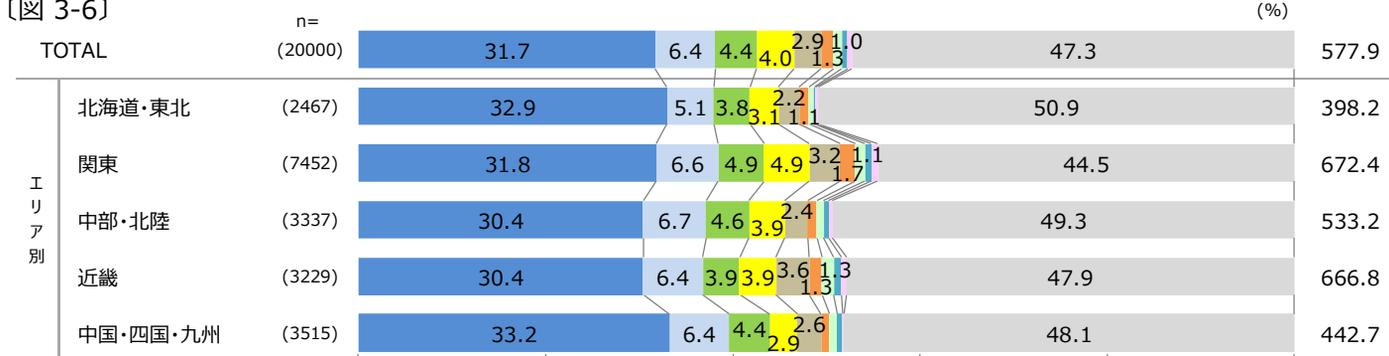
〔図 3-4〕



〔図 3-5〕



〔図 3-6〕



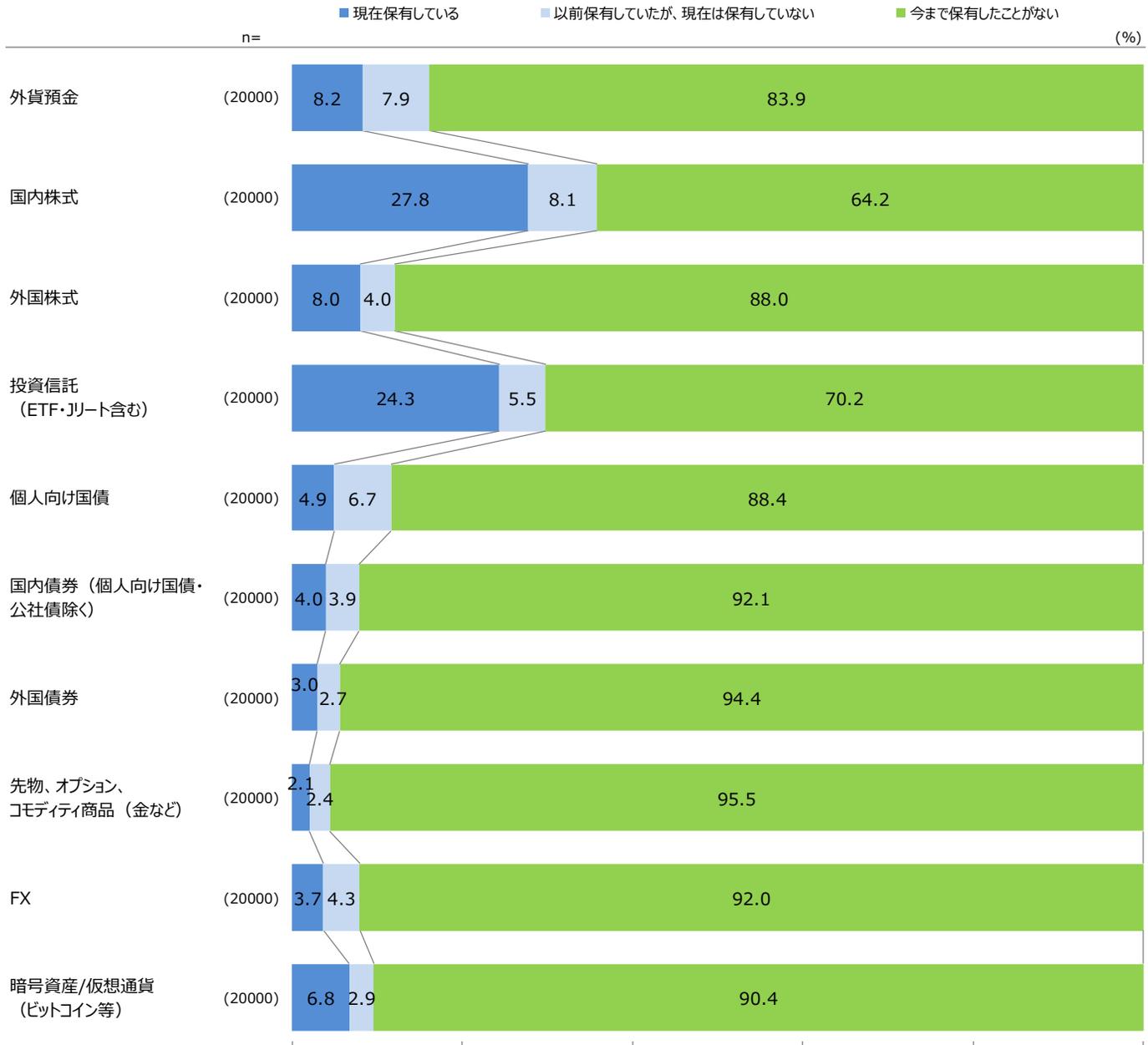
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~1000万円未満：750万円 / 1000~2000万円未満：1500万円 / 2000~3000万円未満：2500万円 / 3000~5000万円未満：4000万円 / 5000万円~1億円未満：7500万円 / 1億円以上：1.5億円

### 3. 投資信託

#### (3) 保有経験のある金融資産〔Q1:単数回答〕

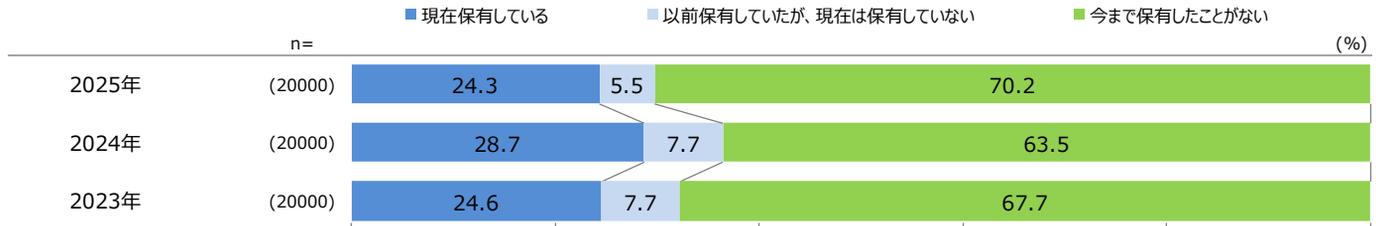
〔図 3-7〕



### 3. 投資信託

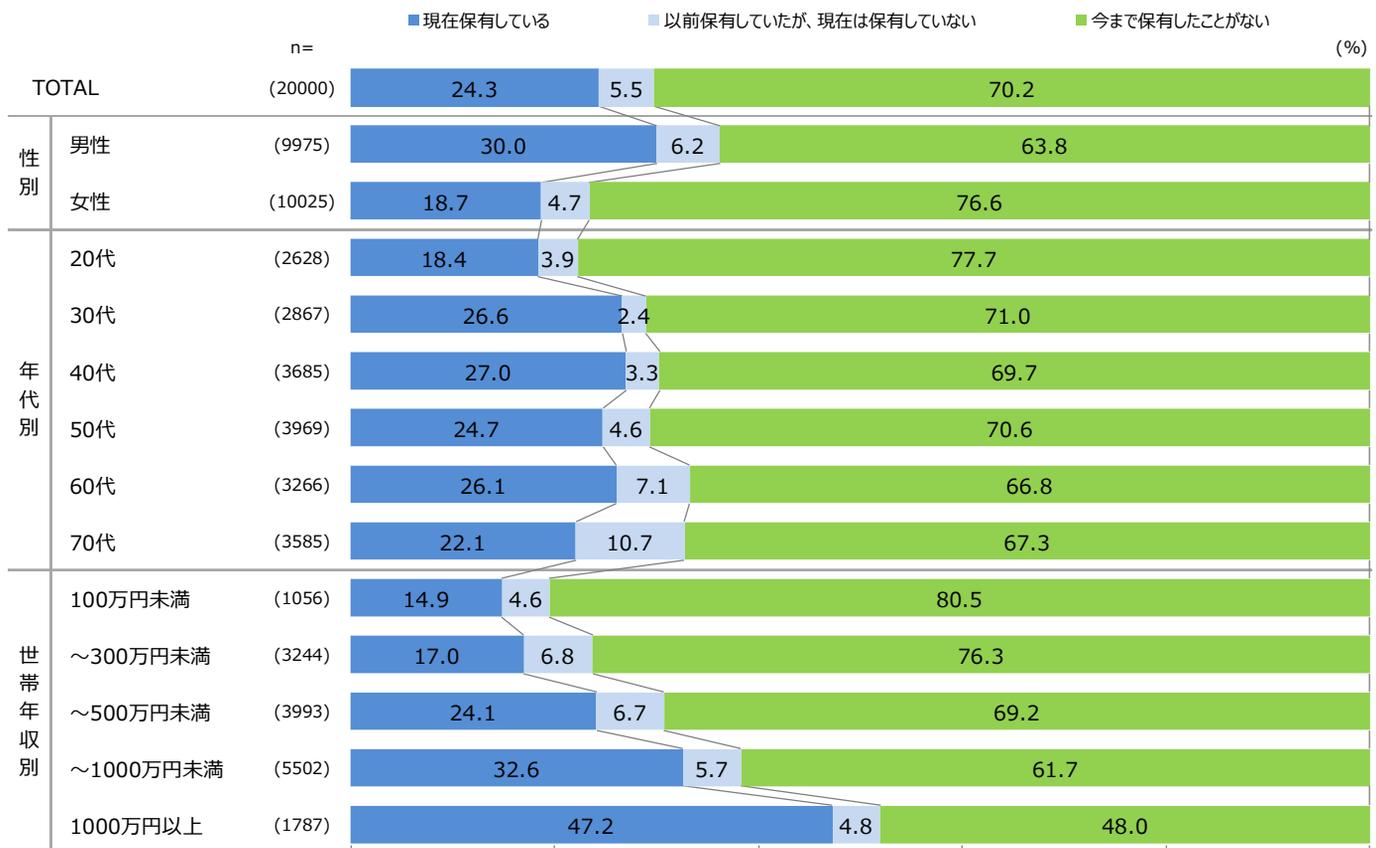
#### (3) 保有経験のある金融資産〔Q1:単数回答〕 \* 投資信託

〔図 3-8〕



※2025年は、調査票の設計変更があり、時系列比較は参考値

〔図 3-9〕



### 3. 投資信託

#### (4) 保有口座(投資信託保有者)[Q2:複数回答]

〔図 3-10〕

	n=	新NISA (つみたて投資枠)	新NISA (成長投資枠)	旧NISA (一般NISA)	旧NISA (つみたてNISA)	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	ポイント投資/ 運用の口座	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
2025年	(4866)	59.9	54.2	23.3	22.2	51.6	17.2	13.8	9.8	0.1	1.8	
2024年	(5746)	51.0	43.3	24.2	22.9	50.2	14.8	14.5	9.3	0.5	2.1	
2023年	(4913)	-	-	33.7	42.6	55.0	16.1	13.1	10.4	0.5	2.5	

※選択肢「旧NISA（一般NISA）」は、2023年「一般NISA」で聴取  
「旧NISA（つみたてNISA）」は、2023年「つみたてNISA」で聴取  
※旧NISAの一般NISAとつみたてNISAは併用不可、新NISAは併用可

〔図 3-11〕

	n=	新NISA (つみたて投資枠)	新NISA (成長投資枠)	旧NISA (一般NISA)	旧NISA (つみたてNISA)	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	ポイント投資/ 運用の口座	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
TOTAL	(4866)	59.9	54.2	23.3	22.2	51.6	17.2	13.8	9.8	0.1	1.8	
性別												
男性	(2995)	60.4	57.4	23.9	20.8	56.2	19.0	15.5	12.4	0.2	1.4	
女性	(1871)	59.1	49.1	22.4	24.4	44.4	14.2	11.2	5.5	0.1	2.6	
年代別												
20代	(483)	72.9	61.9	14.3	26.9	33.7	17.8	16.8	14.3	0.0	2.3	
30代	(763)	77.3	60.8	16.9	34.2	42.7	23.1	20.4	14.8	0.5	1.4	
40代	(995)	71.2	60.0	21.6	29.6	48.5	25.7	19.8	13.7	0.0	1.2	
50代	(982)	60.4	51.8	24.7	22.5	51.9	22.4	15.4	11.6	0.2	1.6	
60代	(852)	49.1	50.2	29.0	14.6	58.9	10.7	7.7	4.1	0.0	1.9	
70代	(791)	32.1	42.9	29.3	6.3	66.8	0.9	2.8	1.0	0.1	2.9	
世帯年収別												
100万円未満	(157)	52.2	50.3	24.2	19.1	53.5	13.4	12.7	1.3	0.0	1.9	
～300万円未満	(550)	48.2	48.4	22.9	14.0	52.2	7.3	9.8	2.2	0.4	2.2	
～500万円未満	(962)	57.9	49.5	22.1	20.6	52.4	11.0	10.9	4.3	0.0	2.0	
～1000万円未満	(1794)	63.4	55.5	22.2	24.4	49.2	20.3	15.0	11.9	0.1	1.2	
1000万円以上	(844)	67.4	63.5	26.3	26.2	57.3	28.0	20.3	22.6	0.4	0.7	

※保有口座：投資信託を保有している各口座ごとの人数の割合

※選択肢「企業型DC（企業型確定拠出年金）」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、年金受取期間に投資信託の運用を継続している者が含まれる

### 3. 投資信託

#### (5) 保有種類(投資信託保有者)[Q3:複数回答]

〔図 3-12〕



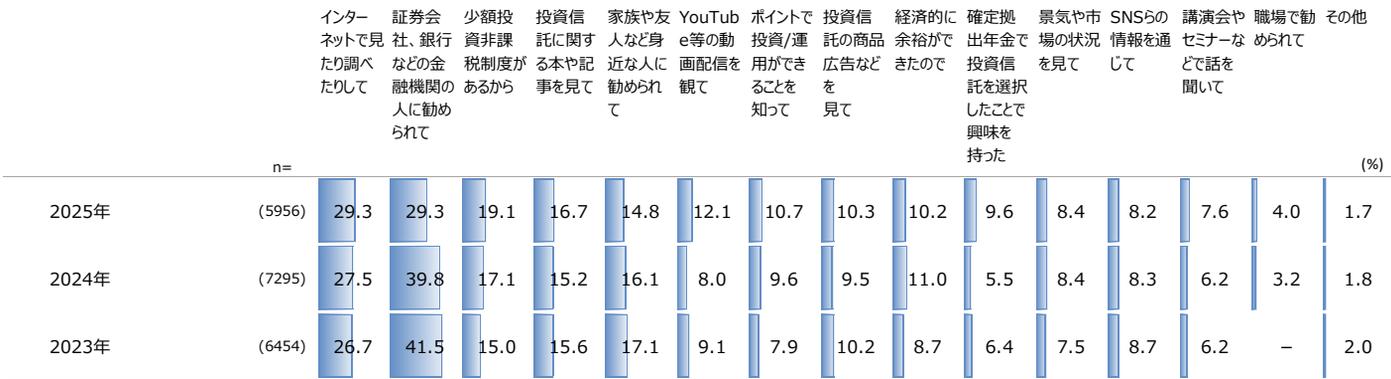
〔図 3-13〕



### 3. 投資信託

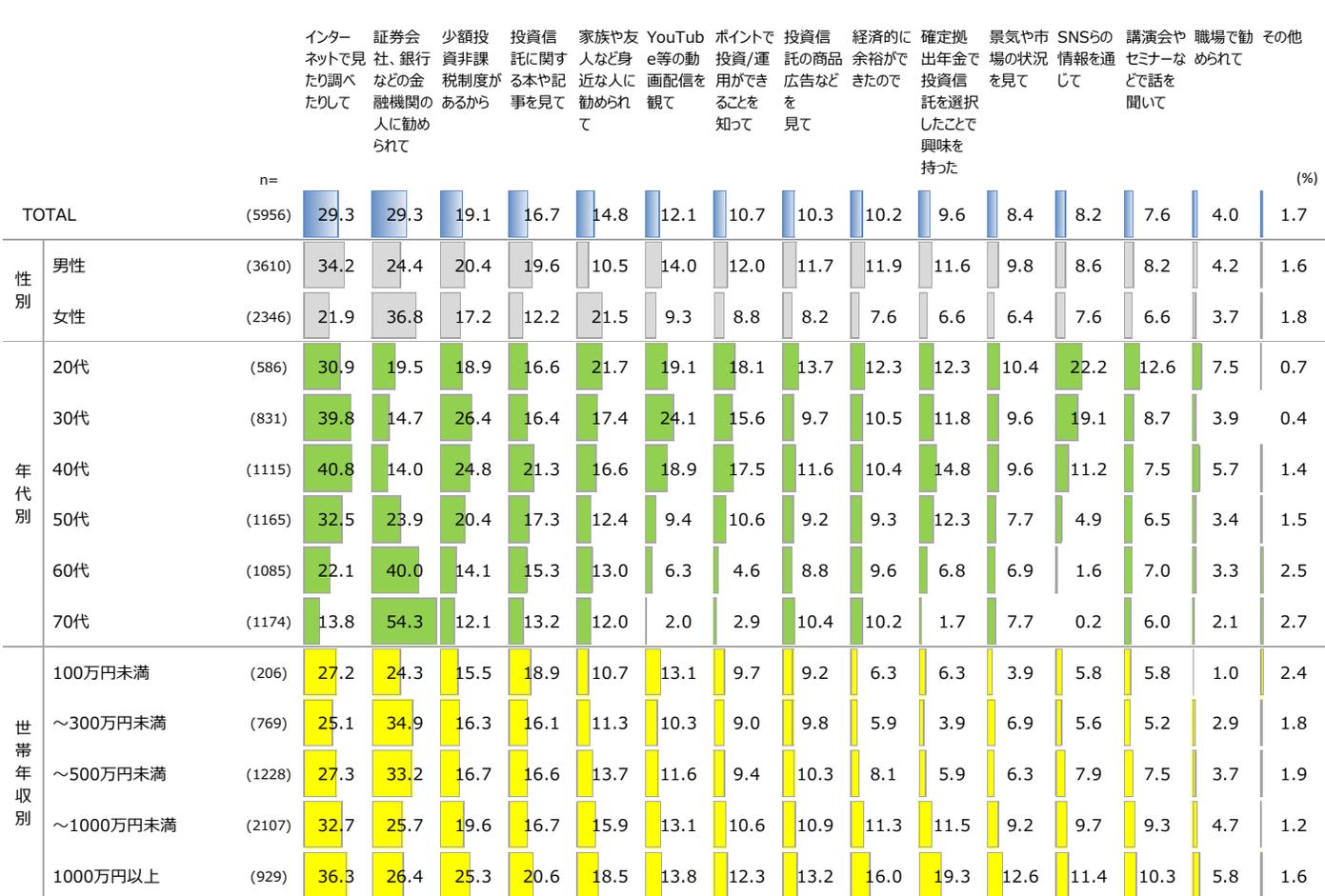
#### (6) 興味・関心・購入のきっかけ(投資信託保有者、保有経験者) 〔Q4:複数回答〕

〔図 3-14〕



※選択肢「証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて」は2024年「金融機関の人に勧められて」「DMを見たり、電話案内を聞いて」で聴取  
「SNSらの情報を通じて」は2024年「Facebookからの情報を通じて」「X（旧Twitter）からの情報を通じて」「Instagramからの情報を通じて」「TikTokからの情報を通じて」で聴取  
「家族や友人など身近な人に勧められて」は 2024年「家族などから話を聞いて」「友人・知人から話を聞いて」で聴取  
「職場で勧められて」は2024年より聴取

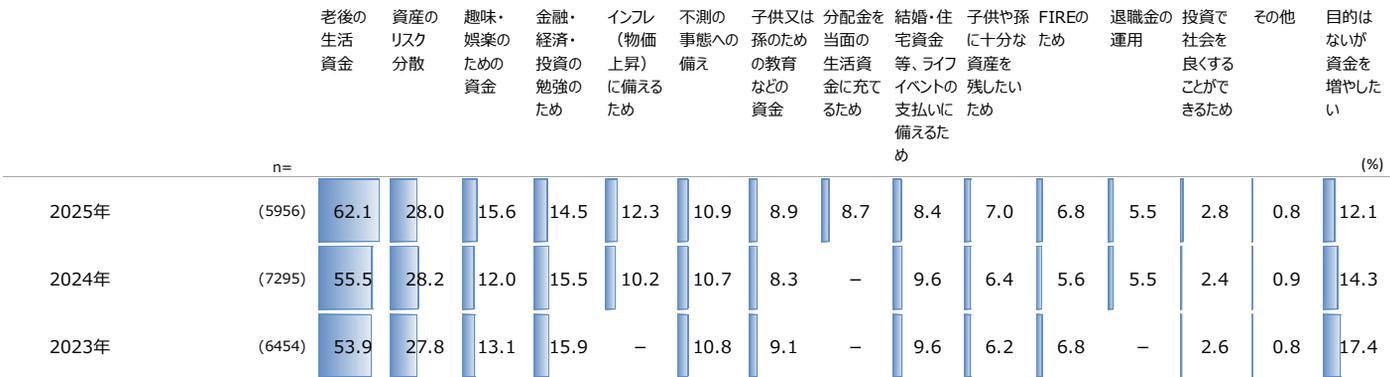
〔図 3-15〕



### 3. 投資信託

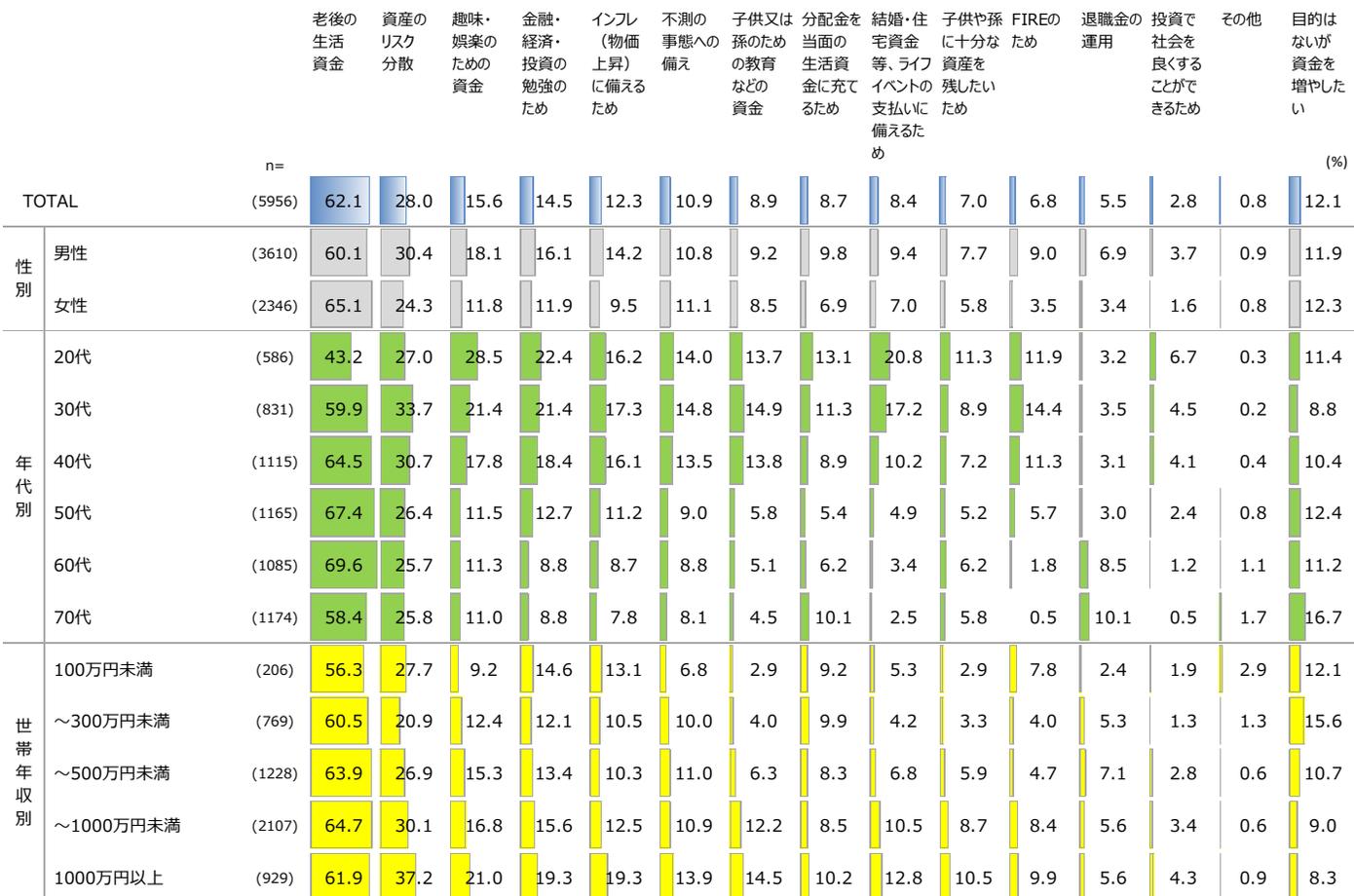
#### (7) 購入目的(投資信託保有者、保有経験者)(Q5:複数回答)

〔図 3-16〕



※選択肢「分配金を当面の生活資金に充てるため」は2025年より聴取  
「趣味・娯楽のための資金」は2024年「高額商品の購入資金」「レジャー資金」で聴取  
「インフレ(物価上昇)に備えるため」「退職金の運用」は2024年より聴取

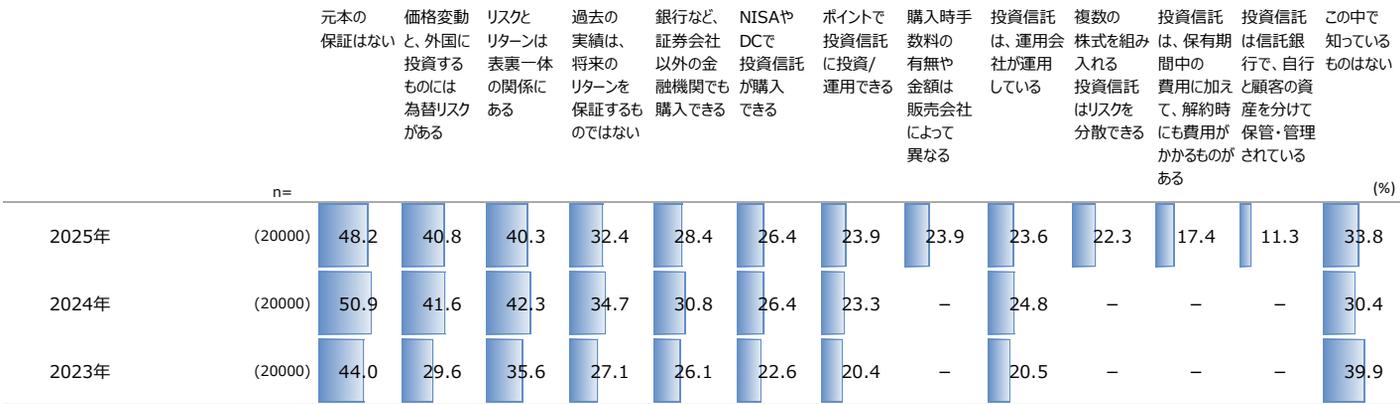
〔図 3-17〕



### 3. 投資信託

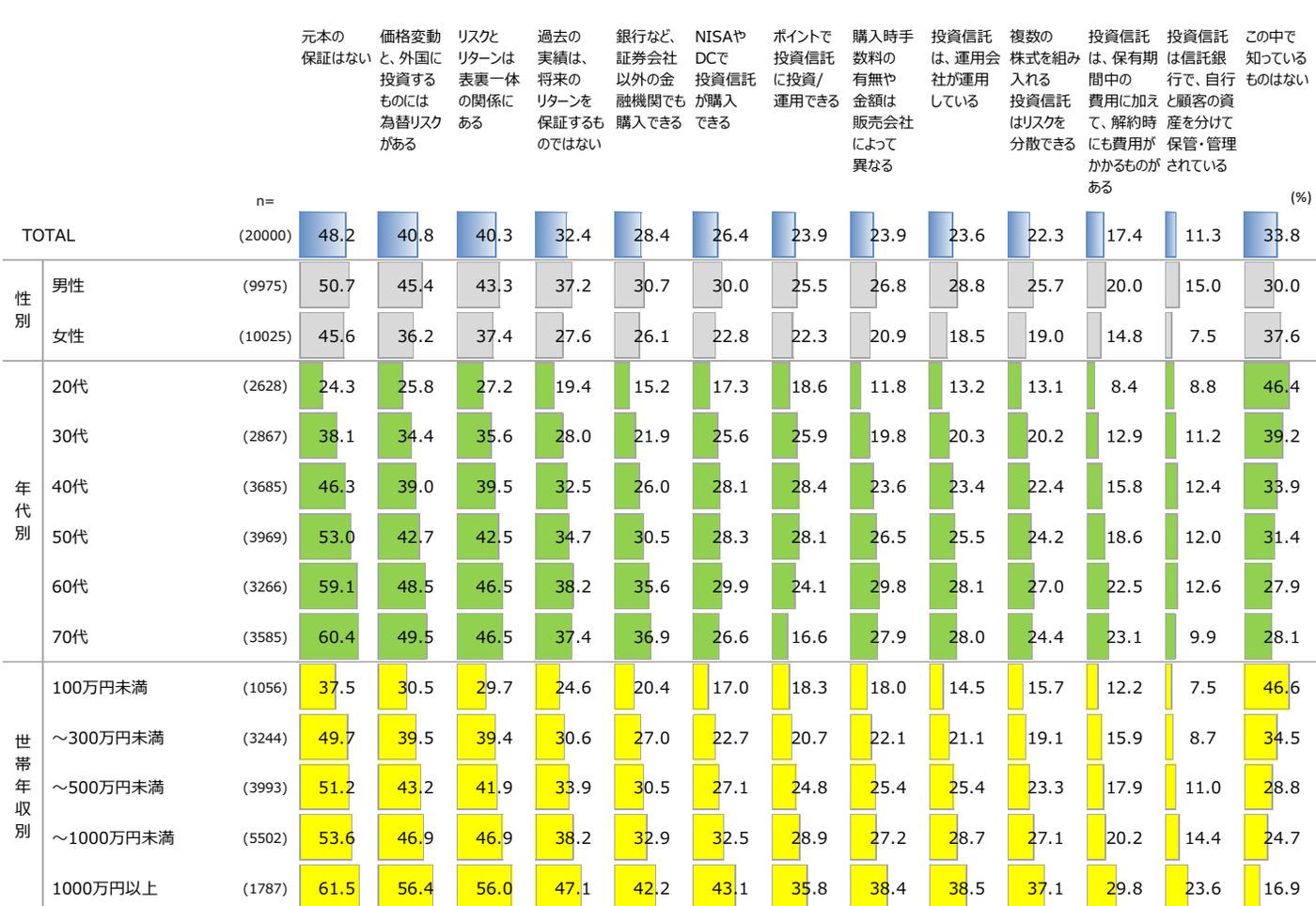
#### (8) 特徴認知〔Q6:複数回答〕

〔図 3-18〕



※選択肢「投資信託は信託銀行で、自行と顧客の資産を分けて保管・管理されている」「複数の株式を組み入れる投資信託はリスクを分散できる」「購入時手数料の有無や金額は販売会社によって異なる」「投資信託は、保有期間中の費用に加えて、解約時にも費用がかかるものがある」は2025年より聴取

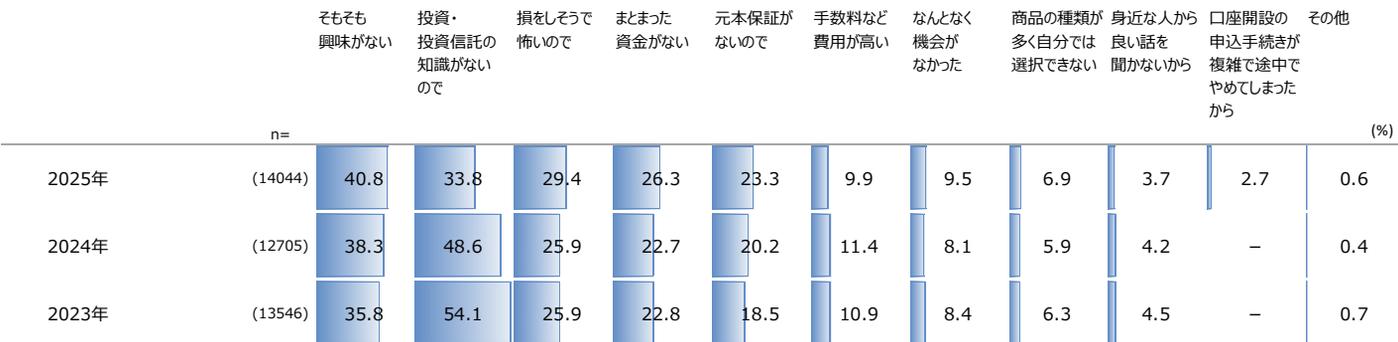
〔図 3-19〕



### 3. 投資信託

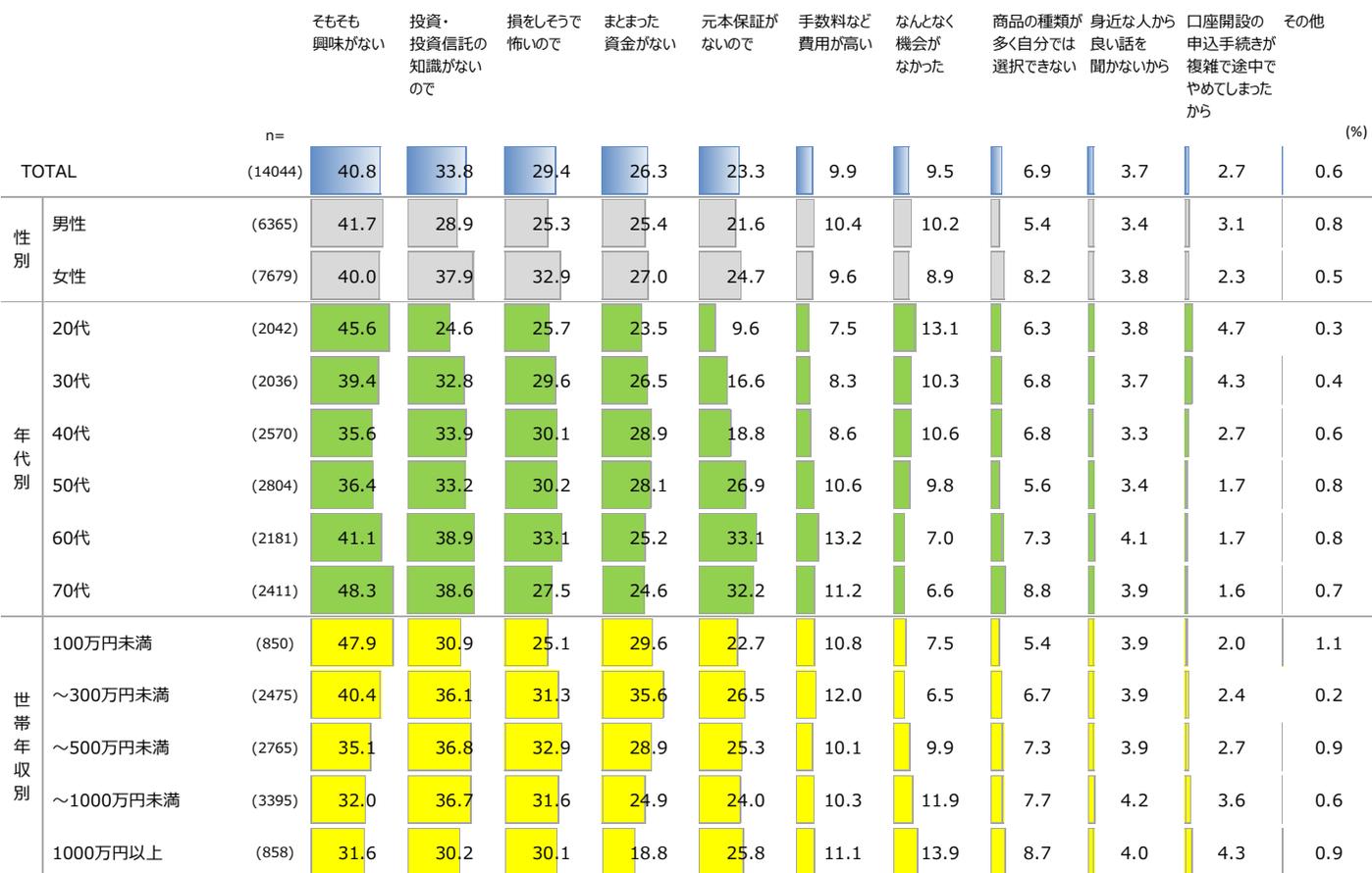
#### (9) 商品未購入の理由(投資信託保有未経験者)(Q7:複数回答)

〔図 3-20〕



※選択肢「口座開設の申込手続きが複雑で途中でやめてしまったから」は2025年より聴取  
「投資・投資信託の知識がないので」は2024年「投資の知識がない」「投資信託の存在を知らなかった」で聴取  
「身近な人から良い話を聞かないから」は2024年は「家族から投資について良い話を聞かないから」「友人・知人から投資について良い話を聞かないから」で聴取

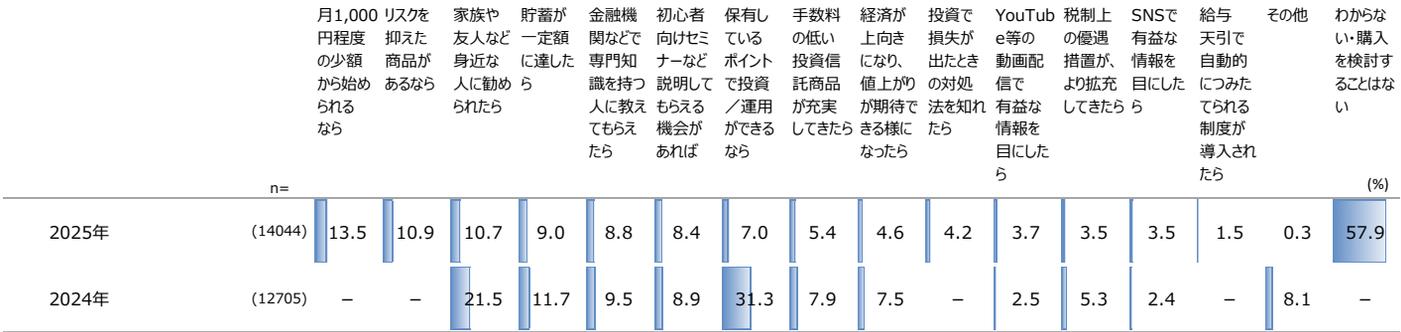
〔図 3-21〕



### 3. 投資信託

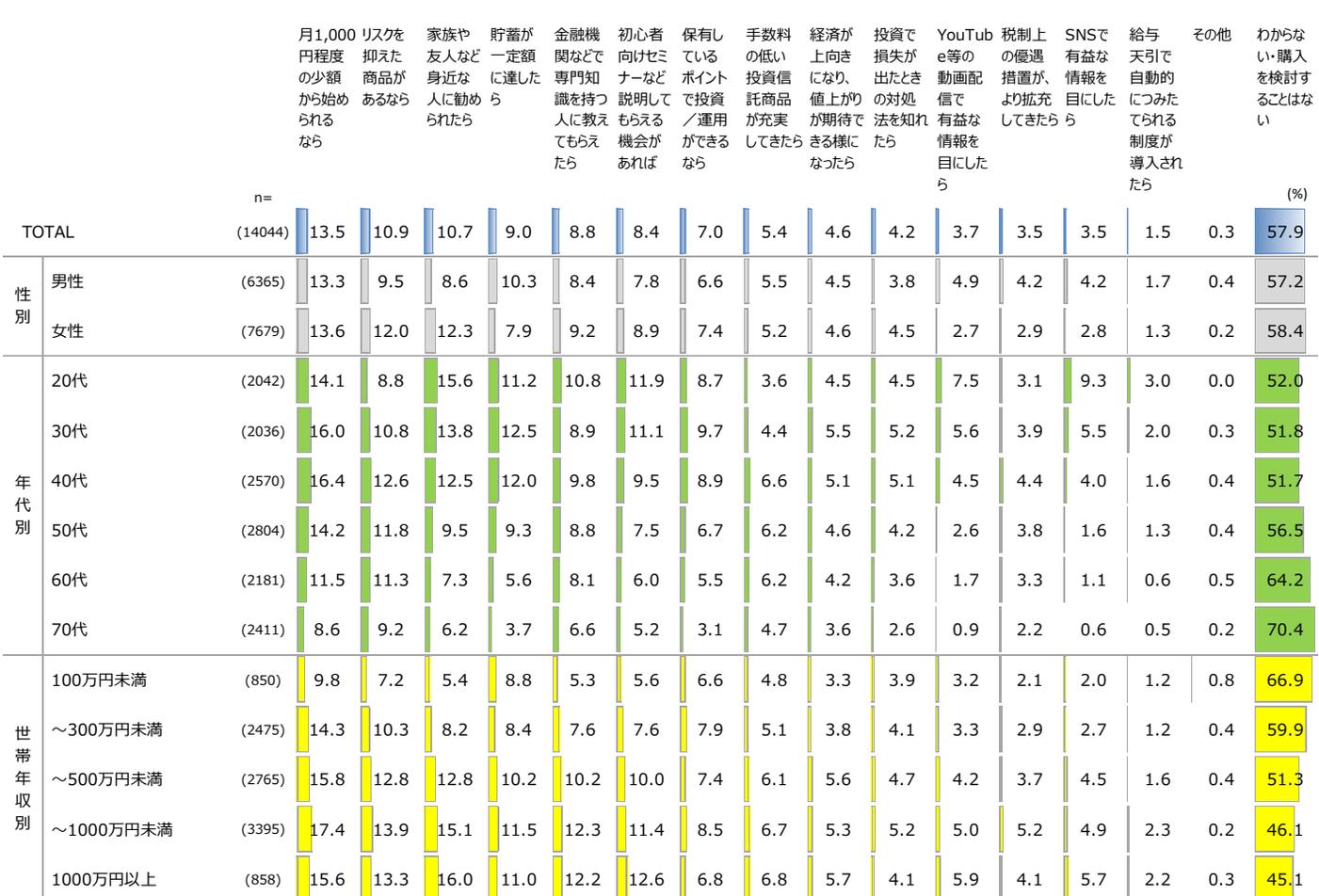
#### (10) 商品購入のきっかけ(投資信託保有未経験者)[Q8:複数回答]

[図 3-22]



※選択肢「月1,000円程度の少額から始められるなら」「リスクを抑えた商品があるなら」「投資で損失が出たときの対処法を知れたら」「給与天引で自動的に投資信託をつみたてられる制度が導入されたら」「わからない・購入を検討することはない」は2025年より聴取  
「家族や友人など身近な人に勧められたら」は2024年は「家族に勧められたら」「友人・知人に勧められたら」「職場で勧められたら」で聴取

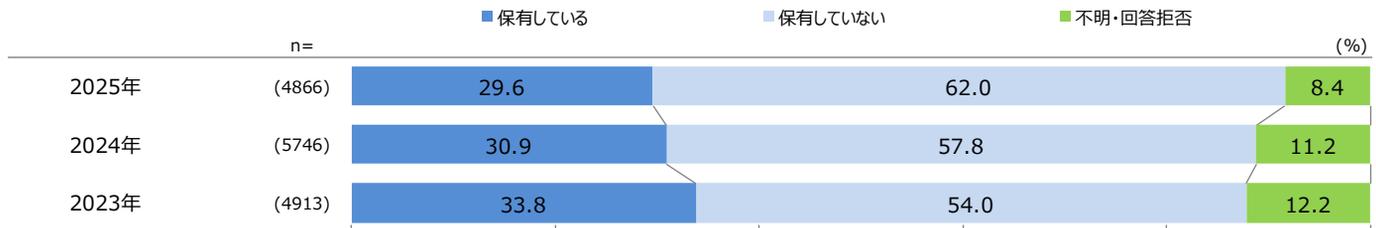
[図 3-23]



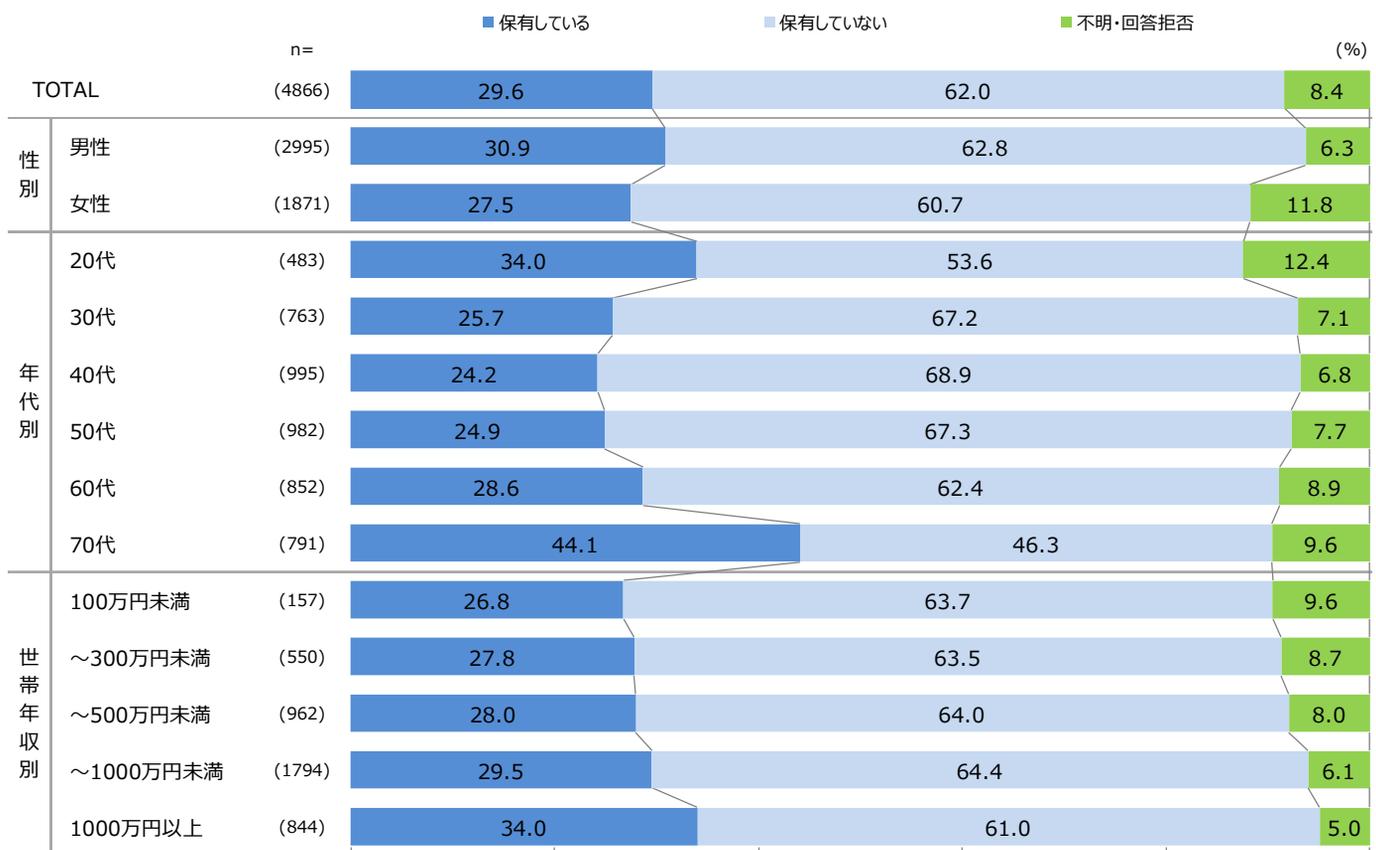
### 3. 投資信託

#### (11) 毎月分配型の保有状況(投資信託保有者)(Q10\_1:単数回答)

〔図 3-24〕



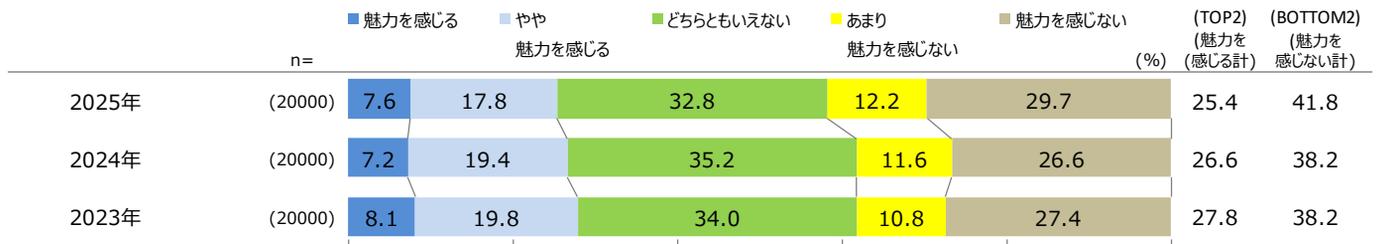
〔図 3-25〕



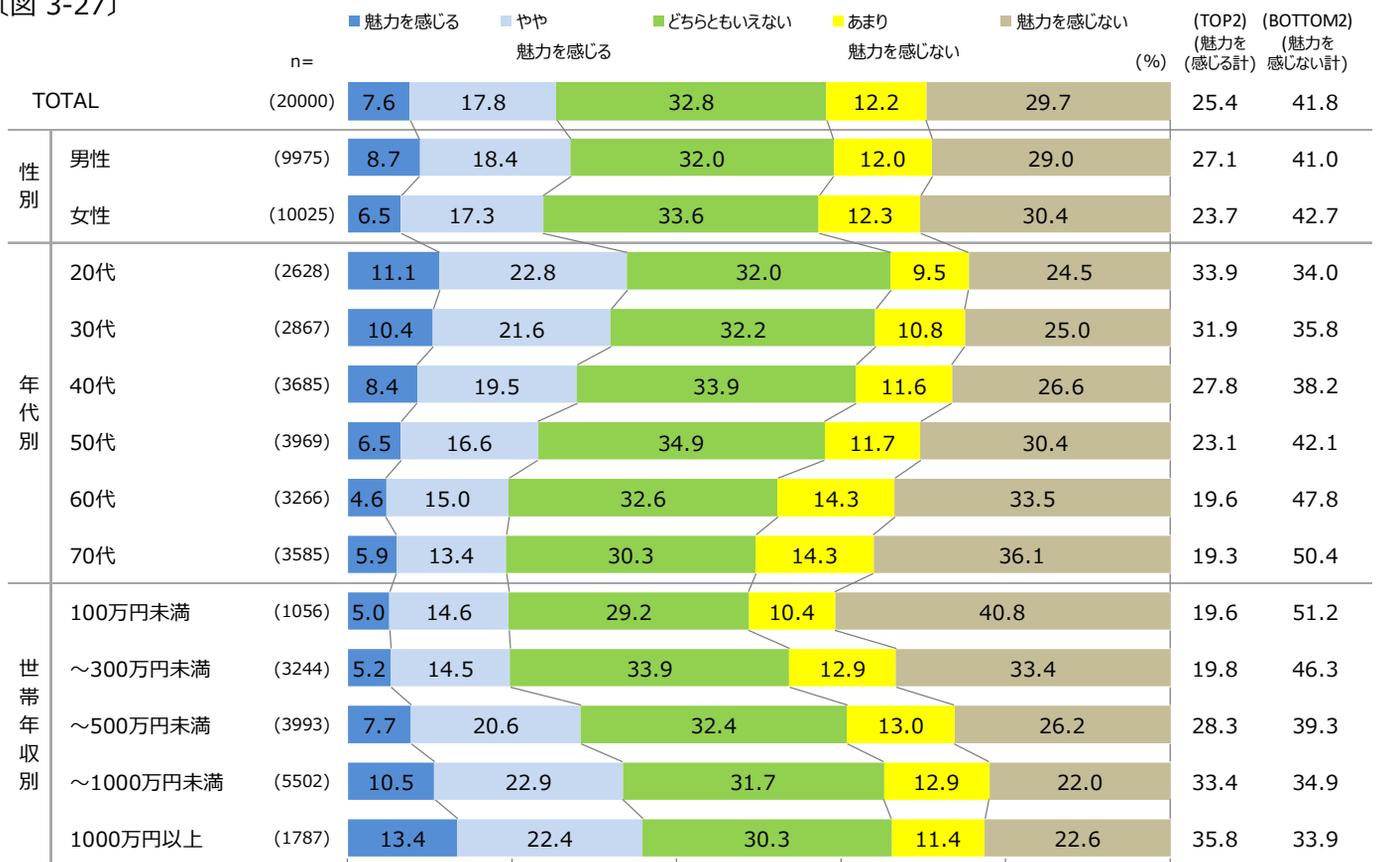
### 3. 投資信託

#### (12) 毎月分配型への魅力度〔Q10\_2:単数回答〕

〔図 3-26〕



〔図 3-27〕



### 3. 投資信託

#### (13) 毎月分配型に魅力を感じる理由

(毎月分配型投資信託に魅力を感じる人)〔Q10\_3:複数回答〕

〔図 3-28〕

	n=	分配金を受け取ることで 安心できる	毎月利益を確定したので	一部払戻しの分配金で あっても、収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資信託の 他に魅力的な商品が なかった	その他	(%)
2025年	(5081)	59.5	54.8	22.8	5.4	0.5	
2024年	(5320)	61.9	51.0	21.6	6.1	0.4	
2023年	(5569)	59.4	53.9	19.0	5.0	0.3	

〔図 3-29〕

		n=	分配金を受け取ることで 安心できる	毎月利益を確定したので	一部払戻しの分配金で あっても、収入を補完 する上で活用できる	毎月分配型投資信託の 他に魅力的な商品が なかった	その他	(%)
TOTAL		(5081)	59.5	54.8	22.8	5.4	0.5	
性別	男性	(2702)	60.8	54.2	24.2	6.0	0.6	
	女性	(2379)	58.0	55.4	21.2	4.7	0.3	
年代別	20代	(892)	54.9	52.5	26.9	8.1	0.2	
	30代	(916)	56.1	58.2	22.5	5.7	0.2	
	40代	(1026)	61.3	55.1	22.8	6.5	0.2	
	50代	(916)	59.2	57.9	20.0	3.7	0.2	
	60代	(640)	63.1	52.2	20.5	3.1	1.4	
	70代	(691)	64.4	50.9	24.0	4.1	0.9	
世帯年収別	100万円未満	(207)	54.6	48.8	23.7	6.3	1.0	
	～300万円未満	(641)	60.4	57.6	18.6	3.4	0.8	
	～500万円未満	(1131)	60.2	56.1	20.5	4.0	0.4	
	～1000万円未満	(1840)	59.1	52.3	24.0	5.9	0.3	
	1000万円以上	(640)	62.5	54.5	30.8	7.0	0.5	

### 3. 投資信託

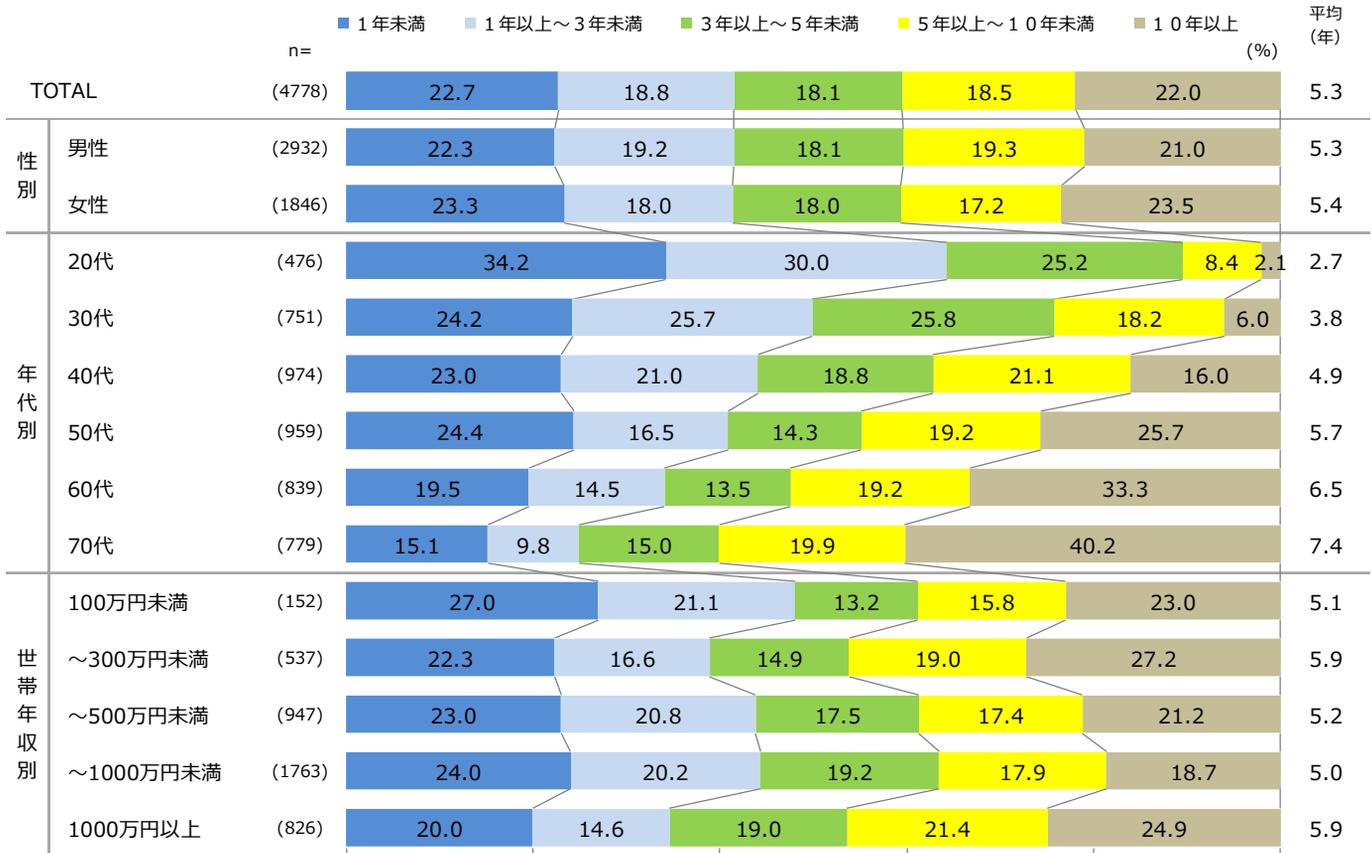
#### (14) 保有期間 (投資信託) (投資信託保有者)[Q12s1:単数回答]

[図 3-30]



[図 3-31]

**[5年以上計] 2025年 40.5% / 2024年 49.1% / 2023年 47.2%**



# 4. ETF、Jリート

## 【サマリー】

### ① ETFの認知状況 (Q11①)

・ETFの認知計（「名前も商品の内容も知っている」「名前は知っているが、商品の内容はよく分からない」）は30.2%で、前年より3.8ポイント増加。性別で見ると、男性は「名前も商品の内容も知っている」が17.4%と、女性と比較すると12.4ポイント高くなっている。（図4-1、図4-2）

### ② Jリートの認知状況、特徴認知(Q11②・Q13①)

・Jリートの認知計は32.0%で、前年よりやや増加。（図4-3）

・Jリート認知者の中で、Jリートの特徴認知は、「少額から不動産投資ができる」（49.6%）が最も高く、「複数の不動産に分散して投資ができる」（36.8%）、「専門家が運用や物件の管理などを行う」（28.8%）が続く。（図4-5）

・年代別では、若年層は「少額から不動産投資ができる」「運用益のほとんどが分配される」が高い傾向にあり、高齢層は「比較的高い利回りが期待できる」、「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」、「金利の上昇局面では、Jリートの価格は下落する可能性がある」が高い傾向にある。（図4-6）

### ③ Jリートの魅力点、不満点 (Q13②・Q14)

・Jリートの魅力点は、「少額から不動産投資ができる」（20.9%）が最も高く、前年より4.3ポイント増加。他の項目は1割未満。（図4-8）

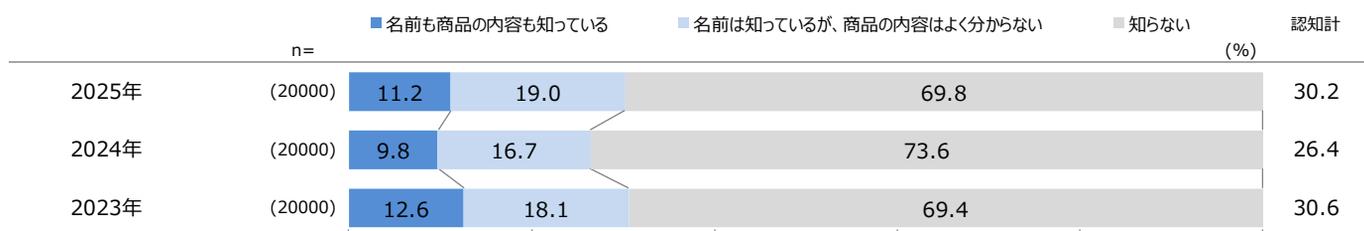
・年代別では、多くの項目で、若年層ほど魅力度が高い傾向。20~40代において「少額から不動産投資ができる」が25.9~29.0%と、他の年代より高い。（図4-9）

・Jリート保有者またはJリート内容認知者におけるJリートの不満点は、「専門知識がないと商品を選びにくい」、「仕組みや運用実績がわかりにくい」をあげる人が2割半程度。若年層ほど「リターン（収益）が低い」、「分配金が少ない」、「手続きがわずらわしい」が高い傾向。（図4-11）

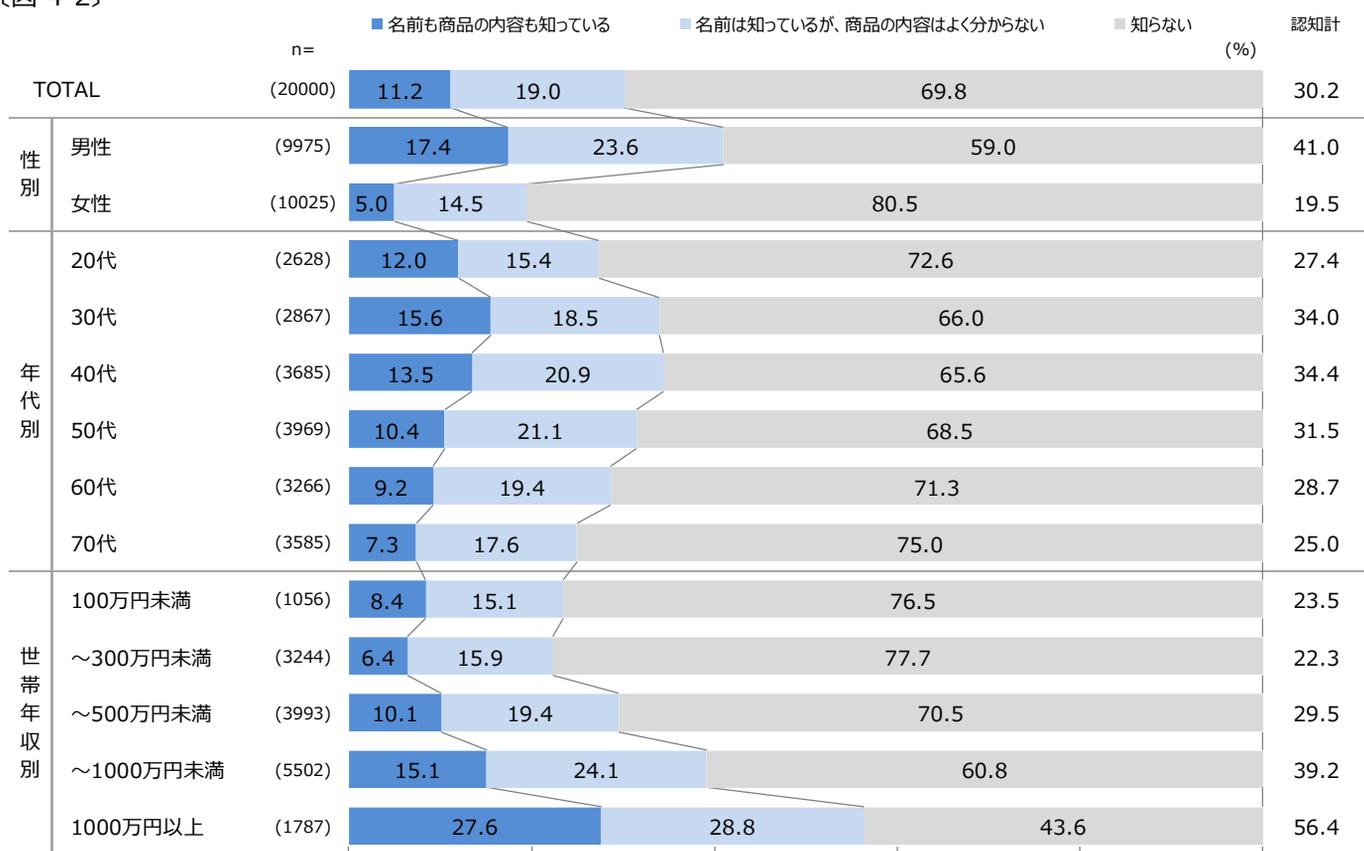
## 4. ETF、リート

### (1) ETFの認知状況〔Q11s1:単数回答〕

〔図 4-1〕



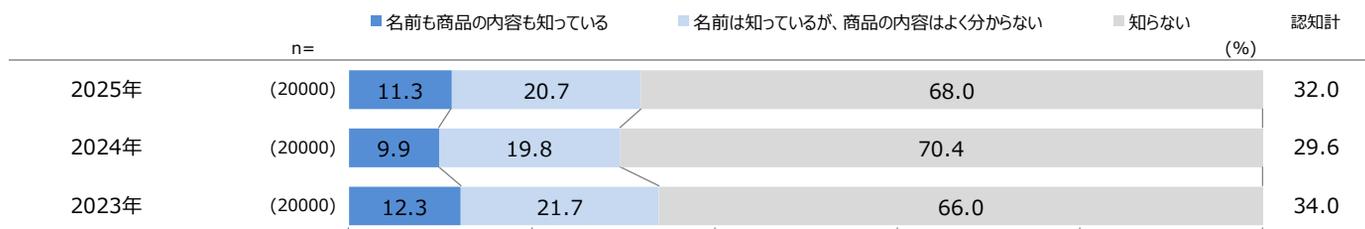
〔図 4-2〕



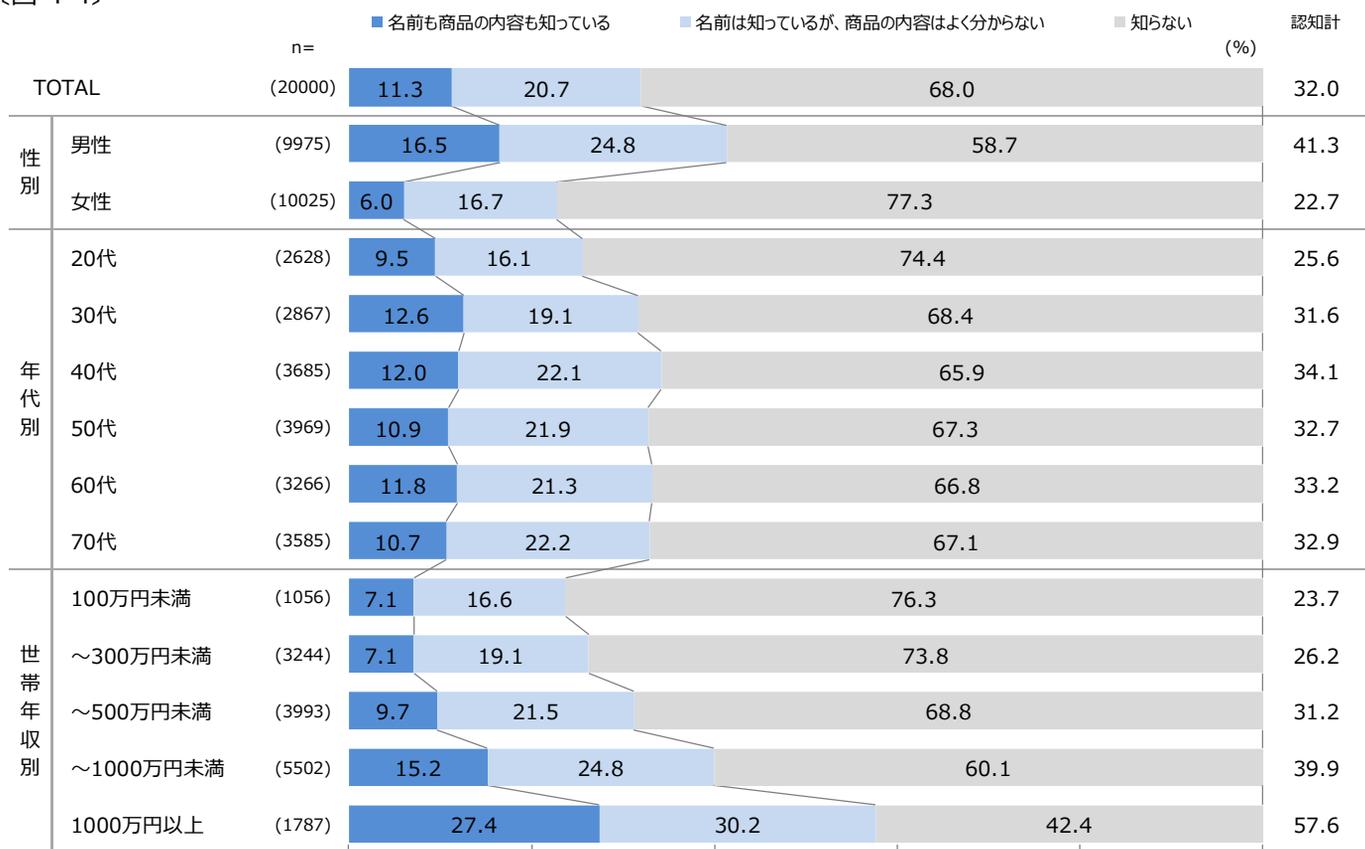
## 4. ETF、Jリート

### (2) Jリートの認知状況〔Q11s2:単数回答〕

〔図 4-3〕



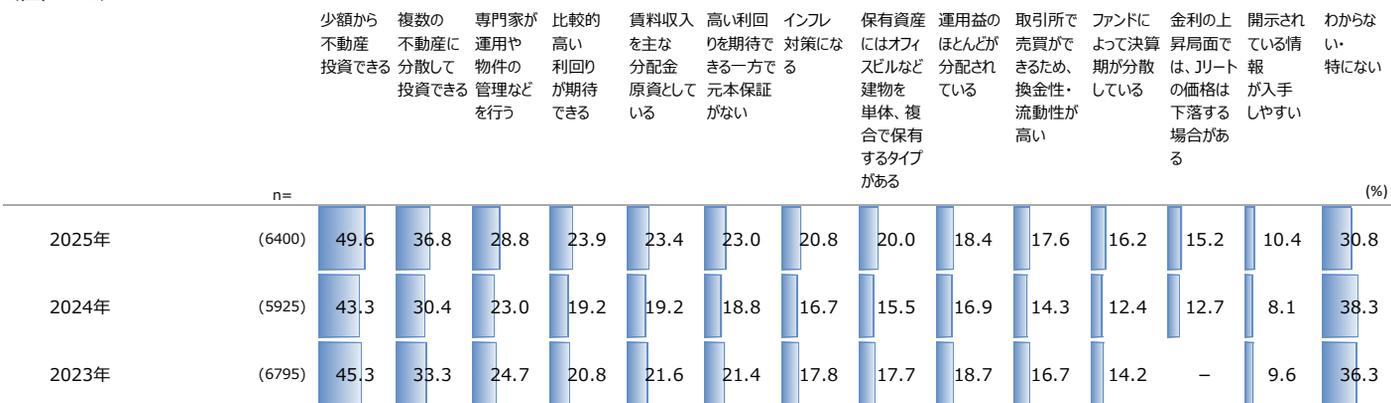
〔図 4-4〕



# 4. ETF、リート

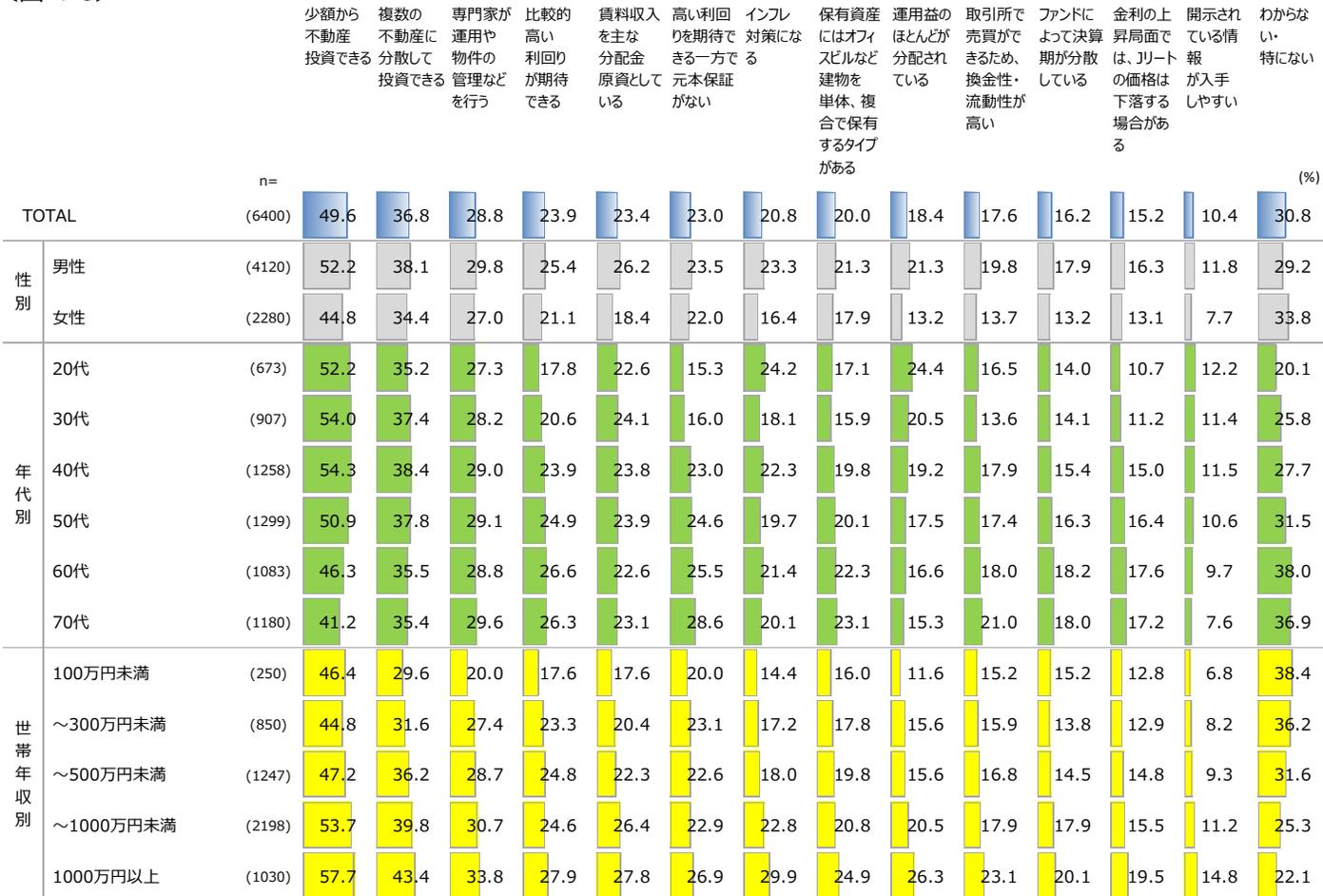
## (3) リートの特徴認知(リート認知者)(Q13s1:複数回答)

〔図 4-5〕



※選択肢「旧金利の上昇局面では、リートの価格は下落する可能性がある」は、2024年から聴取

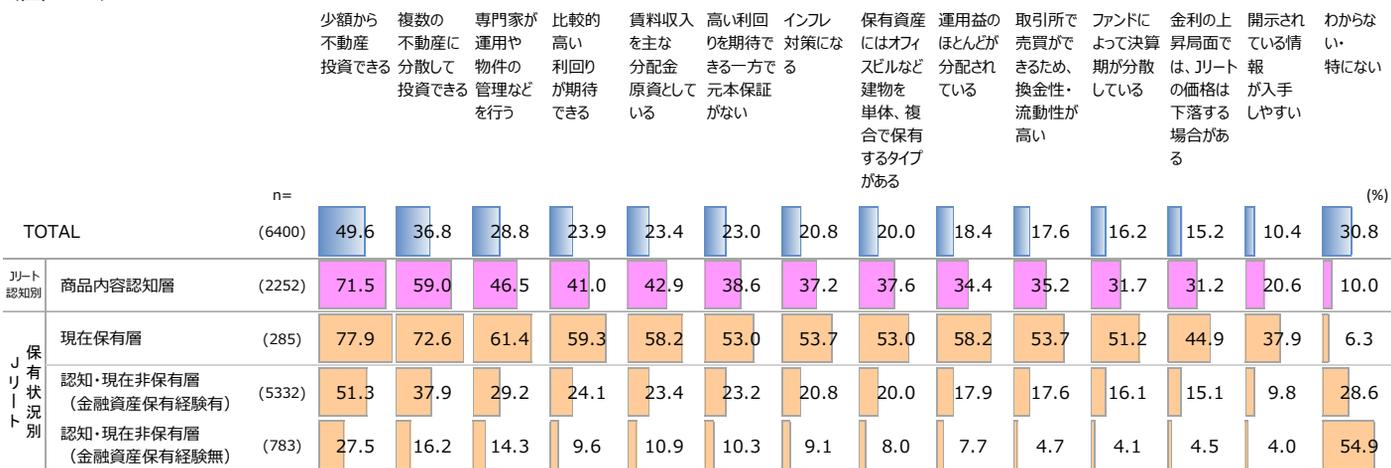
〔図 4-6〕



# 4. ETF、Jリート

## (3) Jリートの特徴認知(Jリート認知者)〔Q13s1:複数回答〕

〔図 4-7〕



# 4. ETF、Jリート

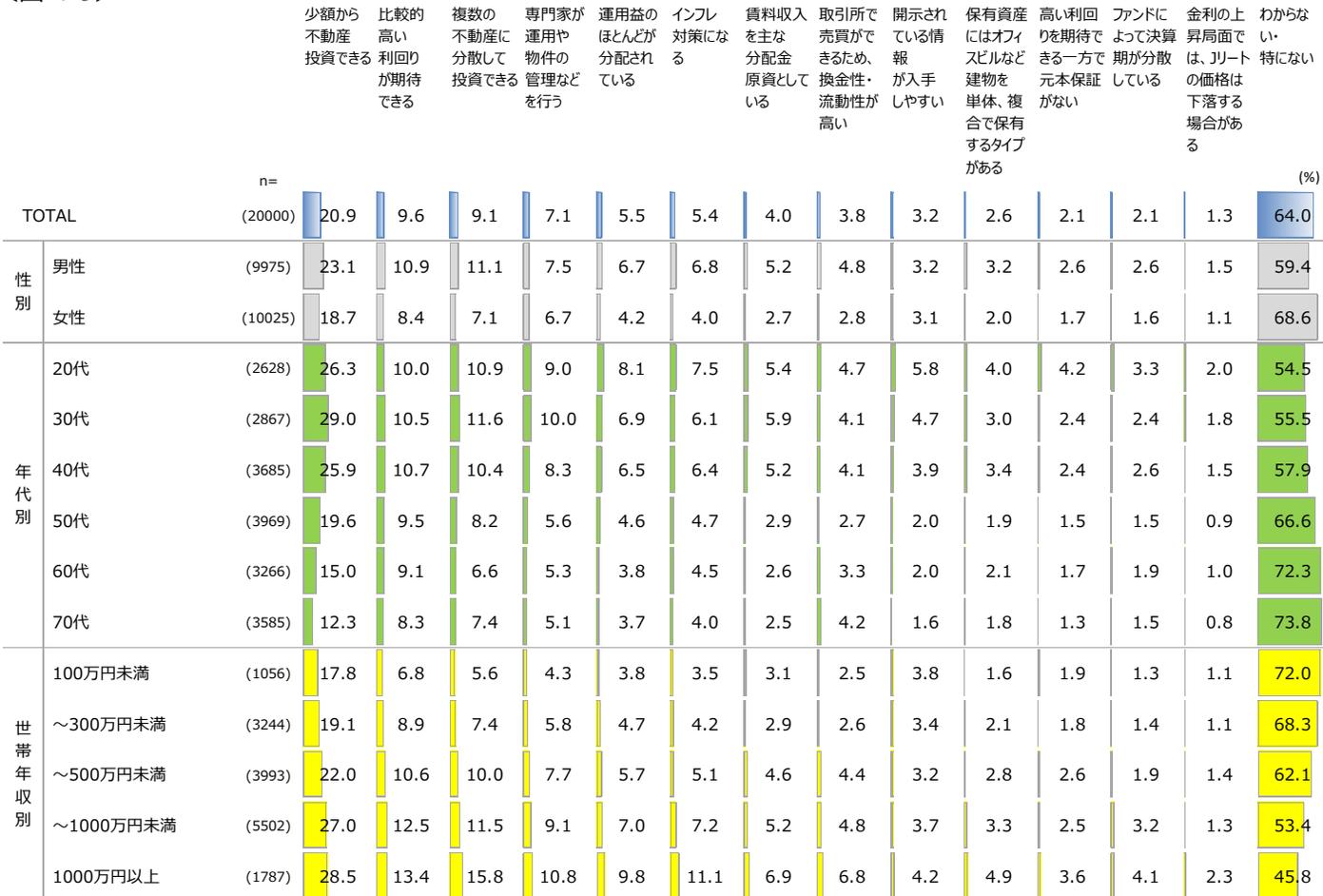
## (4) Jリートの魅力点〔Q13s2:複数回答〕

〔図 4-8〕



※選択肢「旧金利の上昇局面では、Jリートの価格は下落する場合がある」は、2024年から聴取

〔図 4-9〕



## 4. ETF、Jリート

### (5) Jリートの不満点(Jリート保有者またはJリート内容認知者) 〔Q14:複数回答〕

〔図 4-10〕

	n=	専門知識がないと商品を選びにくい	仕組みや運用実績がわかりにくい	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	株式に比べて面白さに欠ける	分配金が少ない	最低購入価額が高い	購入後の運用に関する情報が少ない	種類が多く選択に迷う	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特になし
2025年	(6400)	24.9	24.5	13.5	12.8	11.1	11.0	10.0	9.9	9.4	9.4	7.7	0.8	33.1
2024年	(2086)	20.5	19.8	15.6	17.3	13.4	15.9	12.7	10.2	10.5	11.6	6.5	0.9	25.0
2023年	(2587)	23.7	18.2	15.7	14.2	14.8	14.3	11.4	10.1	10.0	13.0	6.3	1.2	24.5

〔図 4-11〕

	n=	専門知識がないと商品を選びにくい	仕組みや運用実績がわかりにくい	債券に比べてリスクが高い	リターン(収益)が低い	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	株式に比べて面白さに欠ける	分配金が少ない	最低購入価額が高い	購入後の運用に関する情報が少ない	種類が多く選択に迷う	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特になし
TOTAL	(6400)	24.9	24.5	13.5	12.8	11.1	11.0	10.0	9.9	9.4	9.4	7.7	0.8	33.1
性別														
男性	(4120)	22.4	22.5	13.2	14.5	9.8	12.5	10.8	9.9	9.4	8.7	7.4	1.0	33.6
女性	(2280)	29.6	28.3	14.1	9.8	13.5	8.2	8.6	10.0	9.3	10.5	8.2	0.4	32.3
年代別														
20代	(673)	27.9	23.6	17.5	20.4	8.5	15.3	17.8	11.9	8.9	11.0	13.7	0.1	20.2
30代	(907)	27.5	29.0	15.5	14.9	8.2	11.0	12.1	13.7	8.5	9.5	11.4	0.7	26.8
40代	(1258)	26.2	25.4	12.0	14.9	10.5	10.3	10.9	11.6	8.9	10.9	8.4	0.3	30.7
50代	(1299)	25.8	25.5	13.6	11.1	11.2	9.3	8.5	10.2	9.5	8.7	6.9	1.2	34.2
60代	(1083)	22.0	24.3	12.7	11.1	13.4	10.1	6.9	7.8	8.7	7.4	5.1	1.2	37.5
70代	(1180)	21.7	19.9	12.0	8.3	13.4	11.9	7.4	5.8	11.2	9.2	3.9	0.8	42.8
世帯年収別														
100万円未満	(250)	18.8	20.4	7.2	13.2	10.4	6.8	10.0	10.4	5.6	8.0	9.6	1.6	41.6
~300万円未満	(850)	23.6	25.1	12.0	9.1	13.5	10.1	7.9	9.8	8.0	9.8	6.9	0.7	38.1
~500万円未満	(1247)	24.5	25.7	13.5	12.7	11.6	12.0	9.8	10.3	10.3	9.6	7.5	0.7	32.9
~1000万円未満	(2198)	26.8	25.4	15.2	14.4	9.9	11.5	11.9	10.7	9.7	9.1	8.5	0.8	28.1
1000万円以上	(1030)	25.8	24.1	15.1	16.7	11.0	13.3	11.3	9.5	11.2	11.3	8.0	0.7	27.7

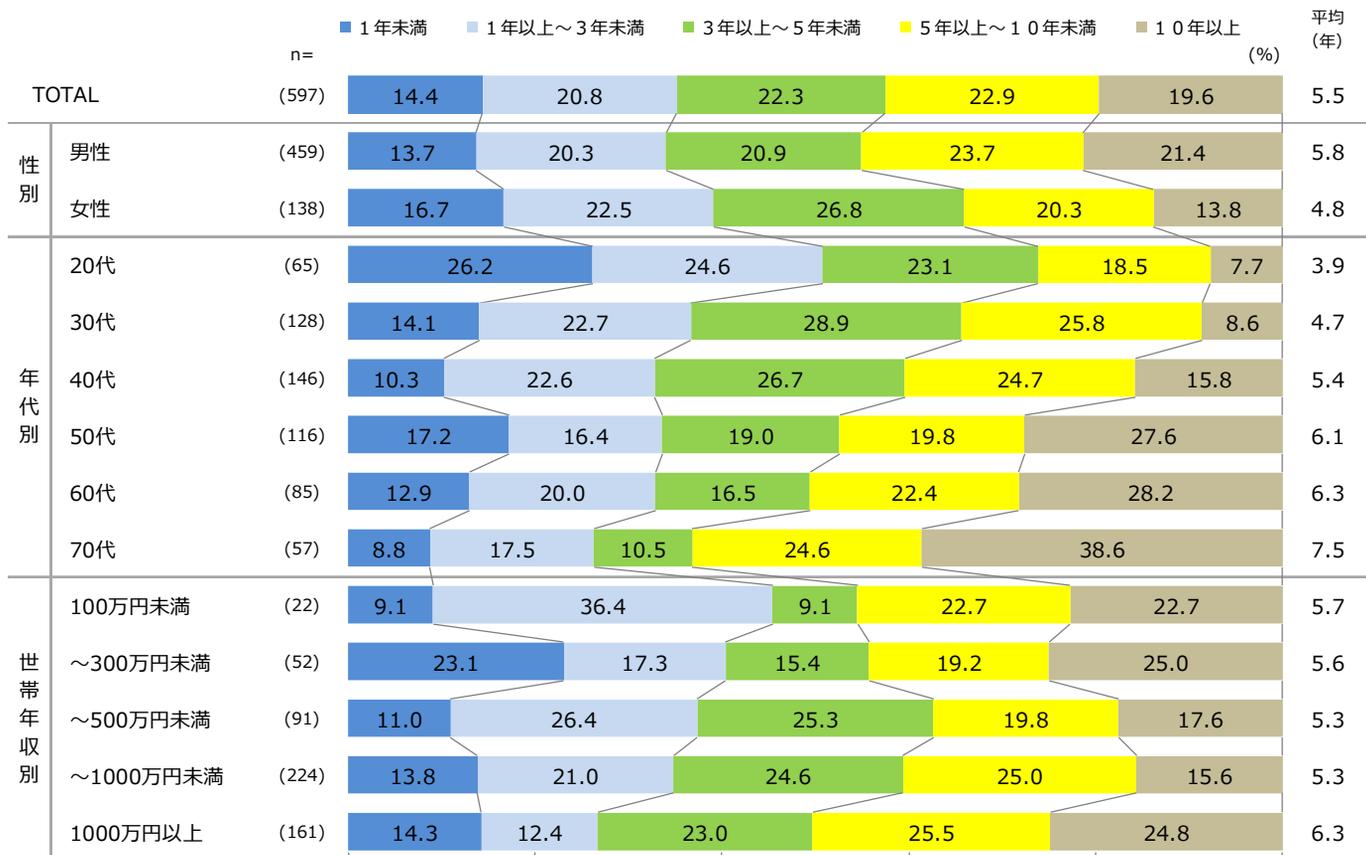
## 4. ETF、リート

### (6) 保有期間 (ETF) (ETF保有者)〔Q12s2:単数回答〕

〔図 4-12〕



〔図 4-13〕



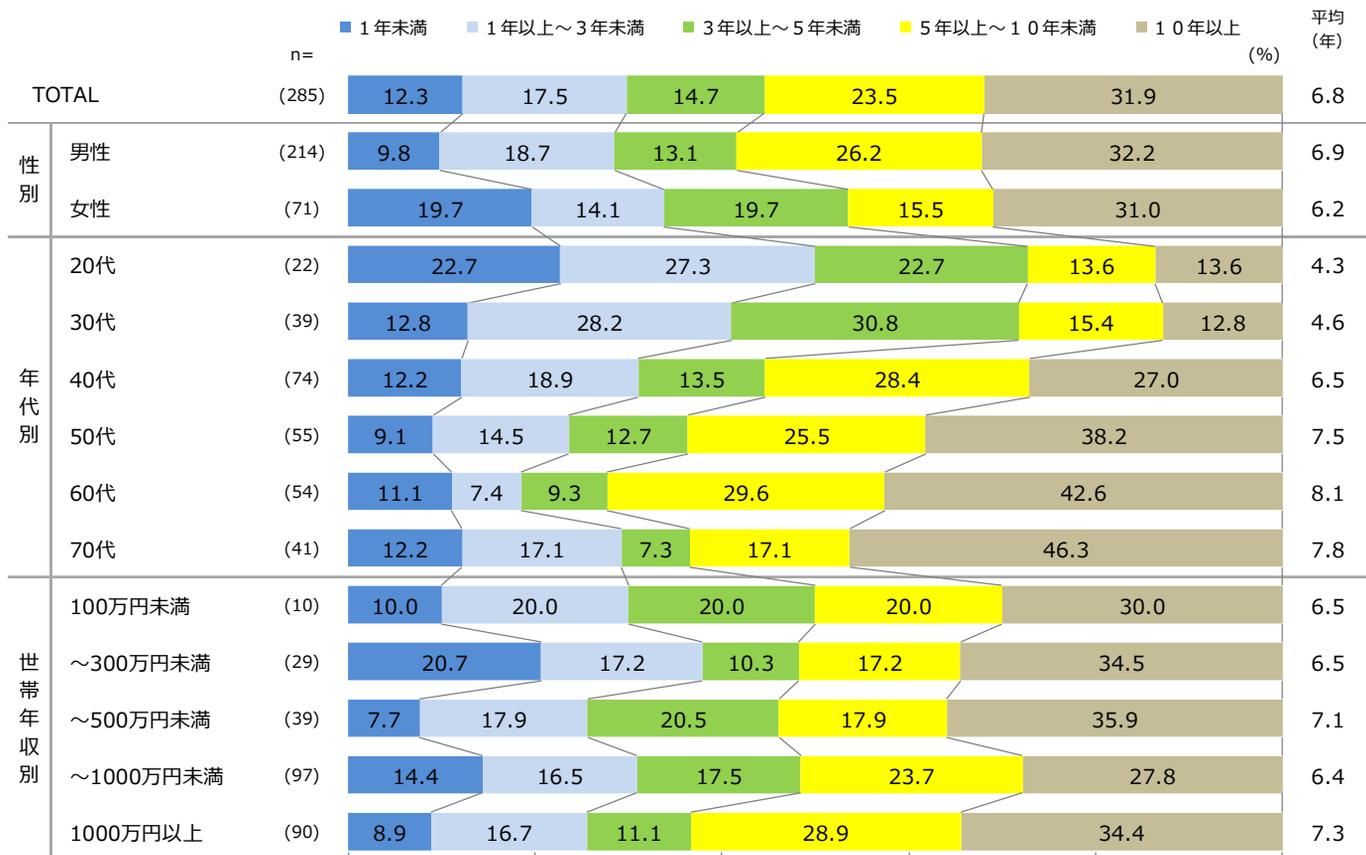
## 4. ETF、Jリート

### (6) 保有期間 (Jリート) (Jリート保有者)[Q12s3:単数回答]

〔図 4-14〕



〔図 4-15〕



# 5. 新NISA制度

## 【サマリー】

### ① 認知・口座開設状況 (Q15s1・Q16)

- ・認知率は、「名前も制度の内容も知っている」が29.7%、「名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」が45.0%で、これらを合わせた認知計が74.7%。前回調査から3.2ポイント減少。内容認知に関しては、前年比2.2ポイント増加。(図5-1)
- ・新NISA制度の認知計は、「関東」(76.4%)、「近畿」(75.7%)でやや高く、「北海道・東北」(71.8%)でやや低い傾向。(図5-3)
- ・「開設している(開設率)」は、31.7%。一方、「開設していない」は58.5%を占める。(図5-4)
- ・年代別では、30代で開設率36.8%、40代で34.8%と、他の年代と比べて高い。(図5-5)

### ② 各投資枠の利用状況 (Q17s1・Q17s2)

- ・成長投資枠の「現在金融商品を保有している(保有率)」は67.8%、つみたて投資枠の保有率は66.8%を占める。(図5-6)
- ・成長投資枠は、どの年代においても保有率は66.0~70.4%を占める。(図5-7)
- ・つみたて投資枠は、20~40代で保有率が77.0~79.8%と高く、60~70代で41.0~55.0%と低い。(図5-8)

### ③ 口座開設のきっかけ (Q21)

- ・「すでに投資を行っており、NISAの非課税メリットを活用するため」(62.5%)が突出して高く、6割を超える。次いで「NISAに関する本や記事を見て」(19.2%)、「証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて」(14.5%)、「家族や友人など身近な人に勧められて」(13.3%)と続き、「SNSを見て」(11.1%)などのきっかけは1割台。(図5-13)
- ・年代別で見ると、「すでに投資を行っており、NISAの非課税メリットを活用するため」は、年代が高くなるにつれて増加。「家族や友人など身近な人に勧められて」や、「SNSを見て」、「金融機関等が実施するキャンペーンを通じて」は、20~30代の若年層で高くなっている。(図5-14)

### ④ 認知・口座非開設層における各投資枠の今後の利用意向 (Q24s1・Q24s2)

- ・新NISAの成長投資枠を利用したい計は17.9%、つみたて投資枠を利用したい計は18.3%。(図5-21、図5-23)
- ・年代別では、成長投資枠、つみたて投資枠ともに20代の利用したい計が36.4~38.3%と高い。30~40代においても23.8~27.8%と50代以上に比べて高い。若年層ほど利用したい計が高い傾向。(図5-26、図5-27)
- ・エリア別では、成長投資枠、つみたて投資枠ともに、関東と近畿が全体よりもやや高く、北海道・東北でやや低い。(図5-30、図5-31)

# 5. 新NISA制度

## 【サマリー】

### ⑤ 口座開設先の重視点 (Q25s1)

・新NISA今後利用意向者の口座開設先の重視点は、「販売手数料が低い」(57.4%)が最も高く、「インターネット上で手続きが完了する」「株式が購入できること」などが4割台で続く。「新NISA対象商品の取扱数が多い」は36.2%。(図5-32)

・「販売手数料が低い」は50代が、「インターネット上で手続きが完了する」は40～50代が、「株式が購入できる」は70代が高い傾向。「知名度が高い」「SNSにおける評価の高さ」は、20～40代が他の年代より高く、世評を重視していることが伺える。「店舗で対面相談が可能である」は20代と70代が、「日頃からお付き合いがある」「日系企業である」は70代が全体より高い傾向。(図5-33)

### ⑥ 商品の重視点 (Q26s1)

・新NISA今後利用意向者の商品の重視点は、「過去の運用実績」(41.4%)が最も高く、「値上がりへの期待」、「少額から投資できる」、「値下がりへの不安が少ない」、「手数料や運用管理費用(信託報酬)の水準」が3割台で続く。(図5-38)

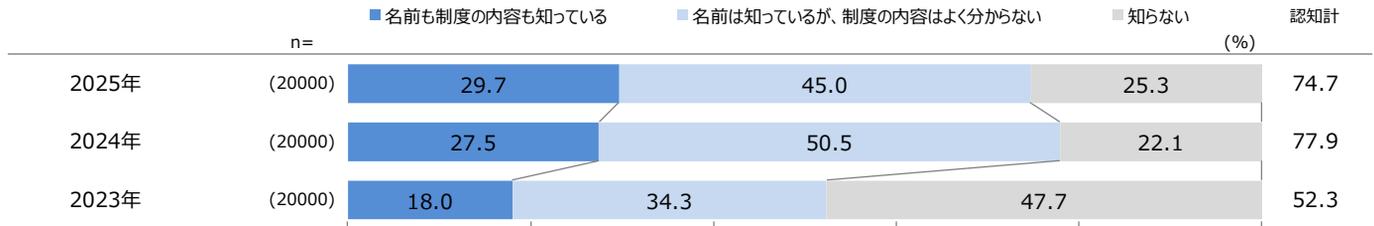
・20代では「SNSにおける評価の高さ」が、70代では「値上がりへの期待」が全体より5ポイント以上高い。(図5-39)

・新NISA制度を認知しているが、口座を開設していない層（認知・口座非開設層）は、「少額から投資できる」、「値下がりへの不安が少ない」、「換金のしやすさ」、「商品内容のわかりやすさ」が全体より9.2ポイント高い。(図5-40)

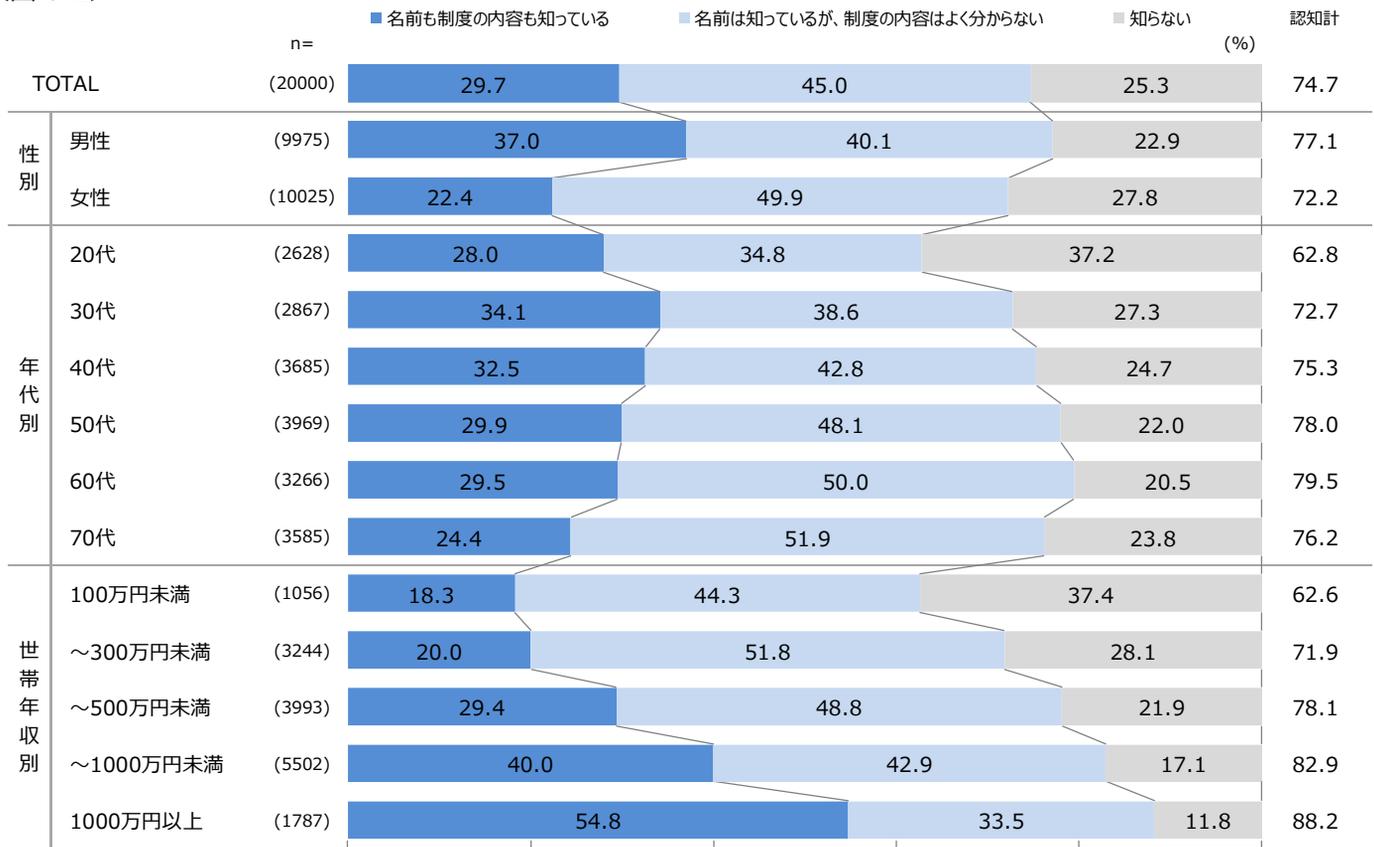
# 5. 新NISA制度

## (1) 認知状況〔Q15s1:単数回答〕

〔図 5-1〕



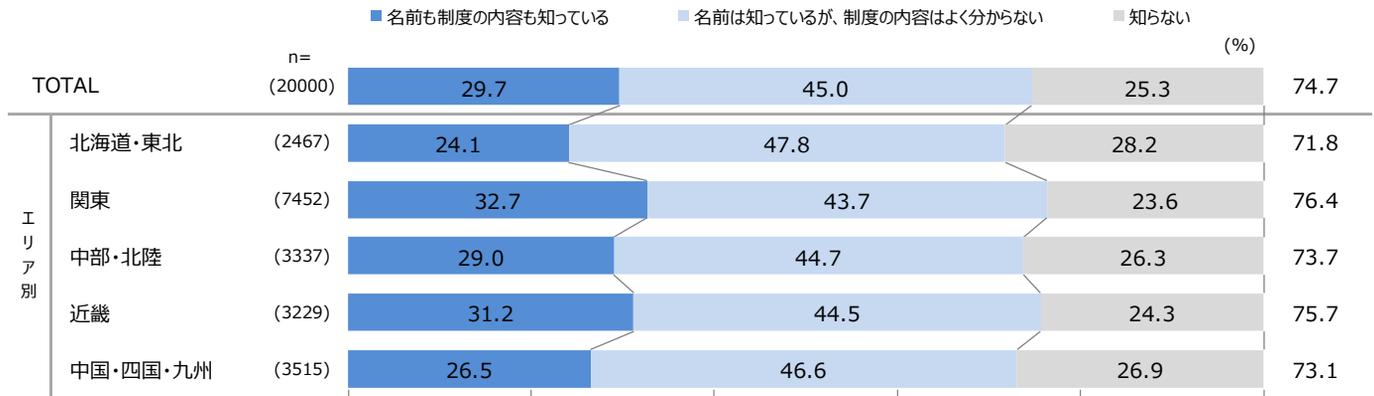
〔図 5-2〕



# 5. 新NISA制度

## (1) 認知状況〔Q15s1:単数回答〕

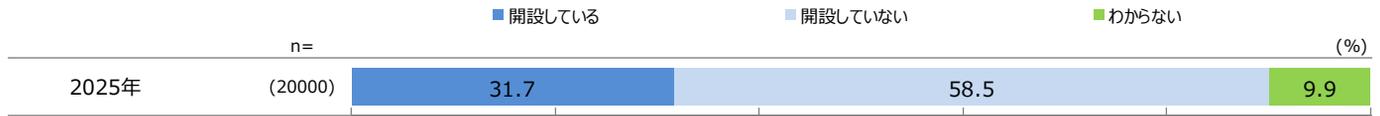
〔図 5-3〕



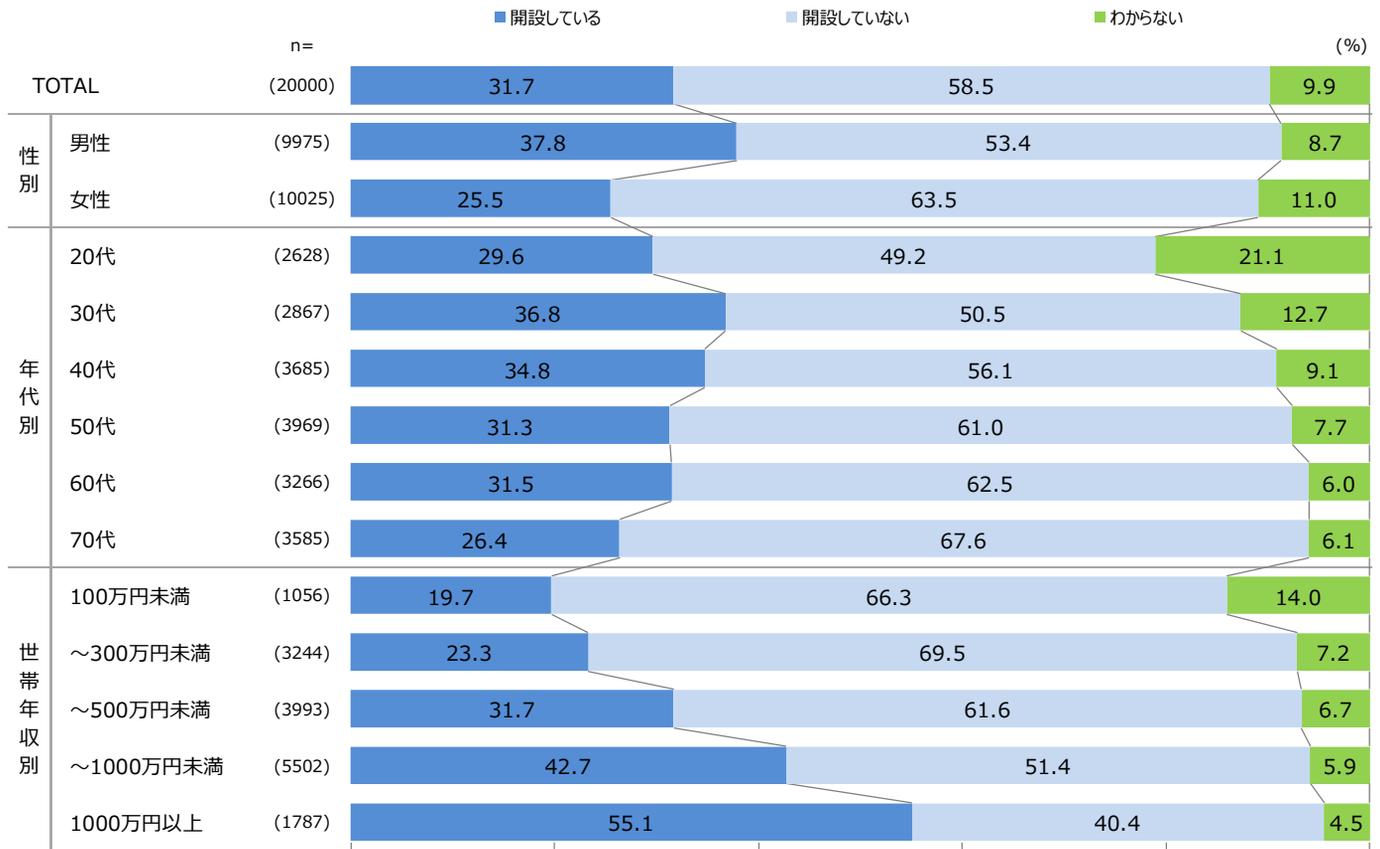
# 5. 新NISA制度

## (2) 口座開設状況〔Q16:単数回答〕

〔図 5-4〕



〔図 5-5〕



## 5. 新NISA制度

### (3) 各投資枠の利用状況(新NISA口座開設者) 〔Q17s1/Q17s2:単数回答〕

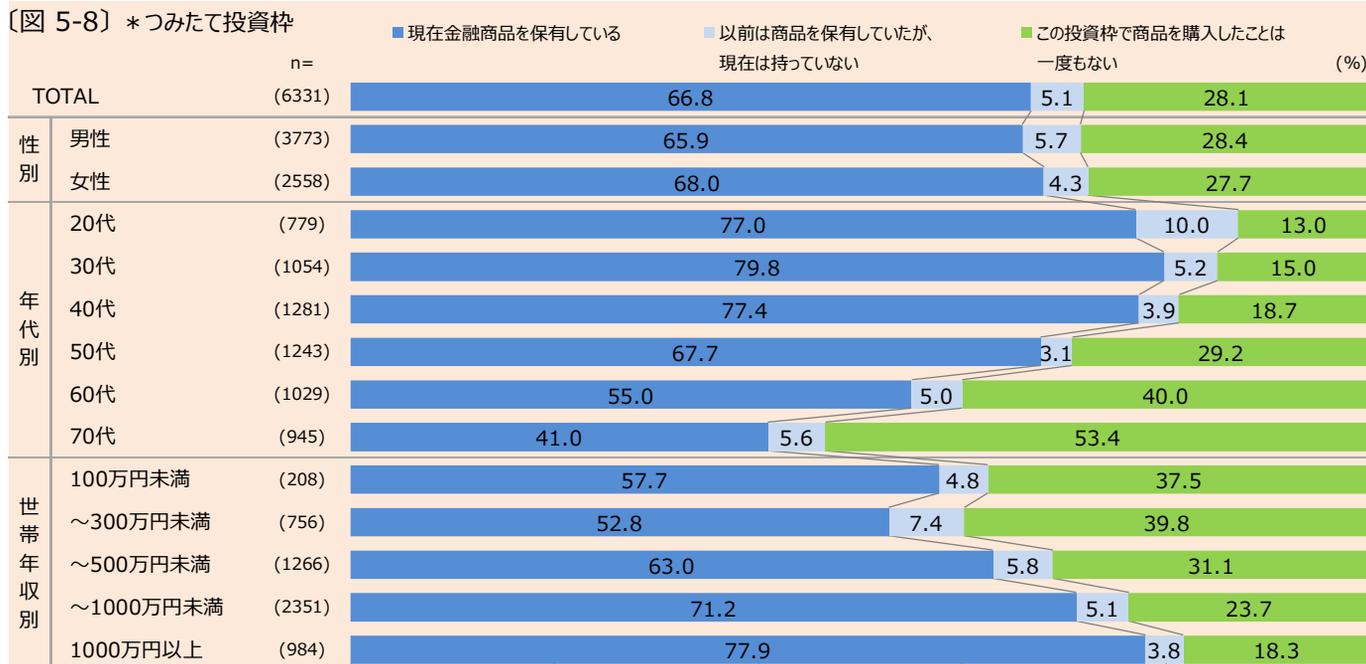
〔図 5-6〕



〔図 5-7〕 \* 成長投資枠



〔図 5-8〕 \* つみたて投資枠



# 5. 新NISA制度

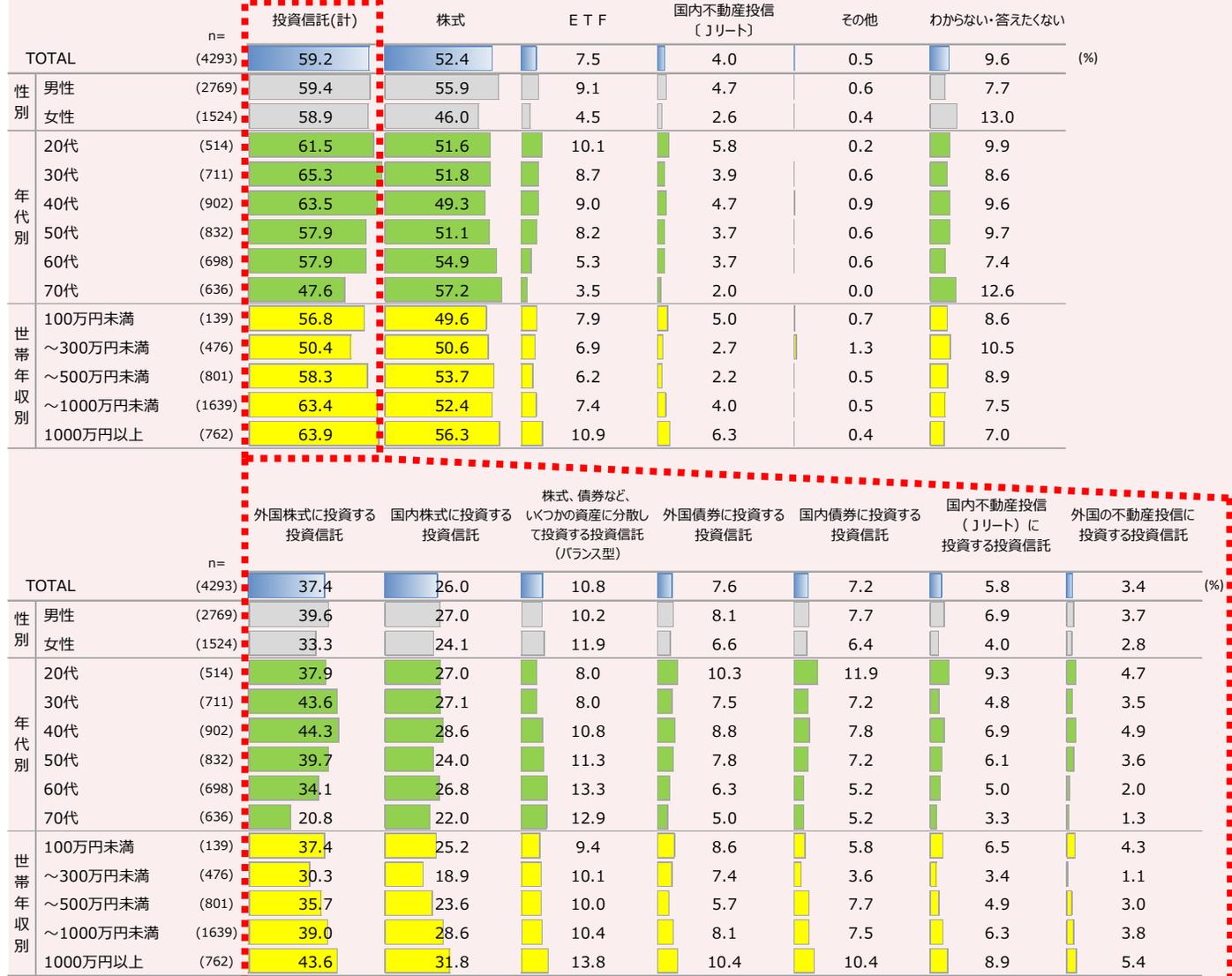
## (4) 成長投資枠での保有金融商品 (成長投資枠で金融商品保有者)〔Q20s1:複数回答〕

〔図 5-9〕



〔図 5-10〕

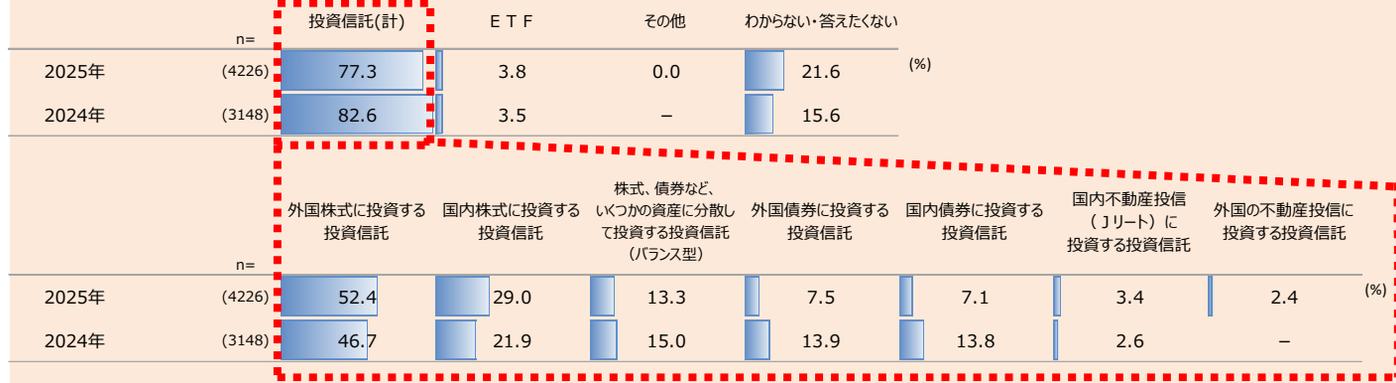
※2025年は、調査票の設計変更があり、時系列比較は参考値  
※選択肢「外国の不動産投信に投資する投資信託」は2025年より聴取



# 5. 新NISA制度

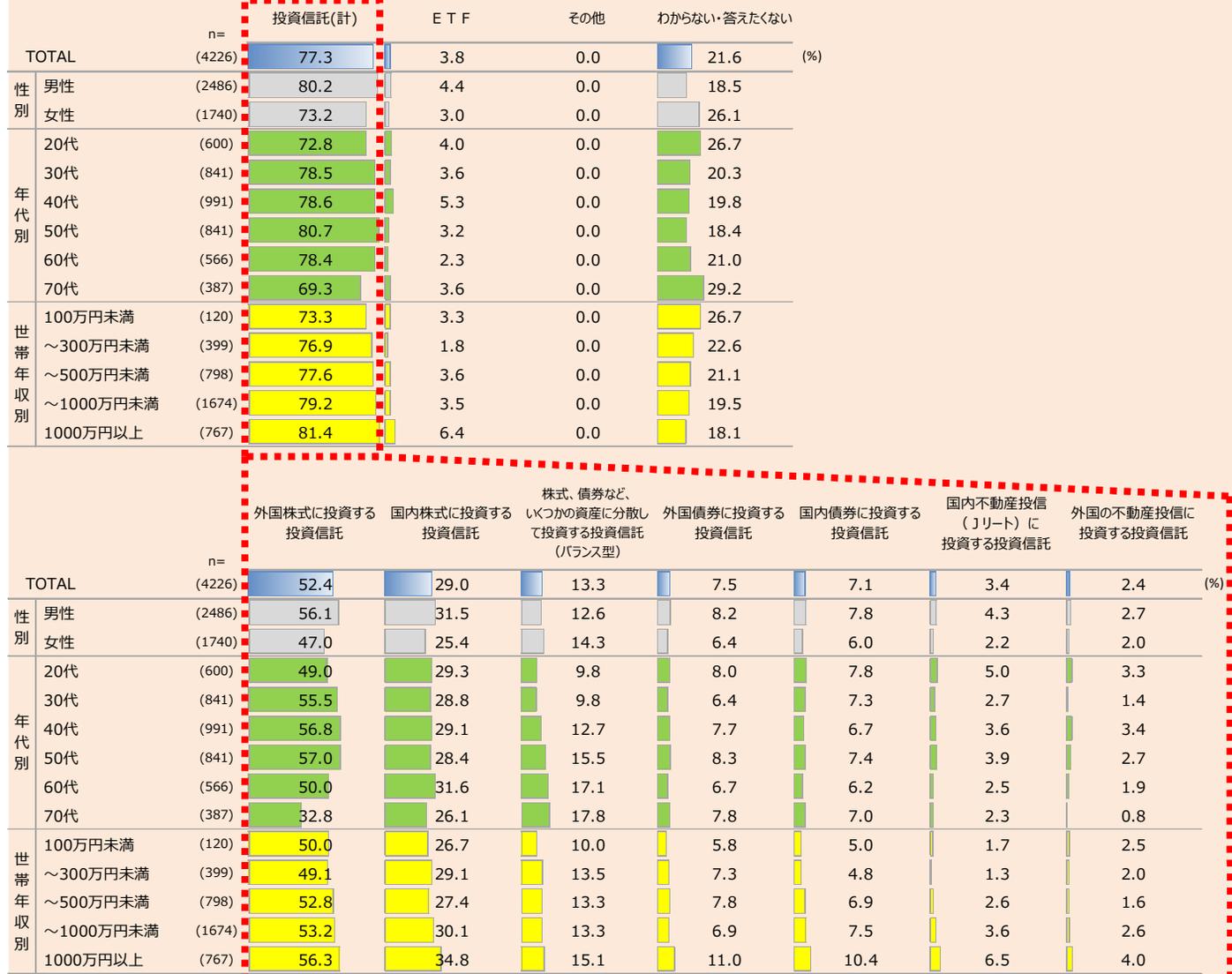
## (5) つみたて投資枠での保有金融商品 (つみたて投資枠で金融商品保有者)〔Q20s2:複数回答〕

〔図 5-11〕



〔図 5-12〕

※2025年は、調査票の設計変更があり、時系列比較は参考値  
※選択肢「外国の不動産投信に投資する投資信託」は2025年より聴取



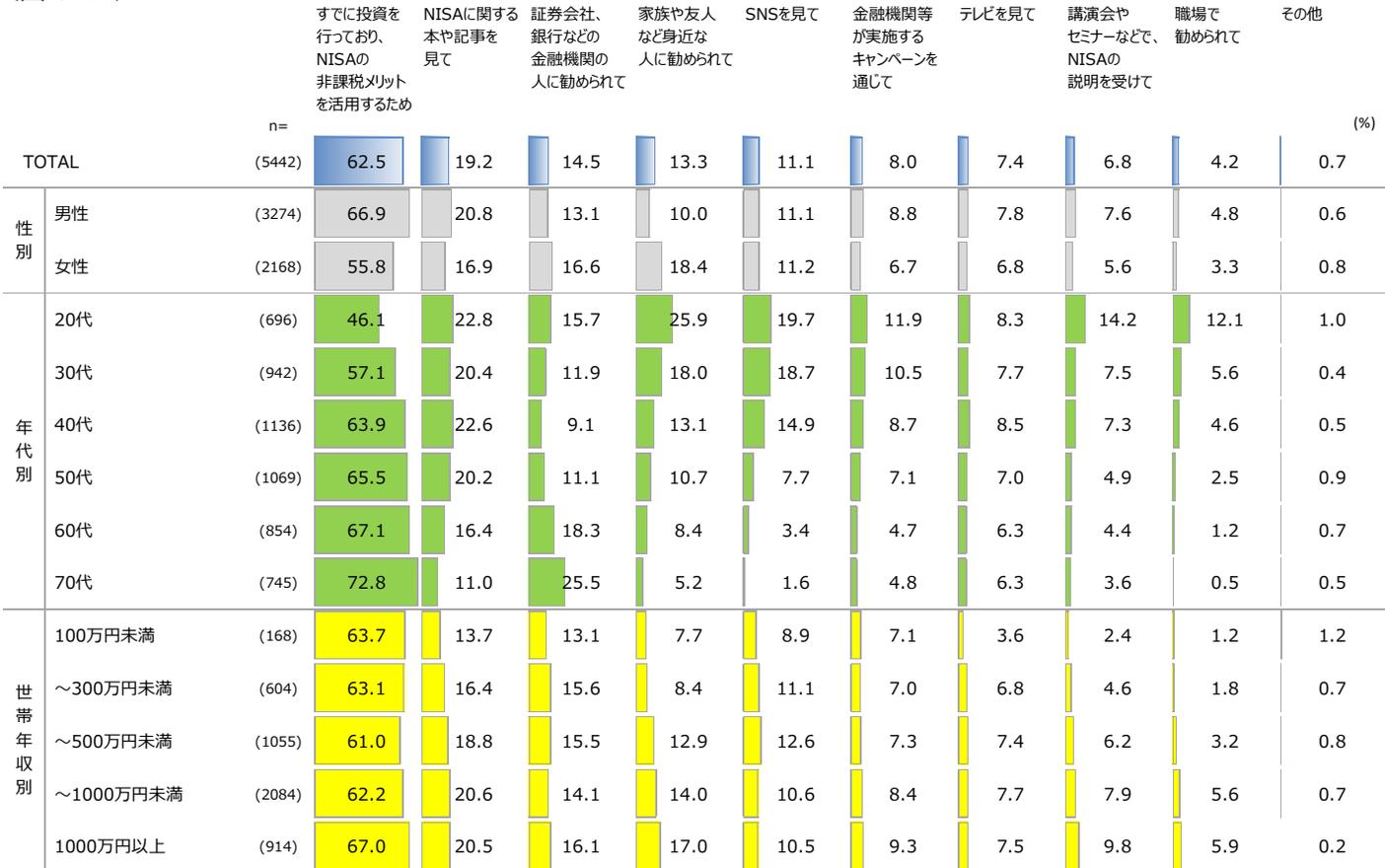
# 5. 新NISA制度

## (6) 口座開設のきっかけ(新NISA制度で現在商品保有者) 〔Q21:複数回答〕

〔図 5-13〕

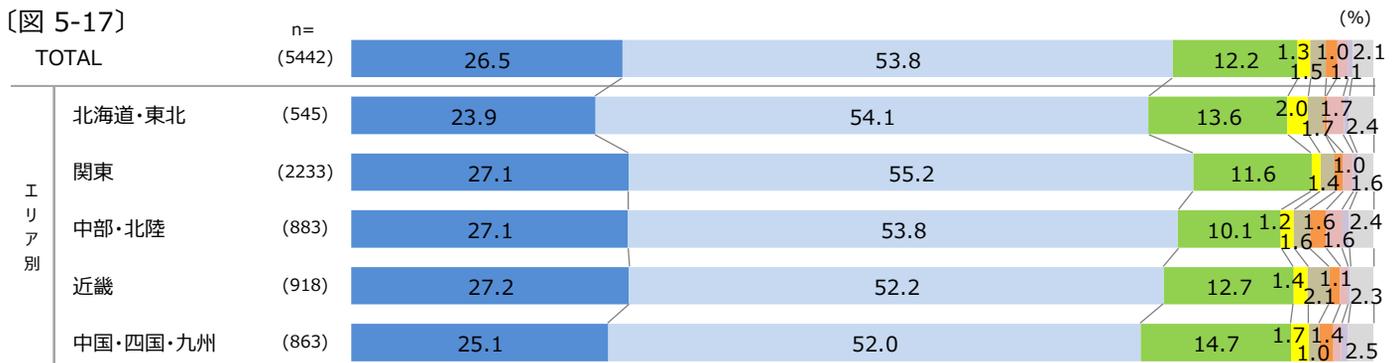
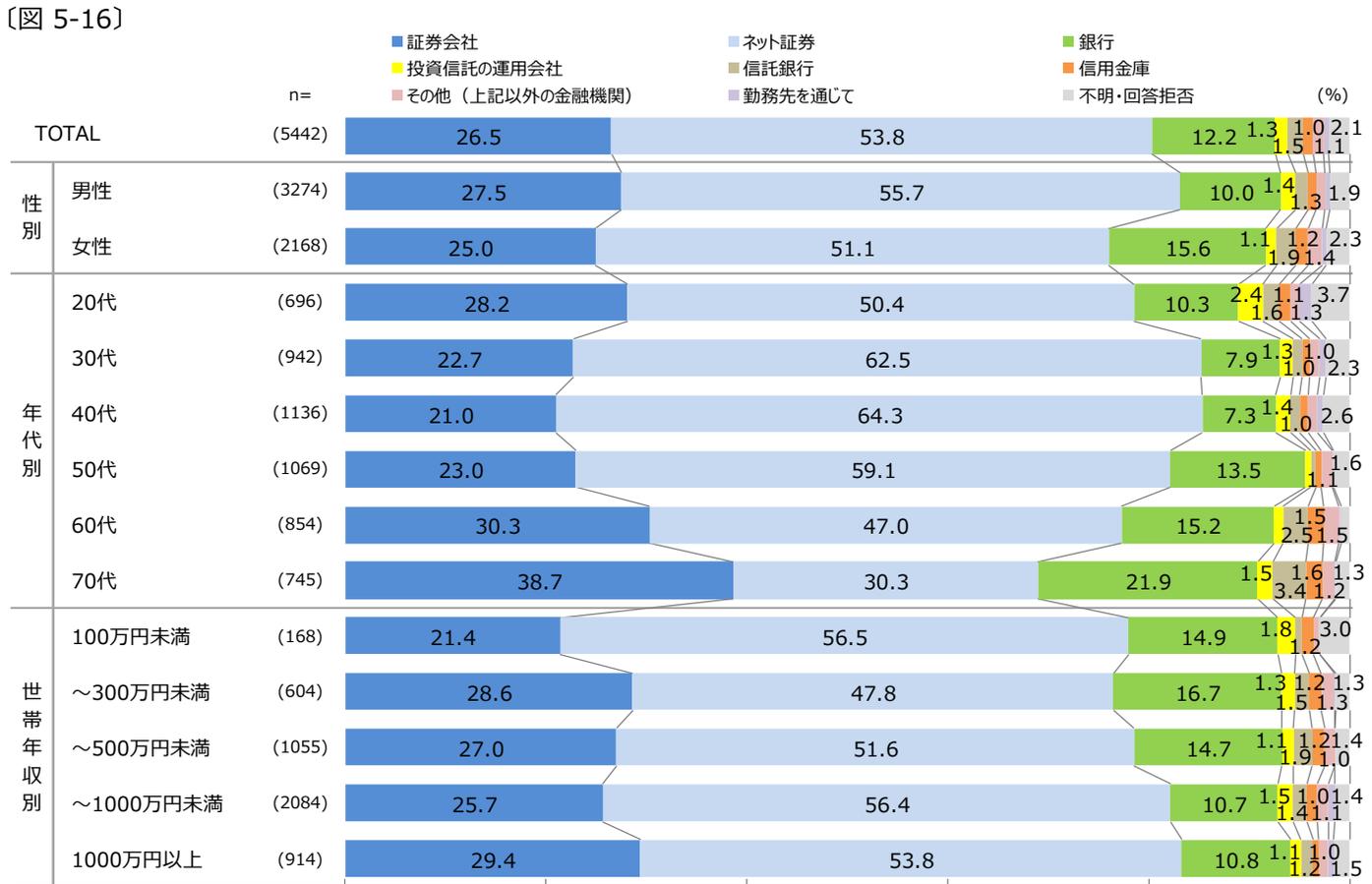
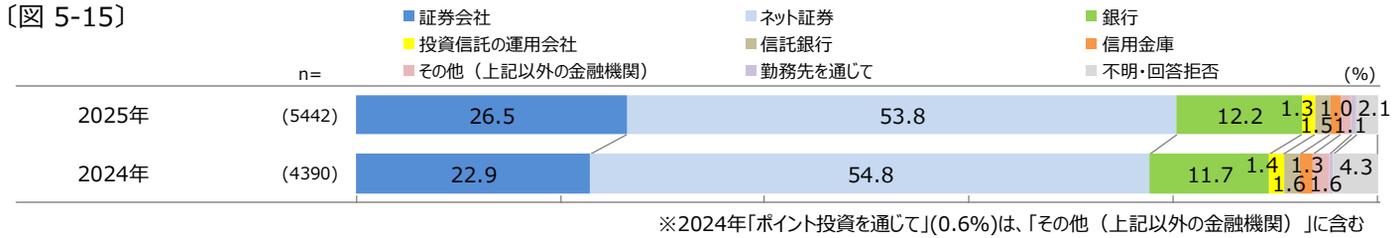


〔図 5-14〕



# 5. 新NISA制度

## (7) 口座開設先の金融機関(新NISA制度で現在商品保有者) 〔Q22:単数回答〕



# 5. 新NISA制度

## (8) 商品未購入または口座未開設の理由

(新NISA口座で商品未購入、口座未開設者)〔Q23s1:複数回答〕

〔図 5-18〕

	n=	投資に 回すお金 がないから	投資の 知識がな いから/ 知識が ないと 難しそう だから	どの商品 を購入し てよいか わからな いから	口座開 設の申込 手続きが 煩雑で 面倒だか ら	投資は 元本が 保証され ないから	投資自 体に関心 がないから	自分は 預貯金で 十分と 思っている から	まわりに 制度を 利用して いる人が いない ため	自身の 所得状 況から 所得税 額控除の メリットが ないから	経済状 況など、 商品購 入や口座 開設のタ イミングを 見定めて いるから	口座開 設の申込 手続きが 複雑で途 中でやめ てしまった から	他の年金 制度を 利用して いるため 不要	金融機 関に勤め られて口 座開設し ただけだ から	その他	特に理由 はない
2025年	(12350)	18.2	15.6	11.3	10.3	9.1	7.1	5.2	4.4	3.9	2.7	2.1	1.5	0.9	1.1	49.2
2024年	(12018)	22.6	16.6	17.0	12.6	-	13.5	-	-	-	4.2	-	-	-	1.3	38.3

※2024年「-」は2025年より聴取

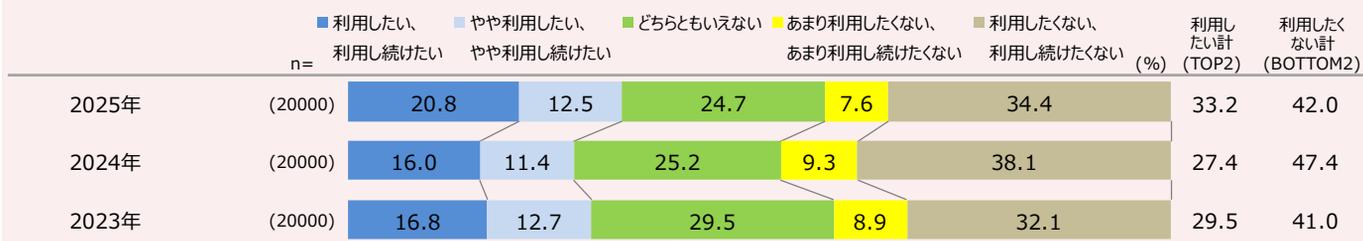
〔図 5-19〕

	n=	投資に 回すお金 がないから	投資の 知識がな いから/ 知識が ないと 難しそう だから	どの商品 を購入し てよいか わからな いから	口座開 設の申込 手続きが 煩雑で 面倒だか ら	投資は 元本が 保証され ないから	投資自 体に関心 がないから	自分は 預貯金で 十分と 思っている から	まわりに 制度を 利用して いる人が いない ため	自身の 所得状 況から 所得税 額控除の メリットが ないから	経済状 況など、 商品購 入や口座 開設のタ イミングを 見定めて いるから	口座開 設の申込 手続きが 複雑で途 中でやめ てしまった から	他の年金 制度を 利用して いるため 不要	金融機 関に勤め られて口 座開設し ただけだ から	その他	特に理由 はない
TOTAL	(12350)	18.2	15.6	11.3	10.3	9.1	7.1	5.2	4.4	3.9	2.7	2.1	1.5	0.9	1.1	49.2
性別																
男性	(5681)	17.8	12.0	10.0	10.6	7.6	5.9	4.8	4.3	3.9	3.0	2.5	1.7	0.8	1.2	51.8
女性	(6669)	18.5	18.7	12.5	10.0	10.5	8.2	5.6	4.4	3.9	2.4	1.8	1.3	0.9	1.0	47.1
年代別																
20代	(1343)	18.2	18.4	12.4	14.1	6.3	6.5	4.9	8.6	2.2	3.8	3.9	1.9	1.1	0.6	46.7
30代	(1529)	21.1	19.9	14.4	14.7	6.5	6.1	4.8	6.2	3.4	3.1	3.2	1.6	0.7	0.9	44.2
40代	(2175)	23.1	19.4	14.4	12.0	8.4	5.7	4.2	5.2	2.6	3.5	2.9	1.2	0.7	1.1	43.9
50代	(2564)	18.6	13.6	10.6	9.9	9.7	6.7	3.7	3.2	3.7	2.9	1.6	1.3	0.8	0.6	49.7
60代	(2169)	15.6	13.3	9.0	8.6	10.7	8.3	6.3	3.2	4.8	2.0	1.7	1.7	0.7	1.2	52.1
70代	(2570)	14.2	12.4	9.0	6.1	10.9	8.6	7.1	2.5	5.7	1.5	0.9	1.6	1.2	1.9	55.2
世帯年収別																
100万円未満	(731)	24.9	14.0	7.9	9.8	9.0	7.5	3.4	3.8	5.2	1.8	1.5	1.0	0.7	1.5	49.1
~300万円未満	(2362)	23.9	15.5	10.5	10.2	10.5	7.7	6.4	3.9	6.0	2.0	1.9	1.1	1.0	0.9	46.5
~500万円未満	(2612)	20.4	17.0	13.6	11.8	9.6	8.2	5.2	5.2	3.7	2.7	2.7	1.6	0.8	0.9	45.0
~1000万円未満	(3019)	15.6	16.6	13.9	11.4	8.8	6.3	6.1	5.3	3.2	3.9	2.6	2.2	1.1	1.4	44.8
1000万円以上	(777)	9.7	12.4	10.2	14.0	8.1	6.3	6.7	4.1	3.1	4.5	4.2	3.0	1.5	1.7	45.7

# 5. 新NISA制度

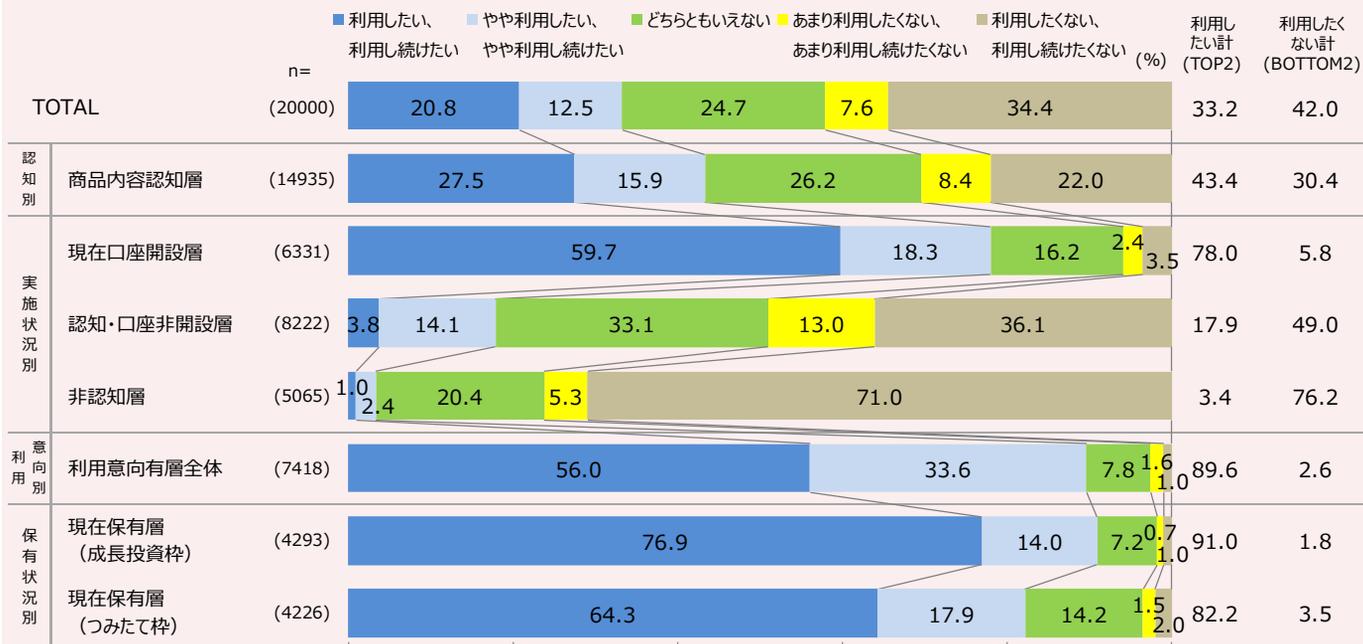
## (9) 各投資枠の今後の利用意向〔Q24s1/Q24s2:単数回答〕

〔図 5-20〕 \* 成長投資枠



※選択肢「あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない」は「あまり利用したくない」で、「利用したくない、利用し続けたくない」は「利用したくない」でそれぞれ2024年まで聴取  
 ※「利用したい、利用し続けたい」は「利用したい」で、「やや利用したい、やや利用し続けたい」は「やや利用したい」で、それぞれ2023年は聴取

〔図 5-21〕



# 5. 新NISA制度

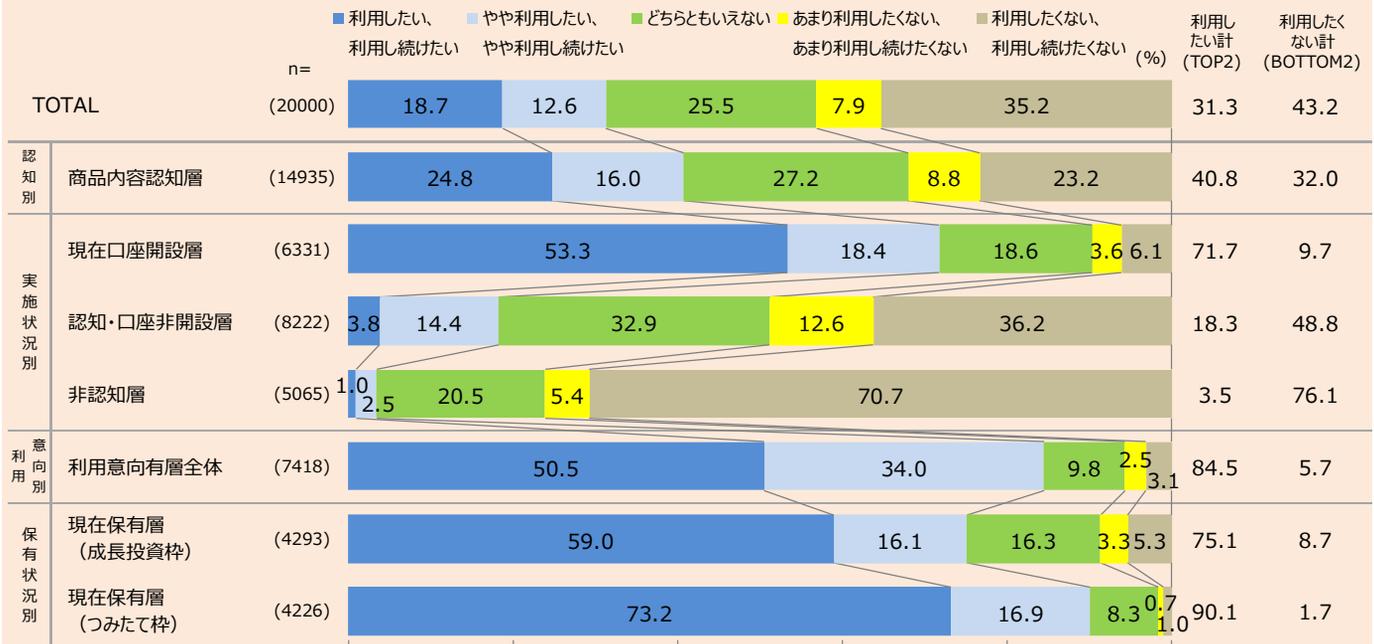
## (9) 各投資枠の今後の利用意向〔Q24s1/Q24s2:単数回答〕

〔図 5-22〕 \* つみたて投資枠



※選択肢「あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない」は「あまり利用したくない」で、「利用したくない、利用し続けたくない」は「利用したくない」でそれぞれ2024年まで聴取  
 ※「利用したい、利用し続けたい」は「利用したい」で、「やや利用したい、やや利用し続けたい」は「やや利用したい」で、それぞれ2023年は聴取

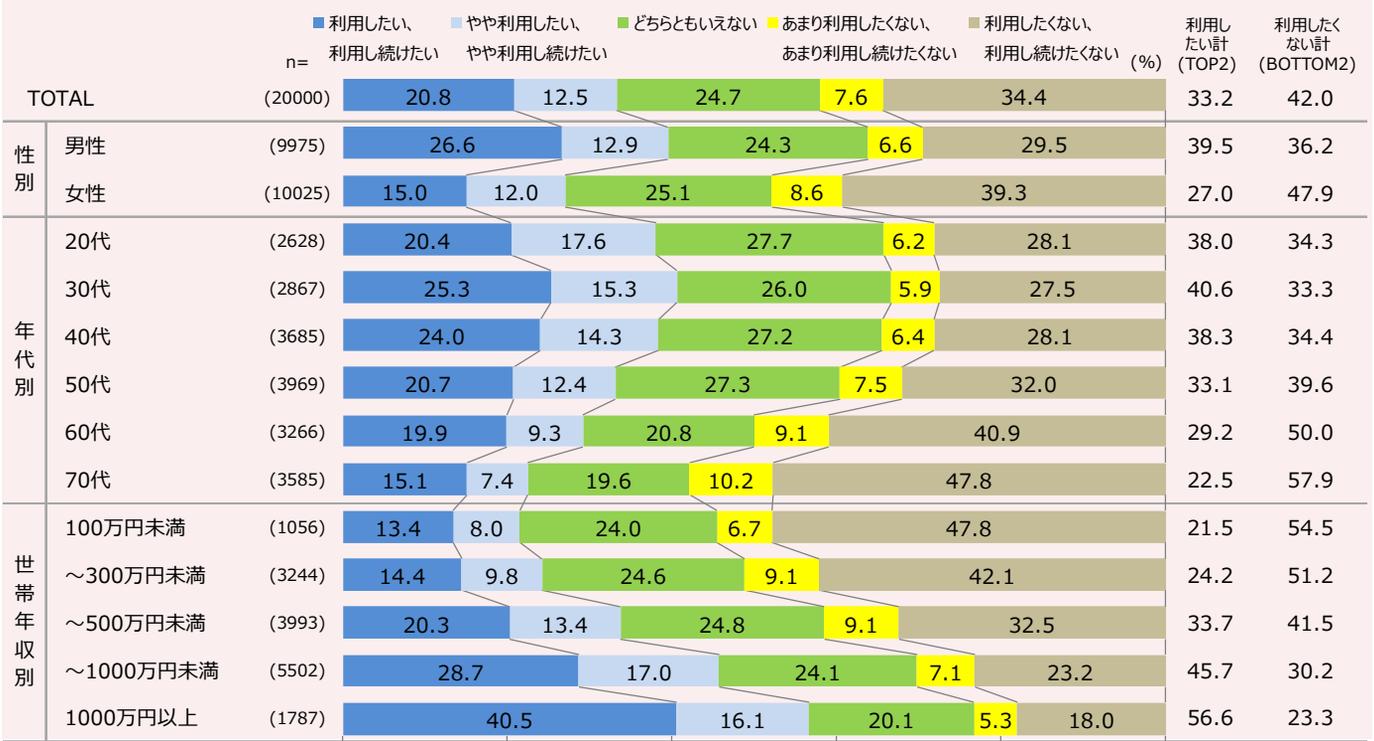
〔図 5-23〕



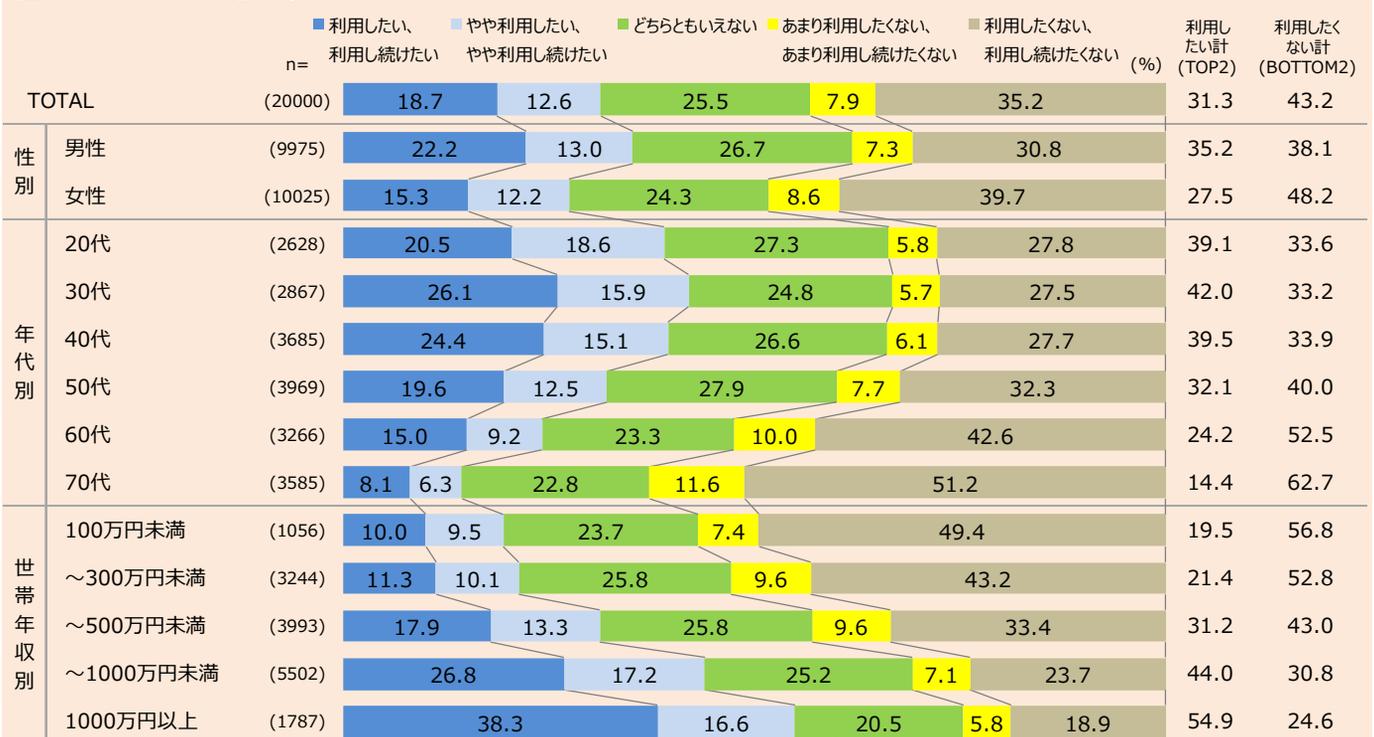
# 5. 新NISA制度

## (9) 各投資枠の今後の利用意向〔Q24s1/Q24s2:単数回答〕

〔図 5-24〕 \* 成長投資枠



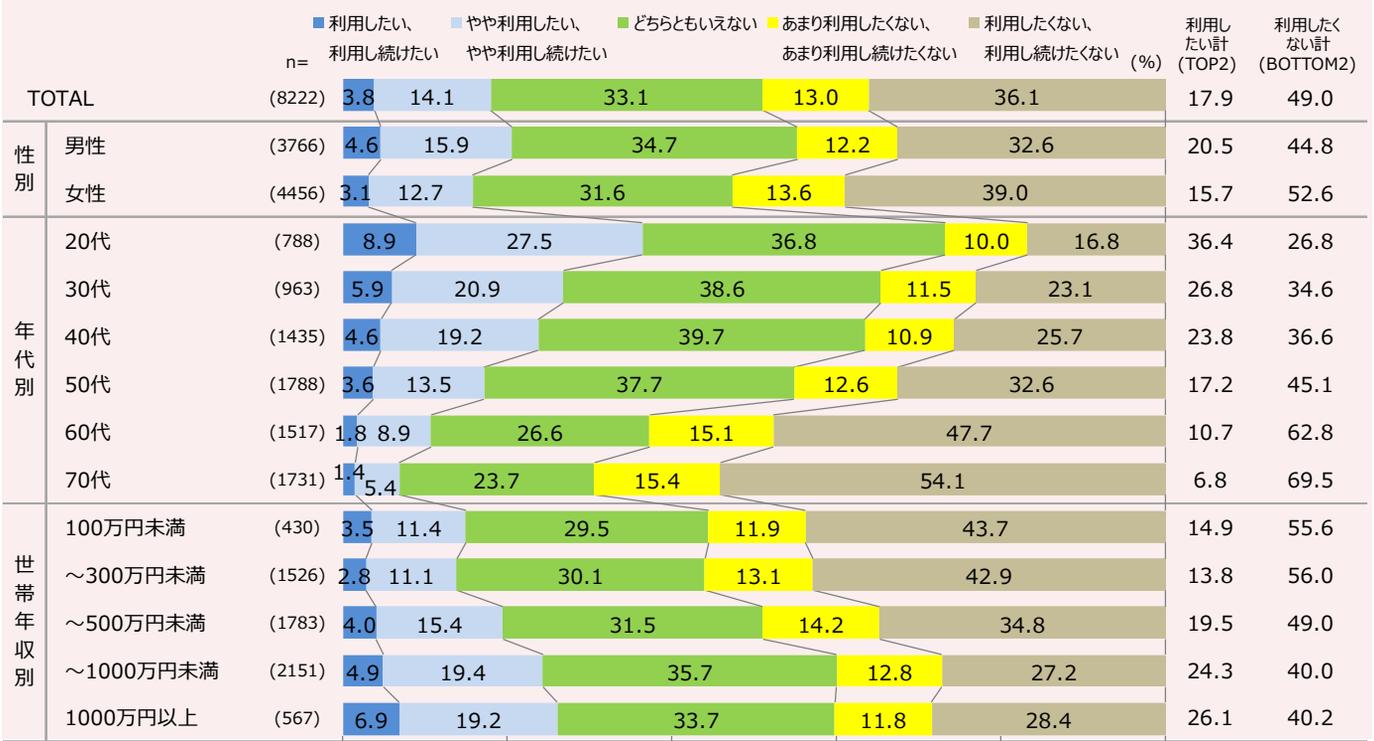
〔図 5-25〕 \* つみたて投資枠



# 5. 新NISA制度

## (9) 各投資枠の今後の利用意向(認知・口座非開設層) 〔Q24s1/Q24s2:単数回答〕

〔図 5-26〕 \* 成長投資枠



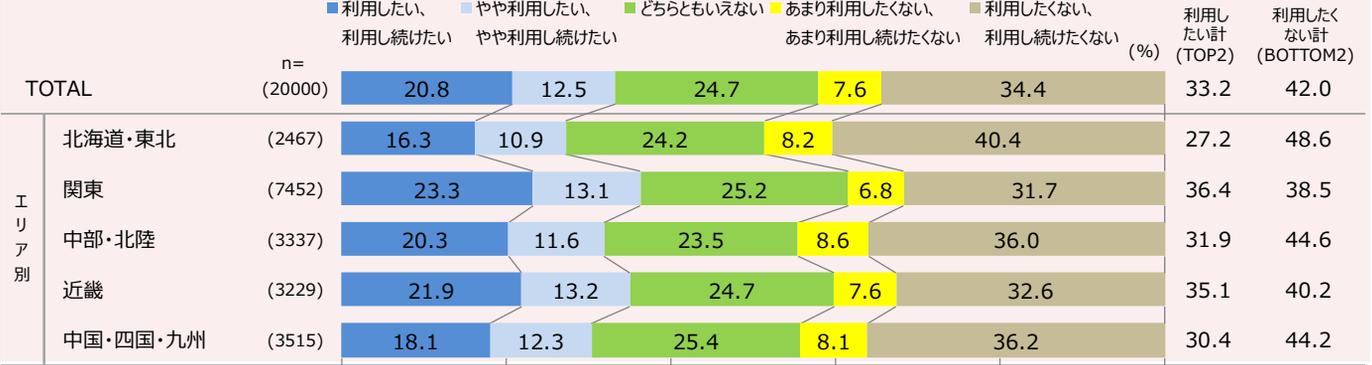
〔図 5-27〕 \* つみたて投資枠



# 5. 新NISA制度

## (9) 各投資枠の今後の利用意向〔Q24s1/Q24s2:単数回答〕

〔図 5-28〕 \* 成長投資枠



〔図 5-29〕 \* つみたて投資枠



〔図 5-30〕 \* 成長投資枠 (認知・口座非開設層)



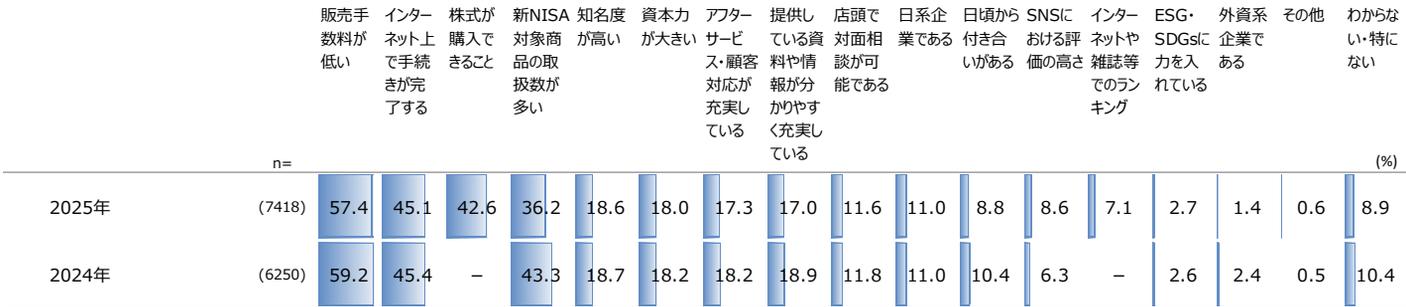
〔図 5-31〕 \* つみたて投資枠 (認知・口座非開設層)



# 5. 新NISA制度

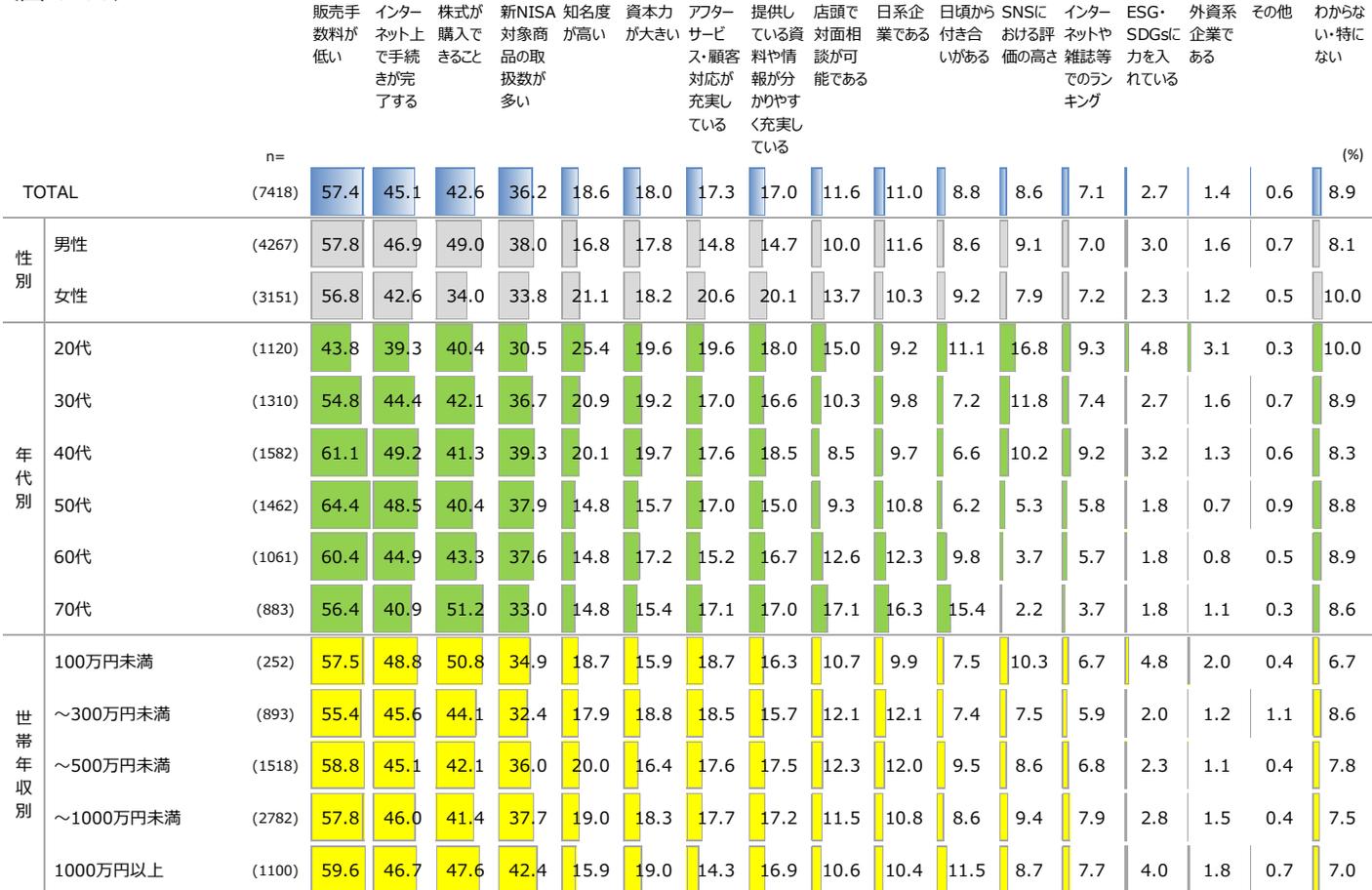
## (10) 口座開設先の重視点(重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q25s1:複数回答〕

〔図 5-32〕



※選択肢「投資信託の対象商品の取扱数が多い」は、2024年「新NISA対象商品の取扱数が多い」で聴取、「株式が購入できること」「インターネットや雑誌等でのランキング」は、2025年より聴取

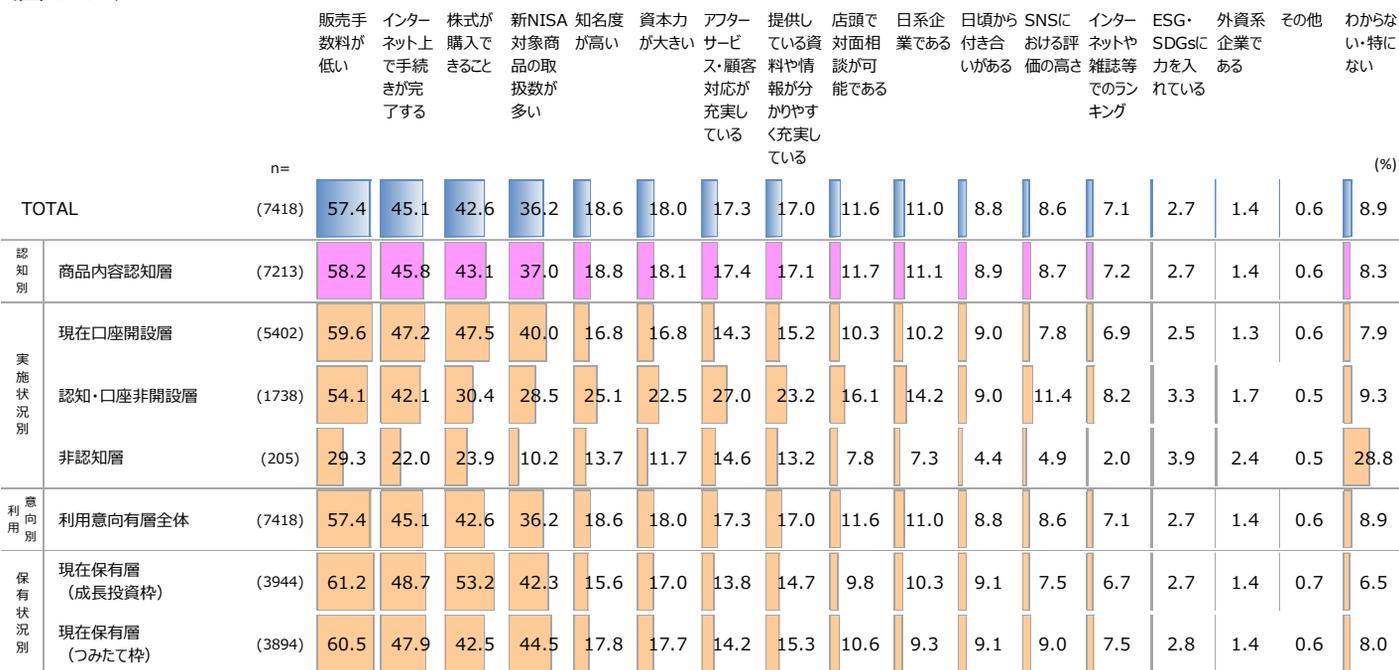
〔図 5-33〕



# 5. 新NISA制度

## (10) 口座開設先の重視点(重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q25s1:複数回答〕

〔図 5-34〕



# 5. 新NISA制度

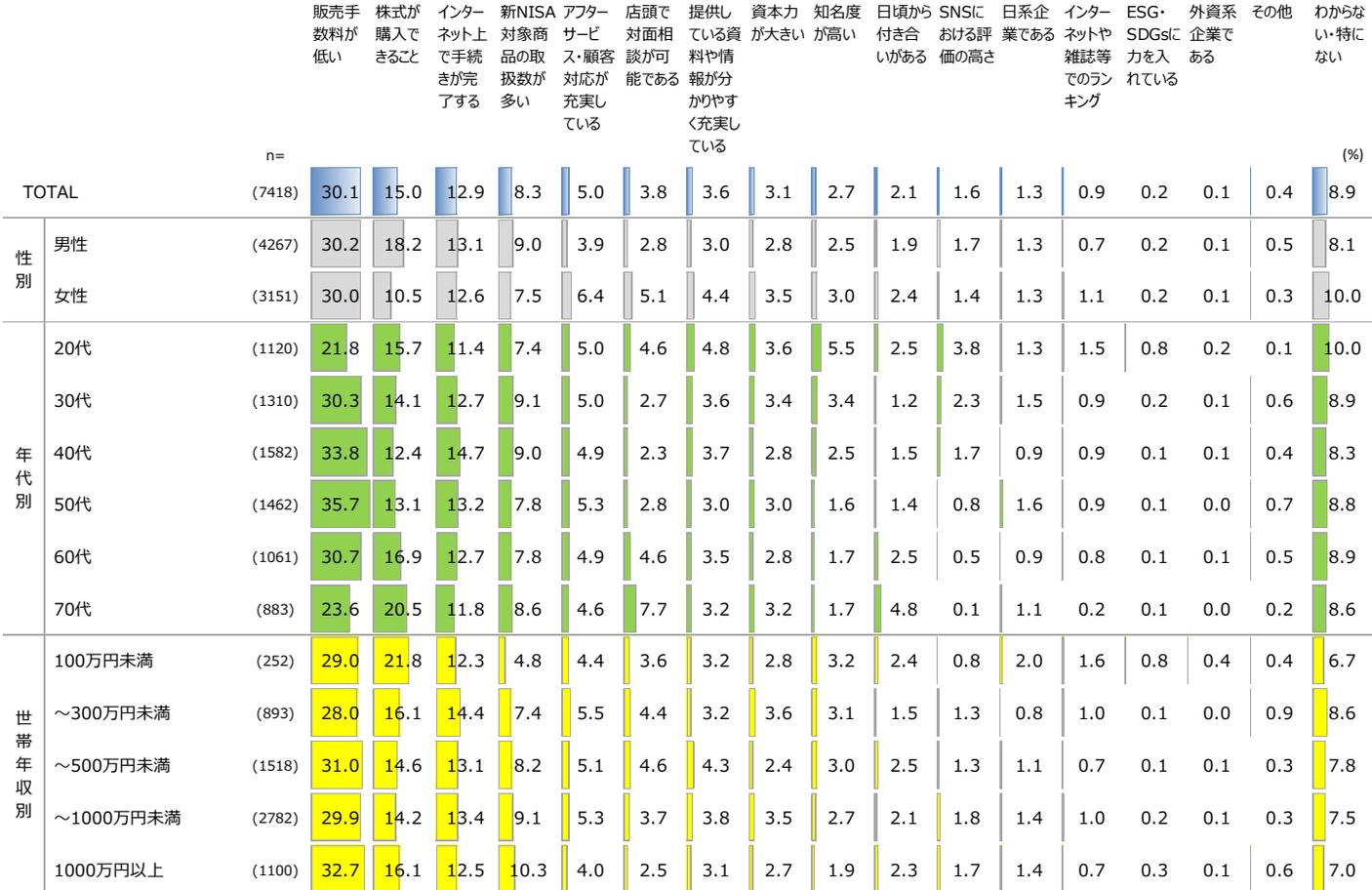
## (10) 口座開設先の重視点(最も重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q25s2:単数回答〕

〔図 5-35〕



※選択肢「投資信託の対象商品の取扱数が多い」は、2024年「新NISA対象商品の取扱数が多い」で聴取、「株式が購入できること」「インターネットや雑誌等でのランキング」は、2025年より聴取

〔図 5-36〕



# 5. 新NISA制度

## (10) 口座開設先の重視点(最も重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q25s2:単数回答〕

〔図 5-37〕



# 5. 新NISA制度

## (11) 商品の重視点(重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q26s1:複数回答〕

〔図 5-38〕

	n=	過去の運用実績	値上がりの期待	少額から投資できる	値下がりの不安が少ない	手数料や運用管理費用(信託報酬)の水準	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	純資産の大きさ	過去の分配金額	分配頻度	評価会社による評価	インデックス運用を行うかどうかである	SNSにおける評価の高さ	インターネットや雑誌等のランキング	つみたて投資枠対象ではない金融商品である	社会性の高い企業先(ESG等)	その他の商品コンセプト(投資対象、投資テーマ等)	わからない特にな	(%)
2025年	(7418)	41.4	39.7	34.2	33.4	32.3	21.4	19.8	15.0	13.3	11.9	11.3	9.3	8.7	8.0	6.8	6.0	5.3	0.3	9.9
2024年 成長投資枠	(5484)	41.6	42.6	31.2	32.0	29.4	20.0	17.0	14.8	14.9	12.4	8.6	8.5	5.6	-	7.3	5.7	4.6	0.4	10.8
2024年 つみたて投資枠	(5331)	42.2	42.0	34.4	37.1	34.3	20.0	16.5	15.4	-	-	9.7	12.4	7.2	-	-	5.6	-	0.3	10.3

※2024年は、成長投資枠とつみたて投資枠に分けて聴取

※選択肢「インターネットや雑誌等でのランキング」は、2025年より聴取

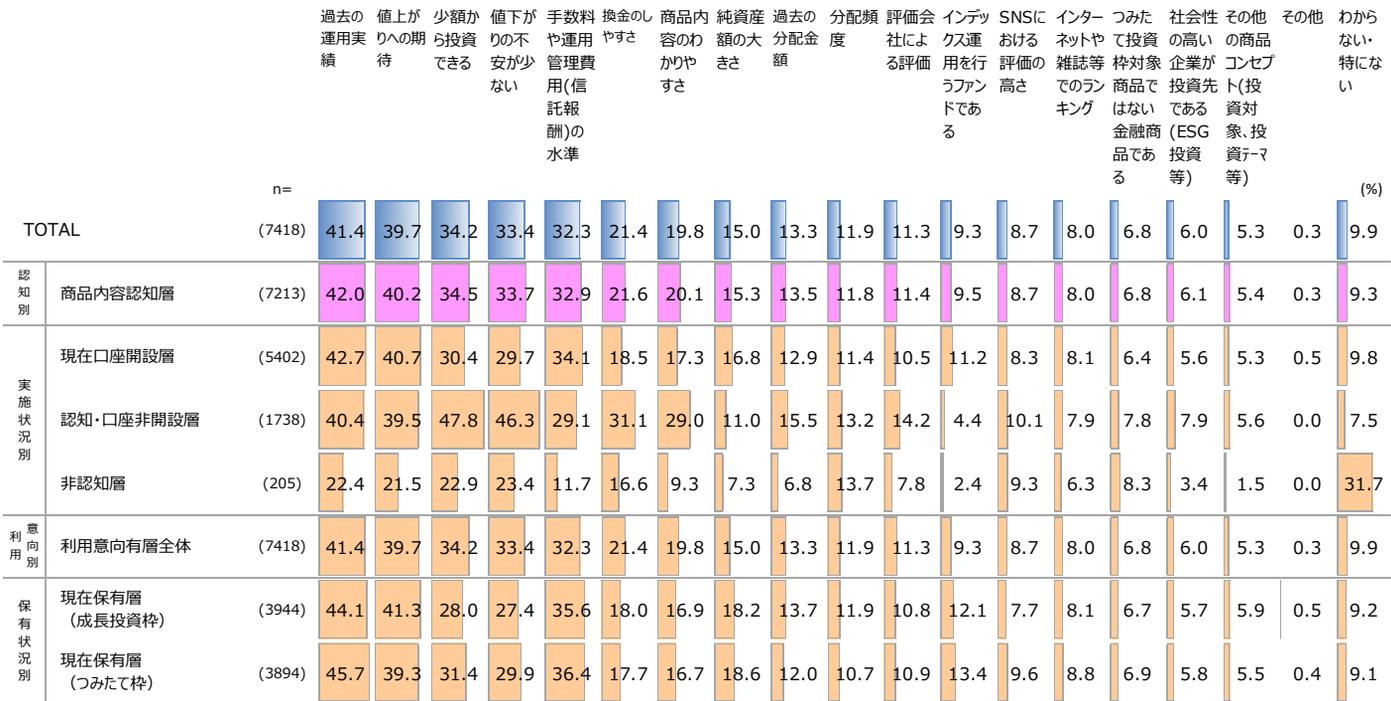
〔図 5-39〕

	n=	過去の運用実績	値上がりの期待	少額から投資できる	値下がりの不安が少ない	手数料や運用管理費用(信託報酬)の水準	換金のしやすさ	商品内容のわかりやすさ	純資産の大きさ	過去の分配金額	分配頻度	評価会社による評価	インデックス運用を行うかどうかである	SNSにおける評価の高さ	インターネットや雑誌等のランキング	つみたて投資枠対象ではない金融商品である	社会性の高い企業先(ESG等)	その他の商品コンセプト(投資対象、投資テーマ等)	わからない特にな	(%)
TOTAL	(7418)	41.4	39.7	34.2	33.4	32.3	21.4	19.8	15.0	13.3	11.9	11.3	9.3	8.7	8.0	6.8	6.0	5.3	0.3	9.9
性別 男性	(4267)	42.6	41.1	30.5	29.1	32.3	21.1	16.5	16.4	13.9	12.4	11.3	9.9	8.9	7.7	7.2	5.5	5.4	0.3	9.5
性別 女性	(3151)	39.9	37.8	39.2	39.2	32.3	21.9	24.3	13.2	12.5	11.1	11.2	8.4	8.5	8.3	6.3	6.8	5.0	0.4	10.5
年代別 20代	(1120)	40.9	35.3	32.9	32.5	25.4	22.3	18.0	14.6	15.6	16.0	12.4	7.1	17.4	9.3	10.4	7.8	6.1	0.1	9.6
年代別 30代	(1310)	44.3	36.0	34.7	35.5	31.1	21.0	17.6	13.2	13.0	11.5	10.5	9.6	12.9	9.5	6.8	4.9	6.0	0.2	9.2
年代別 40代	(1582)	43.9	40.5	36.5	35.7	35.0	22.1	21.3	18.0	14.1	12.3	12.5	11.3	10.0	9.3	7.8	5.7	5.9	0.4	8.8
年代別 50代	(1462)	40.5	40.5	35.0	33.8	35.8	20.2	19.7	15.4	11.2	10.2	9.2	10.5	4.5	6.6	5.9	4.9	3.6	0.5	9.4
年代別 60代	(1061)	40.4	42.1	30.9	30.4	33.7	21.0	20.0	13.6	11.3	10.4	11.7	9.0	3.8	8.3	4.4	7.0	4.9	0.5	12.2
年代別 70代	(883)	36.2	45.3	33.3	30.0	30.2	22.3	22.8	14.0	15.1	11.1	11.8	6.1	2.4	3.5	4.9	7.0	5.1	0.5	11.7
世帯年収別 100万円未満	(252)	40.5	37.7	29.4	35.3	31.0	21.0	19.0	14.3	11.5	10.3	5.2	11.9	10.7	5.2	7.9	4.8	5.2	0.4	9.9
世帯年収別 ~300万円未満	(893)	35.8	39.9	38.7	35.2	31.8	25.0	22.5	13.5	12.3	10.4	11.5	9.0	7.3	8.4	7.2	6.3	5.6	0.7	10.3
世帯年収別 ~500万円未満	(1518)	41.2	40.6	38.7	35.1	31.2	21.5	20.5	14.2	13.4	12.5	12.4	8.8	8.3	8.3	6.6	6.2	5.2	0.4	8.1
世帯年収別 ~1000万円未満	(2782)	42.9	38.9	32.7	32.6	31.8	20.3	19.2	15.1	13.8	12.1	11.2	9.7	9.3	7.9	6.8	5.9	5.5	0.3	8.6
世帯年収別 1000万円以上	(1100)	45.4	42.7	26.5	31.5	37.8	22.7	18.0	18.6	14.5	12.6	11.3	9.9	10.1	8.9	8.2	7.4	5.5	0.4	8.2

# 5. 新NISA制度

## (11) 商品の重視点(重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q26s1:複数回答〕

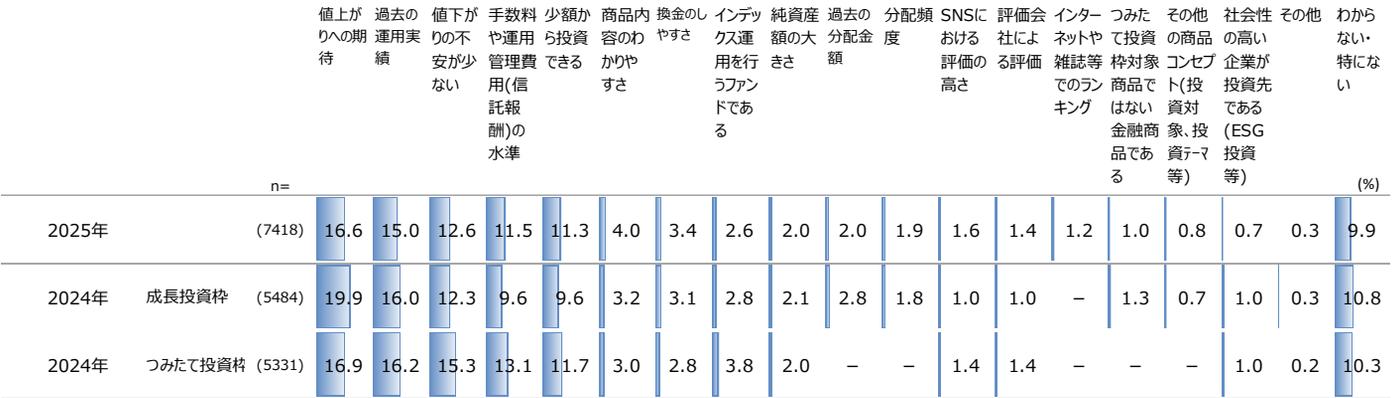
〔図 5-40〕



# 5. 新NISA制度

## (11) 商品の重視点(最も重視すること) (新NISA口座開設者) 〔Q26s2:単数回答〕

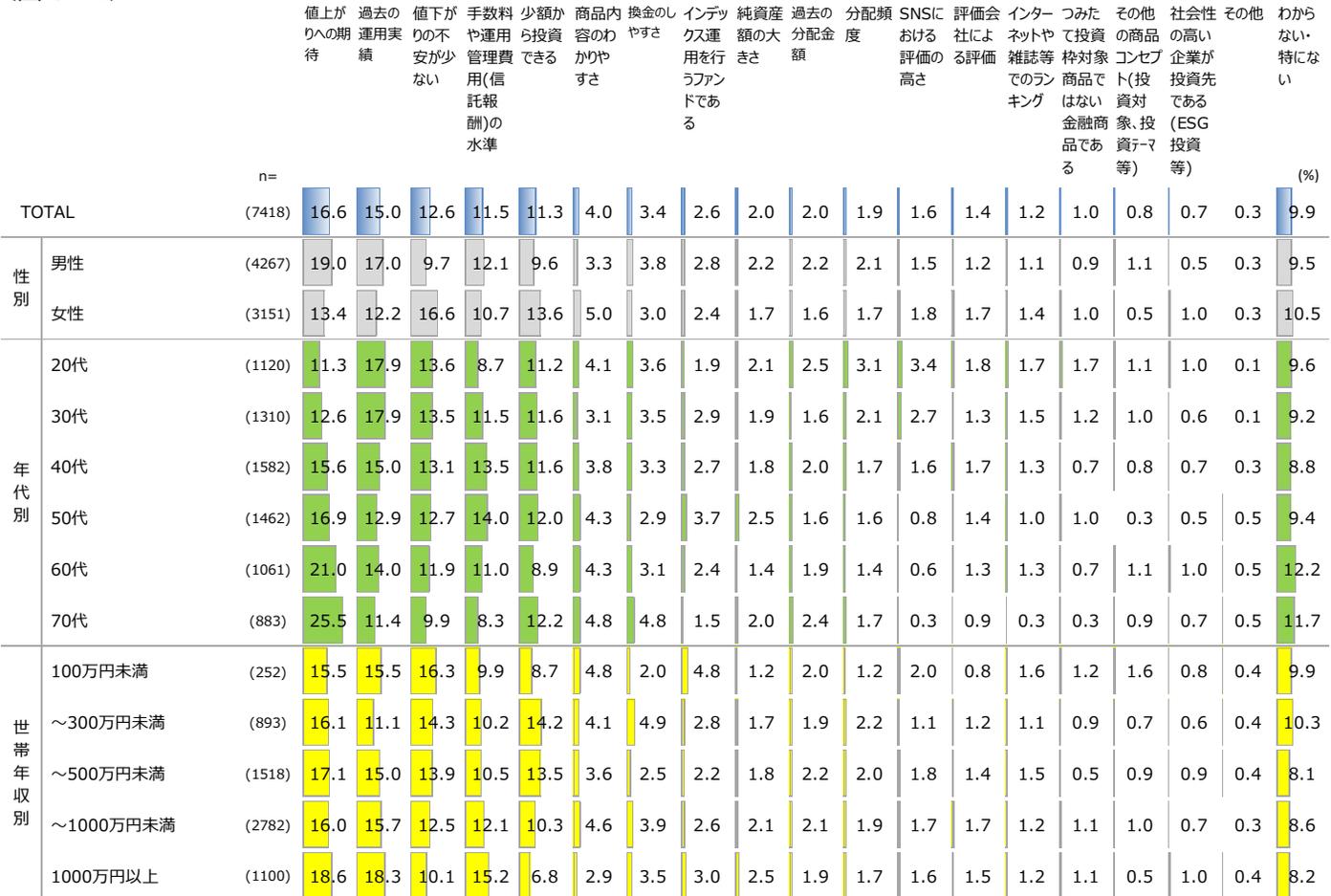
〔図 5-41〕



※2024年は、成長投資枠とつみたて投資枠に分けて聴取

※選択肢「インターネットや雑誌等でのランキング」は、2025年より聴取

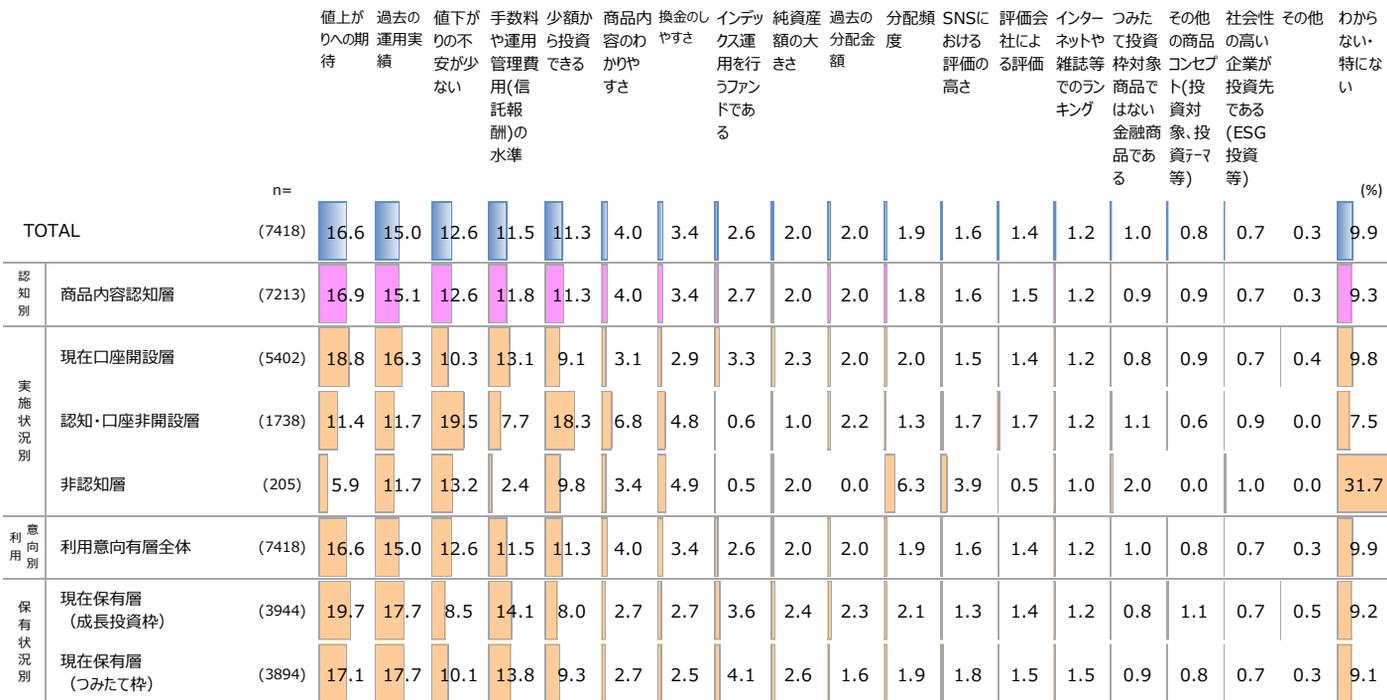
〔図 5-42〕



# 5. 新NISA制度

## (11) 商品の重視点(最も重視すること) (新NISA利用意向者) 〔Q26s2:単数回答〕

〔図 5-43〕



# 6. 確定拠出年金

## 【サマリー】

### ① 企業型確定拠出年金の認知、利用状況 (Q15s2・Q18)

- ・企業型確定拠出年金の認知計（「名前も制度の内容も知っている」「名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」の計）は、53.0%で前年と同程度。「制度を知らない」は47%。（図6-1）
- ・年代別では、50～60代の認知計が58.7%と、全体より5ポイント以上高い。また、世帯年収が上がるほど、認知率も増加。（図6-2）
- ・企業型確定拠出年金の認知者における利用状況は、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」は若年層ほど高く、20代では38.1%と全体より18ポイント程度高い。（図6-6）
- ・エリア別では、認知度と利用率ともに関東が高い傾向。（図6-3、図6-7）
- ・従業員数別にみると、従業員数が多くなるほど認知率、利用率が高い。1001人以上の企業では利用率が5割を超え、大企業での利用が進んでいる様子が見える。（図6-4、図6-8）

### ② 個人型確定拠出年金(iDeCo)認知・利用状況 (Q15s3・Q19)

- ・個人型確定拠出年金(iDeCo)の認知計（「名前も制度の内容も知っている」「名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」の計）は、62.9%で、前年より2.5ポイント増加。（図6-9）
- ・年代別にみると、20代の認知率は50.8%と、全体より10ポイント以上低くなっている。（図6-10）
- ・iDeCo認知者における利用状況は、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している（年金受給者を含む）」は17.3%で前年比1.9ポイント増加。（図6-12）
- ・年代別の利用率は、20～30代で25%と、若年層ほど高い傾向。（図6-13）

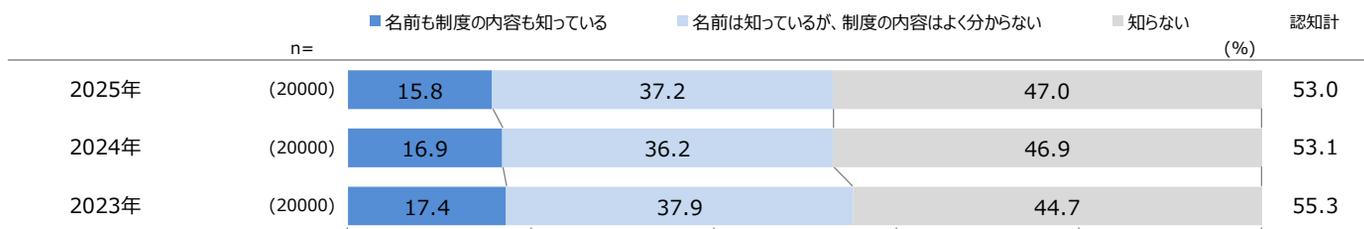
### ③ 個人型確定拠出年金(iDeCo)利用意向・特徴認知 (Q24s3・Q27s1)

- ・65歳未満において、利用したい計（「利用したい、利用し続けたい」「やや利用したい、やや利用し続けたい」の計）は22.0%である。（図6-18）
- ・職業別では、公務員の利用したい計が、39.2%と全体より17ポイント程高い。（図6-19）
- ・iDeCo認知者における特徴認知は、「掛金が全額所得控除される」(37.1%)が最も高く、「原則60歳から受け取ることができる」(20.2%)が続く。（図6-21）
- ・iDeCo口座開設層における特徴認知は、「掛金が全額所得控除される」が65.6%、「掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る年金資産の額は各自の運用成績により変動する」が40.9%。（図6-23）

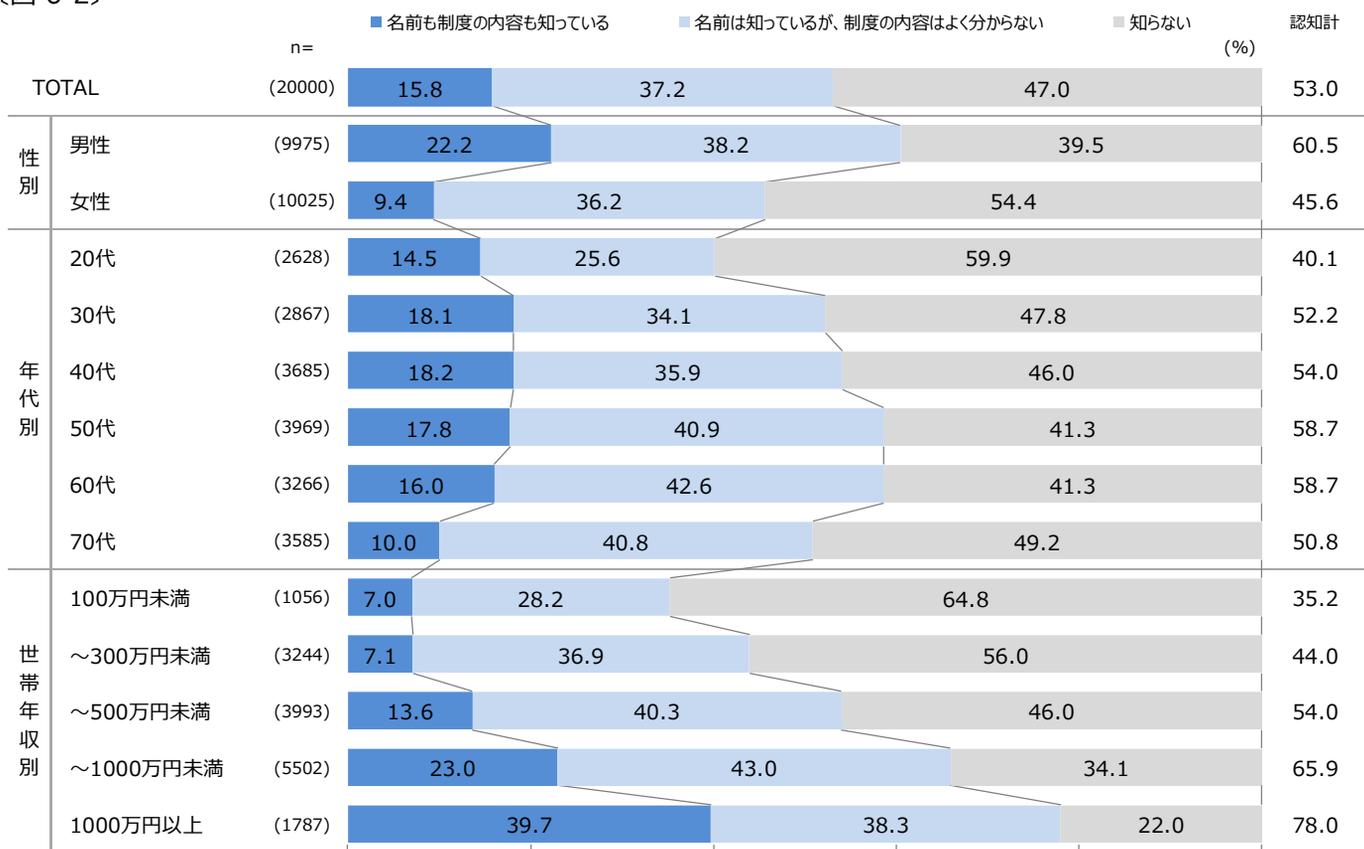
## 6. 確定拠出年金 <企業型>

### (1) 認知状況〔Q15s2:単数回答〕

〔図 6-1〕



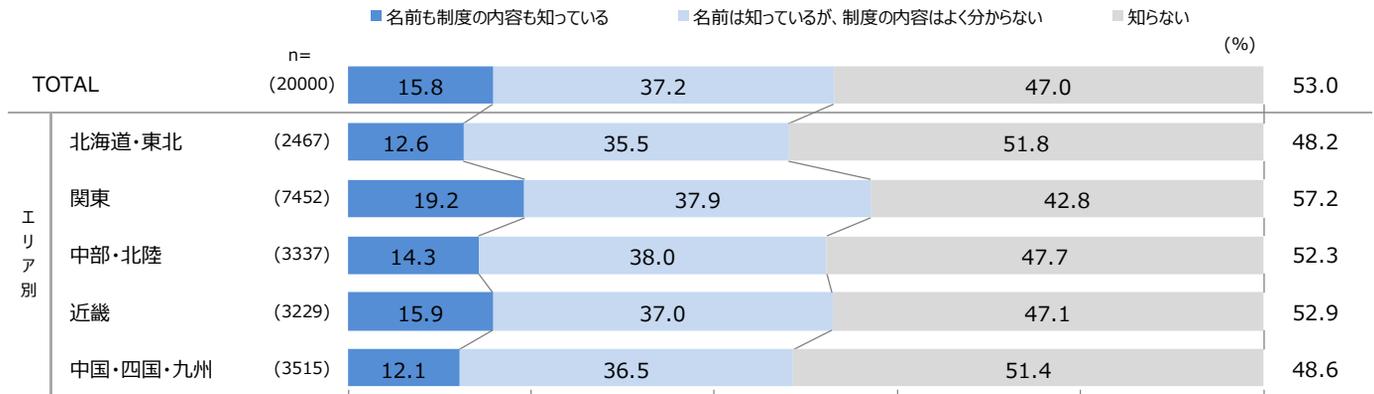
〔図 6-2〕



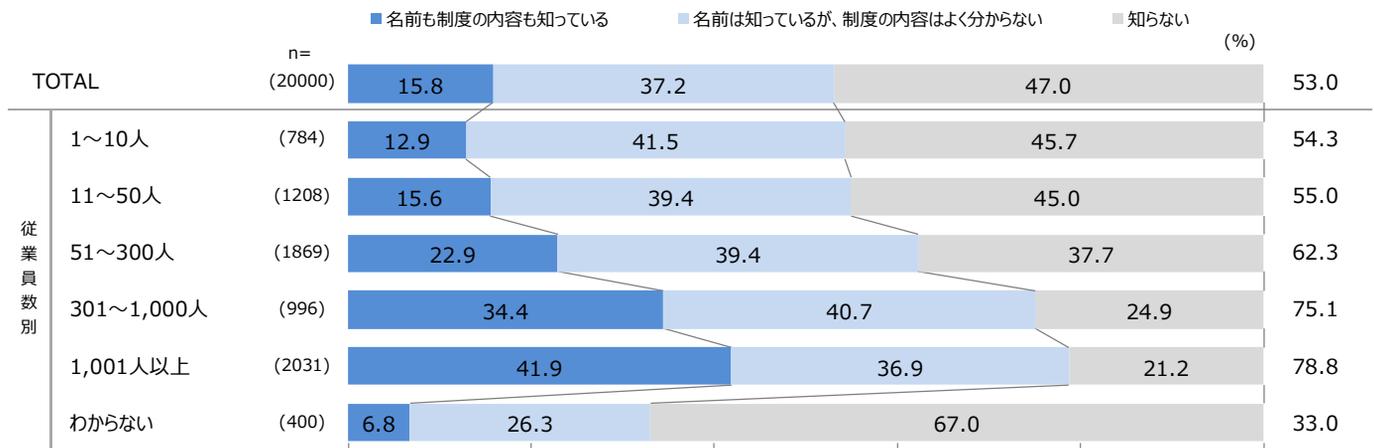
## 6. 確定拠出年金 <企業型>

### (1) 認知状況〔Q15s2:単数回答〕

〔図 6-3〕



〔図 6-4〕



# 6. 確定拠出年金 <企業型>

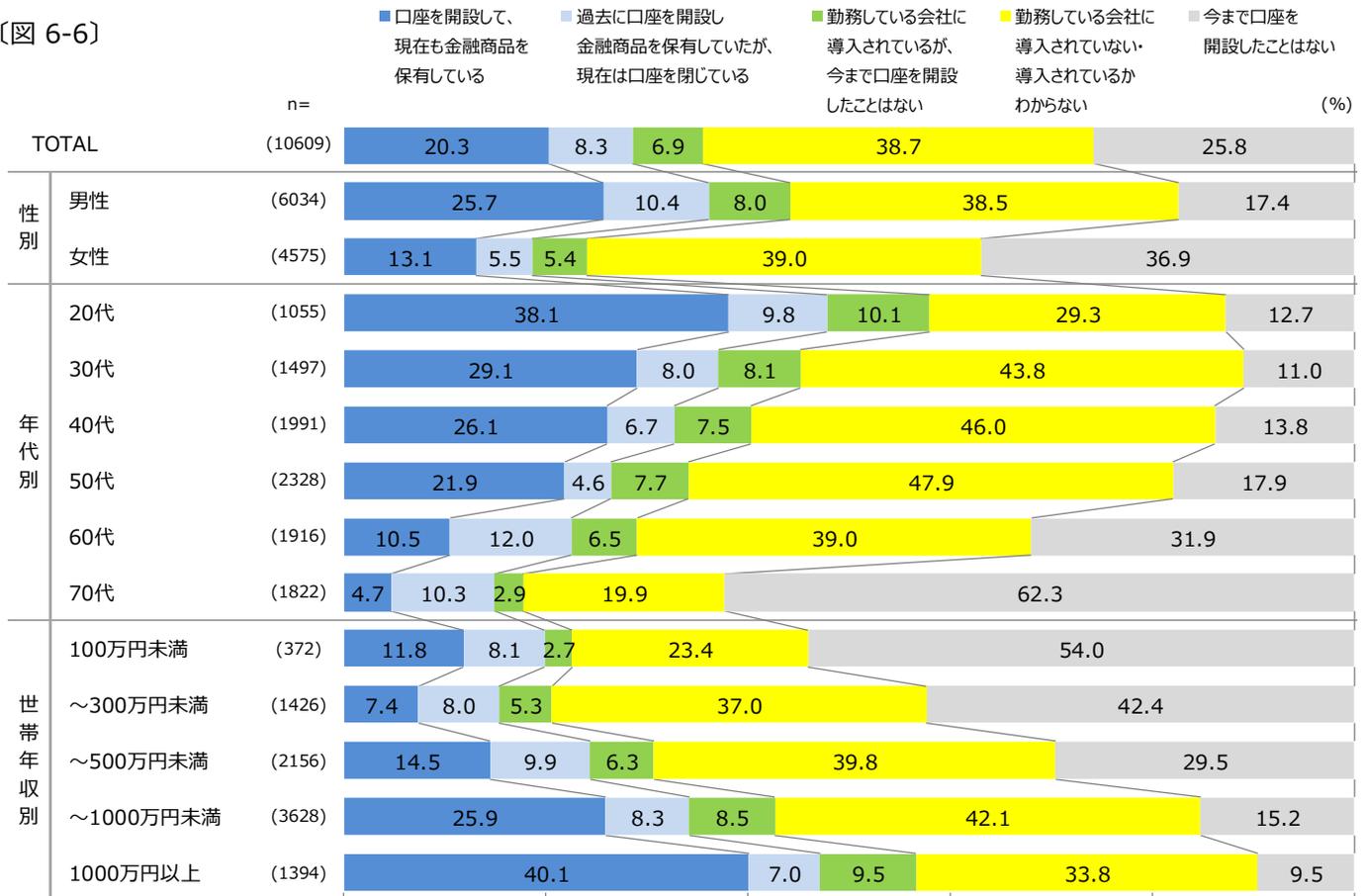
## (2) 利用状況(企業型確定拠出年金の認知者)[Q18:単数回答]

〔図 6-5〕

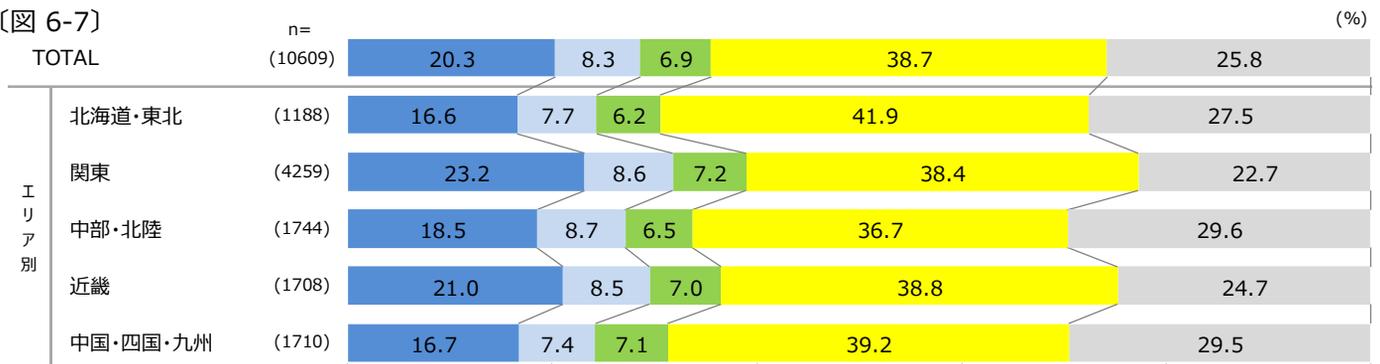


※「勤務している会社に導入されているが、今まで口座を開設したことはない」「勤務している会社に導入されていない・導入されているかわからない」は2024年より聴取

〔図 6-6〕



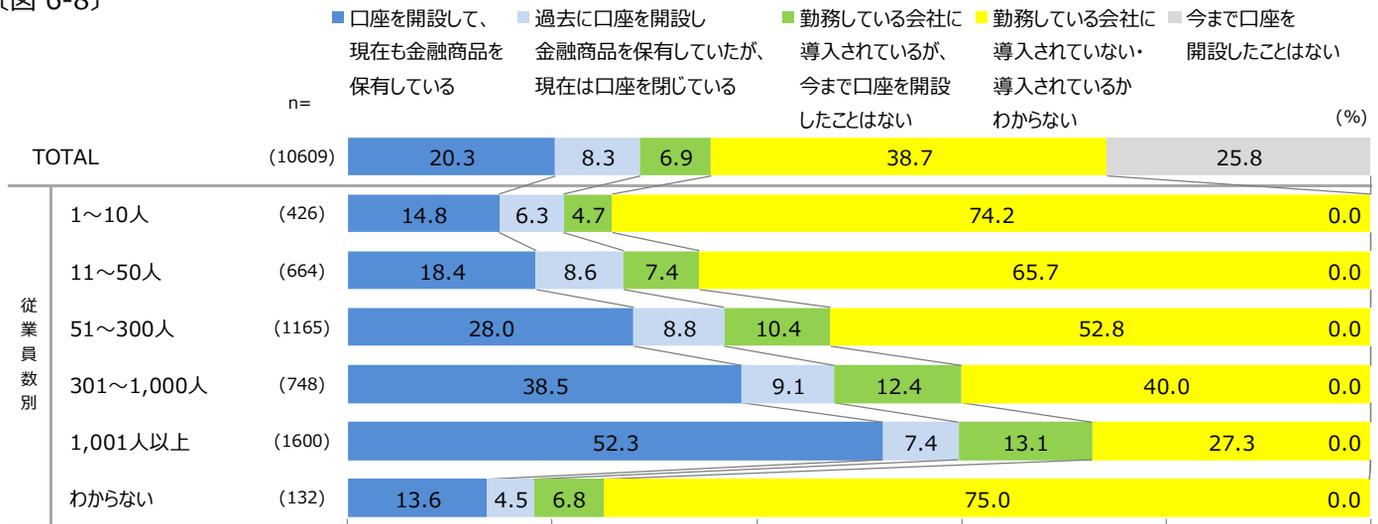
〔図 6-7〕



## 6. 確定拠出年金 <企業型>

### (2) 利用状況(企業型確定拠出年金の認知者)[Q18:単数回答]

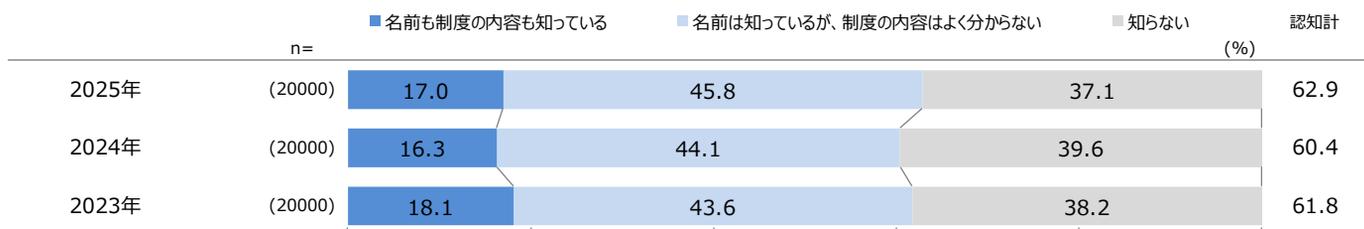
[図 6-8]



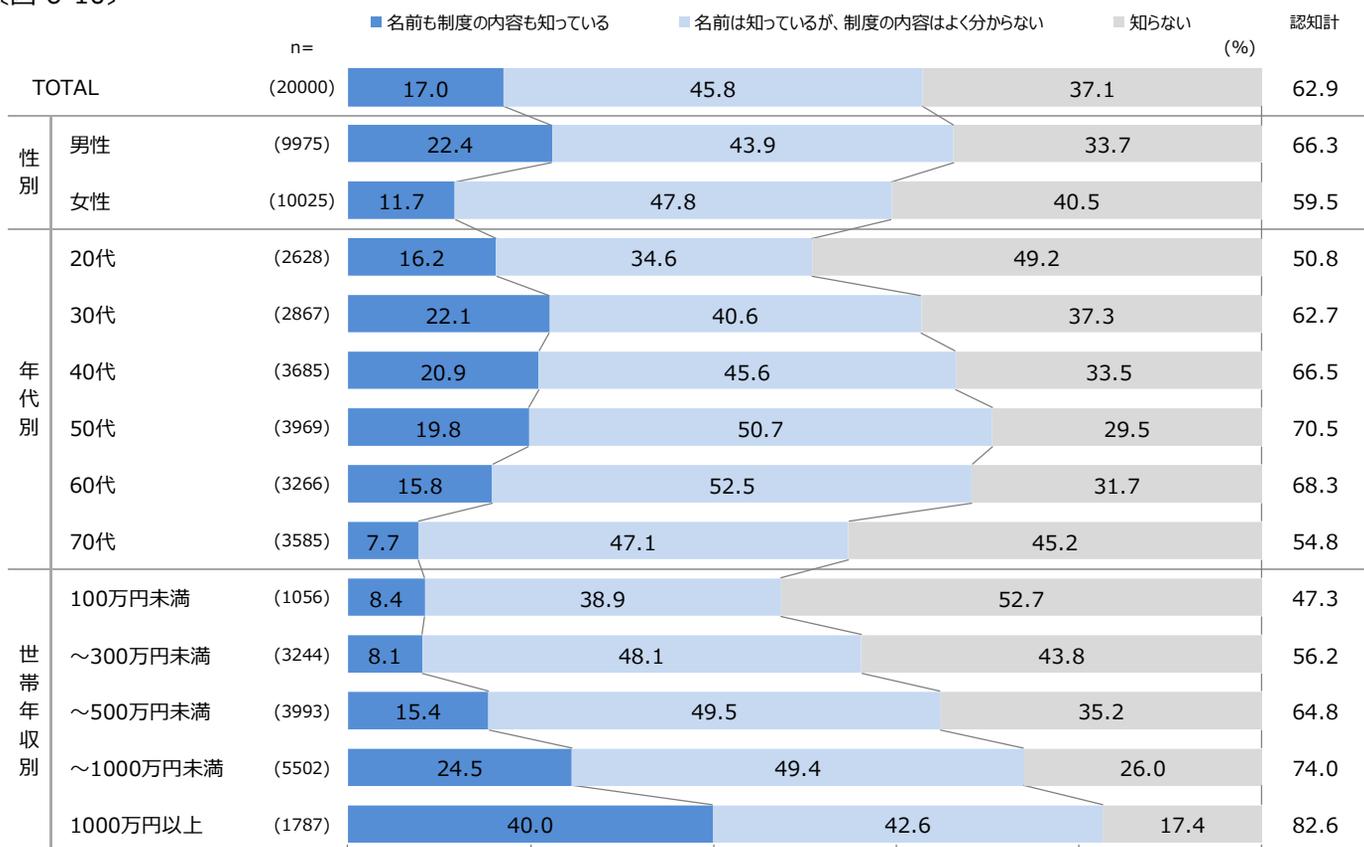
## 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

### (3) 認知状況〔Q15s3:単数回答〕

〔図 6-9〕



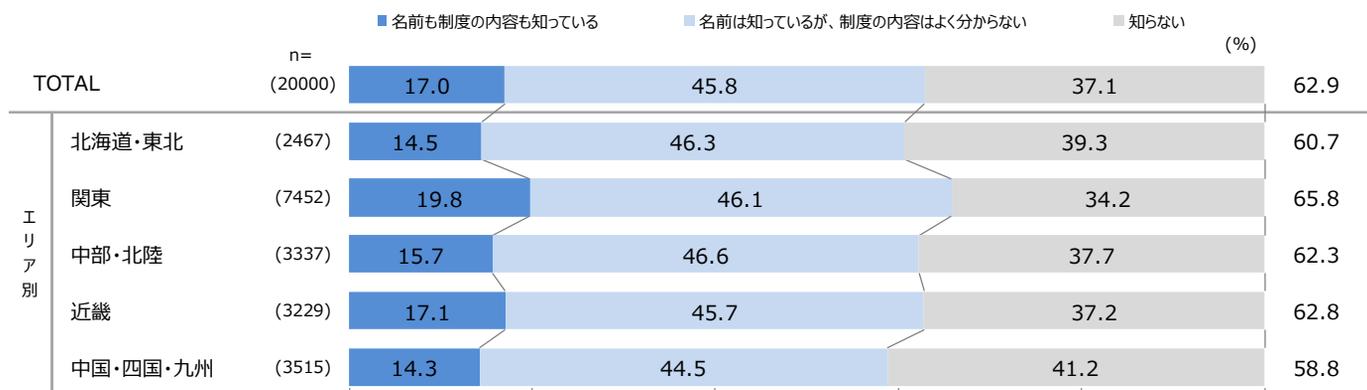
〔図 6-10〕



## 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

### (3) 認知状況〔Q15s3:単数回答〕

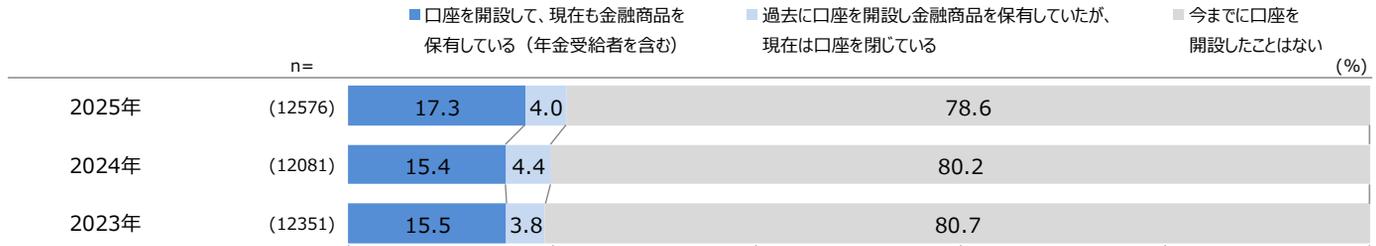
〔図 6-11〕



## 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

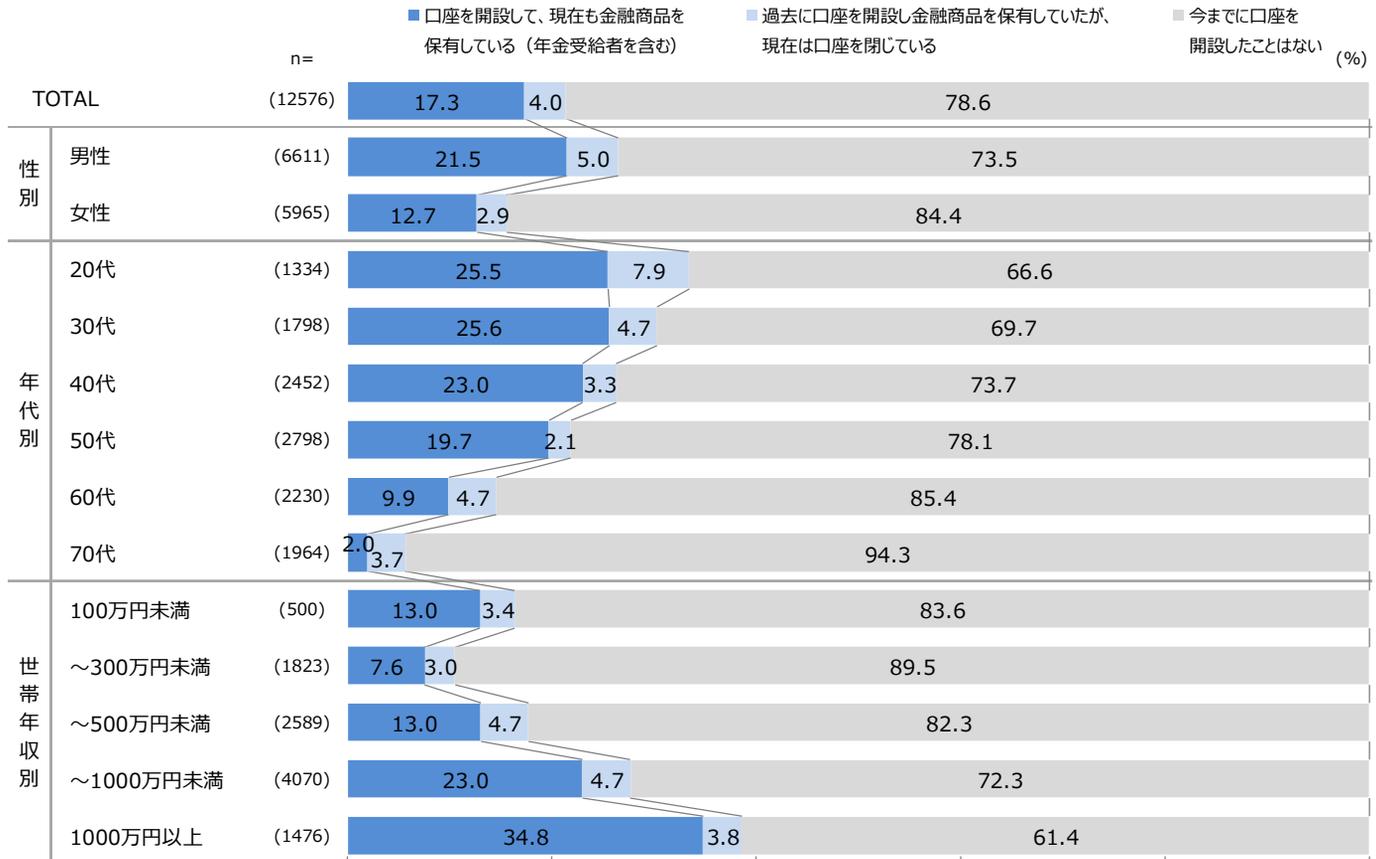
### (4) 利用状況(個人型確定拠出年金の認知者)[Q19:単数回答]

[図 6-12]



※「口座を開設して、現在も金融商品を保有している (年金受給者を含む)」は、2024年までは「口座を開設して、現在も金融商品を保有している (掛金を拠出している)」と「口座を開設して、現在も金融商品を保有している (年金受給 (掛金の拠出なし))」に分けて聴取

[図 6-13]



# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (5) 保有金融商品(65歳未満で個人型確定拠出年金での商品保有者) 〔Q20s3:複数回答〕

〔図 6-14〕

	n=	定期預金	保険商品	投資 信託計 (*)	外国株式 に投資する 投資信託	国内株式 に投資する 投資信託	株式、債券 など、いくつ かの資産に 分散して 投資する 投資信託 (バランス型)	国内債券に 投資する 投資信託	外国債券 に投資する 投資信託	国内不動 産投信 (Jリート) に投資する 投資信託	外国の 不動産投 信 に投資する 投資信託	その他	わからない・ 答えたくない	(%)
2025年(65歳未満)	(2101)	9.6	3.4	77.5	40.2	36.7	15.9	13.0	11.1	6.9	5.0	0.4	17.2	
2024年(65歳未満)	(1722)	17.4	5.8	66.6	35.8	24.2	13.8	13.4	14.2	5.5	-	2.6	20.3	
2023年(65歳未満)	(1809)	17.8	5.9	70.4	39.6	24.9	16.5	13.7	16.3	6.2	-	2.3	16.1	
2022年(65歳未満)	(1547)	20.2	6.9	71.5	40.5	27.0	16.7	15.1	15.6	6.1	-	2.7	13.6	
2021年(60歳未満)	(1394)	23.5	4.7	73.2	46.8	30.5	13.4	18.0	19.9	9.0	-	2.7	11.7	
2020年(60歳未満)	(1101)	29.8	7.1	67.8	36.9	31.6	12.1	22.0	20.4	8.2	-	1.9	11.3	
2019年(60歳未満)	(897)	34.3	9.0	60.4	30.3	33.3	13.3	23.7	17.8	9.4	-	2.3	13.4	
2018年(60歳未満)	(615)	48.4	14.2	45.2	25.9	27.2	10.7	19.5	15.1	5.9	-	1.3	7.3	

※2025年は、調査票の設計変更があり、時系列比較は参考値

※選択肢「外国の不動産投信に投資する投資信託」は2025年より聴取

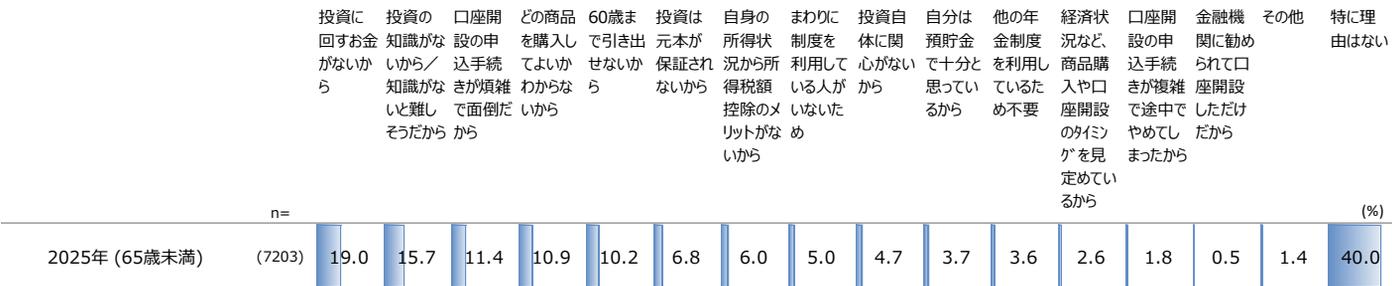
〔図 6-15〕

	n=	定期預金	保険商品	投資 信託計 (*)	外国株式 に投資する 投資信託	国内株式 に投資する 投資信託	株式、債券 など、いくつ かの資産に 分散して 投資する 投資信託 (バランス型)	国内債券に 投資する 投資信託	外国債券 に投資する 投資信託	国内不動 産投信 (Jリート) に投資する 投資信託	外国の 不動産投 信 に投資する 投資信託	その他	わからない・ 答えたくない	(%)
TOTAL	(2101)	9.6	3.4	77.5	40.2	36.7	15.9	13.0	11.1	6.9	5.0	0.4	17.2	
性別														
男性	(1371)	9.5	3.3	80.7	43.3	38.9	15.0	13.7	11.8	7.8	5.5	0.3	14.5	
女性	(730)	9.9	3.6	71.4	34.5	32.5	17.7	11.6	9.9	5.2	4.1	0.7	22.3	
年代別														
20代	(340)	8.2	3.2	78.5	27.4	38.2	12.6	17.6	10.0	9.4	5.0	0.0	17.6	
30代	(461)	6.5	2.6	81.3	40.3	40.3	11.7	12.8	9.3	3.3	3.7	0.0	14.8	
40代	(565)	8.0	4.2	78.1	46.7	36.1	15.6	11.9	13.1	8.7	5.5	0.4	17.5	
50代	(552)	13.2	2.5	73.6	40.9	33.3	18.5	12.3	11.2	7.1	6.0	1.3	18.7	
60代	(183)	14.2	5.5	76.0	41.5	36.6	26.2	10.4	11.5	5.5	3.8	0.0	17.5	
世帯 年収別														
100万円未満	(63)	12.7	0.0	74.6	28.6	38.1	12.7	4.8	7.9	11.1	4.8	0.0	17.5	
~300万円未満	(130)	7.7	4.6	77.7	38.5	36.9	14.6	10.8	10.8	6.2	6.2	1.5	18.5	
~500万円未満	(323)	10.2	3.4	78.6	38.4	34.1	13.9	11.8	9.0	3.1	4.0	0.3	14.2	
~1000万円未満	(909)	9.1	3.4	78.0	40.9	36.9	14.6	14.1	11.7	6.2	4.3	0.3	16.5	
1000万円以上	(498)	10.8	3.8	80.7	43.4	40.4	21.1	14.7	11.6	11.2	6.8	0.4	14.9	

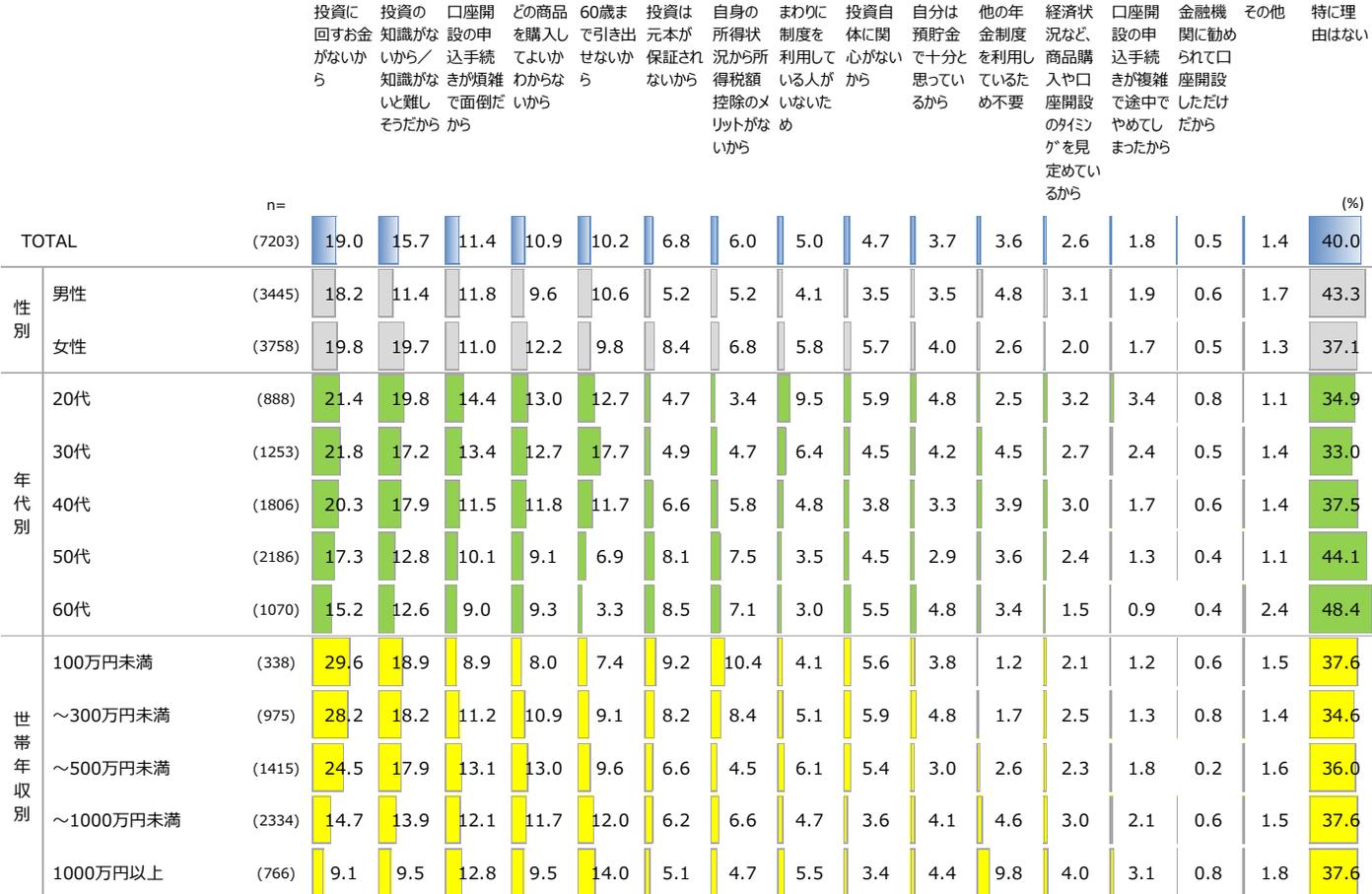
# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (6) 商品未購入または口座未開設の理由 (65歳未満で未開設者)〔Q23s2:複数回答〕

〔図 6-16〕



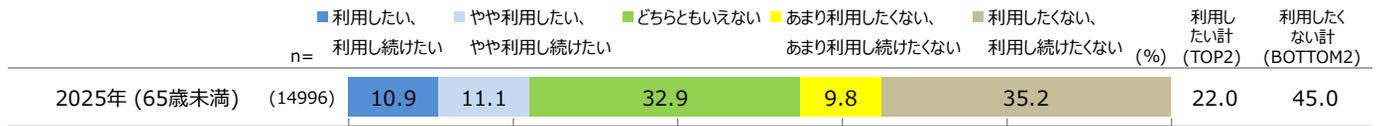
〔図 6-17〕



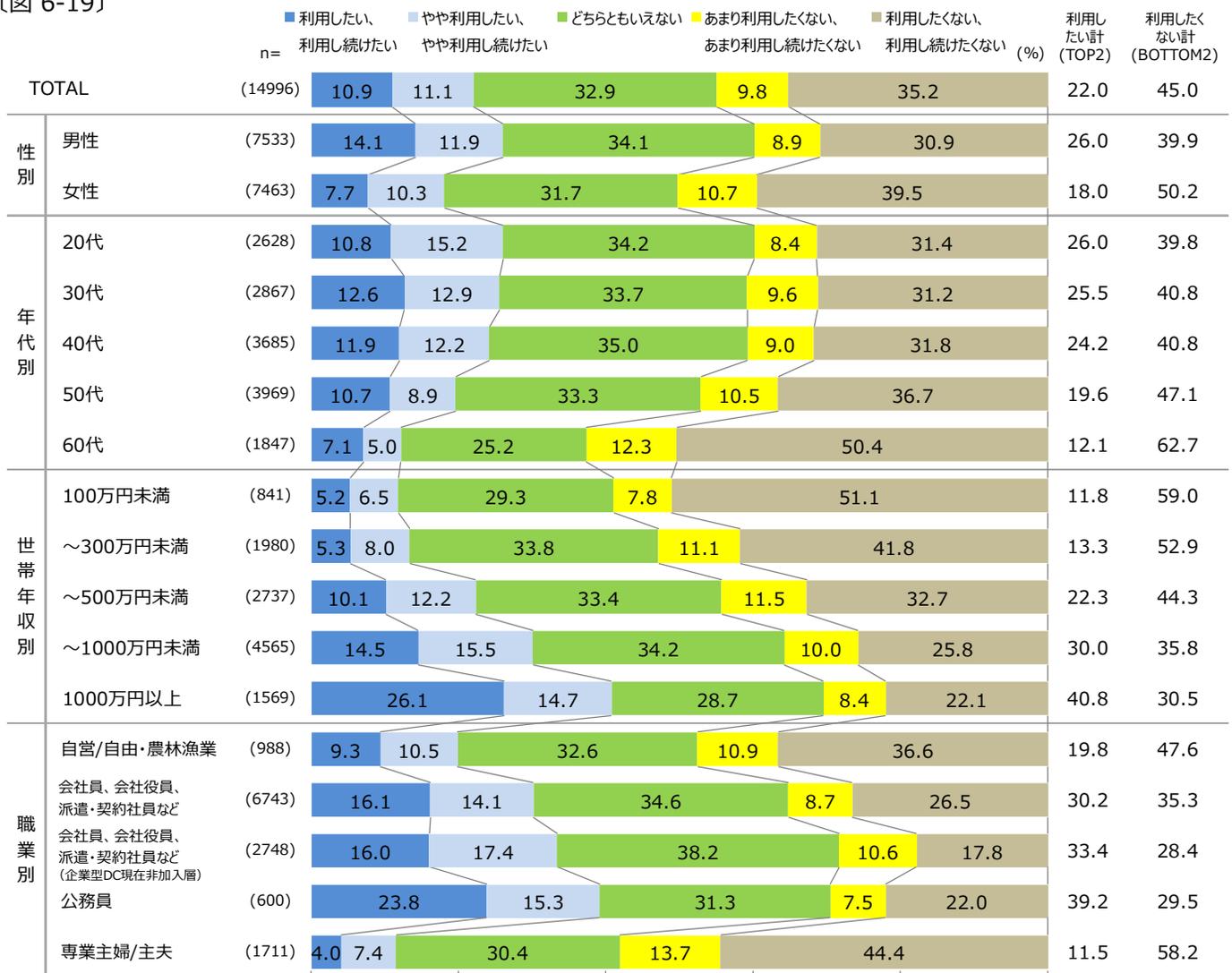
# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (7) 利用意向(65歳未満の者)〔Q24s3:単数回答〕

〔図 6-18〕



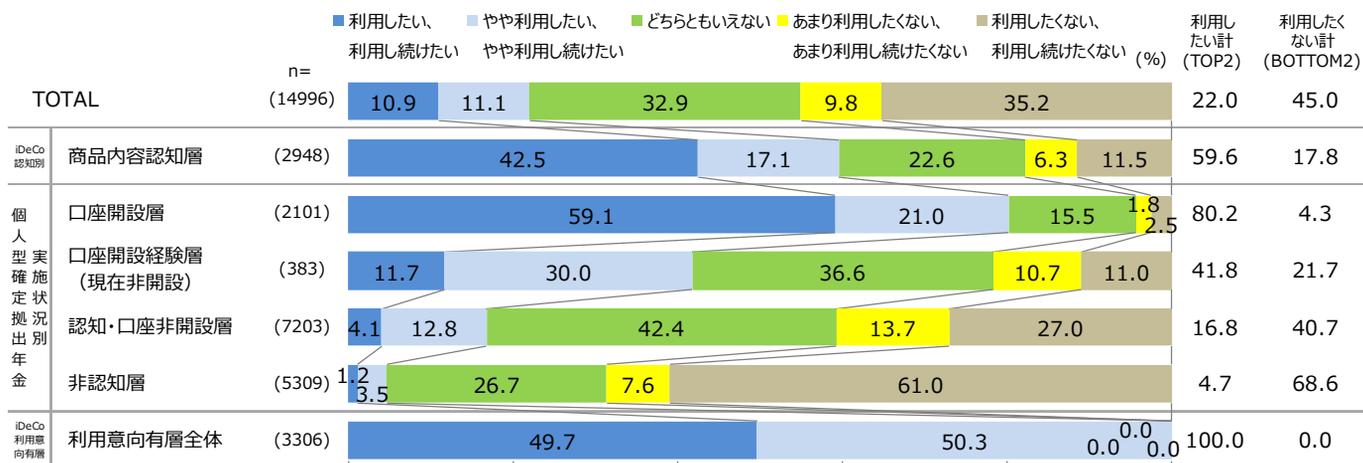
〔図 6-19〕



## 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

### (7) 利用意向(65歳未満の者)〔Q24s3:単数回答〕

〔図 6-20〕



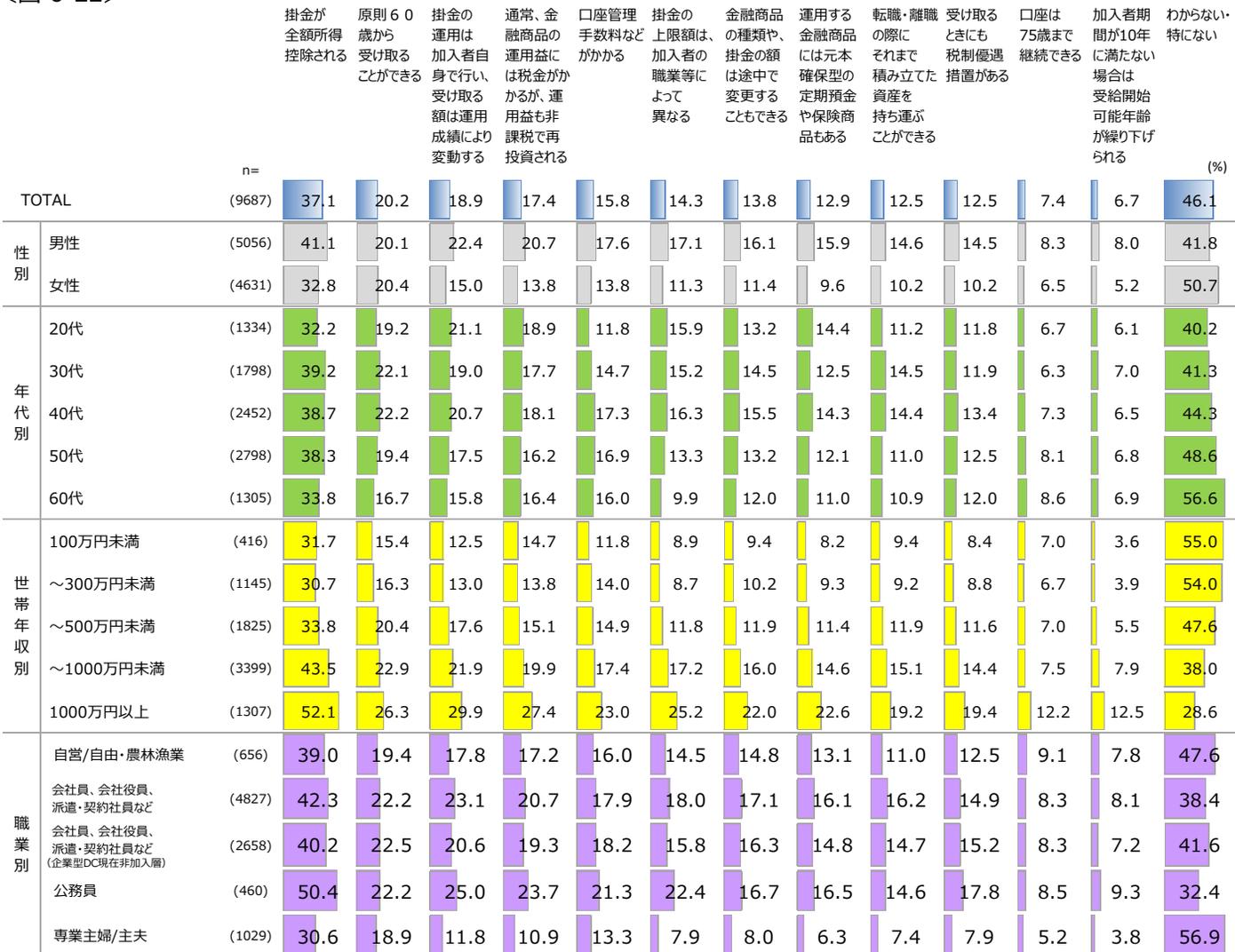
# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (8) 特徴認知(65歳未満で個人型確定拠出年金の認知者) 〔Q27s1:複数回答〕

〔図 6-21〕



〔図 6-22〕



# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (8) 特徴認知(65歳未満で個人型確定拠出年金の認知者) 〔Q27s1:複数回答〕

〔図 6-23〕



# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (9) 魅力点(65歳未満の者)[Q27s2:複数回答]

[図 6-24]

	n=	掛金が 全額所得 控除される	通常、金 融商品の 運用益に は税金が かかるが、 運用益も 非課税で 再投資さ れる	受け取る ときにも 税制優遇 措置があ る	掛金の 運用は 加入者自 身で行い、 受け取る 額は運用 成績によ り変動す る	金融商品 の種類や、 掛金の額 は途中で 変更する こともで きる	運用する 金融商品 には元本 確保型の 定期預金 や保険商 品もある	転職・離職 の際に それまで 積み立て た資産を 持ち運ぶ ことがで きる	原則60 歳から 受け取る ことがで きる	口座は 75歳まで 継続でき る	掛金の 上限額は、 加入者の 職業等に よって 異なる	口座管理 手数料など がかかる	加入者期 間が10年 に満たな い場合は 受給開始 可能年齢 が繰り下 げられる	わからない・ 特にな い	(%)
2025年(65歳未満)	(14996)	23.7	7.8	4.7	4.6	4.2	3.9	3.5	3.3	2.9	2.6	1.8	1.4	60.2	
2024年(65歳未満)	(15044)	23.3	7.0	4.0	4.0	3.6	3.7	3.3	3.3	2.8	2.1	1.4	1.4	62.7	
2023年(65歳未満)	(15183)	27.6	8.3	5.0	4.1	4.7	4.2	3.9	3.9	4.0	2.2	1.8	1.6	59.4	

[図 6-25]

	n=	掛金が 全額所得 控除される	通常、金 融商品の 運用益に は税金が かかるが、 運用益も 非課税で 再投資さ れる	受け取る ときにも 税制優遇 措置があ る	掛金の 運用は 加入者自 身で行い、 受け取る 額は運用 成績によ り変動す る	金融商品 の種類や、 掛金の額 は途中で 変更する こともで きる	運用する 金融商品 には元本 確保型の 定期預金 や保険商 品もある	転職・離職 の際に それまで 積み立て た資産を 持ち運ぶ ことがで きる	原則60 歳から 受け取る ことがで きる	口座は 75歳まで 継続でき る	掛金の 上限額は、 加入者の 職業等に よって 異なる	口座管理 手数料など がかかる	加入者期 間が10年 に満たな い場合は 受給開始 可能年齢 が繰り下 げられる	わからない・ 特にな い	(%)
TOTAL	(14996)	23.7	7.8	4.7	4.6	4.2	3.9	3.5	3.3	2.9	2.6	1.8	1.4	60.2	
性別															
男性	(7533)	26.7	9.0	5.0	6.1	4.4	4.3	4.0	3.3	2.9	3.5	2.0	1.6	55.7	
女性	(7463)	20.7	6.5	4.4	3.1	4.0	3.4	3.0	3.4	2.9	1.8	1.7	1.2	64.8	
年代別															
20代	(2628)	18.6	8.2	5.3	7.4	5.7	5.1	4.6	4.6	3.5	4.0	2.2	2.4	58.8	
30代	(2867)	26.1	8.2	4.6	5.3	5.1	3.7	5.0	3.2	2.7	3.5	2.3	1.5	56.9	
40代	(3685)	26.4	8.4	5.2	5.0	4.5	4.6	4.0	3.7	2.7	2.7	2.1	1.2	57.2	
50代	(3969)	24.8	7.0	4.3	3.0	3.0	3.3	2.2	3.0	2.8	1.6	1.3	1.0	62.1	
60代	(1847)	19.7	6.9	4.0	1.9	2.4	2.4	1.4	1.9	3.2	1.2	1.1	0.8	69.4	
世帯年収別															
100万円未満	(841)	15.6	5.7	3.8	2.4	2.7	2.3	2.7	1.8	3.3	1.9	1.3	1.1	71.5	
~300万円未満	(1980)	19.7	6.2	3.6	3.2	4.0	3.6	3.2	2.5	3.2	2.1	1.7	1.1	65.7	
~500万円未満	(2737)	24.4	8.7	5.2	5.2	4.3	4.1	3.7	4.0	3.4	2.4	2.4	1.7	58.1	
~1000万円未満	(4565)	30.7	9.5	5.8	6.0	5.1	4.6	4.4	4.3	3.0	3.4	2.3	1.5	48.9	
1000万円以上	(1569)	38.8	12.9	7.1	8.9	6.4	6.5	5.5	4.8	3.8	5.7	2.5	2.4	39.3	
職業別															
自営/自由・農林漁業	(988)	25.0	6.9	3.5	3.4	4.8	3.8	2.7	3.0	3.4	2.7	1.8	1.6	61.3	
会社員、会社役員、 派遣・契約社員など	(6743)	28.9	9.6	5.5	6.8	4.7	4.4	4.4	3.7	2.7	3.6	2.2	1.5	51.2	
会社員、会社役員、 派遣・契約社員など (企業型DC現在非加入層)	(2748)	34.3	11.1	6.9	6.1	5.2	4.4	4.4	4.0	3.0	2.6	2.1	1.3	45.3	
公務員	(600)	37.7	10.7	6.7	6.3	4.3	3.5	2.5	4.0	2.8	3.0	1.7	1.2	41.2	
専業主婦/主夫	(1711)	17.6	4.9	4.1	1.9	2.6	3.1	1.9	3.2	3.1	1.1	1.3	1.1	70.2	

# 6. 確定拠出年金 <個人型(iDeco)>

## (9) 魅力点(65歳未満の者)[Q27s2:複数回答]

[図 6-26]



# 7. 投資意識と実態

## 【サマリー】

### ①お金の話についてふれた機会（Q9①）

・「動画サイト(YouTube等)の動画配信」(15.2%)が最も高く、年々微増傾向。「勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育」(10.4%)、「金融機関が主催のセミナー」(7.0%)、「専門家(ファイナンシャルプランナー等)への個別相談」(5.8%)が続く。「お金の話にふれたことがある計」(35.1%)は、年々微増傾向。(図7-1)

・若年層ほど「お金の話にふれたことがある計」が高い傾向にあり、20～30代では4割を超える。(図7-2)

・年代別では、20代は「高校や大学での講義」(13.4%)、30～40代は「動画サイト(YouTube等)の動画配信」が2割程度、70代は「金融機関主催のセミナー」(10.3%)が他の年代より高い。(図7-2)

・現在保有層では、「動画サイト(YouTube等)の動画配信」(31.5%)と全体より16.3ポイント高い。「勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育」(19.2%)、「金融機関が主催のセミナー」(16.1%)も全体より10ポイント程度高く、お金の話にふれた機会が多い傾向。(図7-3)

### ②知りたいテーマ（Q9②）

・「NISA」(27%)が最も高く、「今後の経済動向」(20%)が2割台。次いで「投資する商品の選び方・資産配分の方法」(14.5%)、「iDeCo(個人型拠出年金/iDeCo+)」(12.2%)、「商品売買のタイミング」(11.9%)、「定年後のライフプラン」(11.7%)が続く。(図7-6)

・20～40代では、「NISA」が3割台、「iDeCo(個人型拠出年金/iDeCo+)」が2割弱と、他の年代に比べて高い。(図7-7)

### ③投資に関する行動や考え方（Q28）

・金融商品保有者において、「短期的な値動きに惑わされず、長期的な視点で投資している」(51.6%)であてはまる計が最も高く、「株や投資信託の値動きをよくチェックする」は49.0%。3位以下の3項目、「つみたて投資枠の年間投資枠(120万円)のほぼ上限まで利用している」、「成長投資枠の年間投資枠(240万円)のほぼ上限まで利用している」、「経済状況や世界情勢から、投資の資産配分を見直している」は、あてはまる計がそれぞれ4割程度。(図7-10)

・年代別にみると、「短期的な値動きに惑わされず、長期的な視点で投資している」、「経済状況や世界情勢から、投資の資産配分を見直している」は若年層ほど高く、客観的なデータに基づいて判断している様子。「新NISA対象商品から適切な商品を選ぶことができる」、「診断サービスやロボアド投資(AI投資)を積極的に利用している」、「成長投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる」、「つみたて投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる」も若年層ほど高い。若年層は自分で調べる能力が高い一方で、情報が多すぎることによる不都合が見て取れる。(図7-11)

### ④投資期間への考え方（Q29）

・金融商品保有者において、「長期投資派(10年以上):じっくり時間をかけて運用する」(52.2%)が最も高く、「中期投資派(3年から5年程度):数年かけて資産を成長させる」(35.2%)と、中長期的なスパンで投資を考えている人が多い。「短期投資派(1年未満):こまめに売買して利益を獲得する」は1割程度。(図7-48)

・年代別では、30～50代で「長期投資派(10年以上):じっくり時間をかけて運用する」が55%を超えており、特に長期スパンで投資を考えている人が多い傾向。(図7-49)

# 7. 投資意識と実態

## (1) お金のお話にふれた機会〔Q9\_1:複数回答〕

〔図 7-1〕

	n=	動画サイト (YouTube 等)の動画 配信	勤め先の企業 での確定拠出 年金の導入/ 継続/教育	金融機関が 主催の セミナー	専門家(ファイ ナンシャルプラン ナー等)への 個別相談	勤め先の企業 が行った 資産運用 セミナー	高校や大学 での講義	金融機関 以外が主催の セミナー	J-FLEC主催 のセミナー、 個別相談など	その他	あてはまる ものはない/ お金の話に ふれたことが ない	お金の話に ふれたことが ある計 (%)
2025年	(20000)	15.2	10.4	7.0	5.8	5.6	5.0	4.5	1.0	1.1	64.9	35.1
2024年	(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	-	0.7	65.5	34.5
2023年	(20000)	13.7	13.5	6.7	6.1	5.9	5.0	3.9	-	0.7	65.8	34.2

※選択肢「J-FLEC主催のセミナー、個別相談など」は、2025年より聴取

〔図 7-2〕

	n=	動画サイト (YouTube 等)の動画 配信	勤め先の企業 での確定拠出 年金の導入/ 継続/教育	金融機関が 主催の セミナー	専門家(ファイ ナンシャルプラン ナー等)への 個別相談	勤め先の企業 が行った 資産運用 セミナー	高校や大学 での講義	金融機関 以外が主催の セミナー	J-FLEC主催 のセミナー、 個別相談など	その他	あてはまる ものはない/ お金の話に ふれたことが ない	お金の話に ふれたことが ある計 (%)
TOTAL	(20000)	15.2	10.4	7.0	5.8	5.6	5.0	4.5	1.0	1.1	64.9	35.1
性別	男性 (9975)	18.8	14.7	8.3	6.2	8.0	6.1	5.0	1.3	1.0	57.8	42.2
	女性 (10025)	11.6	6.1	5.6	5.3	3.2	3.8	4.0	0.6	1.1	71.9	28.1
年代別	20代 (2628)	17.0	11.9	6.1	7.2	8.4	13.4	5.5	2.3	0.6	57.9	42.1
	30代 (2867)	21.7	12.2	4.9	7.5	7.3	7.0	4.1	1.5	0.5	58.8	41.2
	40代 (3685)	19.5	12.3	6.1	6.8	6.6	4.4	4.8	1.1	1.2	60.5	39.5
	50代 (3969)	15.2	10.6	6.3	4.9	4.6	2.8	4.5	0.6	1.1	66.6	33.4
	60代 (3266)	11.8	10.3	7.7	5.1	4.4	2.6	4.3	0.6	1.4	69.0	31.0
	70代 (3585)	7.5	5.8	10.3	3.8	3.4	2.1	3.8	0.3	1.4	73.8	26.2
世帯年収別	100万円未満 (1056)	12.7	3.5	3.3	2.9	2.2	5.4	3.5	0.5	1.0	74.3	25.7
	~300万円未満 (3244)	12.6	5.6	6.1	3.4	3.0	3.6	2.7	0.4	1.1	72.5	27.5
	~500万円未満 (3993)	15.2	9.6	7.5	5.8	5.0	4.6	4.5	0.6	1.2	64.0	36.0
	~1000万円未満 (5502)	19.9	15.4	8.6	8.1	8.7	6.1	6.1	1.5	1.1	54.2	45.8
	1000万円以上 (1787)	24.3	23.7	13.7	12.4	13.8	8.7	9.5	3.0	1.7	42.1	57.9

〔図 7-3〕

	n=	動画サイト (YouTube 等)の動画 配信	勤め先の企業 での確定拠出 年金の導入/ 継続/教育	金融機関が 主催の セミナー	専門家(ファイ ナンシャルプラン ナー等)への 個別相談	勤め先の企業 が行った 資産運用 セミナー	高校や大学 での講義	金融機関 以外が主催の セミナー	J-FLEC主催 のセミナー、 個別相談など	その他	あてはまる ものはない/ お金の話に ふれたことが ない	お金の話に ふれたことが ある計 (%)
TOTAL	(20000)	15.2	10.4	7.0	5.8	5.6	5.0	4.5	1.0	1.1	64.9	35.1
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層 (4866)	31.5	19.2	16.1	11.5	11.0	6.3	9.1	2.2	2.0	38.8	61.2
	保有経験層(現在非保有) (1090)	18.2	12.6	15.0	9.1	9.0	6.5	9.6	2.2	2.0	46.6	53.4
保有層・保有経験層	投資以外の金融資産現在保有 (2909)	20.3	15.4	8.3	8.5	8.7	7.1	5.9	1.1	1.1	50.1	49.9
	投資以外の金融資産過去保有 (1105)	11.6	9.7	6.0	4.3	5.2	4.4	3.3	0.5	1.4	66.9	33.1
	投資以外の金融資産現在非保有 (10030)	5.9	4.6	1.4	2.0	1.7	3.5	1.4	0.3	0.5	83.6	16.4

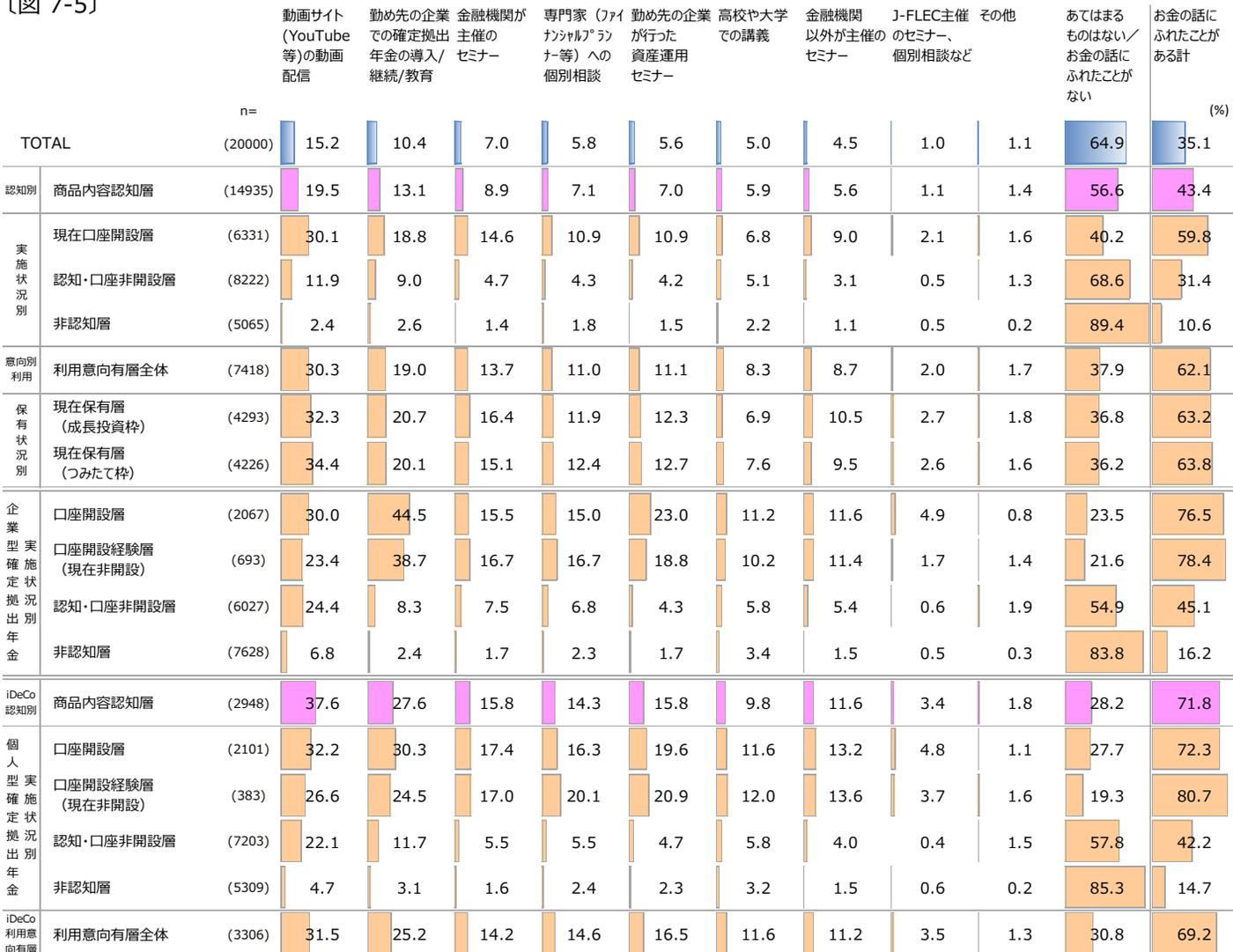
# 7. 投資意識と実態

## (1) お金の話にふれた機会〔Q9\_1:複数回答〕

〔図 7-4〕



〔図 7-5〕



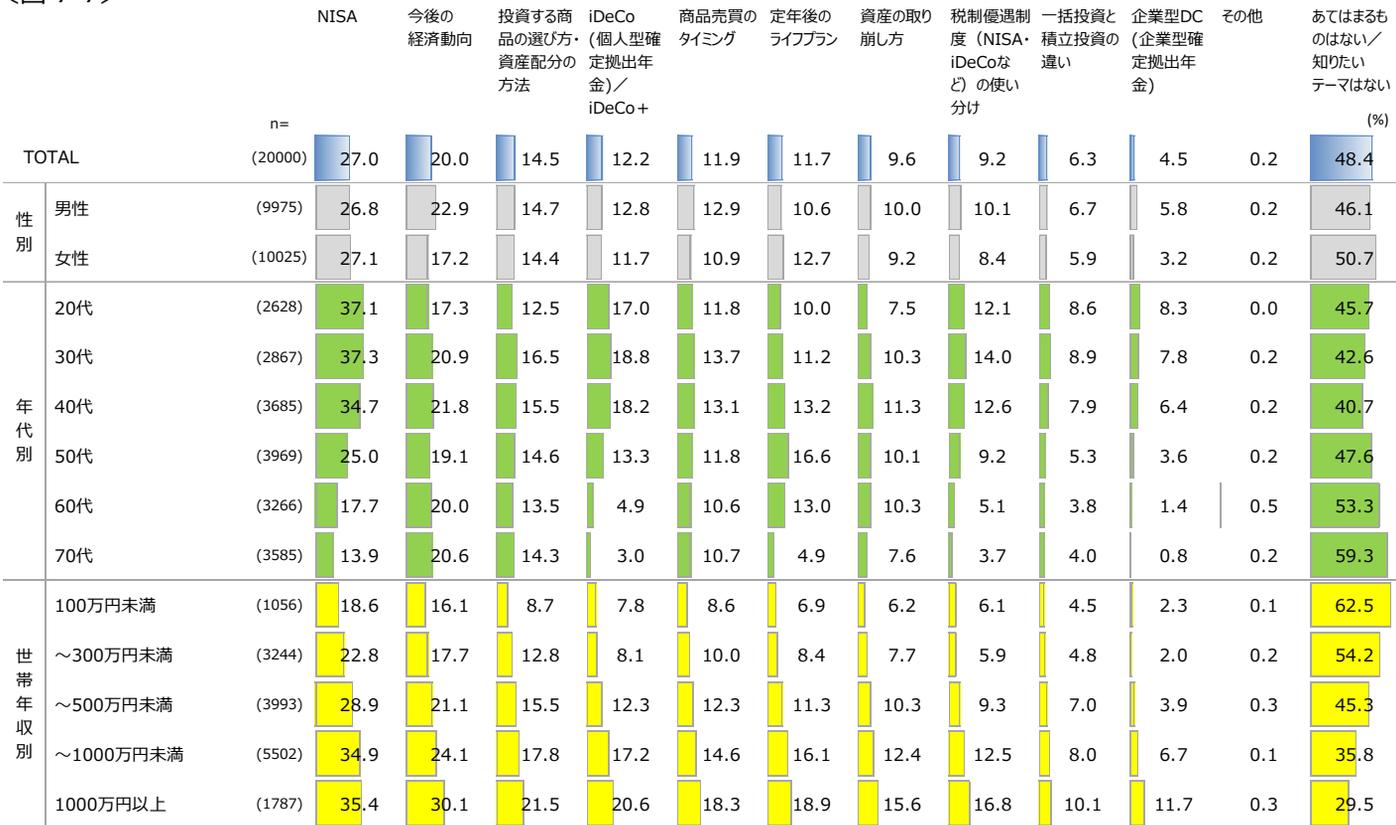
# 7. 投資意識と実態

## (2) 知りたいテーマ〔Q9\_2:複数回答〕

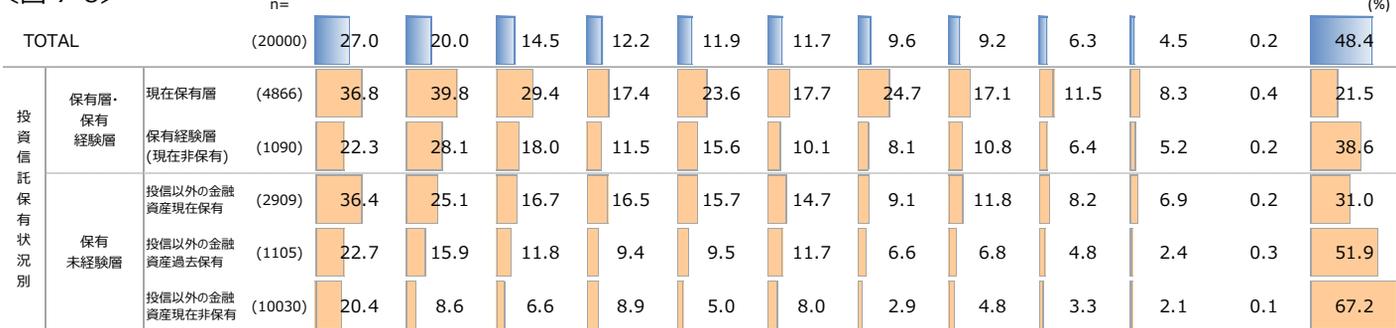
〔図 7-6〕



〔図 7-7〕



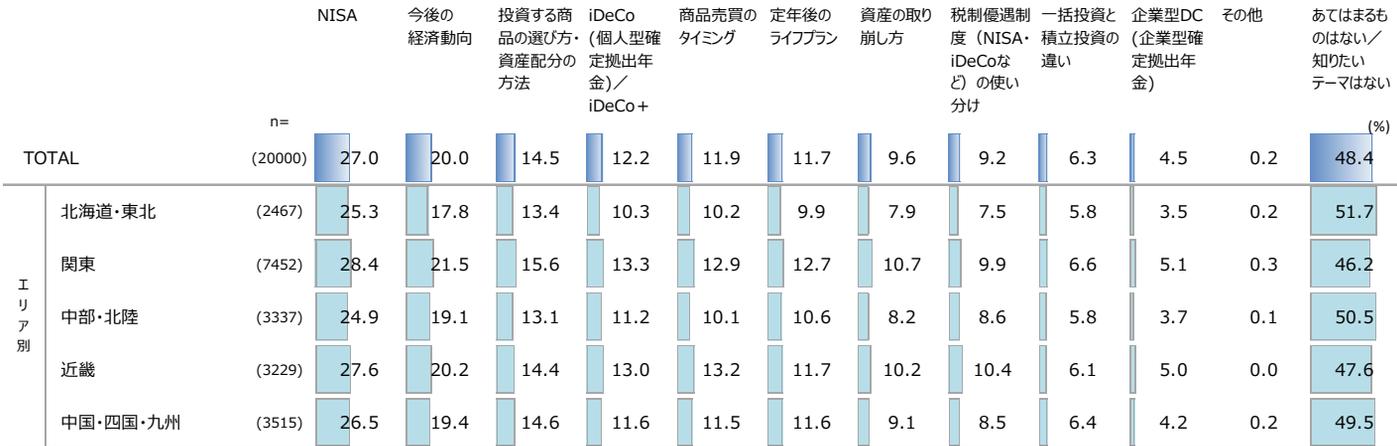
〔図 7-8〕



# 7. 投資意識と実態

## (2) 知りたいテーマ〔Q9\_2:複数回答〕

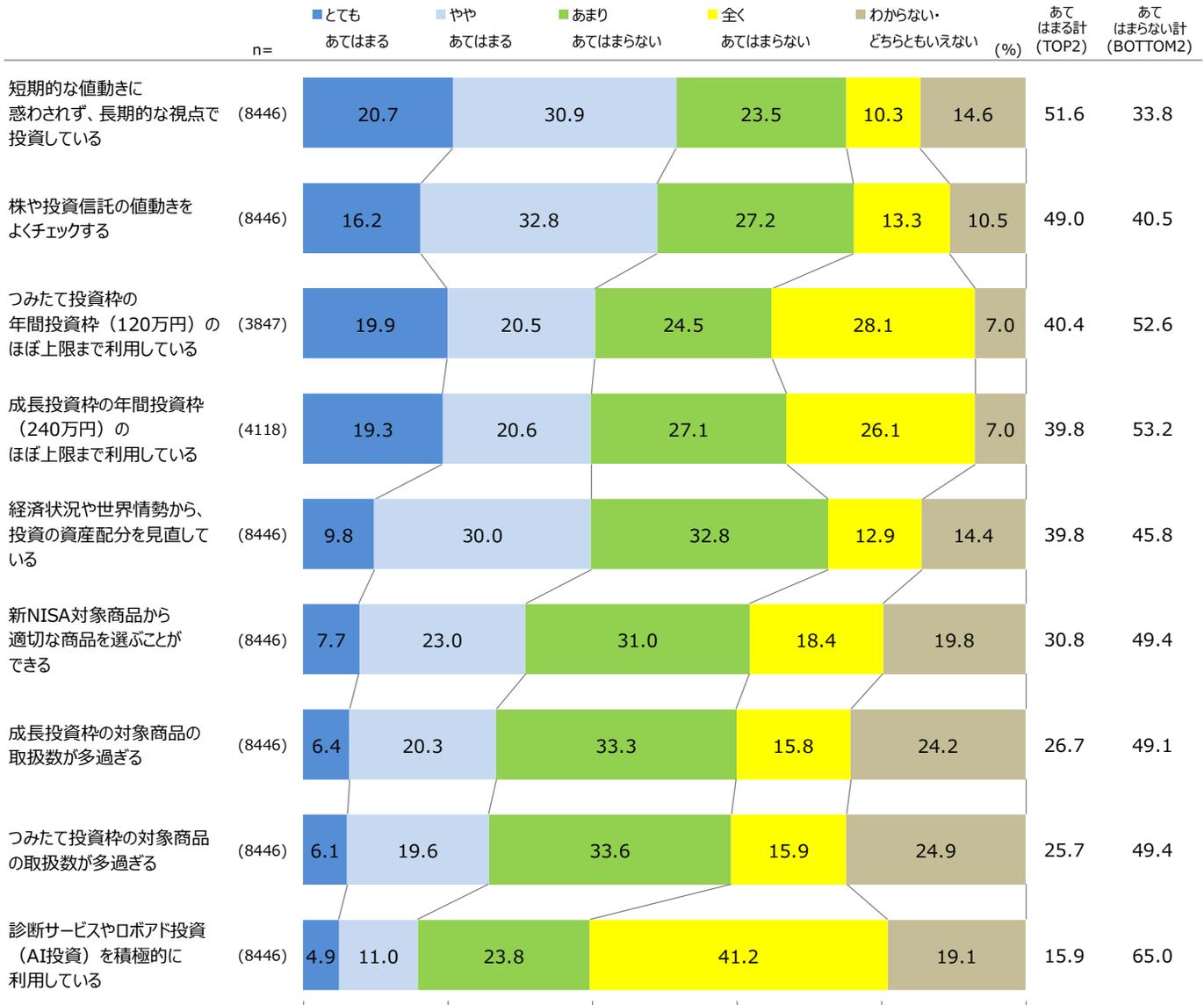
〔図 7-9〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(金融商品保有者または新NISAで成長投資枠・つみたて投資枠での商品保有者)[Q28:単数回答]

[図 7-10]



# 7. 投資意識と実態

## (3) 投資に関する行動や考え方(金融商品保有者または新NISAで成長投資枠・つみたて投資枠での商品保有者)[Q28:単数回答]

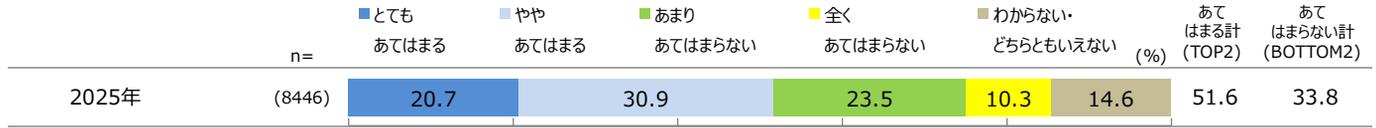
[図 7-11] \*TOP2比較

		n=	短期的な 値動きに 惑わされず、 長期的な 視点で 投資して いる	株や 投資信託の 値動きを よくチェック する	つみたて 投資枠の 年間投資枠 (120万円) のほぼ上限 まで利用して いる	成長投資枠 の年間投資 枠(240万円) のほぼ上限 まで利用して いる	経済状況や 世界情勢 から、投資 の資産配分 を見直して いる	新NISA 対象商品 から適切な 商品を選ぶ ことができる	成長投資枠 の対象商品 の取扱数 が多過ぎる	つみたて投 資枠の対象 商品の取扱 数が多過ぎ る	診断サービ スやロボア ド投資(AI 投資)を積 極的に利 用して いる	(%)
TOTAL		(8446)	51.6	49.0	40.4	39.8	39.8	30.8	26.7	25.7	15.9	
性別	男性	(5143)	51.3	53.8	42.5	42.2	43.1	33.9	26.2	25.0	17.9	
	女性	(3303)	52.1	41.4	37.1	35.4	34.7	25.9	27.5	26.8	12.7	
年代別	20代	(866)	60.2	56.1	44.4	43.2	51.5	47.2	43.5	42.1	36.3	
	30代	(1172)	57.8	52.9	43.3	41.0	46.3	40.6	32.8	33.4	24.7	
	40代	(1593)	54.2	50.4	36.3	37.4	43.8	34.1	29.1	28.8	17.8	
	50代	(1715)	50.3	45.1	40.1	36.8	36.0	27.1	24.0	23.1	12.9	
	60代	(1499)	47.3	46.3	39.2	40.6	35.3	24.1	21.7	20.1	8.9	
	70代	(1601)	45.3	47.5	41.0	42.5	33.2	21.5	18.3	16.1	6.0	
世帯 年収別	100万円未満	(316)	42.7	42.1	40.2	39.2	32.0	20.6	19.6	20.6	11.4	
	～300万円未満	(1092)	45.7	44.0	33.0	30.6	32.1	22.0	21.7	21.0	9.8	
	～500万円未満	(1730)	51.4	45.6	33.3	36.2	36.8	28.6	24.0	23.2	12.7	
	～1000万円未満	(2977)	54.3	52.4	41.5	40.7	43.2	33.7	29.8	29.0	18.8	
	1000万円以上	(1259)	62.4	60.7	54.9	53.4	53.5	45.0	35.3	33.4	24.9	
保有 状況別 投資 信託	保有層・ 保有 経験層	現在保有層 (4866)	63.4	55.7	40.9	40.1	45.4	37.9	29.1	27.7	17.4	
	保有 経験層	保有経験層 (671)	44.1	53.5	50.0	41.5	42.8	24.3	27.7	24.6	15.4	
	保有 未経験層	投資以外の金融 資産現在保有 (2909)	33.7	36.7	35.6	38.2	29.8	20.3	22.4	22.6	13.3	
5 エリ ア別	北海道・東北	(869)	51.0	45.5	38.1	39.7	39.5	31.2	24.4	24.4	16.2	
	関東	(3442)	53.9	51.1	42.8	39.7	41.0	32.2	27.3	26.2	16.7	
	中部・北陸	(1419)	47.2	47.4	37.0	40.5	38.7	28.0	25.4	24.3	13.0	
	近畿	(1410)	51.1	49.5	42.9	40.0	40.7	32.7	26.5	25.2	17.5	
	中国・四国・九州	(1306)	51.4	46.9	36.6	39.5	37.4	27.6	28.3	27.3	14.8	

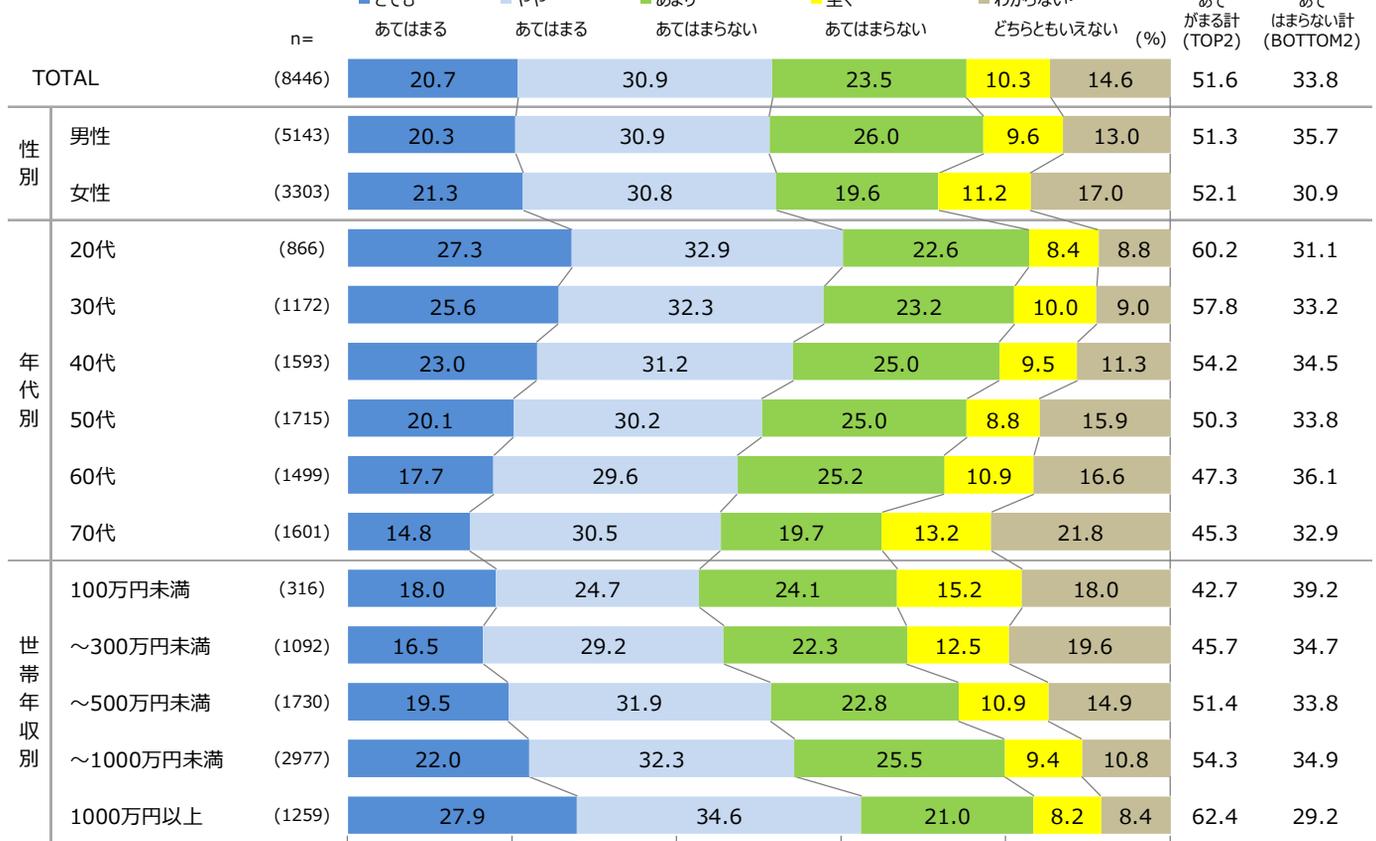
# 7. 投資意識と実態

## (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「1.短期的な値動きに惑わされず、長期的な視点で投資している」

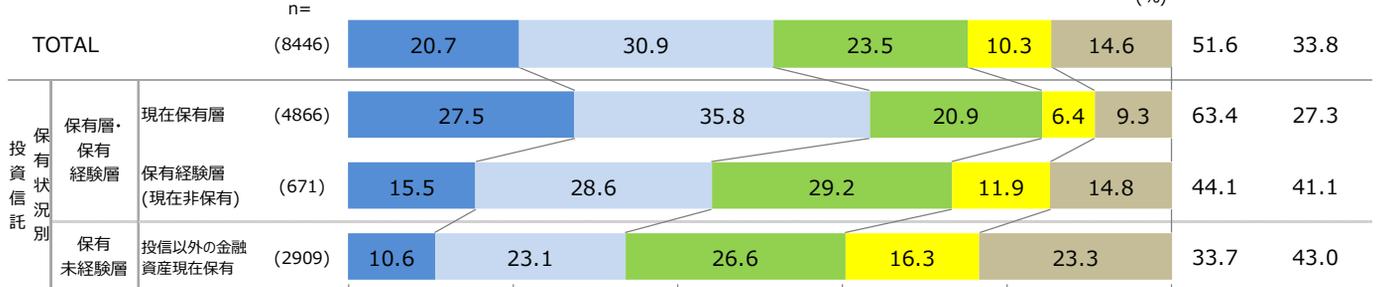
〔図 7-12〕



〔図 7-13〕



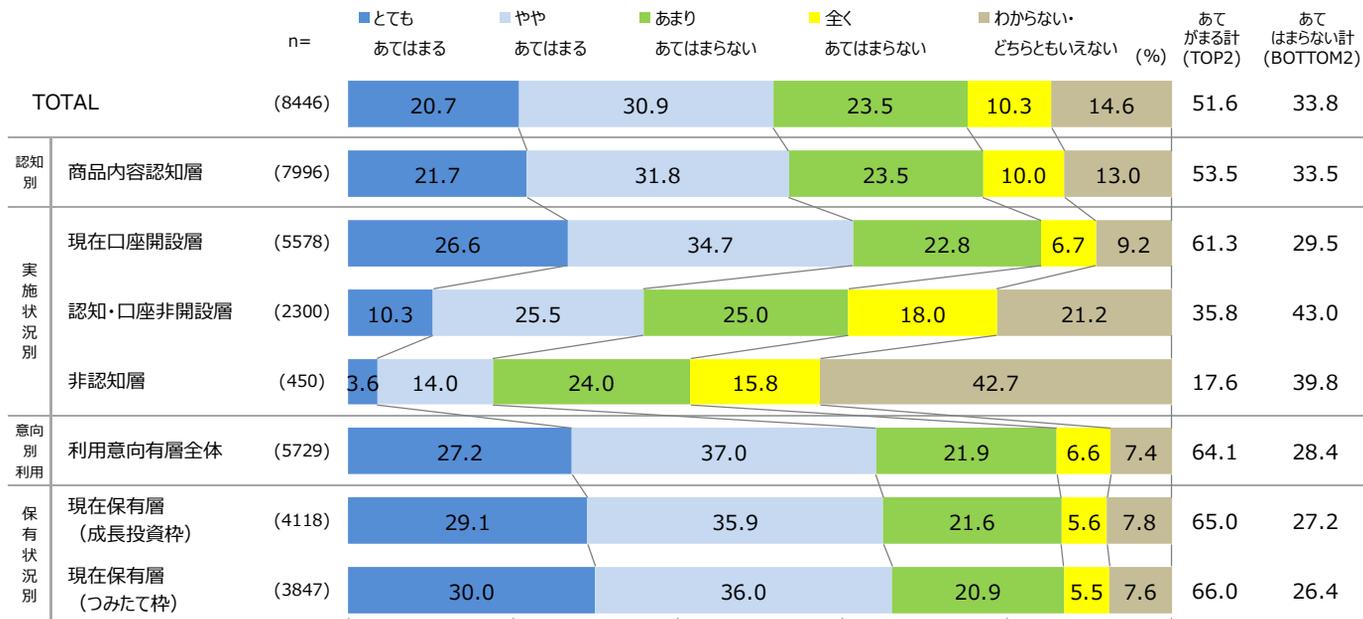
〔図 7-14〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「1.短期的な値動きに惑わされず、長期的な視点で投資している」

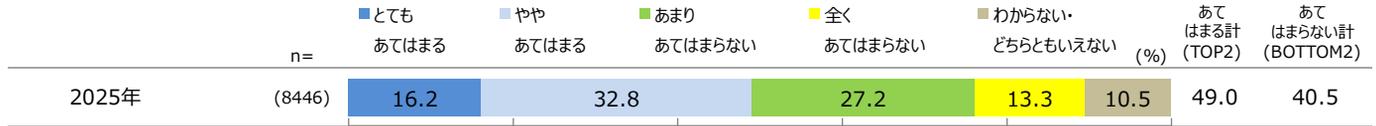
〔図 7-15〕



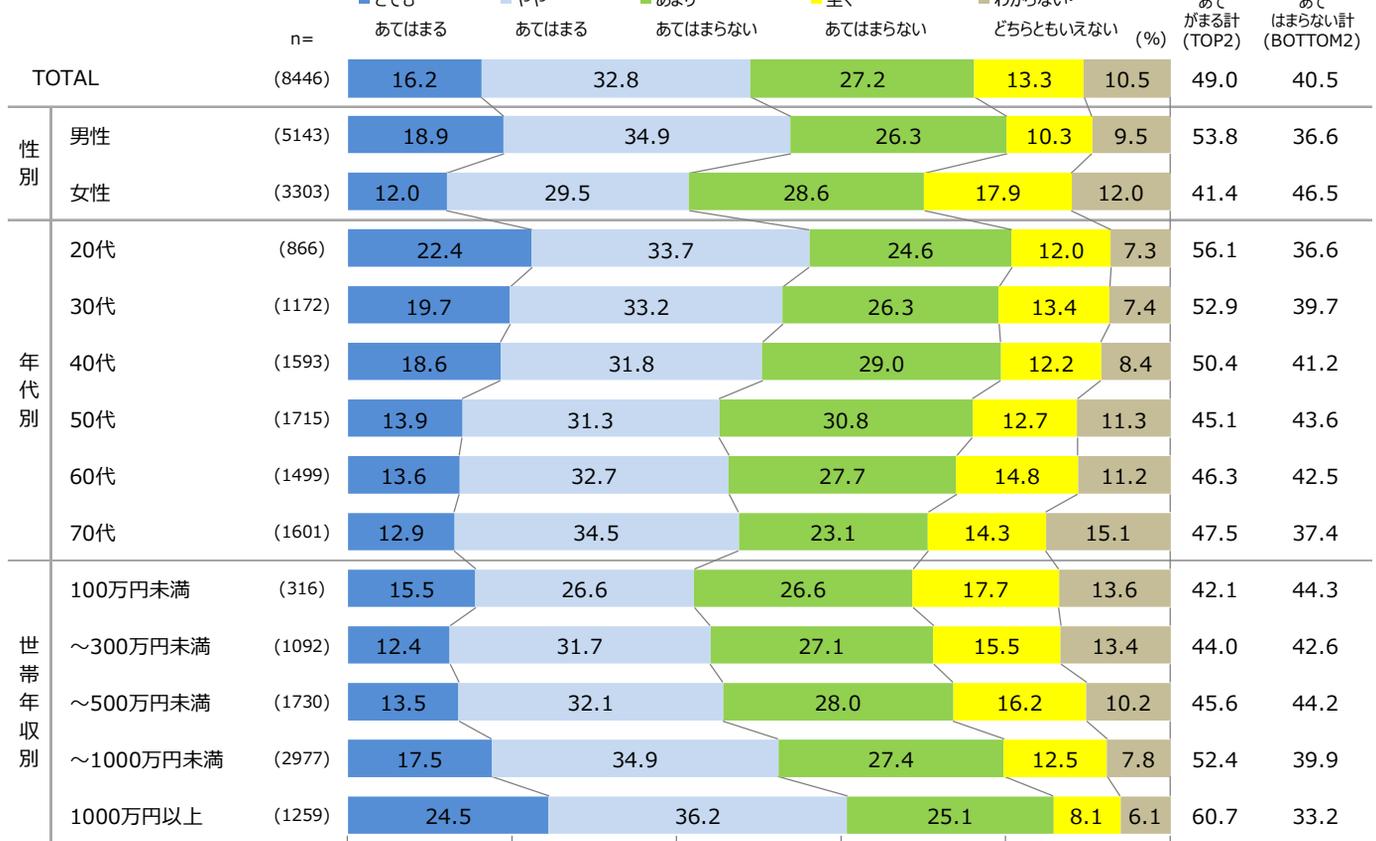
## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「2.株や投資信託の値動きをよくチェックする」

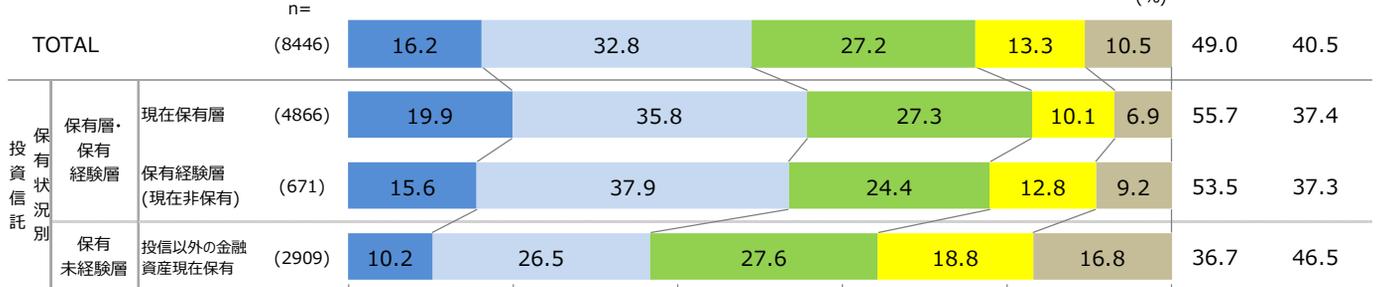
〔図 7-16〕



〔図 7-17〕



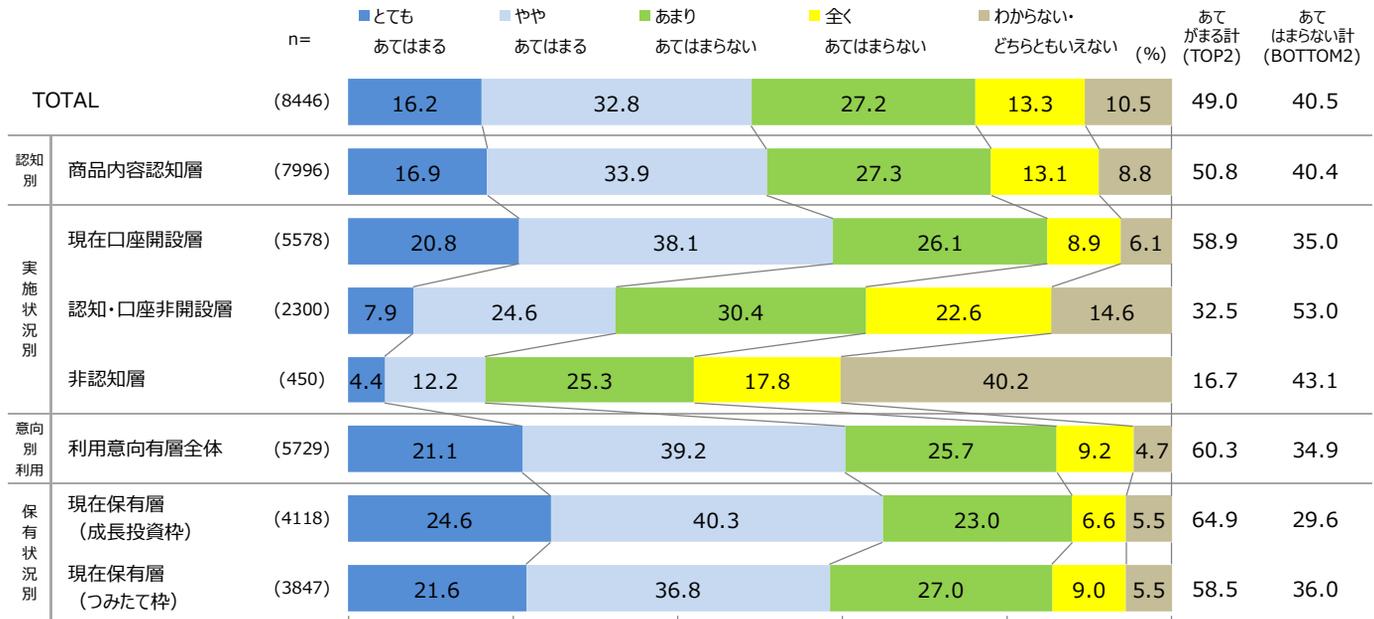
〔図 7-18〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)[Q28:単数回答] 「2.株や投資信託の値動きをよくチェックする」

〔図 7-19〕



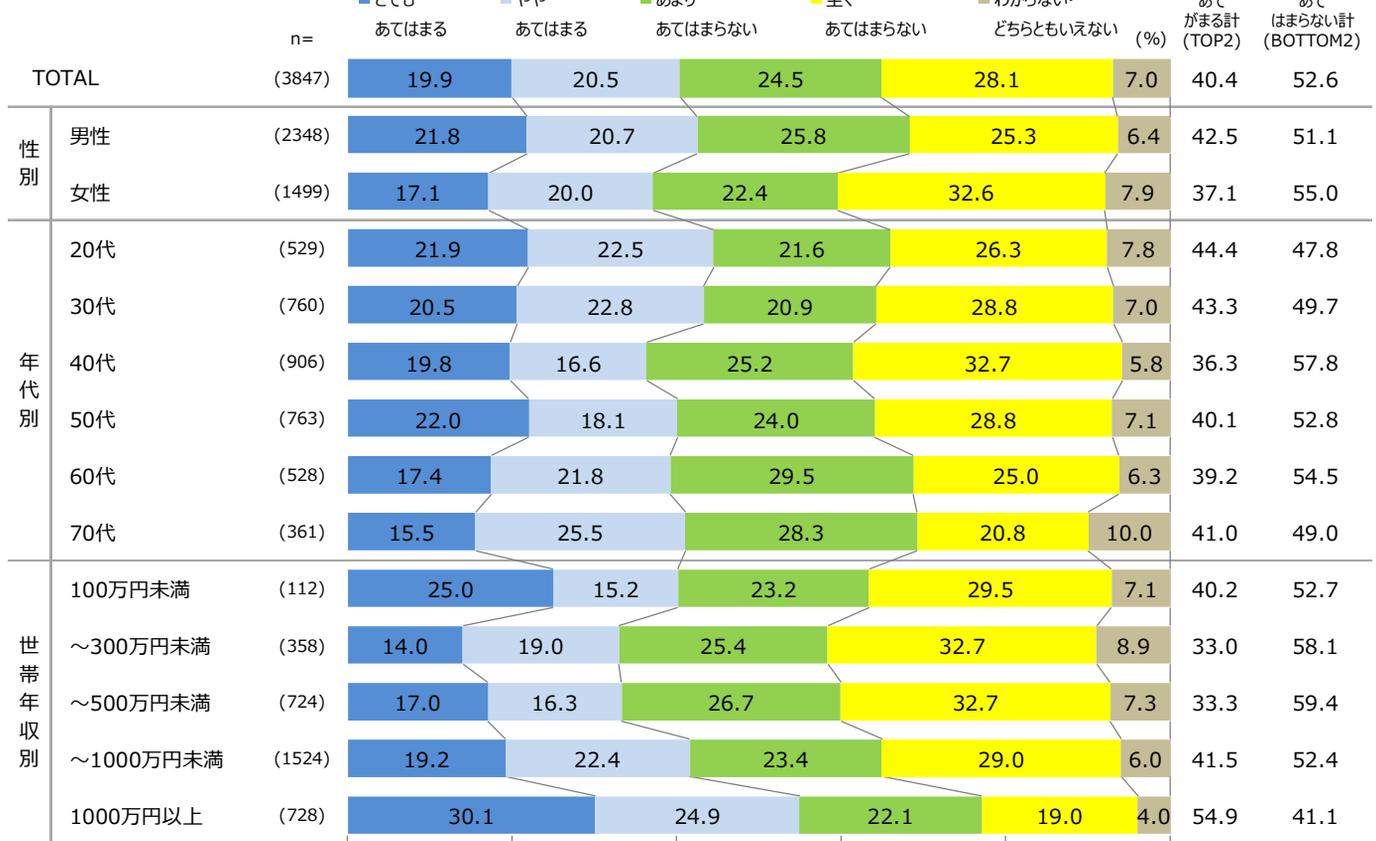
## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(新NISAつみたて投資枠での商品保有者)(Q28:単数回答) 「3.つみたて投資枠の年間投資枠(120万円)のほぼ上限まで利用している」

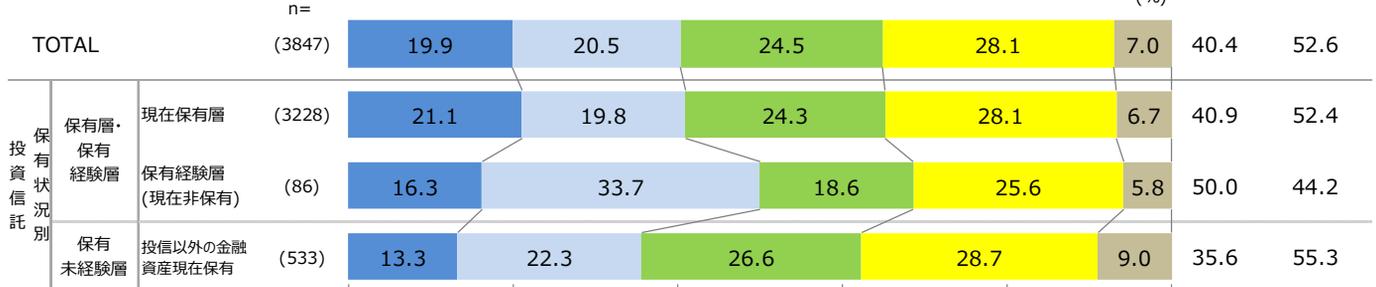
〔図 7-20〕



〔図 7-21〕



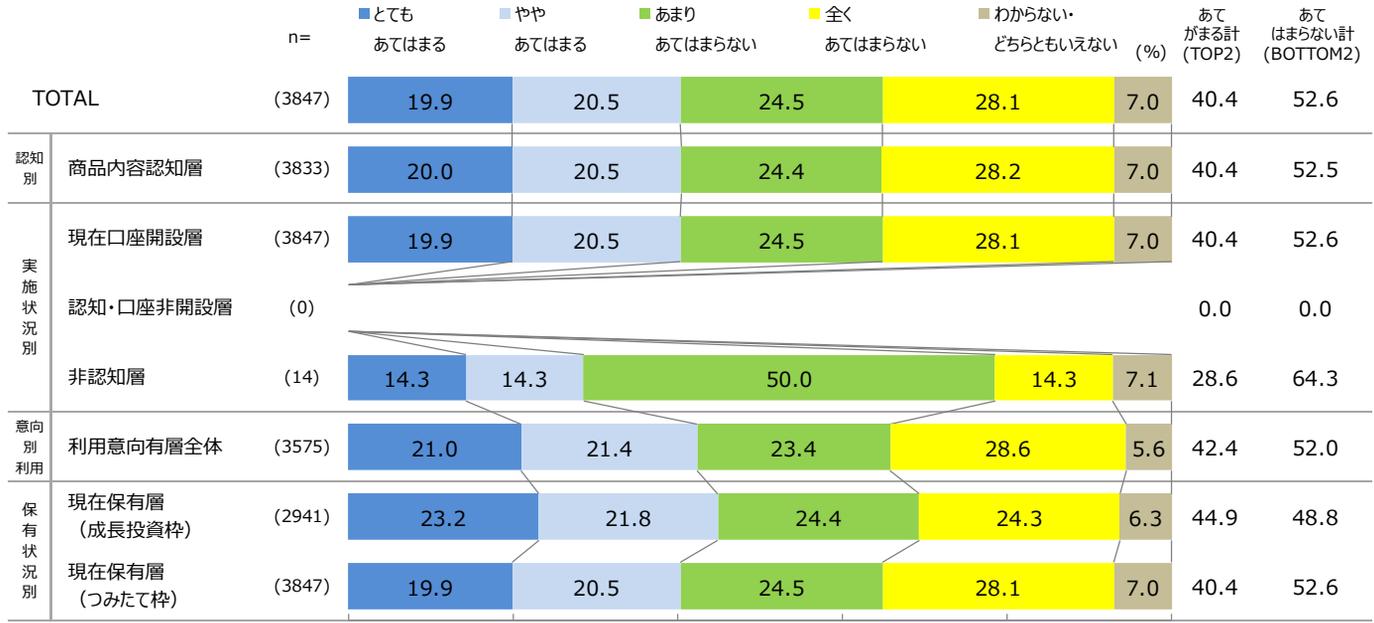
〔図 7-22〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(新NISAつみたて投資枠での商品保有者)(Q28:単数回答) 「3.つみたて投資枠の年間投資枠(120万円)のほぼ上限まで利用している」

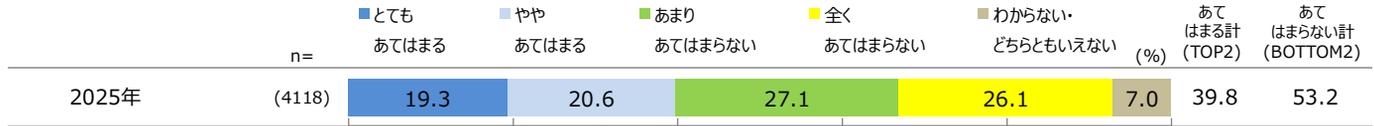
〔図 7-23〕



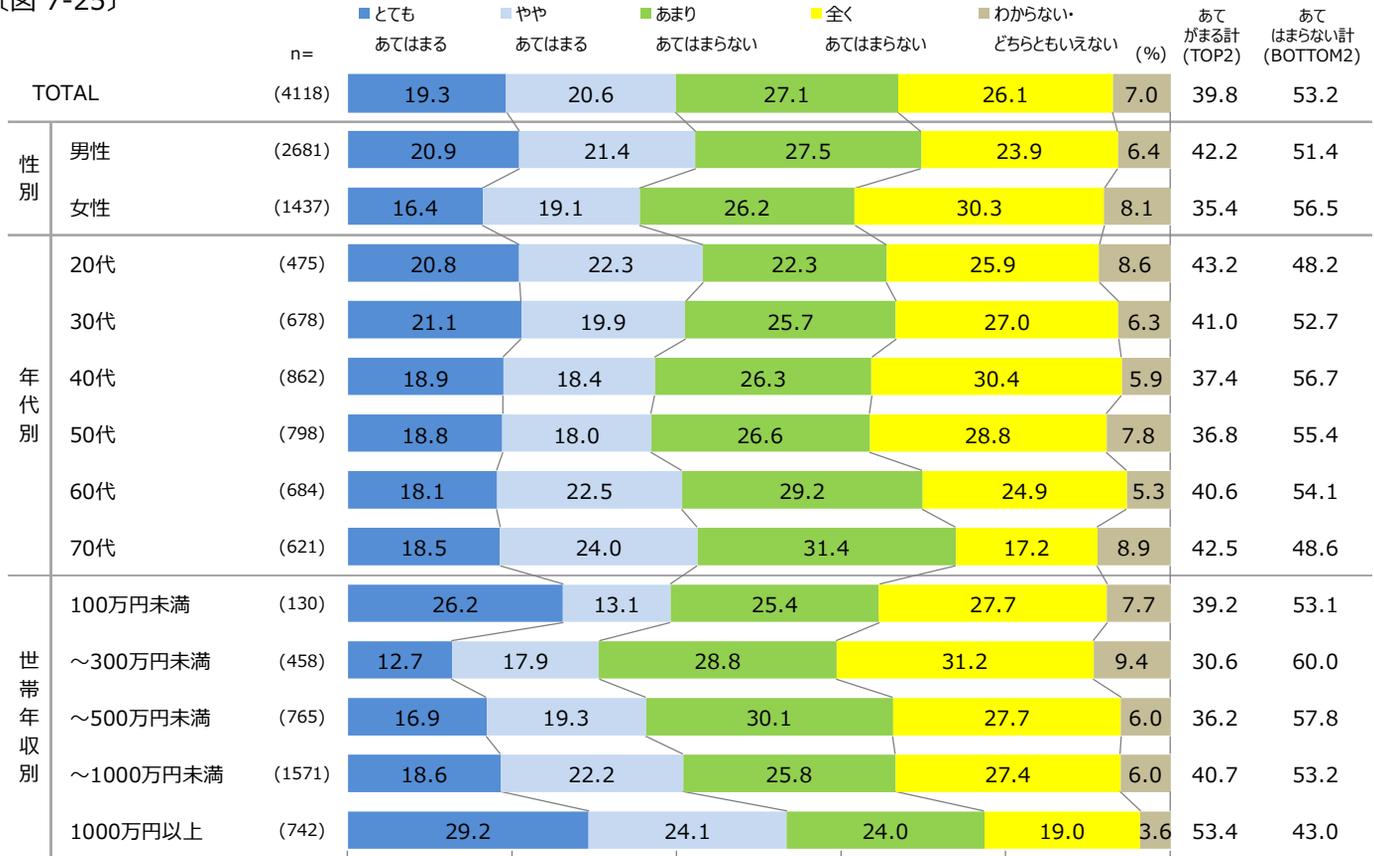
## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(新NISA成長投資枠での商品保有者)[Q28:単数回答] 「4.成長投資枠の年間投資枠(240万円)のほぼ上限まで利用している」

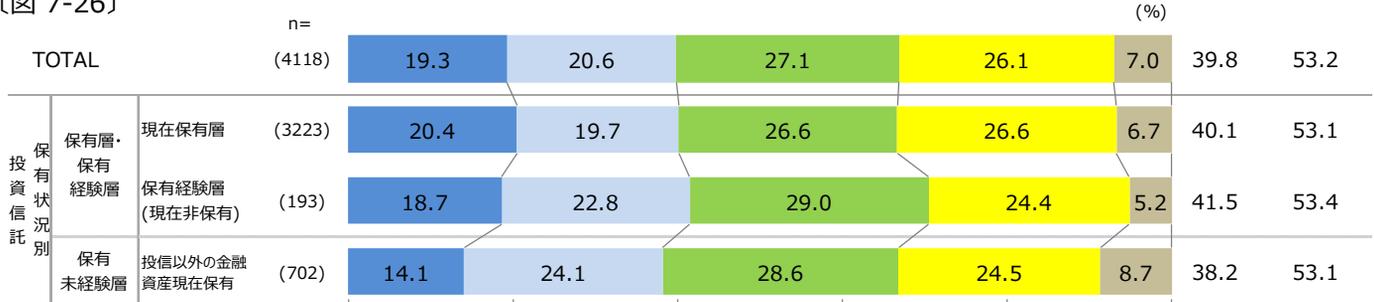
〔図 7-24〕



〔図 7-25〕



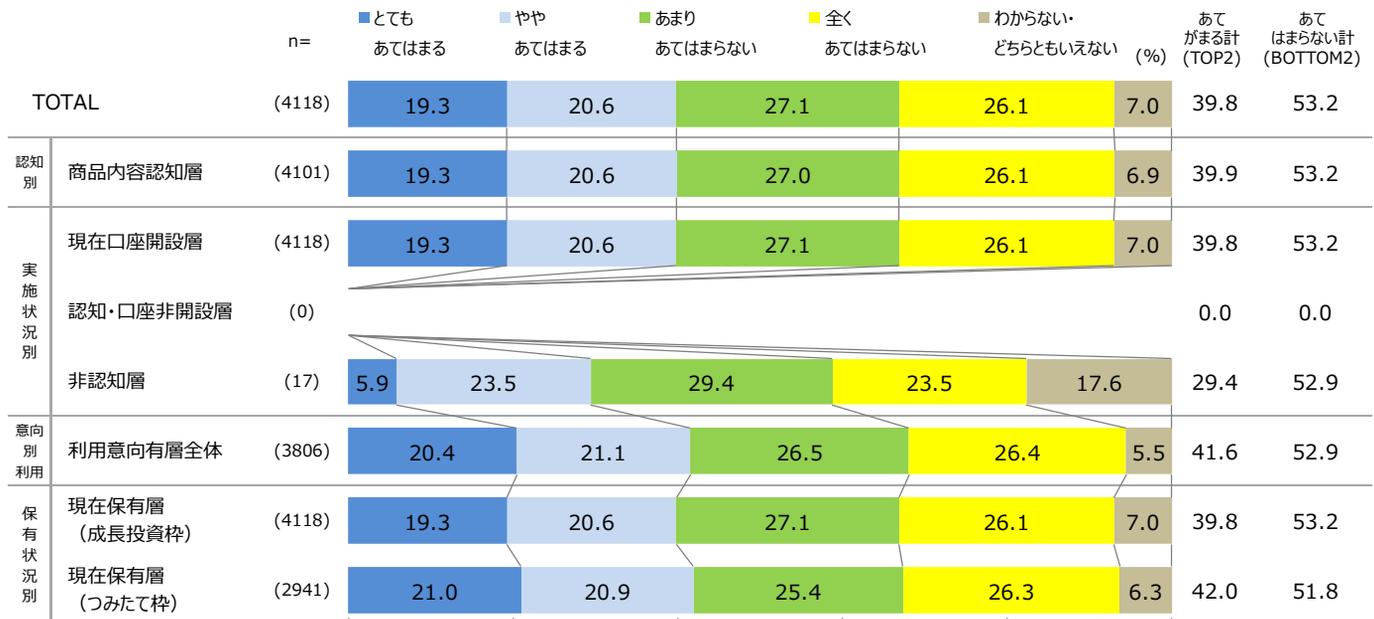
〔図 7-26〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(新NISA成長投資枠での商品保有者)[Q28:単数回答] 「4.成長投資枠の年間投資枠(240万円)のほぼ上限まで利用している」

〔図 7-27〕



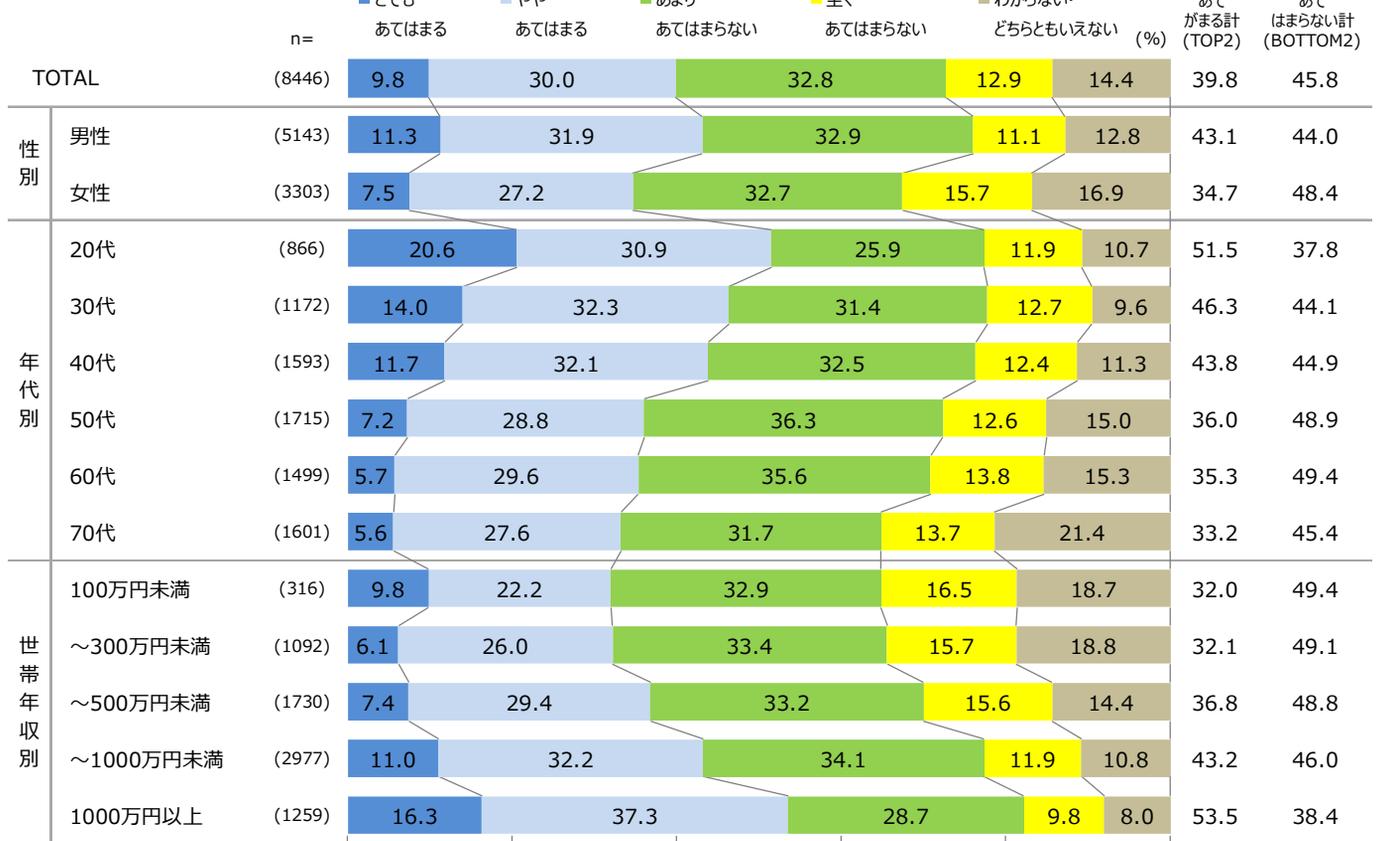
# 7. 投資意識と実態

## (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「5.経済状況や世界情勢から、投資の資産配分を見直している」

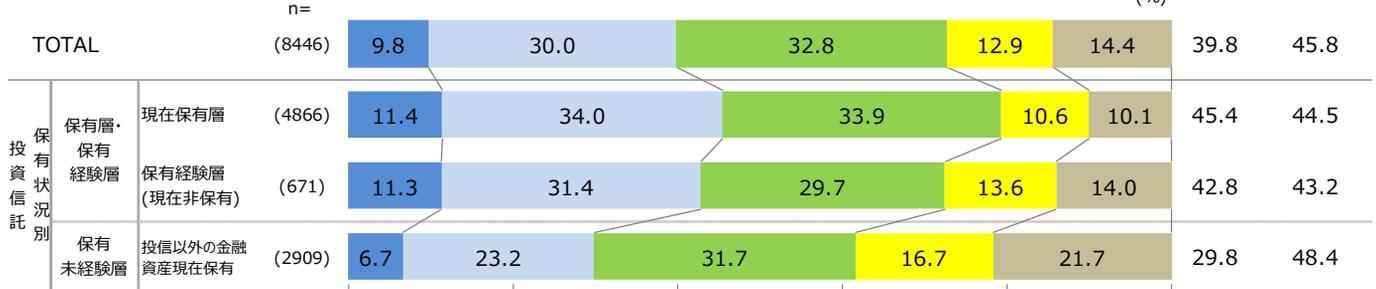
〔図 7-28〕



〔図 7-29〕



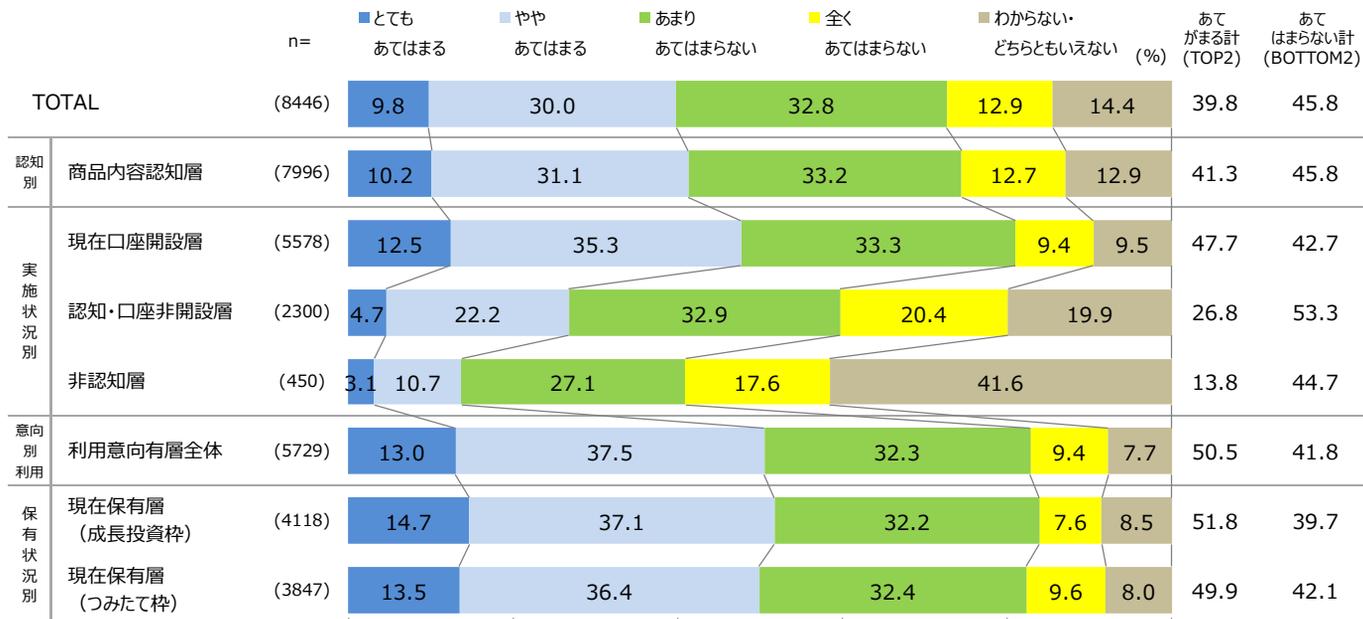
〔図 7-30〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「5.経済状況や世界情勢から、投資の資産配分を見直している」

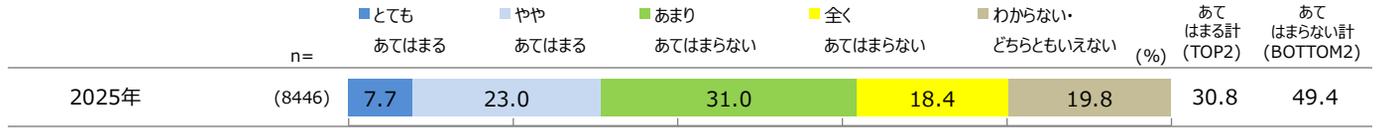
〔図 7-31〕



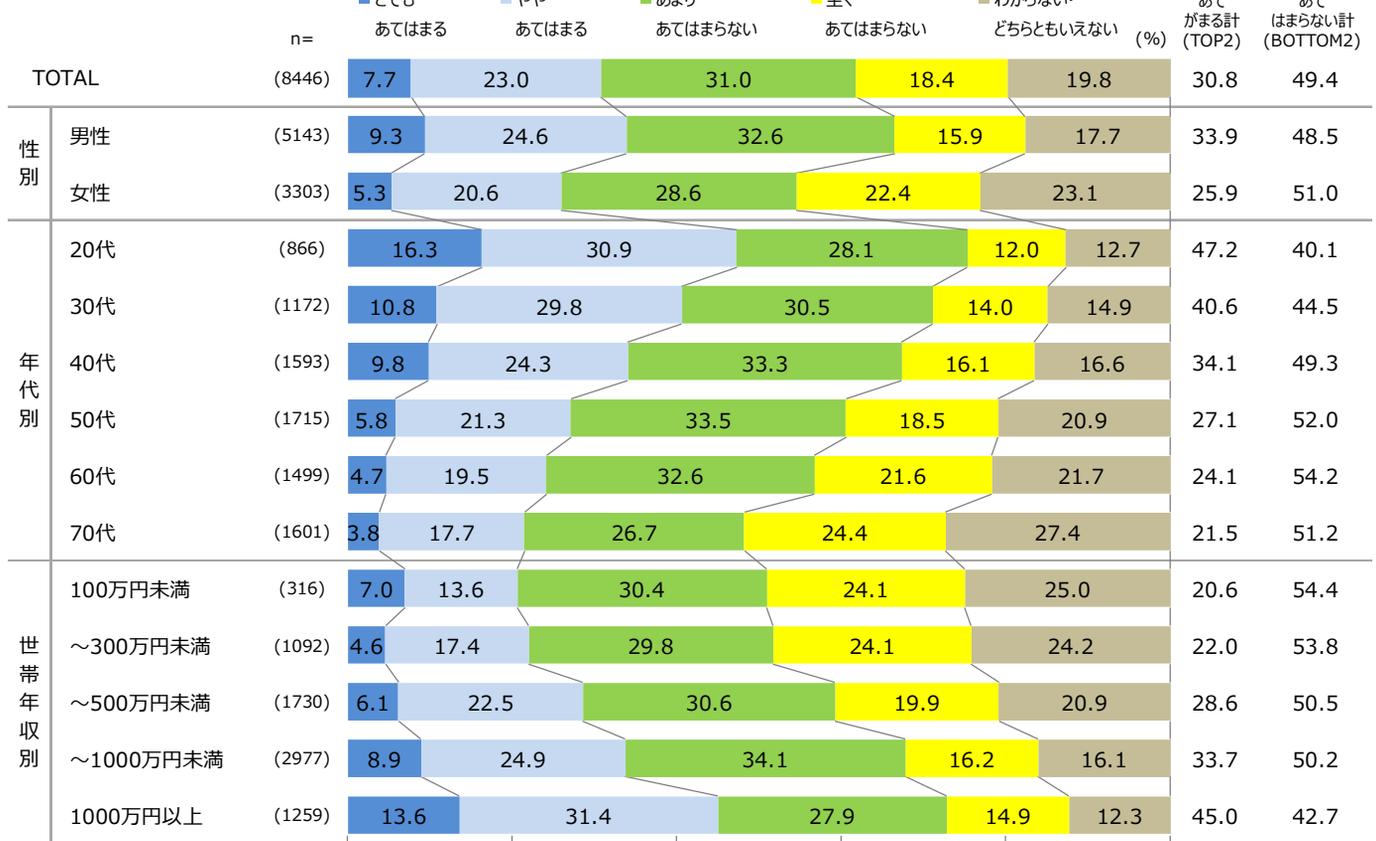
# 7. 投資意識と実態

## (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「6.新NISA対象商品から適切な商品を選ぶことができる」

〔図 7-32〕



〔図 7-33〕



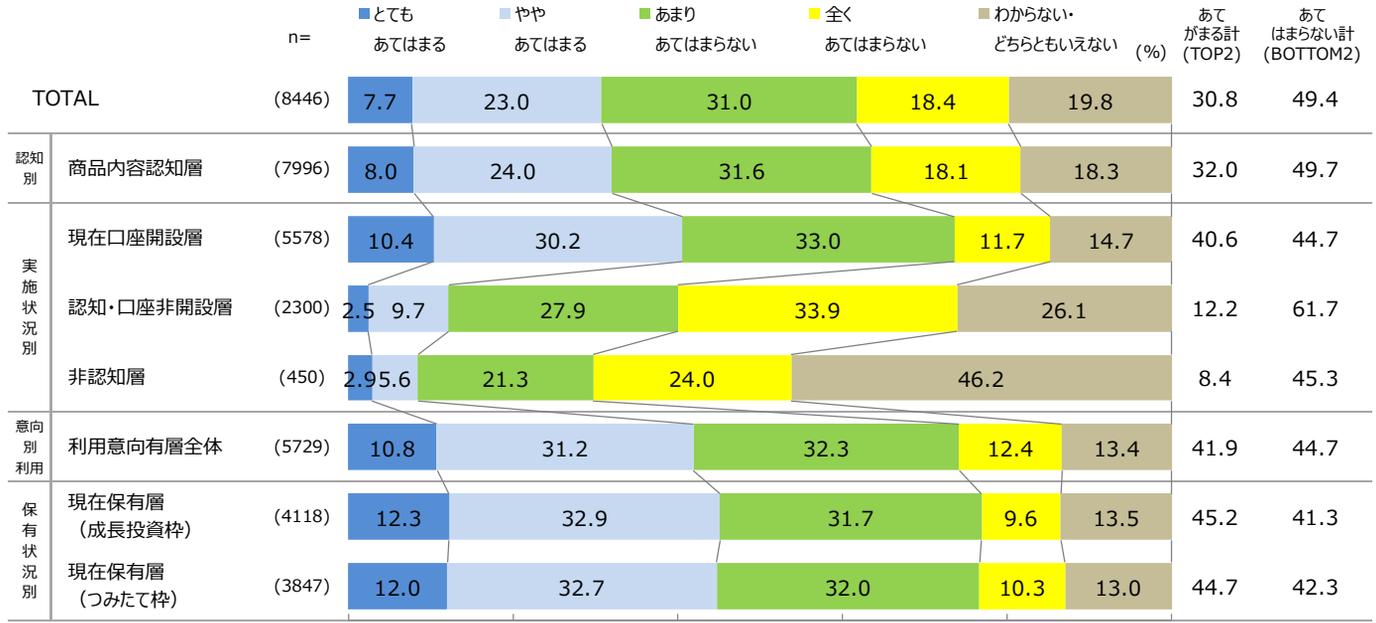
〔図 7-34〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「6.新NISA対象商品から適切な商品を選ぶことができる」

〔図 7-35〕



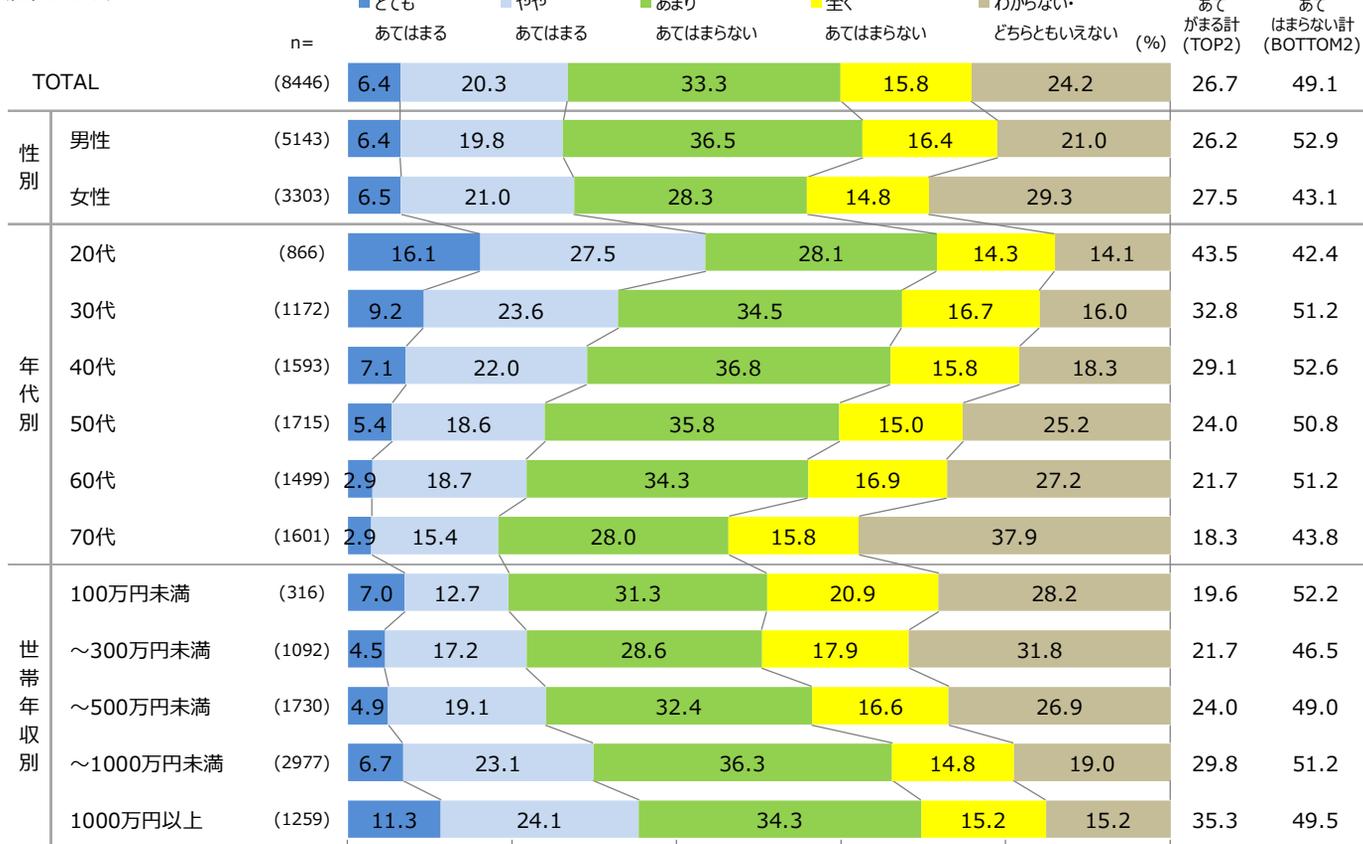
## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「7.成長投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる」

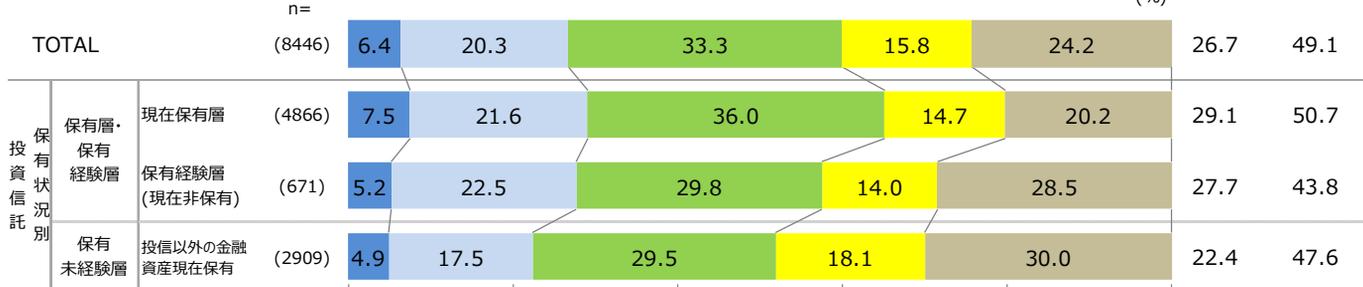
〔図 7-36〕



〔図 7-37〕



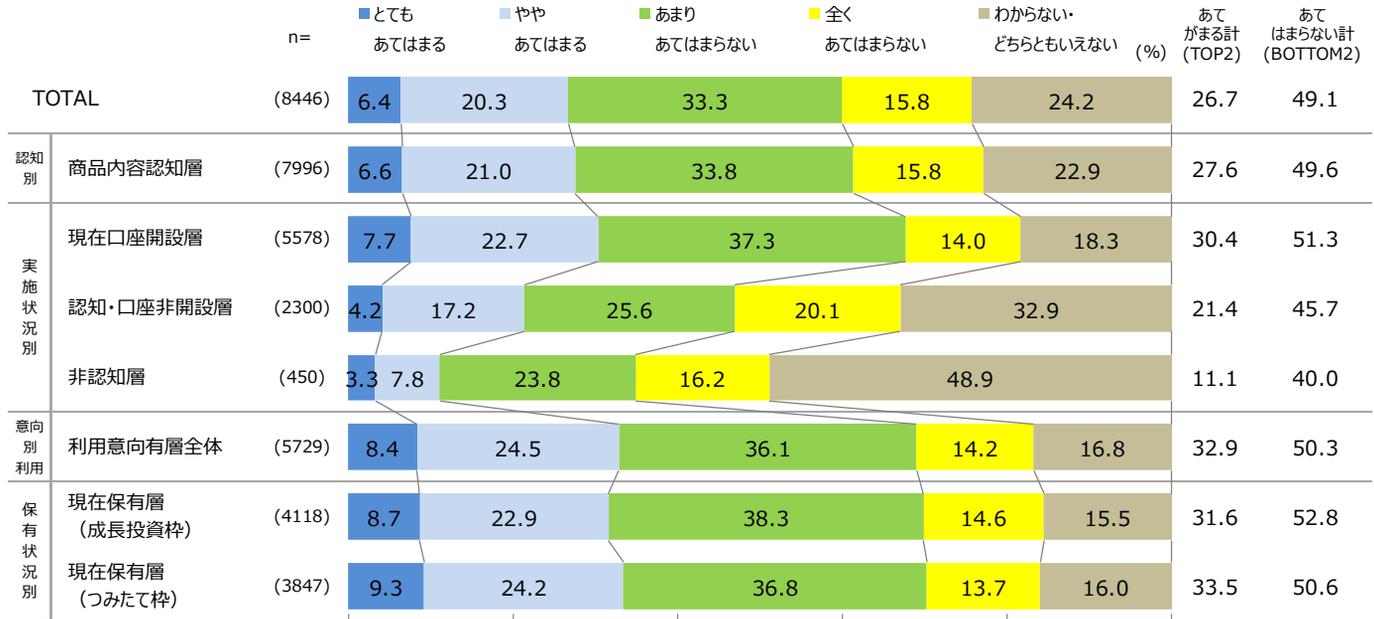
〔図 7-38〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「7.成長投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる」

〔図 7-39〕



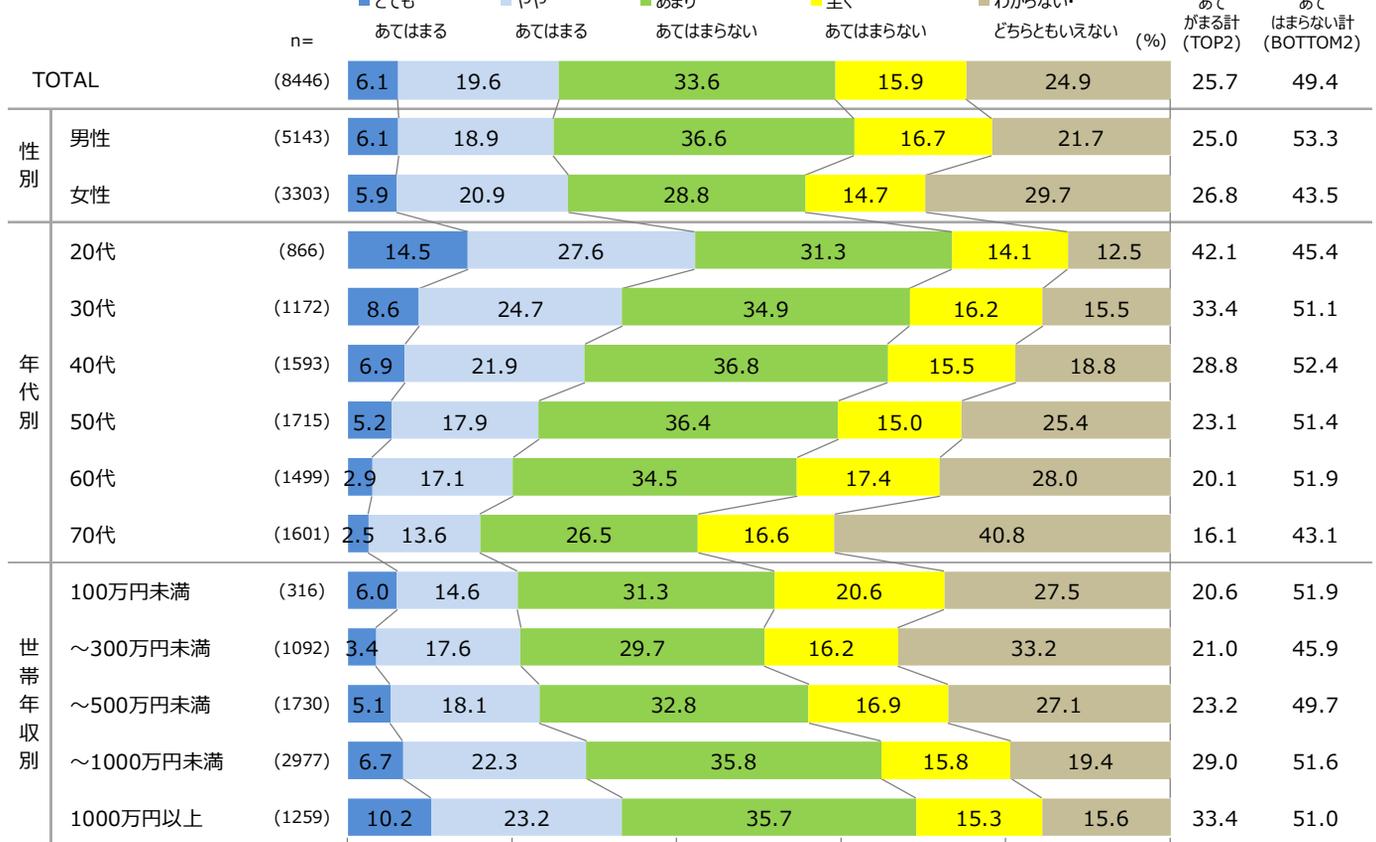
## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「8. つみたて投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる」

〔図 7-40〕



〔図 7-41〕



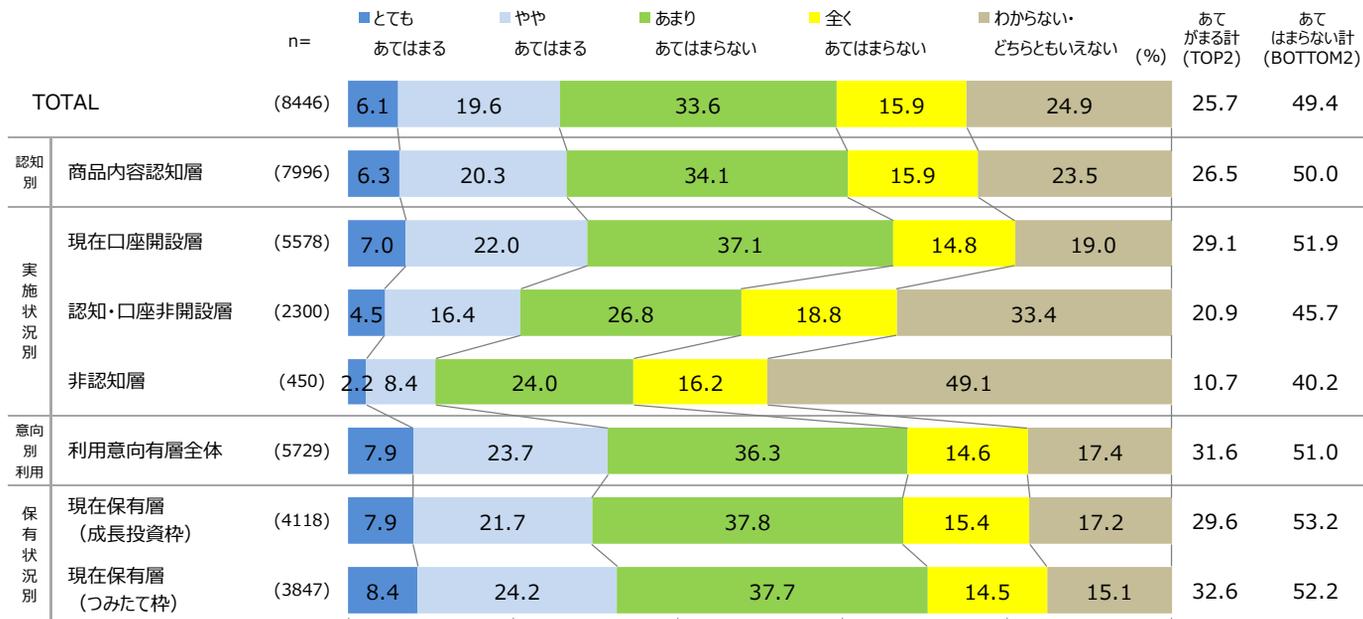
〔図 7-42〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「8. つみたて投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる」

〔図 7-43〕



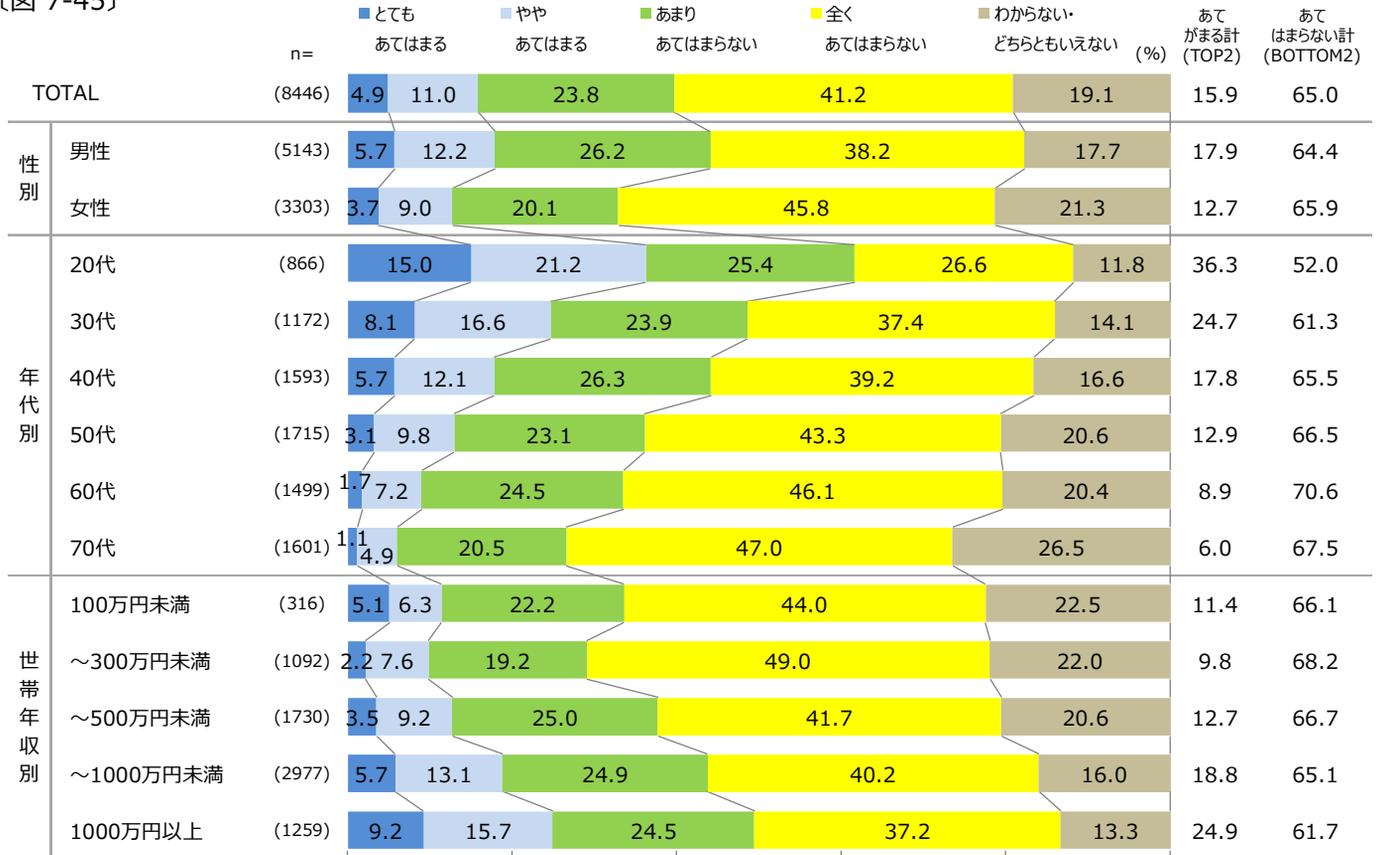
## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「9.診断サービスやロボアド投資(AI投資)を積極的に利用している」

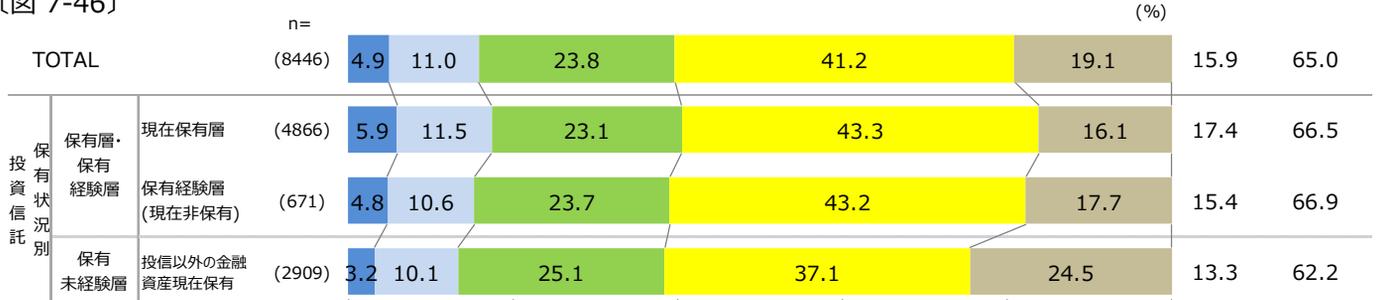
〔図 7-44〕



〔図 7-45〕



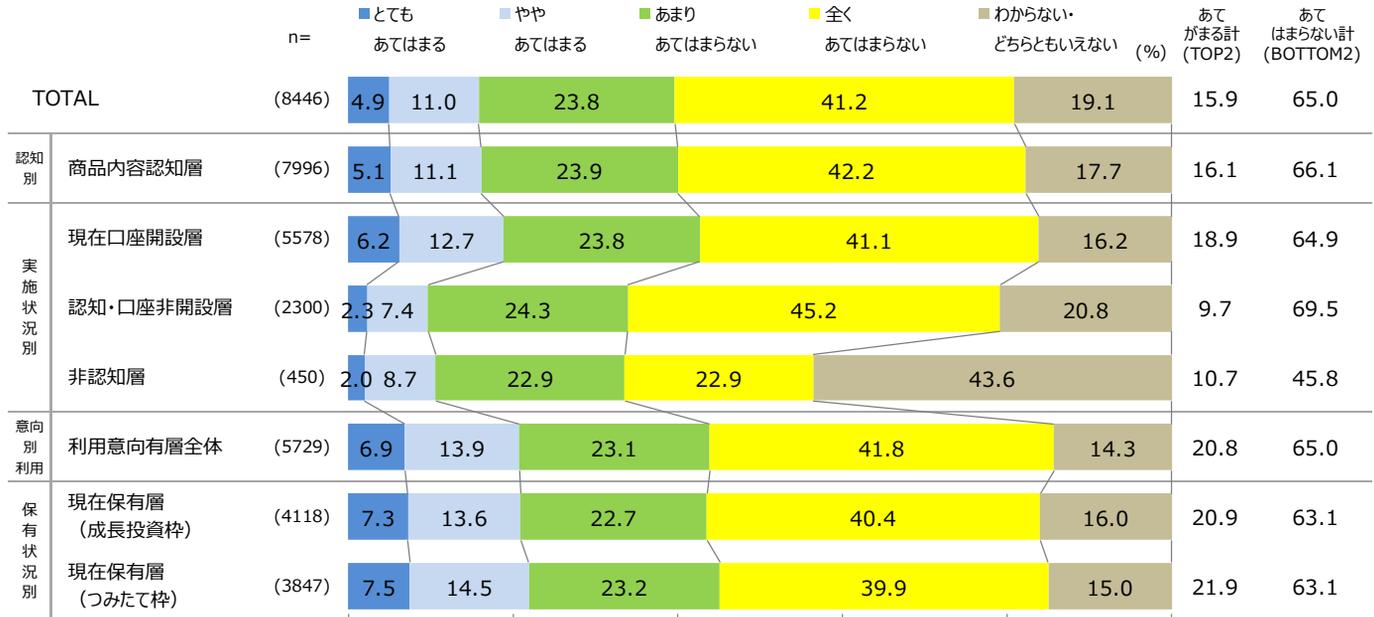
〔図 7-46〕



## 7. 投資意識と実態

### (3) 投資に関する行動や考え方(現在金融商品保有層)〔Q28:単数回答〕 「9.診断サービスやロボアド投資(AI投資)を積極的に利用している」

〔図 7-47〕



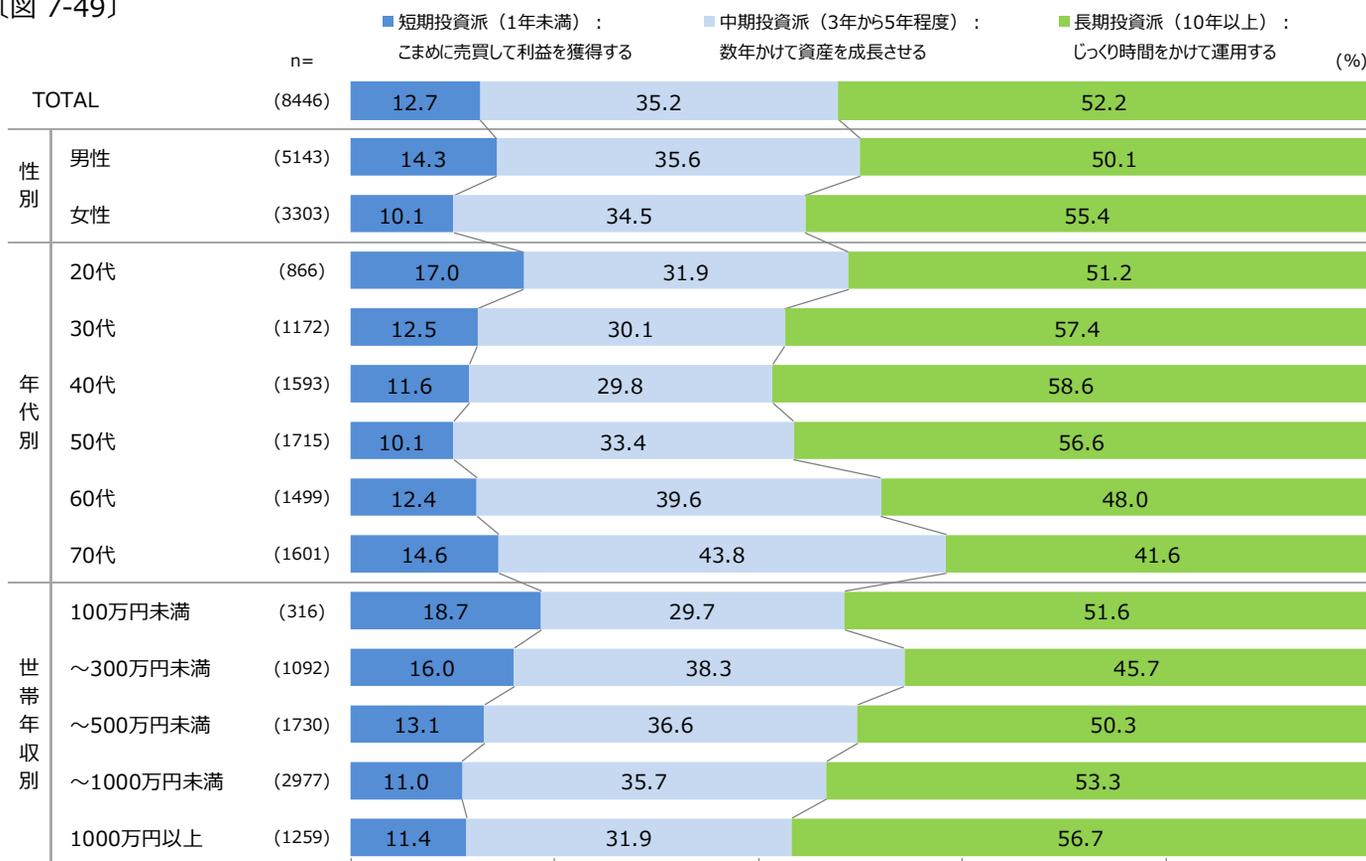
## 7. 投資意識と実態

### (4) 投資期間の考え方(現在金融商品保有層)[Q29:単数回答]

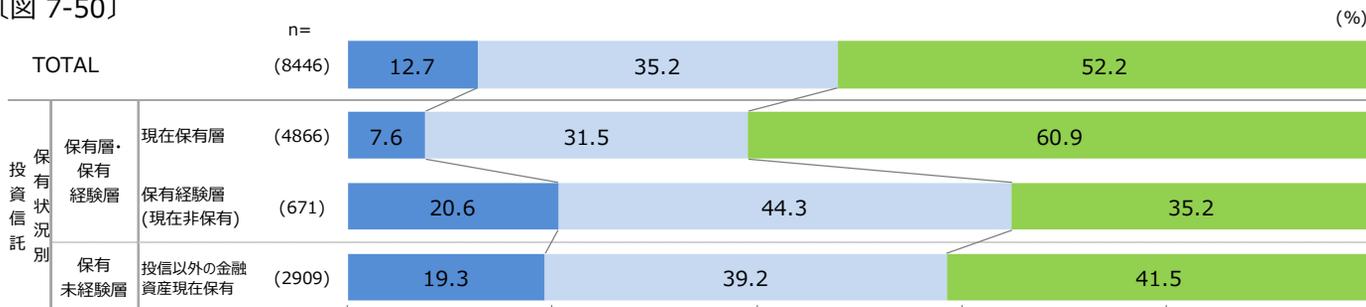
〔図 7-48〕



〔図 7-49〕



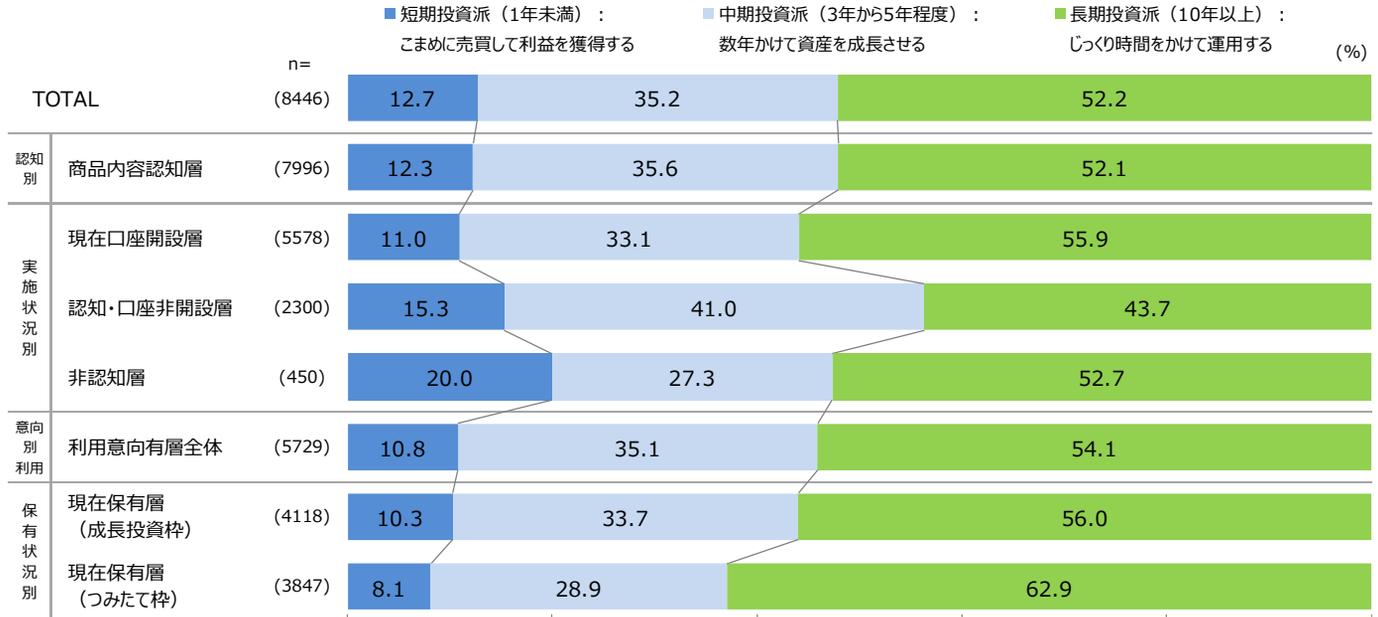
〔図 7-50〕



## 7. 投資意識と実態

### (4) 投資期間の考え方(現在金融商品保有層)[Q29:単数回答]

[図 7-51]



## 8. 回答者の属性

---

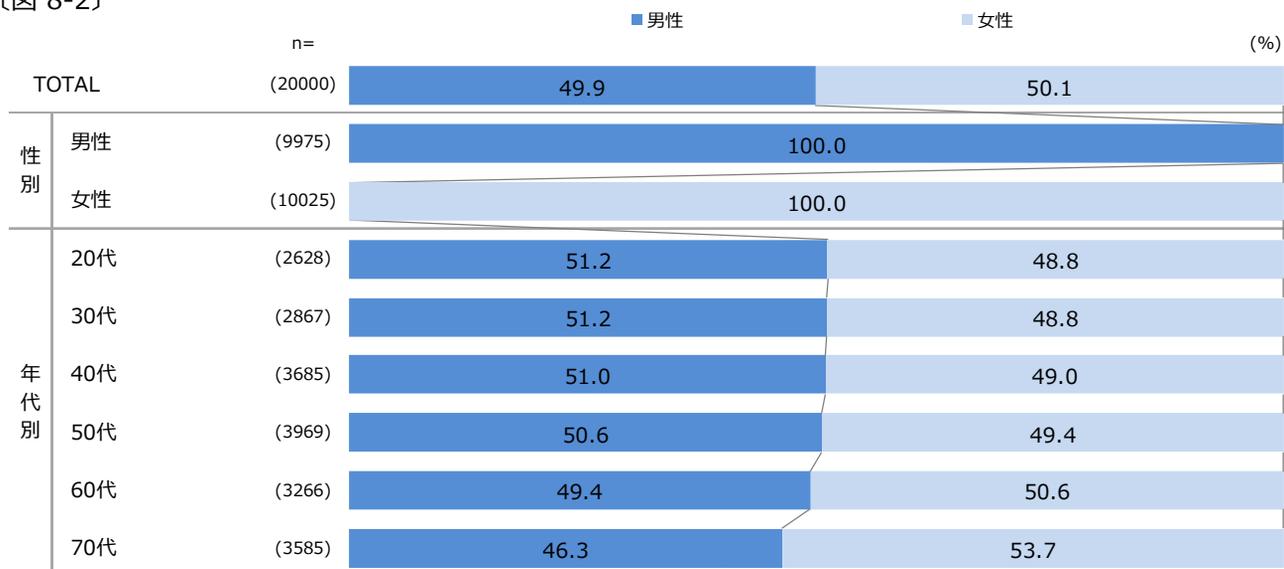
## 8. 回答者の属性

### (1) 性別〔F1:単数回答〕

〔図 8-1〕



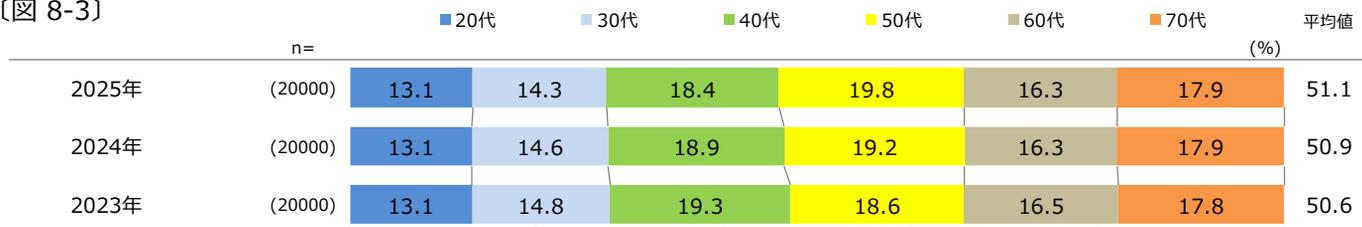
〔図 8-2〕



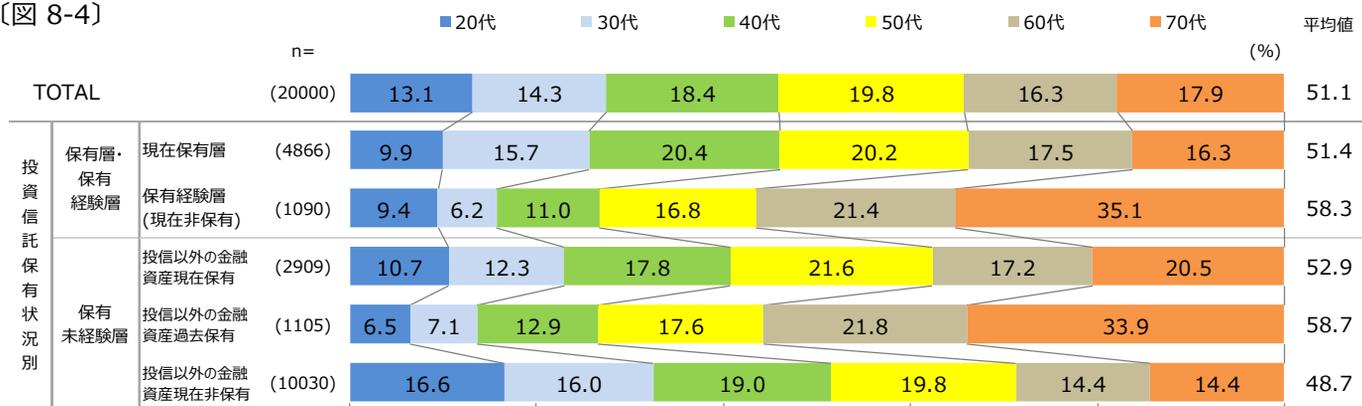
## 8. 回答者の属性

### (2) 年代〔F2:自由記述回答〕

〔図 8-3〕

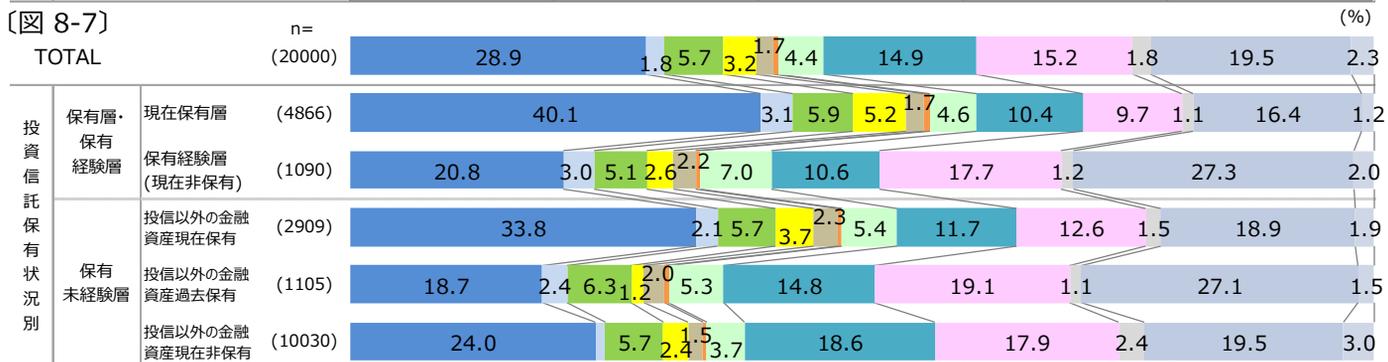
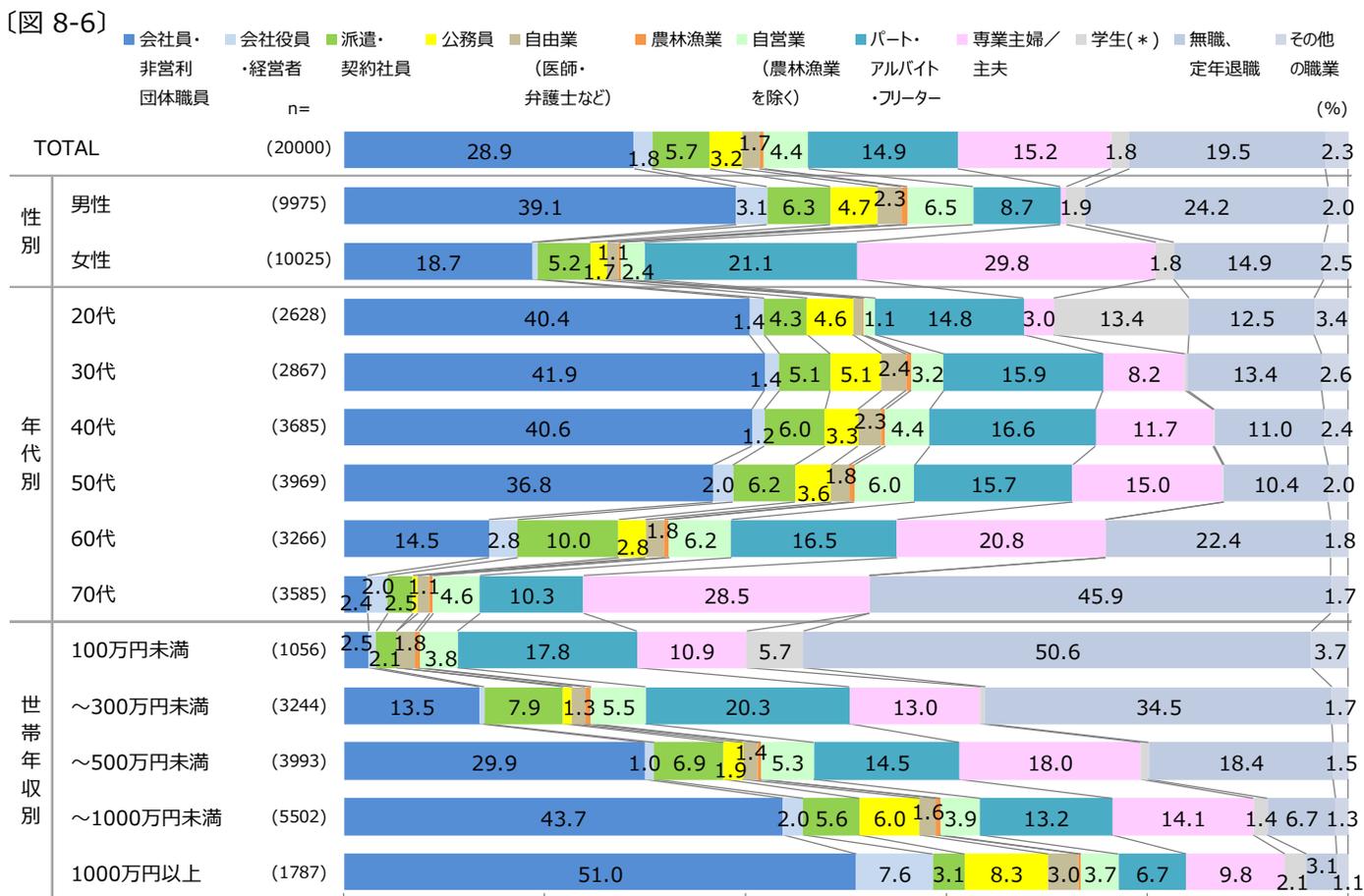
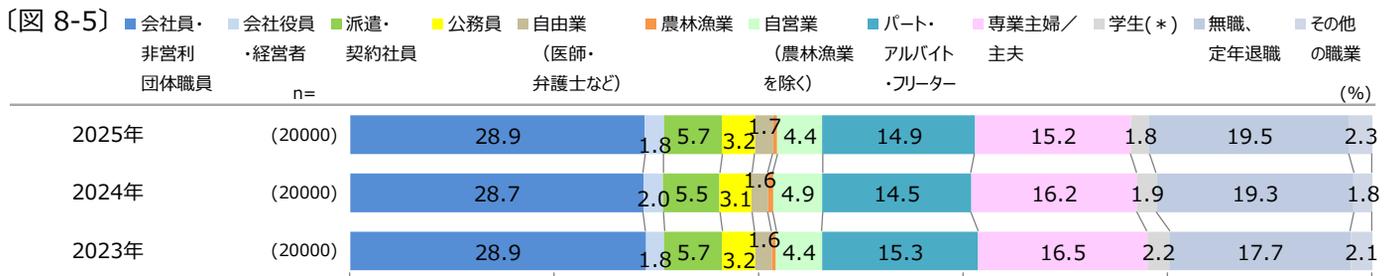


〔図 8-4〕



# 8. 回答者の属性

## (3) 職業〔F3:単数回答〕



\* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

※1%未満は非表示

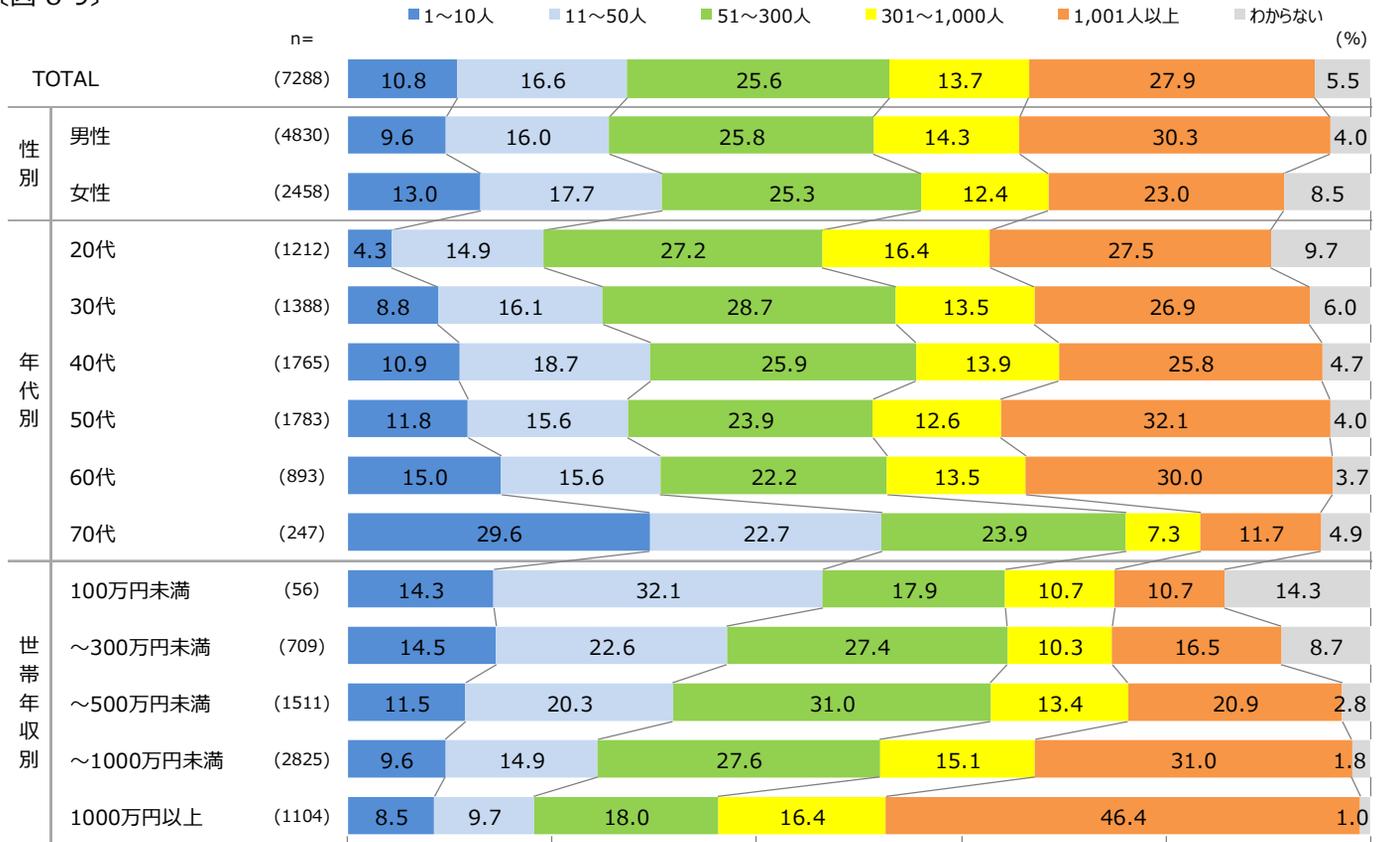
## 8. 回答者の属性

### (4) 従業員数(会社員)[F4:単数回答]

[図 8-8]



[図 8-9]



[図 8-10]



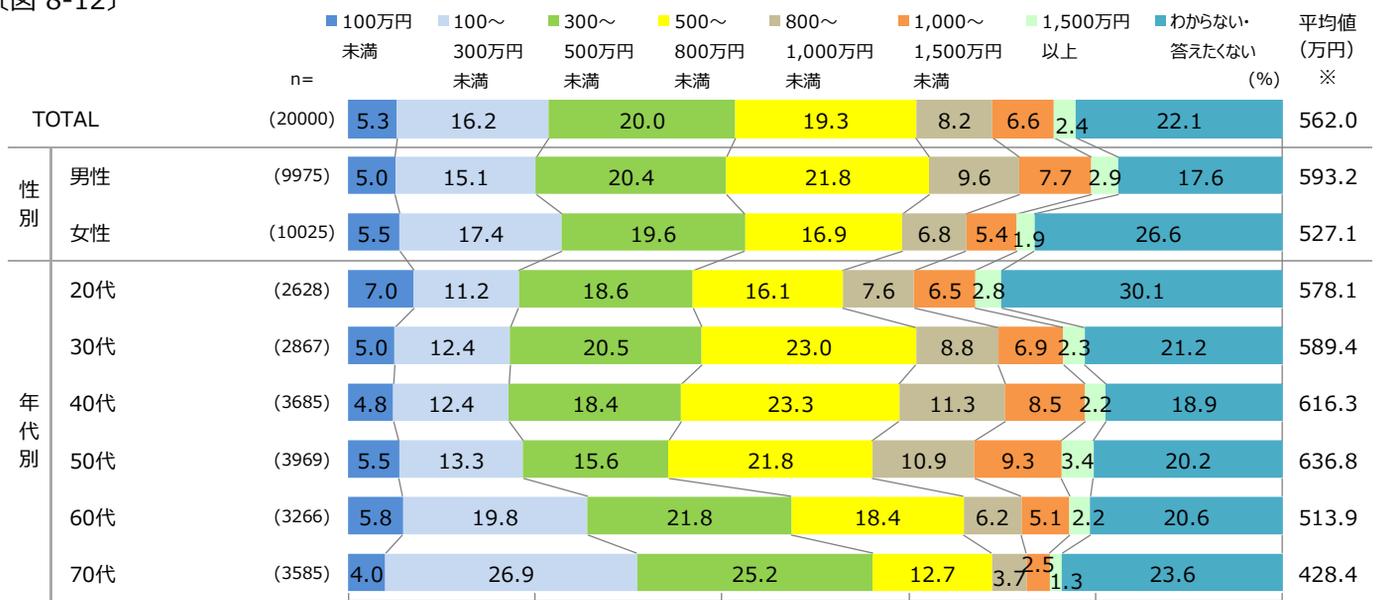
# 8. 回答者の属性

## (5) 世帯年収〔F5s1:単数回答〕

〔図 8-11〕



〔図 8-12〕



〔図 8-13〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り  
 100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円  
 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

## 8. 回答者の属性

### (5) 世帯年収〔F5s1:単数回答〕

〔図 8-14〕



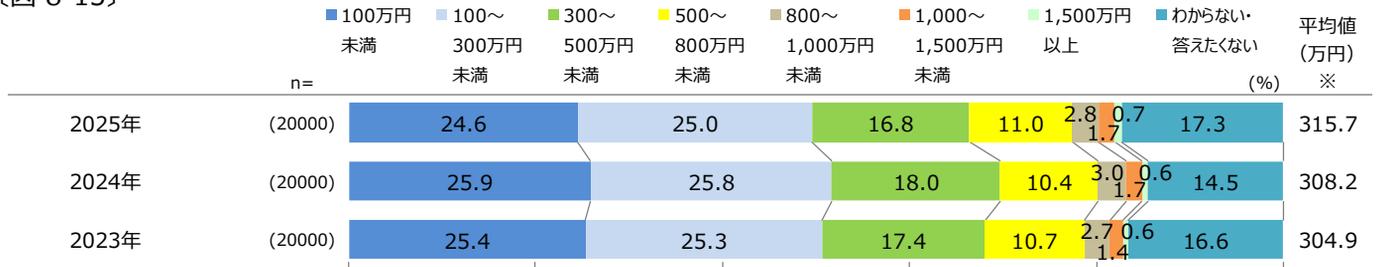
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円  
 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

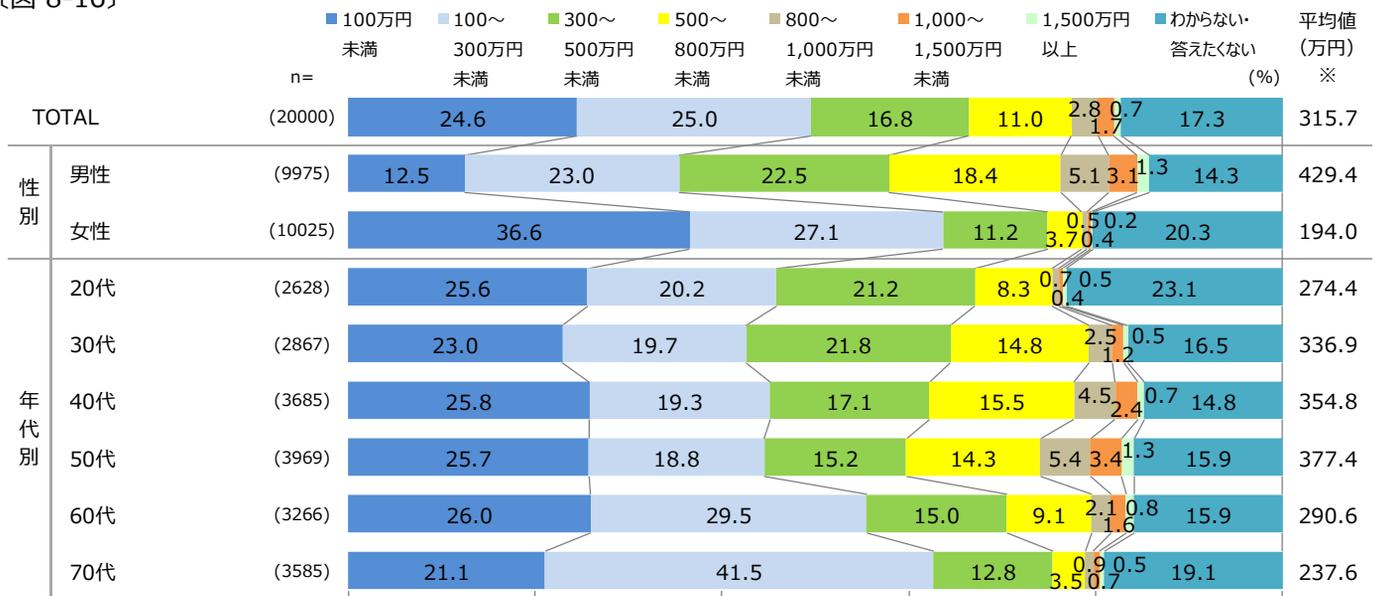
# 8. 回答者の属性

## (6) 個人年収〔F5s2:単数回答〕

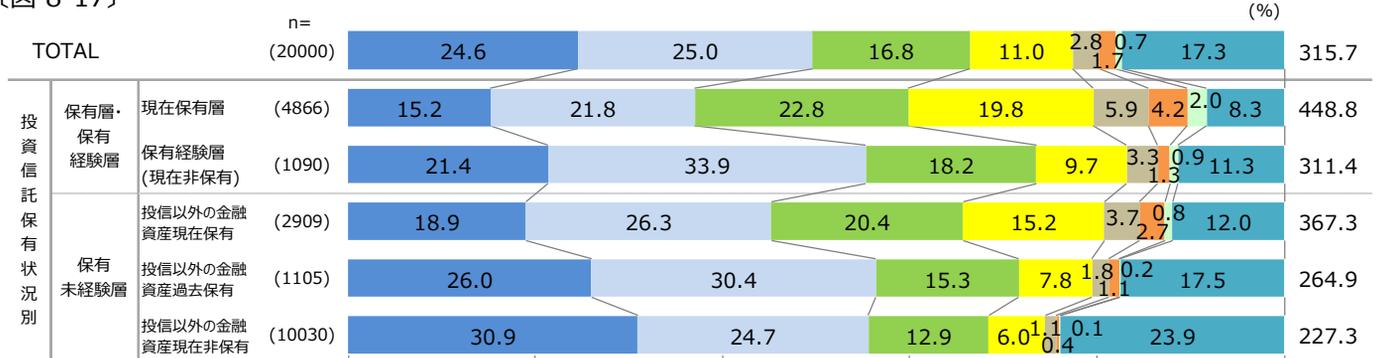
〔図 8-15〕



〔図 8-16〕



〔図 8-17〕



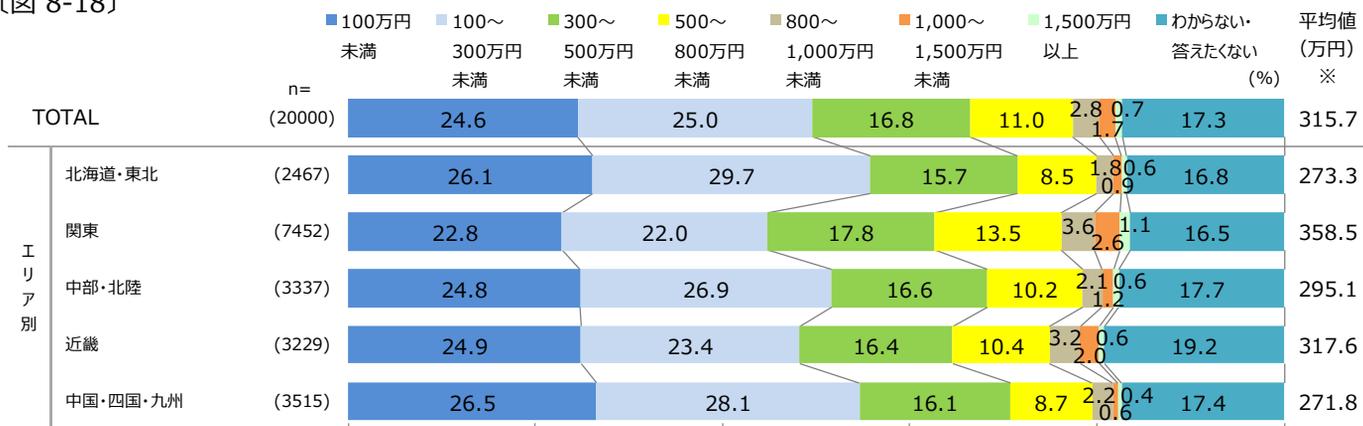
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円  
 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

## 8. 回答者の属性

### (6) 個人年収〔F5s2:単数回答〕

〔図 8-18〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円  
 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

# 末尾添付資料：調査票

F1 あなたの性別を教えてください。(1つだけ)

1 男性

2 女性

F2 あなたの年齢をお答えください。(半角数字を入力)

1  歳

F3 あなたの職業をお知らせください。(1つだけ)

1 会社員・非営利団体職員

2 会社役員・経営者

3 派遣・契約社員

4 公務員

5 自由業 (医師・弁護士など)

6 農林漁業

7 自営業 (農林漁業を除く)

8 パート・アルバイト・フリーター

9 専業主婦/主夫

10 大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

11 無職、定年退職

12 その他の職業

## 添付資料：調査票

### <F4聴取対象：会社員(F3=1or2or3)>

F4 あなたがお勤めの会社の**従業員数**をお知らせください。(1つだけ)

※お勤め先の企業全体の従業員数でお答えください。

- 1 1～10人
- 2 11～50人
- 3 51～300人
- 4 301～1,000人
- 5 1,001人以上
- 6 わからない

F5 あなたの**世帯年収**と**個人年収**をお知らせください。(それぞれひとつずつ)

	1 あなたの 世帯 年収	2 あなたの 個人 年収
	↓	↓
1 100万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 100万円～300万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 300万円～500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 500万円～800万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 800万円～1,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 1,000万円～1,500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 1,500万円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 わからない・答えたくない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

### ■あなたの資産等のご状況について伺います。

F6 あなたの世帯で保有されている「金融資産」(※)の概算の評価額と、その内、投資信託の合計保有金額として、あてはまるものをお選びください。(それぞれひとつずつ)

※「金融資産」・・・預貯金、社債や国債などの債券・株、投資信託、生命保険のうち満期金のあるもの、貸出金など。

土地や不動産は除きます。

※「投資信託」・・・複数の投資家から出資されたお金を一つの資金としてまとめ、ファンドマネージャーなどの資金運用の専門家が、株式や債券、リートなどに投資し、その成果(利益)を投資家に還元する金融商品のことを指します。

	1 金融資産の概算の評価額	2 投資信託の合計保有金額
	↓	↓
1 100万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 100万円～300万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 300万円～500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 500万円～1,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 1,000万円～2,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 2,000万円～3,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 3,000万円～5,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 5,000万円～1億円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 1億円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 わからない・答えたくない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q1 あなたはこれまでに、「金融資産」を保有したことがありますか。（それぞれひとつずつ）

※ここでの「金融資産」は、次のものは除きます。

円での現金・預金、土地・不動産、保険

1 現在保有している  
2 以前保有していたが、現在は保有していない  
3 これまで保有したことはない

1 外貨預金	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 国内株式	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 外国株式	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 投資信託（ETF・Jリート含む）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 個人向け国債	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 国内債券（個人向け国債・公社債除く）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 外国債券	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 先物、オプション、コモディティ商品（金など）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 FX	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 暗号資産/仮想通貨（ビットコイン等）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

### <Q2聴取対象：投資信託保有者(Q1④=1)>

#### ■投資信託について伺います。

Q2 あなたは**投資信託**をどの**口座**で保有していますか。(いくつでも)

1 特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座

2 新NISA（成長投資枠）

3 新NISA（つみたて投資枠）

4 旧NISA（一般NISA）

5 旧NISA（つみたてNISA）

6 企業型DC（企業型確定拠出年金）

7 iDeCo（個人型確定拠出年金）

8 ポイント投資／運用の口座

9 その他(具体的に  )

10 わからない・忘れた

## 添付資料：調査票

### <Q3聴取対象：投資信託保有者(Q1④=1)>

Q3 現在あなたが保有している**投資信託の主な投資対象**または**種類**をお答えください。(いくつでも)

※S&P500やオール・カントリーをお持ちの方は「外国株式に投資する投資信託」をお選びください。

- 1 国内株式に投資する投資信託
- 2 国内債券に投資する投資信託
- 3 外国株式に投資する投資信託
- 4 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託
- 5 国内不動産投信（Jリート）に投資する投資信託
- 6 外国の不動産投信に投資する投資信託
- 7 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）
- 8 E T F（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）
- 9 国内不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）
- 10 その他(具体的に )
- 11 わからない・答えたくない

## 添付資料：調査票

### <Q4聴取対象：投資信託保有者、保有経験者(Q1④=1or2)>

■投資信託について伺います。

■財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q4 投資信託に興味・関心を持ったきっかけとしてあてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

- 1 証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて
- 2 講演会やセミナーなどで、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 3 投資信託の商品広告などを見て
- 4 投資信託に関する本や記事などを見て
- 5 インターネットで投資信託について見たり調べたりして
- 6 SNS (X (旧Twitter)、Instagram、TikTok等) からの情報を通じて
- 7 YouTube等の動画配信を観て
- 8 家族や友人など身近な人に勧められて
- 9 職場で勧められて
- 10 少額投資非課税制度 (NISA) があるから
- 11 確定拠出年金 (DC・iDeCo等) で投資信託を選択して
- 12 景気や市場 (相場) の状況を見て
- 13 経済的に余裕ができたので
- 14 ポイントで投資/運用ができることを知って
- 15 その他 (具体的に )

## 添付資料：調査票

### <Q5聴取対象：投資信託保有者、保有経験者(Q1④=1or2)>

Q5 どのような**目的**で**投資信託**を購入しましたか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

1 結婚資金、住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため

2 趣味・娯楽のための資金

3 老後の生活資金

4 子供又は孫のための教育などの資金

5 子供や孫に十分な資産を残したいため

6 資産のリスク分散

7 分配金を当面の生活資金に充てるため

8 金融・経済・投資の勉強のため

9 不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え

10 投資で社会を良くすることができるため（ESG投資）

11 FIRE（経済的自立・早期リタイア）のため

12 インフレ（物価上昇）に備えるため

13 退職金の運用

14 特に目的はないが資金を増やしたいため

15 その他（具体的に  )

## 添付資料：調査票

Q6 次にあげる**投資信託の特徴**の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。(いくつでも)

【特徴】

- 1 価格の変動があり、その他に外国に投資するものには為替リスクがある
- 2 リスクとリターンは表裏一体の関係にある（高いリターンを得ようとすれば、高いリスクを伴う）
- 3 過去の運用実績は、将来のリターンを保証するものではない
- 4 元本の保証はない
- 5 銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる
- 6 投資信託は信託銀行で、自行と顧客の資産を分けて保管・管理されている
- 7 投資信託は、運用会社が運用している
- 8 NISA（少額投資非課税制度）やDC（確定拠出年金）で投資信託が購入できる
- 9 ポイントで投資信託に投資／運用できる
- 10 複数の株式を組み入れる投資信託はリスクを分散できる
- 11 購入時手数料の有無や金額は販売会社によって異なる
- 12 投資信託は、保有期間中の費用に加えて、解約時にも費用がかかるものがある
- 13 この中で知っているものはない

## 添付資料：調査票

### <Q7聴取対象：投資信託保有未経験者(Q1④=3)>

Q7 あなたが**投資信託**を**購入したことがない理由**は何ですか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

- 1 投資・投資信託の知識がないので
- 2 元本保証がないので
- 3 損をしそうで怖いので
- 4 まとまった資金がないので
- 5 口座開設の申込手続きが複雑で途中でやめてしまったから
- 6 手数料など費用が高いので
- 7 商品の種類が多く自分では選択できないので
- 8 身近な人から良い話を聞かないから
- 9 なんとなく機会がなかったの
- 10 そもそも興味がないので
- 11 その他（具体的に  ）

## 添付資料：調査票

### <Q8聴取対象：投資信託保有未経験者(Q1④=3)>

Q8 あなたが、投資信託の購入を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。(いくつでも)

- 1 家族や友人など身近な人に勧められたら
- 2 金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら
- 3 初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら
- 4 SNS (X (旧Twitter)、Instagram、TikTok等) で有益な情報を目にしたら
- 5 YouTube等の動画配信で有益な情報を目にしたら
- 6 月1,000円程度の少額から始められるなら
- 7 貯蓄が一定額に達したら
- 8 リスクを抑えた商品があるなら
- 9 手数料の低い投資信託商品が充実してきたら
- 10 経済が上向きになり、値上がり期待できる様になったら
- 11 投資で損失が出たときの対処法を知れたら
- 12 税制上の優遇措置が、より拡充してきたら
- 13 給与天引で自動的に投資信託をつみたてられる制度が導入されたら
- 14 保有しているポイントで投資/運用ができるなら
- 15 その他 (具体的に )
- 16 わからない・購入を検討することはない

## 添付資料：調査票

### ■金融教育についてお伺いします。

Q9\_1 これまでに、**お金の話**にふれたことはありますか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

- 1 勤め先の企業での確定拠出年金の導入／継続／教育
- 2 勤め先の企業が行った資産運用セミナー（確定拠出年金に関する内容を除く）
- 3 高校や大学での講義
- 4 専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談
- 5 金融機関が主催のセミナー
- 6 金融機関以外が主催のセミナー
- 7 動画サイト（YouTube等）の動画配信
- 8 J-FLEC（金融経済教育推進機構）主催のセミナー、個別相談など
- 9 その他(具体的に  )
- 10 あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない

## 添付資料：調査票

**Q9\_2 投資**（資産運用・資産形成）に関するテーマのうち、**今知りたいテーマ**は何ですか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

- 1 NISA
- 2 iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo+
- 3 企業型DC（企業型確定拠出年金）
- 4 税制優遇制度（NISA・iDeCoなど）の使い分け
- 5 今後の経済動向
- 6 一括投資と積立投資の違い
- 7 商品売買のタイミング
- 8 投資する商品の選び方・資産配分の方法
- 9 定年後のライフプラン
- 10 資産の取り崩し方
- 11 その他(具体的に  )
- 12 あてはまるものはない／知りたいテーマはない

## 添付資料：調査票

### <Q10\_1聴取対象：投資信託保有者(Q1④=1)>

#### ■毎月分配型の投資信託についてお伺いします。

**Q10\_1** 投資信託の商品には、毎月決算を行い、収益などの一部を分配金として受け取ることができる毎月分配型の投資信託があります。

現在あなたは、**毎月分配型の投資信託**を保有していますか。(1つだけ)

※以下の「投資信託の分配金」特徴を確認後、回答してください。

#### 【投資信託の分配金の特徴について】

- ・投資信託の分配金は運用成績により変動し、決算時に支払われるが、運用成績が良くないときには減額や無配となることがある。
- ・分配金を再投資する場合でも税金が発生する。
- ・現在のNISAでは毎月分配型投資信託を購入することはできません。

- 1 保有している
- 2 保有していない
- 3 わからない・答えたくない

**Q10\_2** あなたは、**毎月分配型の投資信託**（1ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの）に**魅力**を感じますか。(1つだけ)

- 1 魅力を感じる
- 2 やや魅力を感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり魅力を感じない
- 5 魅力を感じない

## 添付資料：調査票

### <Q10\_3聴取対象：毎月分配型投資信託に魅力を感じる人(Q10\_2=1or2)>

Q10\_3 毎月分配型の投資信託に魅力を感じる理由は何ですか。(いくつでも)

- 1 毎月利益を確定したいので
- 2 分配金を受け取ることで安心できるので
- 3 元本の一部払戻しの分配金であっても、収入を補完する上で活用できると思うので
- 4 毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった
- 5 その他（具体的に  )

### ■ETF、不動産投信についてお伺いします。

Q11 あなたは、以下の金融商品をどの程度ご存知ですか。(それぞれひとつずつ)

※「ETF」とは、株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの（指数に連動しないアクティブ運用型ETFも一部存在）を指します。

※「不動産投信（Jリート）」とは、不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

1 名前も商品の内容も知っている  
2 名前は知っているが、商品の内容はよく分からない  
3 知らない

- |               |   |                       |                       |                       |
|---------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 ETF         | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2 不動産投信（Jリート） | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

## 添付資料：調査票

### <Q12聴取対象：投資信託保有者(Q1④=1)>

#### ■投資信託、ETF、不動産投信についてお伺いします。

Q12 現在あなたは、以下の金融商品をどの程度の期間、保有していますか。(それぞれひとつずつ)

※複数のファンドを保有している方は平均保有期間でお答えください。

	1	2	3	4	5
	1 年未 満	1 年 以 上 〜 3 年 未 満	3 年 以 上 〜 5 年 未 満	5 年 以 上 〜 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上
1 投資信託(ETF、Jリート除く)	→ ●	●	●	●	●
2 E T F	→ ●	●	●	●	●
3 不動産投信 (Jリート)	→ ●	●	●	●	●

## 添付資料：調査票

### ■不動産投信についてお伺いします。

**Q13** 金融商品の**不動産投信〔Jリート〕**（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）には以下の様な特徴があります。

それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。（それぞれいくつでも）

	1 あなたが知っている特徴	2 あなたが魅力を感じた特徴
	↓	↓
1 少額から不動産投資ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 複数の不動産に分散して投資ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 専門家が運用や物件の管理などを行う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 物件の賃料収入を主な分配金原資としている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 運用益のほとんどが分配されている（投資法人に係る課税の特例制度があるため）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 インフレになると不動産価格や賃料が上がり、リートの価格や分配金も上がるので、インフレ対策になる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 比較的高い利回りが期待できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 保有する資産にはオフィスビル、住宅、商業施設、ホテル、物流施設などの建物を、単体あるいは複合で保有するタイプがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 ファンドによって決算期（分配）が分散している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 株式と同様に取引所で売買ができるため、換金性・流動性が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 開示されている情報が入手しやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 金利の上昇局面では、Jリートの価格は下落する場合がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

### <Q14聴取対象：Jリート保有者またはJリート内容認知者(Q11②=1or2)>

不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの）を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

**Q14 不動産投信〔Jリート〕**で**不満**を感じるのはどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

- 1 仕組みや運用実績がわかりにくい
- 2 専門知識がないと商品を選びにくい
- 3 リターン（収益）が低い
- 4 分配金が少ない
- 5 株式に比べて面白さに欠ける
- 6 債券に比べてリスクが高い
- 7 購入後の運用に関する情報が少ない
- 8 手続きがわずらわしい
- 9 最低購入価額が高い
- 10 種類が多く選択に迷う
- 11 高い利回りを期待できる一方で元本保証がない
- 12 その他(具体的に )
- 13 わからない・特になし

## 添付資料：調査票

### ■投資制度についてお伺いします。

#### 【新NISAについて】

2024年以降、NISAの抜本的拡充・恒久化が図られ、新NISAが導入されました。

※非課税保有期間が無期限化、口座開設期間が恒久化されました。

つみたてNISAの後継であるつみたて投資枠と、一般NISAの後継である成長投資枠の併用が可能となり、年間投資枠が拡大しました。

(つみたて投資枠：年間120万円、成長投資枠：年間240万円、合計最大年間360万円まで投資可能)

非課税保有限度額（総枠）は、全体で1,800万円。

(成長投資枠は、1,200万円。また、保有商品を売却した場合、購入時の金額（簿価）ベースで枠の再利用が可能。)

#### 【確定拠出年金について】

※確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。

また確定拠出年金は「企業型」と「個人型」に分かれますが、「企業型」の加入対象者は確定拠出年金を導入している企業の従業員です。

**Q15** あなたは、以下の投資に関する**制度**について**ご存知**ですか。それぞれあてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

**1** 名前も制度の内容も知っている  
**2** 名前は知っているが、制度の内容はよく分からない  
**3** 知らない

1 新NISA

→

2 企業型確定拠出年金

→

3 個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】

→

## 添付資料：調査票

### ■新NISAについてお伺いします。

Q16 あなたは、**新NISA口座**を**開設**していますか。(1つだけ)

- 1 開設している
- 2 開設していない
- 3 わからない

### <Q17聴取対象：新NISA口座開設者(Q16=1)>

Q17 あなたは、**新NISA制度**の各投資枠で金融商品を保有していますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。(それぞれひとつずつ)

- 1 現在金融商品を保有している
- 2 以前は商品を保有していたが、現在は持っていない
- 3 この投資枠で商品を購入したことは一度もない

1 成長投資枠

→ ● ● ●

2 つみたて投資枠

→ ● ● ●

## 添付資料：調査票

### <Q18聴取対象：企業型確定拠出年金の認知者(Q15②=1or2)>

#### ■企業型確定拠出年金についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

**Q18** あなたは、**企業型確定拠出年金**で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。

あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ)

※個人型確定拠出年金 (iDeCo) ではありません。

- 1 口座を開設して、現在も金融商品を保有している
- 2 過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は口座を閉じている
- 3 勤務している会社に導入されているが、今まで口座を開設したことはない
- 4 勤務している会社に導入されていない・導入されているかわからない
- 5 今まで口座を開設したことはない

### <Q19聴取対象：個人型確定拠出年金の認知者(Q15③=1or2)>

#### ■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

以下の投資制度をご存知の方にお伺いします。

**Q19** あなたは、**個人型確定拠出年金 (iDeCo)**で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。

あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ)

※企業型確定拠出年金ではありません。

- 1 口座を開設して、現在も金融商品を保有している
- 2 過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は口座を閉じている
- 3 今までに口座を開設したことはない

## 添付資料：調査票

＜Q20聴取対象：成長投資枠、つみたて投資枠、iDeCoで金融商品保有者  
(Q17①=1 または Q17②=1 または Q19=1)＞

■投資制度についてお伺いします。

現在、以下の制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

**Q20** あなたが**新NISA**、**個人型確定拠出年金 (iDeCo)**の制度を利用して、現在保有している金融商品を、各制度ごとにお答えください。(それぞれいくつでも)

※S&P500やオール・カンントリーをお持ちの方は「外国株式に投資する投資信託」をお選びください。

	1 新NISA (成長投資枠)	2 新NISA (つみたて投資枠)	3 個人型確定拠出年金 (iDeCo)(イデコ)
	↓	↓	↓
1 株式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-
2 国内株式に投資する投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 国内債券に投資する投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 外国株式に投資する投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 外国債券に投資する投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 国内不動産投信（Jリート）に投資する投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 外国の不動産投信に投資する投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 ETF（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-
10 国内不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-
11 定期預金	-	-	<input type="checkbox"/>
12 保険商品	-	-	<input type="checkbox"/>
13 その他（具体的に）	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>
14 わからない・答えたくない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

<Q21聴取対象：新NISA制度で現在商品保有者(Q17①=1 または Q17②=1)>

■新NISAについてお伺いします。

新NISAで、「現在金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q21 あなたが、**新NISA口座**を開設したきっかけをお答えください。(いくつでも)

- 1 すでに投資を行っており、NISAの非課税メリットを活用するため
- 2 証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて
- 3 講演会やセミナーなどで、NISAの説明を受けて
- 4 NISAに関する本や記事を見て
- 5 家族や友人など身近な人に勧められて
- 6 職場で勧められて
- 7 金融機関等が実施するキャンペーンを通じて（ポイント付与、金利優遇など）
- 8 テレビを見て
- 9 SNS（X（旧Twitter）、Instagram、TikTok、YouTube等）を見て
- 10 その他（具体的に  ）

## 添付資料：調査票

<Q22聴取対象：新NISA制度で現在商品保有者(Q17①=1 または Q17②=1)>

■新NISAについてお伺いします。

新NISAで、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

**Q22** あなたが、**新NISA口座**を開設した**金融機関**などを教えてください。(1つだけ)

※現在商品を保有している新NISA口座の金融機関についてお答えください。

※勤務先を通じて口座を開設された方は、「勤務先を通じて」を選択してください。

- 1 証券会社
- 2 ネット証券
- 3 銀行
- 4 投資信託の運用会社
- 5 信託銀行
- 6 信用金庫
- 7 その他（上記以外の金融機関）
- 8 勤務先を通じて
- 9 わからない・答えたくない

## 添付資料：調査票

<Q23聴取対象：新NISA口座で商品未購入、口座未開設者または、iDeCo口座開設、未開設者  
(Q16=2 または「Q17①=3 且つ Q17②=3」 または Q19=3)>

### ■投資制度についてお伺いします。

新NISAや個人型確定拠出年金で、「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」方、  
「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q23 あなたは、各制度で、**口座を開設したものの金融商品を保有しなかった、あるいは口座を開設しなかつたのはなぜ**ですか。それぞれあてはまるものをいくつかでもお答えください。(それぞれいくつでも)

	1 新 N I S A	2 個人型確定拠出年金 【iDeCo(イデコ)】
	↓	↓
1 口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 口座開設の申込手続きが複雑で途中でやめてしまったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 まわりに制度を利用している人がいないため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 自分は預貯金で十分と思っているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 どの商品を購入してよいかわからないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 投資に回すお金がないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 投資の知識がないから／知識がないと難しそうだから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 金融機関に勧められて口座開設しただけだから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 投資自体に関心がないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 投資は元本が保証されないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 60歳まで引き出せないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 他の年金制度（企業型確定給付年金、個人年金保険、マッチング拠出など）を利用しているため不要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 自身の所得状況から所得税額控除のメリットがないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 その他(具体的に)	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>
16 特に理由はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

Q24 下記の説明を読んで、あなたは、新NISA、個人型確定拠出年金（iDeCo）をどの程度利用したいと思いますか。（それぞれひとつずつ）

新NISA		個人型確定拠出年金（iDeCo） 加入者自身が運用を行う私的年金制度
目的		目的
住宅購入、教育資金、将来のための資金など自由		老後資金
投資対象商品		投資対象商品
成長投資枠	つみたて投資枠	投資信託・定期預金・保険商品など
上場株式・投資信託等	長期・積立・分散投資 に適した一定の投資信託 <small>※金融庁の基準を満たした投資信託</small>	
メリット・注意点		
譲渡益・配当金・分配金に 税金がかからない		掛金は全額所得控除 運用益は非課税で再投資可能 受け取り時の控除措置  ※原則60歳まで引き出し不可 ※口座管理費などの手数料がかかる

1	2	3	4	5
利用し続けたい	やや利用し続けたい	どちらともいえない	あまり利用し続けたくない	利用し続けたくない

1 新NISA（成長投資枠）	→	●	●	●	●	●
2 新NISA（つみたて投資枠）	→	●	●	●	●	●
3 個人型確定拠出年金制度【iDeCo（イデコ）】	→	●	●	●	●	●

## 添付資料：調査票

<Q25聴取対象：新NISA利用意向者(Q24①=1or2 または Q24②=1or2) >

■新NISAについてお伺いします。

新NISAを「利用したい、利用し続けたい」「やや利用したい、やや利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

Q25 新NISA口座を開く金融機関を決めるにあたり、どのような点を重視しますか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

また、そのうち最も重視したいことを1つあげてください。(1つだけ)

※新NISA口座未開設の方は、もし開設するとしたら重視したいことをお答えください。

	1 重視すること	2 最も重視したいこと
1 株式が購入できること	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2 投資信託の対象商品の取扱数が多い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3 販売手数料が低い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4 店頭で対面相談が可能である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5 インターネット上で手続きが完了する	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6 日頃から付き合いがある	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7 知名度が高い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8 資本力が大きい	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9 提供している資料や情報が分かりやすく充実している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10 アフターサービス・顧客対応が充実している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
11 SNS (X (旧Twitter)、Instagram、TikTok、YouTube等)における評価の高さ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12 インターネットや雑誌等でのランキング	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13 ESG・SDGsに力を入れている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14 日系企業である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15 外資系企業である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16 その他(具体的に <input type="text"/> )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
17 わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

<Q26聴取対象：新NISA利用意向者(Q24①=1or2 または Q24②=1or2) >

■新NISAについてお伺いします。

新NISAを「利用したい、利用し続けたい」「やや利用したい、やや利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

Q26 新NISAで投資する商品を選ぶにあたり、どのような点を重視しますか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

また、そのうち最も重視したいことを1つあげてください。(1つだけ)

※新NISA口座未開設の方・投資経験が無い方は、もし投資するとしたら重視したいことをお答えください。

	1 重視すること	2 最も重視したいこと
	↓	↓
1 過去の運用実績	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
2 値下がりの不安が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
3 値上がりへの期待	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
4 換金のしやすさ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
5 分配頻度	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
6 過去の分配金額	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
7 手数料や運用管理費用（信託報酬）の水準	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
8 純資産額の大きさ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
9 少額から投資できる	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
10 SNS（X（旧Twitter）、Instagram、TikTok、YouTube等）における評価の高さ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
11 インターネットや雑誌等でのランキング	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
12 評価会社による評価	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
13 商品内容のわかりやすさ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
14 つみたて投資枠対象商品ではない金融商品(株式、つみたて投資枠以外の投資信託等)である	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
15 社会性の高い企業が投資先である（ESG投資など）	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
16 その他の商品コンセプト（投資対象、投資テーマ、運用方針など）	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
17 インデックス運用を行うファンドである	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
18 その他(具体的に <input type="text"/> )	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
19 わからない・特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

### ■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

**Q27 個人型確定拠出年金【iDeCo（イデコ）】**には以下の**特徴**があります。それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。（それぞれいくつでも）

	1 あなたが知っている特徴	2 あなたが魅力を感じた特徴
	↓	↓
1 掛金が全額所得控除される	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 掛金の運用は加入者自身で行い、受け取る年金資産の額は各自の運用成績により変動する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 掛金の上限額は、加入者の職業等によって異なる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、運用益も非課税で再投資される	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 運用する金融商品には元本確保型の定期預金や保険商品もある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 金融商品の種類や、掛金の額は途中で変更することもできる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 口座管理手数料などがかかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 積み立てた年金資産は、原則60歳から受け取ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 受け取るときにも税制優遇措置がある（一時金は「退職所得控除」年金は「公的年金等控除」）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 通算で加入者期間が10年に満たない場合は受給開始可能年齢が繰り下げられる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 口座は75歳まで継続できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 わからない・特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 添付資料：調査票

<Q28聴取対象：投資現在実施者(Q1①=1 または Q1②=1 または Q1③=1 または Q1④=1 または Q1⑤=1 または Q1⑥=1 または Q1⑦=1 または Q1⑧=1 または Q1⑨=1 または Q1⑩=1)>

### ■投資に関する行動や考え方についてお伺いします。

Q28 あなたの投資に関する行動やお考えについて、最もあてはまるものをお答えください。(それぞれひとつずつ)

	1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 全くあてはまらない	5 わからない・どちらともいえない
1 経済状況や世界情勢から、投資の資産配分を見直している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 株や投資信託の値動きをよくチェックする	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 成長投資枠の年間投資枠（240万円）のほぼ上限まで利用している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 つみたて投資枠の年間投資枠（120万円）のほぼ上限まで利用している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 診断サービスやロボアド投資（AI投資）を積極的に利用している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 新NISA対象商品から適切な商品を選ぶことができる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 成長投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 つみたて投資枠の対象商品の取扱数が多過ぎる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 短期的な値動きに惑わされず、長期的な視点で投資している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 添付資料：調査票

<Q29聴取対象：投資現在実施者(Q1①=1 または Q1②=1 または Q1③=1 または Q1④=1 または Q1⑤=1 または Q1⑥=1 または Q1⑦=1 または Q1⑧=1 または Q1⑨=1 または Q1⑩=1)>

**Q29** 投資期間について、あなたのお考えに最もあてはまるものをお答えください。(1つだけ)

- 1 短期投資派 (1年未満)：こまめに売買して利益を獲得する
- 2 中期投資派 (3年から5年程度)：数年かけて資産を成長させる
- 3 長期投資派 (10年以上)：じっくり時間をかけて運用する